

令和5年度 保育サービス第三者評価事業 報告書

令和6年3月

杉並区

はじめに

保育サービス第三者評価は、第三者からみた保育園サービスの評価結果を幅広く利用者や保育園に情報提供することにより、サービス内容を利用者に明らかにし、保育園におけるサービスの質の向上に向けた取り組みを促し、利用者本位のサービスシステムの構築を行う事を目的とするものである。

◎評価対象 杉並区立の次の8園を対象としている。

令和5年5月1日現在

保育園名	世帯数	備考
1.阿佐谷南保育園	97	8・延
2.堀ノ内保育園	73	8・延
3.成田保育園	79	1・延
4.本天沼保育園	73	8・延
5.宮前保育園	77	9・延
6.松庵保育園	89	9・延
7.荻窪東保育園	60	9・延
8.阿佐谷東保育園	96	9・延
合計	644	

※備考欄 9…9週目以上の園、8…8か月以上の園
1…1歳以上の園、延…延長保育実施園

◎評価機関 株式会社にはほんの福祉ネット

(東京都福祉サービス第三者評価機関 認証番号：機構06-168)

◎評価者 担当した評価者の評価者養成講習修了番号は以下のとおりである。

H2101027、H2101100、H2201084、H2201085

◎評価の流れ

1.関係者説明会	令和5年8月
2.利用者調査配布(利用者調査)	令和5年9月
3.経営層事故評価票作成(事業評価)	令和5年9月
4.職員自己評価票作成	令和5年9月
5.訪問調査利用者調査・事業評価結果報告	令和5年10月から11月
6.評価結果のフィードバック	令和5年1月

目次

第1部 利用者調査

1.利用者調査の概要

- (1) 調査の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) 調査の対象者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (3) 調査方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (4) 調査期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (5) 利用者調査票の配布・回収状況・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

2.全体の調査結果

- (1) 回答者属性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- (2) 総合的な満足度に関するクロス集計結果・・・・・・・・・・ 4
- (3) 自由記入の分類・整理・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- (4) 利用者調査設問への回答集計・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

3.満足度構造分析

- (1) 分析方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 1
- (2) 分析結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 1
- (3) 考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 1

4.各園の利用者調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 3

第2部 事業評価

1.評価の概要

- (1) 評価の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 9
- (2) 評点のつけ方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 9
- (3) 訪問調査とフィードバック・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 1

2.各保育園の評価結果報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 3

巻末 付属資料

第 1 部 利用者調査

1. 利用者調査の概要

(1) 調査の目的

杉並区立保育園を利用されている保護者の方々が、日常の保育サービスに対して感じていること、また、意見や要望について把握することを目的とする。

(2) 調査の対象者

8 保育園の利用者（保護者）を対象とした。複数のお子さんを預けている場合は、一番年齢の低いお子様のことについて回答していただいた。

(3) 調査方法

無記名のアンケート方式で実施した。園より保護者全員にオンラインを活用した WEB 入力方式のアンケートの案内を行った。

(4) 調査期間

令和 5 年 8 月 7 日から 10 月 3 日（オンライン入力）

(5) 利用者調査票の回答状況

全世帯に案内し、8 園の回答率は 58.8% から 88.8%、平均回答率は 71.9% である。本調査はオンライン入力のため、参考までに園別の回答者平均年齢を試算したが、結果として園別での平均年齢にあまり差がみられていない。

保育園名	利用者			予想平均年齢 (ご参考：歳)
	世帯数	回答数	回答率	
1.阿佐谷南保育園	97	57	58.8%	40.3
2.堀ノ内保育園	73	54	74.0%	38.5
3.成田保育園	79	53	67.1%	39.5
4.本天沼保育園	73	52	71.2%	37.7
5.宮前保育園	77	49	63.6%	37.8
6.松庵保育園	89	79	88.8%	38.6
7.荻窪東保育園	60	49	81.7%	38.5
8.阿佐谷東保育園	96	70	72.9%	40.0
合計	644	463	71.9%	38.9

※世帯数は 2023 年 5 月 1 日時点

※各園の予想平均年齢は、回答年齢幅の中間値を加重平均した。

(例：回答者の年齢が「30 から 35 歳未満」の場合、中間値の 32.5 歳とした)

2. 全体の調査結果

(1) 回答者属性

調査票のオンラインでの回答者 463 名のうち 79.5%が母親である。

回答者の年齢構成をみると、35~40 歳未満が 33.0%、30~35 歳未満が 24.2%と 30 歳代が合計 57.2%と過半数を占めている。また 40~50 歳未満が 37.1%であり、20 歳台（25~30 歳未満 3.2%、20~25 歳未満 0.4%）は合計 3.6%と少ない。

勤務形態では、父親の 88.3%、母親の 78.0%がフルタイム（常勤）である。なお、父親の 7.6%は自営業、母親の 10.2%はパート・アルバイトである。

調査の回答者属性

保護者属性（全回答者）	回答数	比率
父	42	9.1%
母	368	79.5%
父母一緒に	49	10.6%
その他	3	0.6%
無回答	1	0.2%
合計	463	100.0%

回答者の年齢

全回答者年齢	回答数	比率
20~25歳未満	2	0.4%
25~30歳未満	15	3.2%
30~35歳未満	112	24.2%
35~40歳未満	153	33.0%
40~50歳未満	172	37.1%
50歳以上	6	1.3%
無回答	3	0.6%
合計	463	100.0%

保護者の勤務形態

保護者（父）	回答数	比率
常勤	409	88.3%
パート、アルバイト	11	2.4%
自営業	35	7.6%
その他	3	0.6%
無職	0	0.0%
無回答	5	1.1%
合計	463	100.0%
保護者（母）	回答数	比率
常勤	361	78.0%
パート、アルバイト	47	10.2%
自営業	23	5.0%
その他	27	5.8%
無職	3	0.6%
無回答	2	0.4%
合計	463	100.0%
保護者（その他）	回答数	比率
常勤	173	37.4%
パート、アルバイト	26	5.6%
自営業	15	3.2%
その他	26	5.6%
無職	23	5.0%
無回答	200	43.2%
合計	463	100.0%

(2) 総合的な満足度に関するクロス集計結果

総合的な満足度は、調査回答者別では「満足」「まあ満足」と回答した方々が、父親のみの場合は100%、母親のみは98.9%で、保育サービス全般に関してはおおむね高い満足を得ている。一方で、「やや不満」「不満」と回答した方は、父親のみの場合は0だが、母親および父母一緒に回答のケースで少数の合計7名(1.5%)みられる。調査回答者の年齢別では、おおむね「満足」「まあまあ満足」と高い評価を得ており、年齢別での満足度に明確な差異はみられない。

勤務形態別でも、父親、母親、その他のお迎えに行く方を通して、おおむね「満足」「まあまあ満足」の高い評価を得ており、勤務形態別での満足度に明確な差異はみられない。

①調査回答者属性別での保育園の総合満足度

		合計	満足	まあまあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
父	回答者数(人)	42	36	6	0	0	0	0
	回答率	100.0%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
母	回答者数(人)	368	288	76	2	1	1	0
	回答率	100.0%	78.3%	20.7%	0.5%	0.3%	0.3%	0.0%
父母一緒に	回答者数(人)	49	32	10	2	3	2	0
	回答率	100.0%	65.3%	20.4%	4.1%	6.1%	4.1%	0.0%
その他	回答者数(人)	3	1	1	0	1	0	0
	回答率	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数(人)	1	1	0	0	0	0	0
	回答率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全体	回答者数(人)	463	358	93	4	5	3	0
	回答率	100.0%	77.3%	20.1%	0.9%	1.1%	0.6%	0.0%

②調査回答者年齢別での保育園の総合満足度

		合計	満足	まあまあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
20～25歳未満	回答者数（人）	2	2	0	0	0	0	0
	回答率	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25～30歳未満	回答者数（人）	15	9	4	0	0	2	0
	回答率	100.0%	60.0%	26.7%	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%
30～35歳未満	回答者数（人）	112	88	22	0	2	0	0
	回答率	100.0%	78.6%	19.6%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%
35～40歳未満	回答者数（人）	153	118	30	2	2	1	0
	回答率	100.0%	77.1%	19.6%	1.3%	1.3%	0.7%	0.0%
40～50歳未満	回答者数（人）	172	135	34	2	1	0	0
	回答率	100.0%	78.5%	19.8%	1.2%	0.6%	0.0%	0.0%
50歳以上	回答者数（人）	6	5	1	0	0	0	0
	回答率	100.0%	83.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	回答者数（人）	3	1	2	0	0	0	0
	回答率	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全体	回答者数（人）	463	358	93	4	5	3	0
	回答率	100.0%	77.3%	20.1%	0.9%	1.1%	0.6%	0.0%

③-1 勤務形態別（父）での保育園の総合満足度

		合計	満足	まあまあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
常勤	回答者数（人）	409	320	79	2	5	3	0
	回答率	100.0%	78.2%	19.3%	0.5%	1.2%	0.7%	0.0%
パート・アルバイト	回答者数（人）	11	10	1	0	0	0	0
	回答率	100.0%	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自営業	回答者数（人）	35	22	11	2	0	0	0
	回答率	100.0%	62.9%	31.4%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	回答者数（人）	0	0	0	0	0	0	0
	回答率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
無回答	回答者数（人）	5	4	1	0	0	0	0
	回答率	100.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数（人）	3	2	1	0	0	0	0
	回答率	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全体	回答者数（人）	463	358	93	4	5	3	0
	回答率	100.0%	77.3%	20.1%	0.9%	1.1%	0.6%	0.0%

③-2 勤務形態別（母）での保育園の総合満足度

		合計	満足	まあまあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
常勤	回答者数（人）	361	280	71	4	5	1	0
	回答率	100.0%	77.6%	19.7%	1.1%	1.4%	0.3%	0.0%
パート・アルバイト	回答者数（人）	47	36	10	0	0	1	0
	回答率	100.0%	76.6%	21.3%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%
自営業	回答者数（人）	23	17	6	0	0	0	0
	回答率	100.0%	73.9%	26.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	回答者数（人）	3	2	0	0	0	1	0
	回答率	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
無回答	回答者数（人）	2	1	1	0	0	0	0
	回答率	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数（人）	27	22	5	0	0	0	0
	回答率	100.0%	81.5%	18.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全体	回答者数（人）	463	358	93	4	5	3	0
	回答率	100.0%	77.3%	20.1%	0.9%	1.1%	0.6%	0.0%

③-3 勤務形態別（その他）での保育園の総合満足度

		合計	満足	まあまあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満	無回答
常勤	回答者数（人）	173	126	40	3	3	1	0
	回答率	100.0%	72.8%	23.1%	1.7%	1.7%	0.6%	0.0%
パート・アルバイト	回答者数（人）	26	20	5	0	0	1	0
	回答率	100.0%	76.9%	19.2%	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%
自営業	回答者数（人）	15	10	5	0	0	0	0
	回答率	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無職	回答者数（人）	23	18	4	0	0	1	0
	回答率	100.0%	78.3%	17.4%	0.0%	0.0%	4.3%	0.0%
無回答	回答者数（人）	200	166	31	1	2	0	0
	回答率	100.0%	83.0%	15.5%	0.5%	1.0%	0.0%	0.0%
その他	回答者数（人）	26	18	8	0	0	0	0
	回答率	100.0%	69.2%	30.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
全体	回答者数（人）	463	358	93	4	5	3	0
	回答率	100.0%	77.3%	20.1%	0.9%	1.1%	0.6%	0.0%

(3) 自由記入の分類・整理

調査票の質問別記載欄に寄せられた意見を、内容によって分類すると、最も多く自由意見を頂いたのは、「Q4：自然や社会と関わる機会の確保」（85件）である。コロナの影響でやむを得ずこうした機会はこれまで減少したが、徐々に世の中がコロナ後に向かう中で保護者の関心が高まっている。また「Q1：心身の発達に役立つ活動」は設問が「はい」と回答された方から自由意見（64件）を頂いている。一方で上記Q4と「Q6：安全対策」「Q7：保護者に配慮した行事日程の設定」は「どちらともいえない」「いいえ」と回答された方から自由意見を多く頂いている。

	自由意見 記入件数	自由意見記入者の設問回答内訳			
		はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当
Q1:心身の発達に役立つ活動	65	64	1	0	0
Q2:興味や関心を持って行える活動	51	41	9	1	0
Q3:提供する食事・おやつの配慮	66	46	19	0	1
Q4:自然や社会と関わる機会の確保	85	40	37	7	1
Q5:利用時間の変更への柔軟な対応	46	27	7	3	9
Q6:安全対策	64	23	32	9	0
Q7:保護者に配慮した行事日程の設定	63	22	25	12	4
Q8:保護者と園との信頼関係	55	40	10	5	0
Q9:園内の清潔、整理整頓	48	29	15	4	0
Q10:職員の接遇・態度	38	24	12	2	0
Q11:保健・衛生（病気・けが・対応）	39	26	9	4	0
Q12:子ども同士のトラブル対応	51	20	23	4	4
Q13:子供の気持ちの尊重	37	26	10	0	1
Q14:プライバシーの保護	21	8	9	3	1
Q15:保育内容の説明の判りやすさ	40	18	18	4	0
Q16:不満や要望への対応	34	11	16	5	2
Q17:外部の苦情相談窓口の周知	36	8	15	6	7

(4) 利用者調査設問への回答集計

今回の調査対象8園の回答数を合計し、全回答463件について、Q1~Q17までの設問に対する回答の構成比率と、総合的な満足度への回答件数、構成比率を算出した。Q1~Q17の回答では、「はい」の比率が最も高いのは、「Q1:園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っている」の98.7%、「どちらともいえない」の比率が最も高いのは、「Q17: 困ったときに役所や第三者委員などにも相談できることを、職員はわかりやすく伝えてくれた」の26.1%であった。

「いいえ」の比率が最も高いのは、同じく「Q17: 困ったときに役所や第三者委員などにも相談できることを、職員はわかりやすく伝えてくれた」の10.8%であったが、次が{Q7: 行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされている}の4.8%であった。Q7は「どちらともいえない」の回答欄でもQ17の次点(19.4%)であった。総合的な満足度では、「満足」が77.3%、「まあまあ満足」が20.1%の構成比率であった。

<サービスの提供>

設問NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っている	98.7%	0.9%	0.2%	0.2%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっている	94.0%	5.0%	0.6%	0.4%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっている	89.8%	8.6%	0.4%	0.6%	0.4%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されている	78.0%	17.1%	3.2%	1.3%	0.4%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれている	77.3%	7.3%	1.5%	13.6%	0.2%
Q6	安全対策が十分取られている	83.6%	13.4%	2.8%	0.2%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされている	72.8%	19.4%	4.3%	3.5%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係がある	89.2%	9.1%	1.7%	0.0%	0.0%

<安心・快適性>

設問NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっている	89.8%	8.6%	1.3%	0.2%	0.0%
Q10	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	94.6%	4.8%	0.6%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、 職員の対応は信頼できる	93.5%	4.8%	1.5%	0.2%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかきやいじめ等があった場合の職員 の対応は信頼できる	73.4%	14.9%	1.3%	10.4%	0.0%

<利用者個人の尊重>

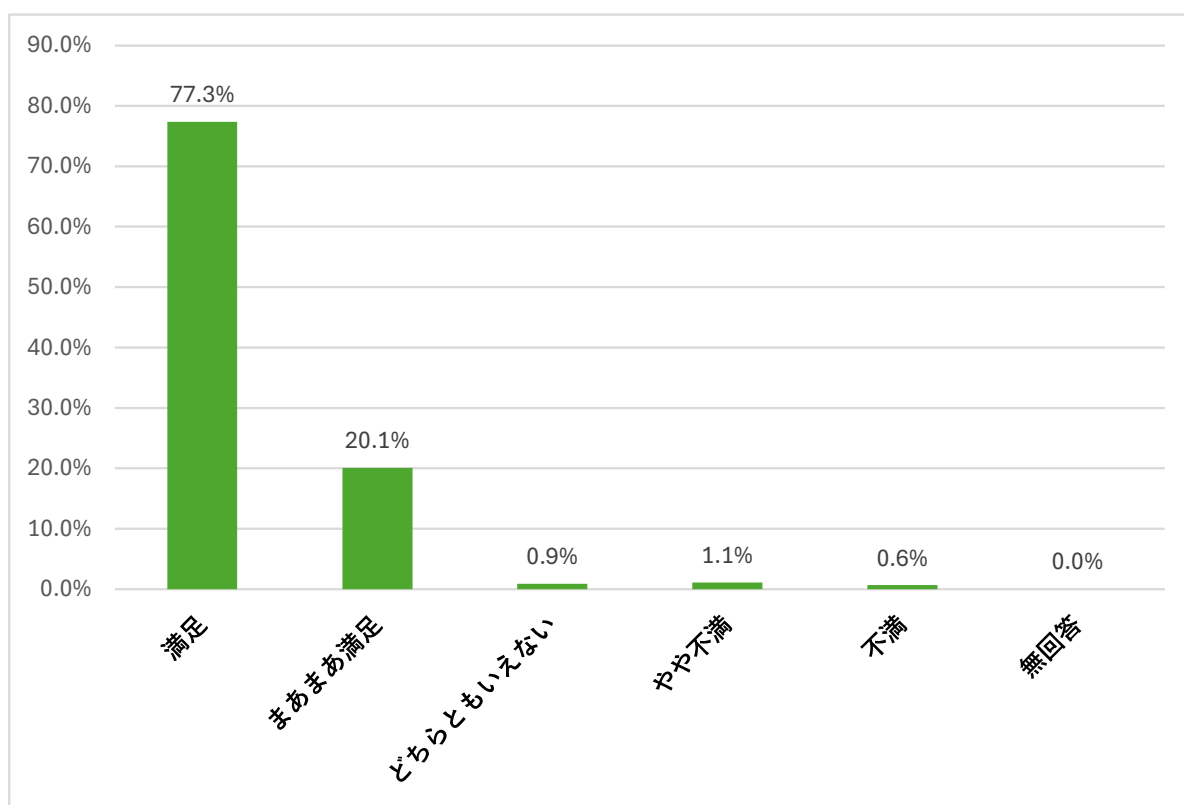
設問NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	職員はお子さんの気持ちを大切にしながら対応してく れている	95.0%	4.5%	0.2%	0.2%	0.0%
Q14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られた くない、聞かれたくない、知られたくないと思うこ と）を職員は守ってくれている	81.9%	8.2%	0.9%	9.1%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすい	87.0%	11.2%	1.7%	0.0%	0.0%

<不満・要望への対応>

設問NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きち んと対応してくれている	78.8%	11.2%	1.5%	8.2%	0.2%
Q17	困ったときに役所や第三者委員などにも相談できるこ とを、職員はわかりやすく伝えてくれた（入園時の説 明など）	52.7%	26.1%	10.8%	10.4%	0.0%

<総合的な満足度>

	満足	まあまあ満足	どちらとも いえない	やや不満	不満	無回答	合計
回答数	358	93	4	5	3	0	463
回答率	77.3%	20.1%	0.9%	1.1%	0.6%	0.0%	100.0%



3. 満足度構造分析

(1) 分析方法

利用者調査項目の全17項目の中で、特に「総合的な感想（満足度）」に影響を与えている項目は何かを明らかにするために、重回帰分析の手法を使用して分析を行った。分析に当たっては以下のような手続きを行った。

目的変数（被説明変数）

目的変数は「総合的な感想（満足度）」である。総合的な感想では下記変数処理を行った。「満足」=5、{まあまあ満足}=4、「どちらともいえない」=3、「やや不満」=2、{不満}=1。無記入は欠損値とした。

説明変数

説明変数はQ1~Q17の各設問である。Q1~Q17の各設問では、下記変数処理を行った。「はい」=3、「どちらともいえない」=2、「いいえ」=1、それ以外の「非該当」や無記入は欠損値とした。

(2) 分析結果

	設問	標準化係数	有意確率（p値）
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っている	0.948	0.000
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されている	0.208	0.000
Q10	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	0.252	0.007
Q13	職員はお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれている	0.218	0.117
Q16	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれている	0.150	0.018

(3) 考察

統計的に有意であった項目のうち、総合的な感想（満足度）に影響を与えている項目は、「Q1：園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っている」「Q4：戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されている」「Q10：職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である」「Q13：職員はお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれている」「Q16：不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと

と対応してくれている」であった。

その中でも、総合的な満足度への影響が特に高い設問は Q1 であった。その後は、Q10、Q13、Q4、Q16 と続いた。

Q1 は全体的に「はい」と高く評価されていた項目であったが、それ以外の設問は、「どちらともいえない」「いいえ」の回答を比較的多くいただいていた項目であり、それらの回答や意見を踏まえ、日々の保育の中で注力して取り組むと、保護者の満足度の向上につながる可能性が比較的高いと考察する。

4. 満足度構造分析

園ごとの利用者調査結果は、それぞれ次の通りである。

1.阿佐谷南保育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 5

2.堀ノ内保育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 9

3.成田保育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 3

4.本天沼保育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 7

5.宮前保育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 1

6.松庵保育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 5

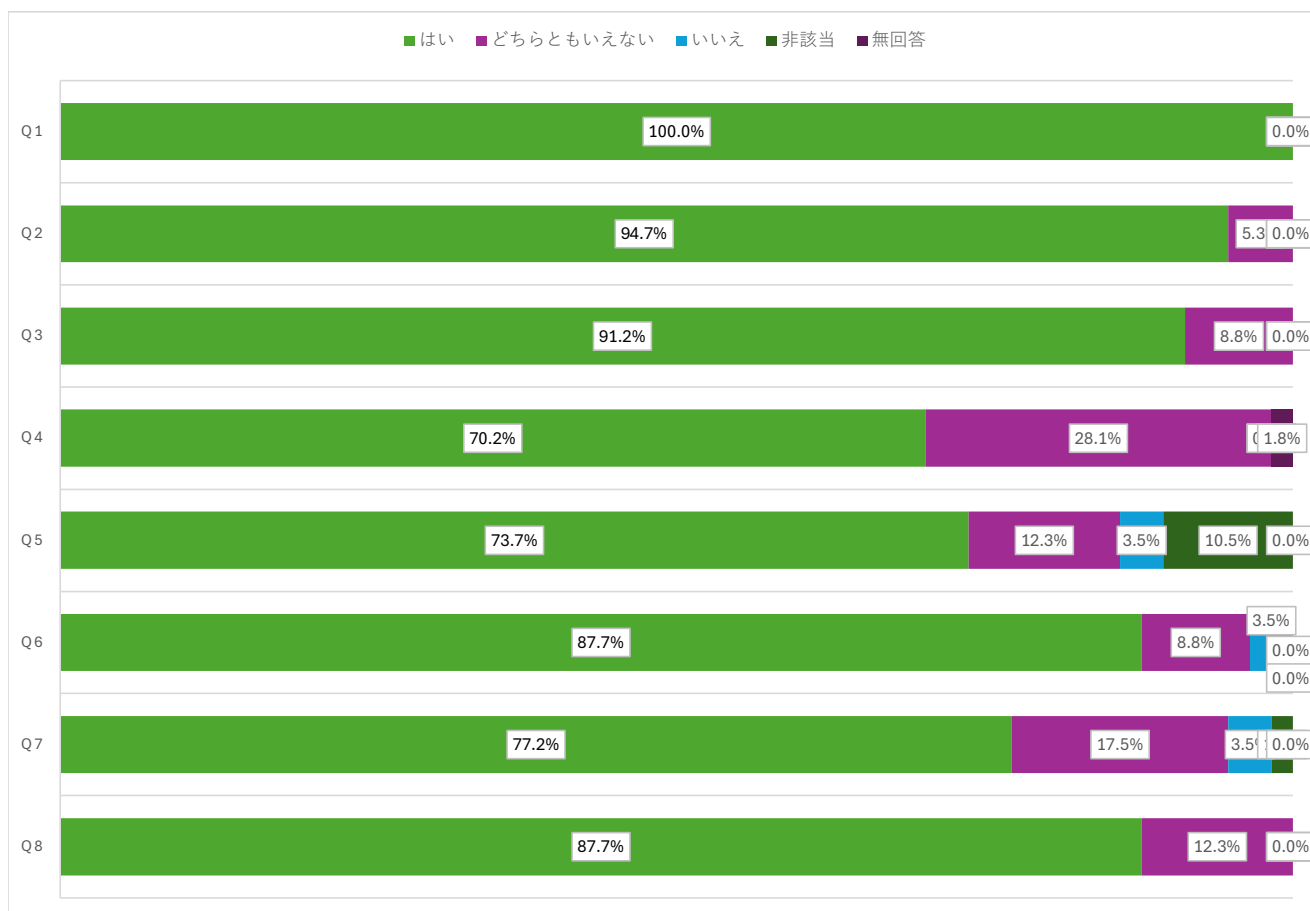
7.荻窪東保育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 9

8.阿佐谷東保育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 3

1.阿佐谷南保育園

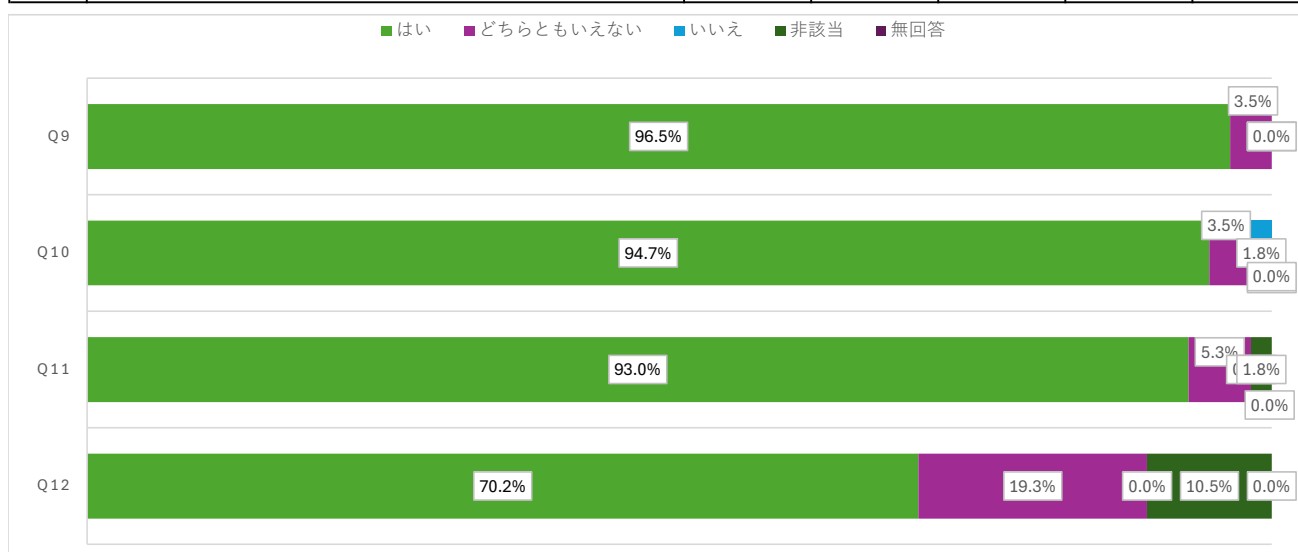
<サービスの提供>

設問NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっている	94.7%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっている	91.2%	8.8%	0.0%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されている	70.2%	28.1%	0.0%	0.0%	1.8%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれている	73.7%	12.3%	3.5%	10.5%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られている	87.7%	8.8%	3.5%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされている	77.2%	17.5%	3.5%	1.8%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係がある	87.7%	12.3%	0.0%	0.0%	0.0%



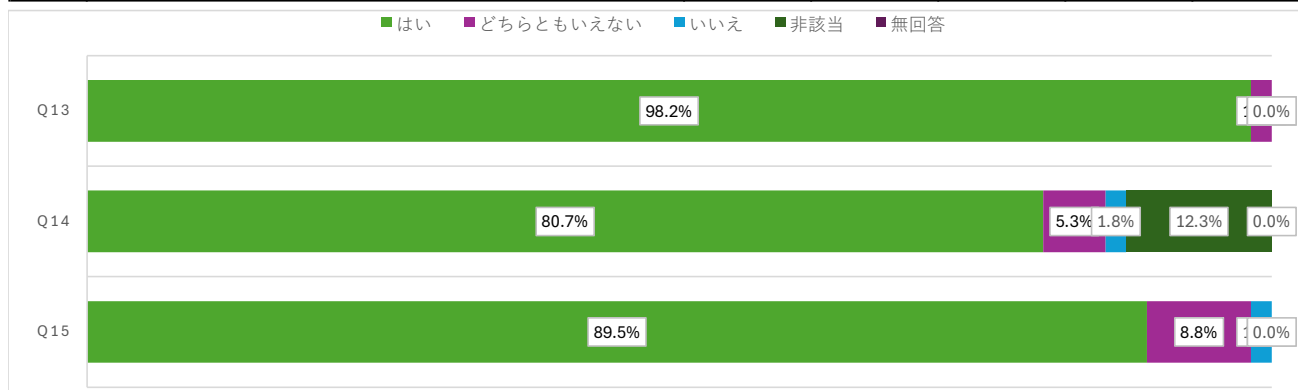
<安心・快適性>

設問NO	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっている	96.5%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%
Q10	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	94.7%	3.5%	1.8%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できる	93.0%	5.3%	0.0%	1.8%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できる	70.2%	19.3%	0.0%	10.5%	0.0%



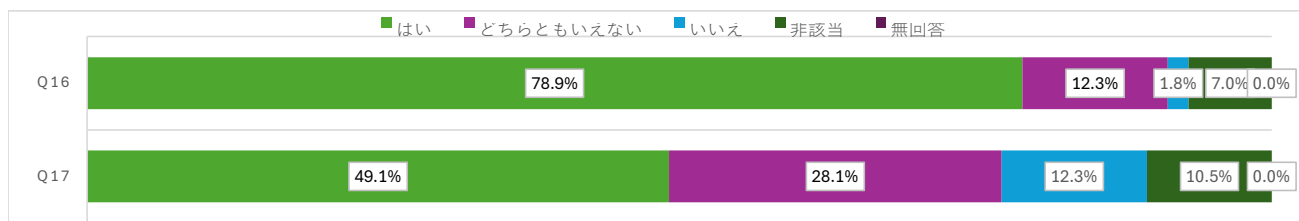
<利用者個人の尊重>

設問NO	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	職員はお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれている	98.2%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
Q14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれている	80.7%	5.3%	1.8%	12.3%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすい	89.5%	8.8%	1.8%	0.0%	0.0%



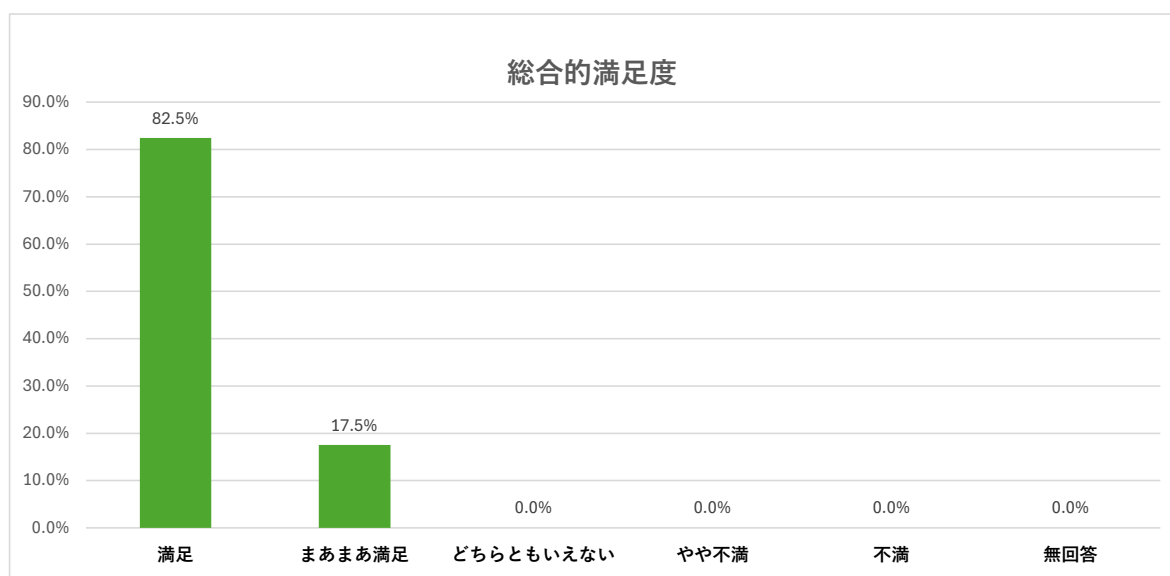
<不満・要望への対応>

設問NO	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれている	78.9%	12.3%	1.8%	7.0%	0.0%
Q17	困ったときに役所や第三者委員などにも相談できることを、職員はわかりやすく伝えてくれた（入園時の説明など）	49.1%	28.1%	12.3%	10.5%	0.0%



<当園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか（総合満足度）>

総合満足度	回答数	回答率
満足	47	82.5%
まあまあ満足	10	17.5%
どちらともいえない	0	0.0%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	57	100.0%



堀
ノ
内

2.堀ノ内保育園

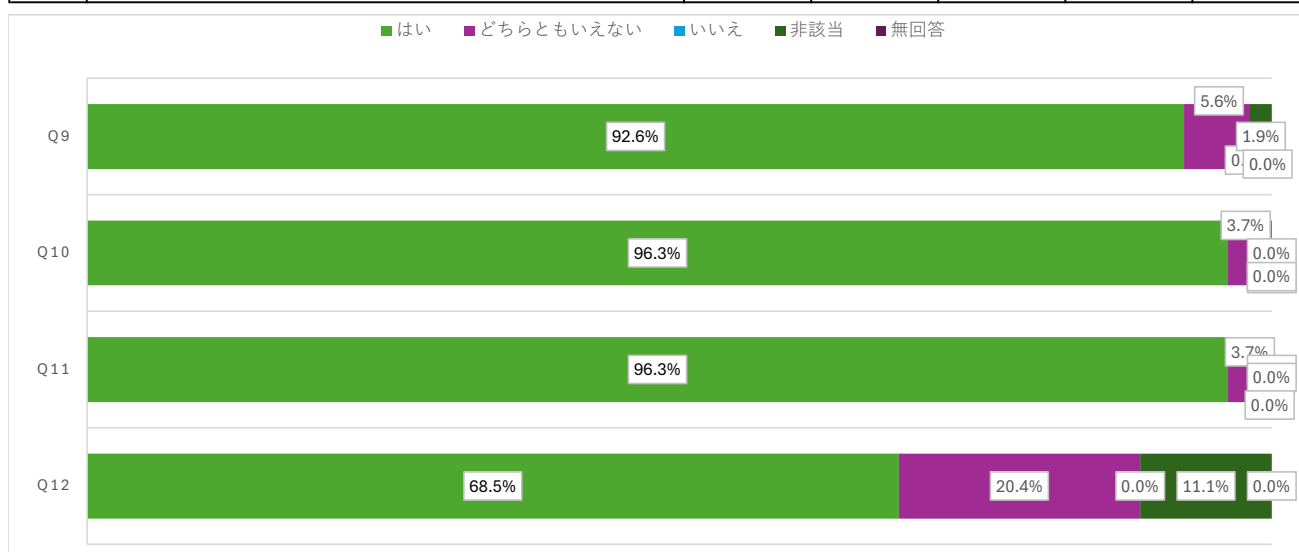
<サービスの提供>

設問 NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っている	98.1%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっている	92.6%	5.6%	0.0%	1.9%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっている	94.4%	3.7%	0.0%	0.0%	1.9%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されている	85.2%	13.0%	0.0%	1.9%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれている	74.1%	9.3%	0.0%	14.8%	1.9%
Q6	安全対策が十分取られている	79.6%	18.5%	1.9%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされている	75.9%	13.0%	1.9%	9.3%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係がある	92.6%	7.4%	0.0%	0.0%	0.0%



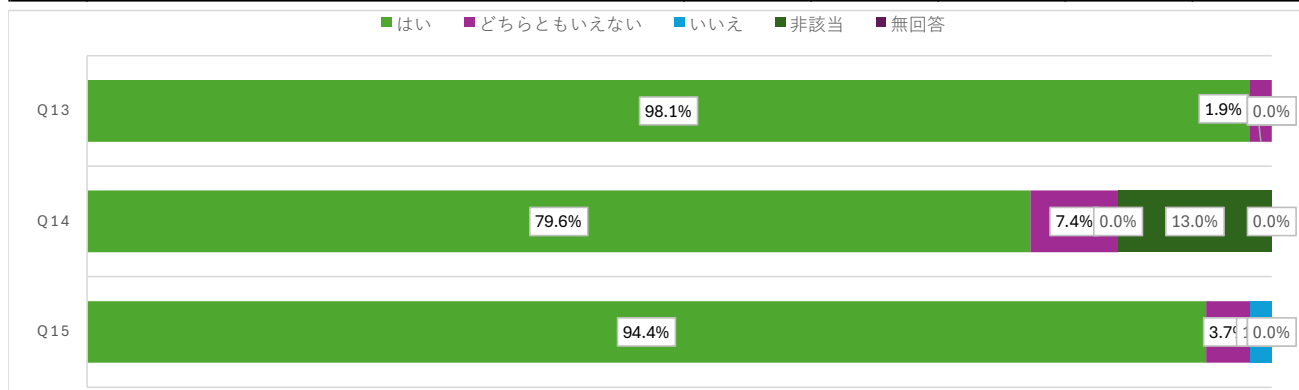
<安心・快適性>

設問 NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっている	92.6%	5.6%	0.0%	1.9%	0.0%
Q10	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	96.3%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、 職員の対応は信頼できる	96.3%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の 対応は信頼できる	68.5%	20.4%	0.0%	11.1%	0.0%



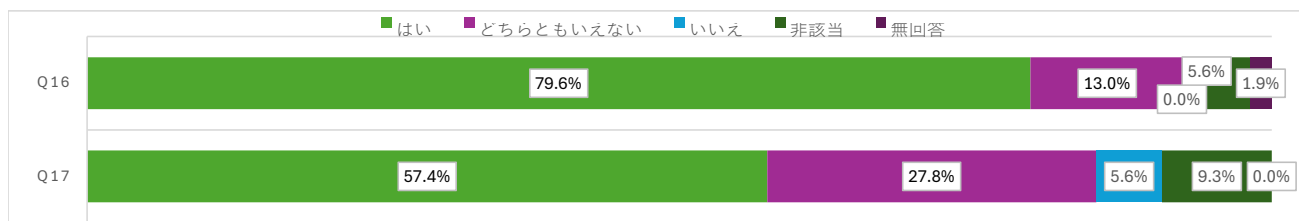
<利用者個人の尊重>

設問 NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	職員はお子さんの気持ちを大切にしながら対応してく れている	98.1%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
Q14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られた くない、聞かれたくない、知られたくないと思うこ と）を職員は守ってくれている	79.6%	7.4%	0.0%	13.0%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすい	94.4%	3.7%	1.9%	0.0%	0.0%



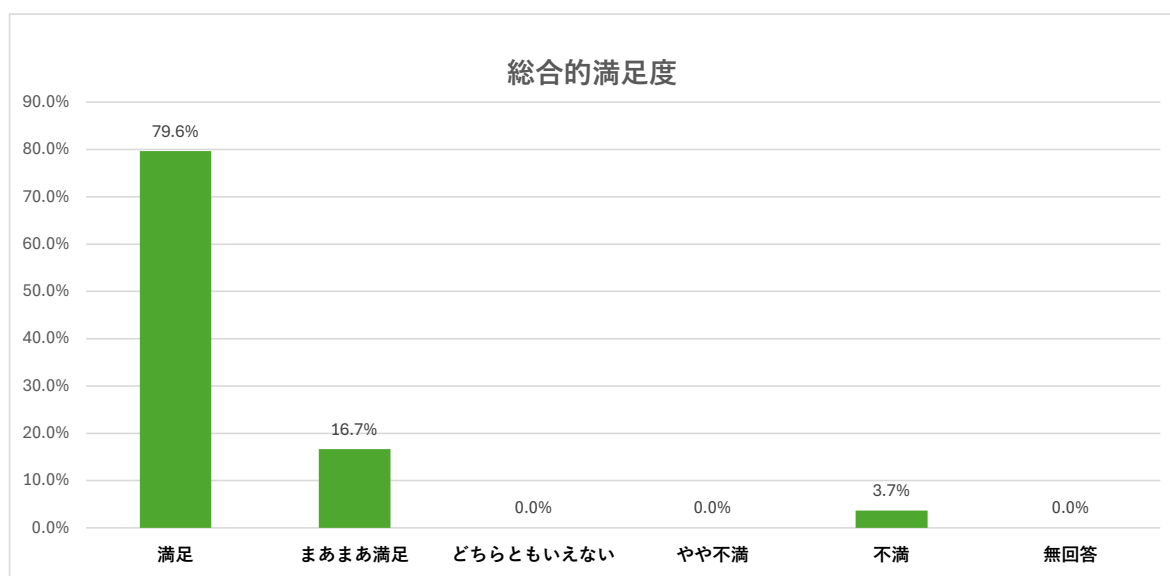
<不満・要望への対応>

設問NO	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれている	79.6%	13.0%	0.0%	5.6%	1.9%
Q17	困ったときに役所や第三者委員などにも相談できることを、職員はわかりやすく伝えてくれた（入園時の説明など）	57.4%	27.8%	5.6%	9.3%	0.0%



<当園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか（総合満足度）>

総合満足度	回答数	回答率
満足	43	79.6%
まあまあ満足	9	16.7%
どちらともいえない	0	0.0%
やや不満	0	0.0%
不満	2	3.7%
無回答	0	0.0%
合計	54	100.0%

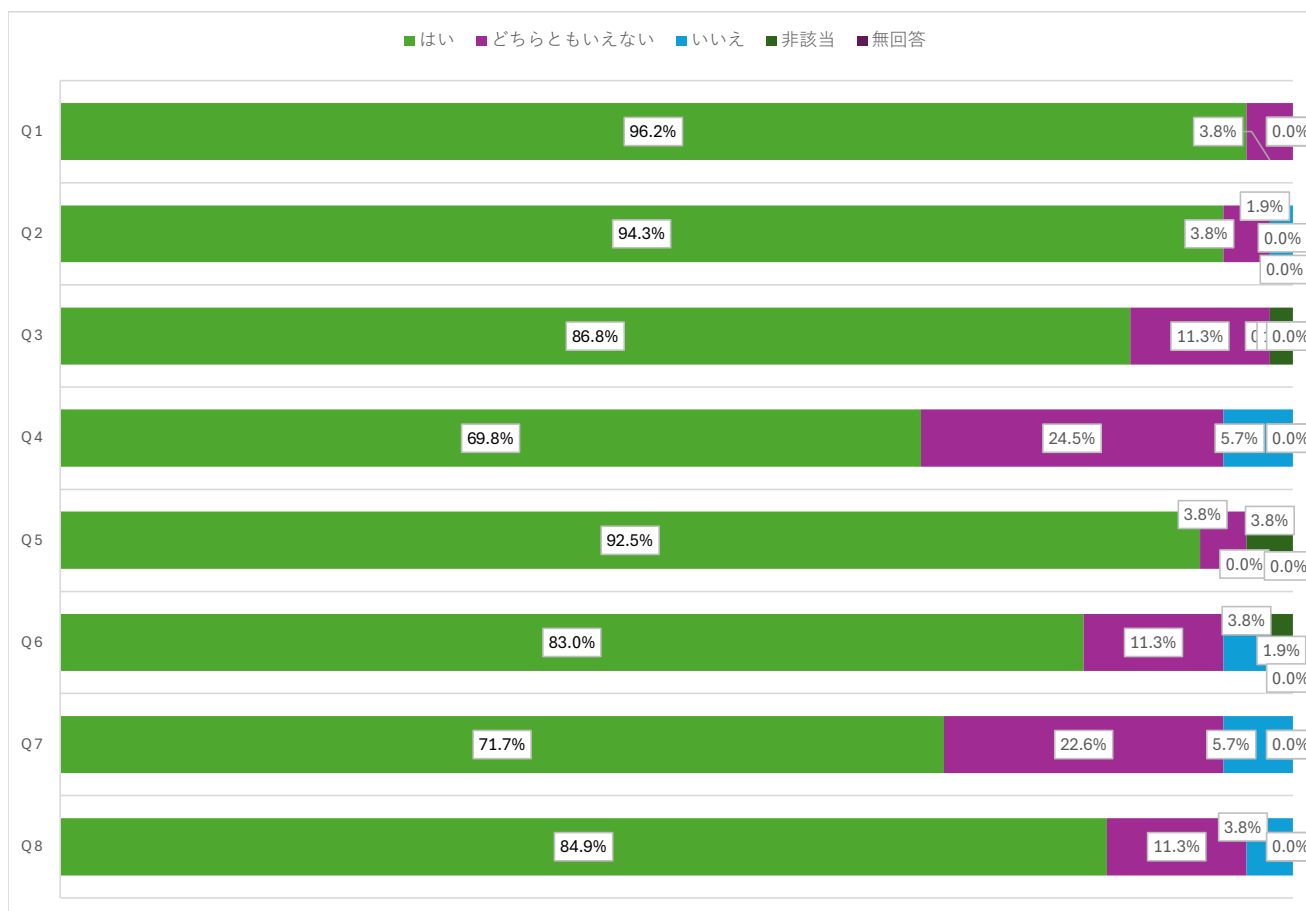


成
田

3.成田保育園

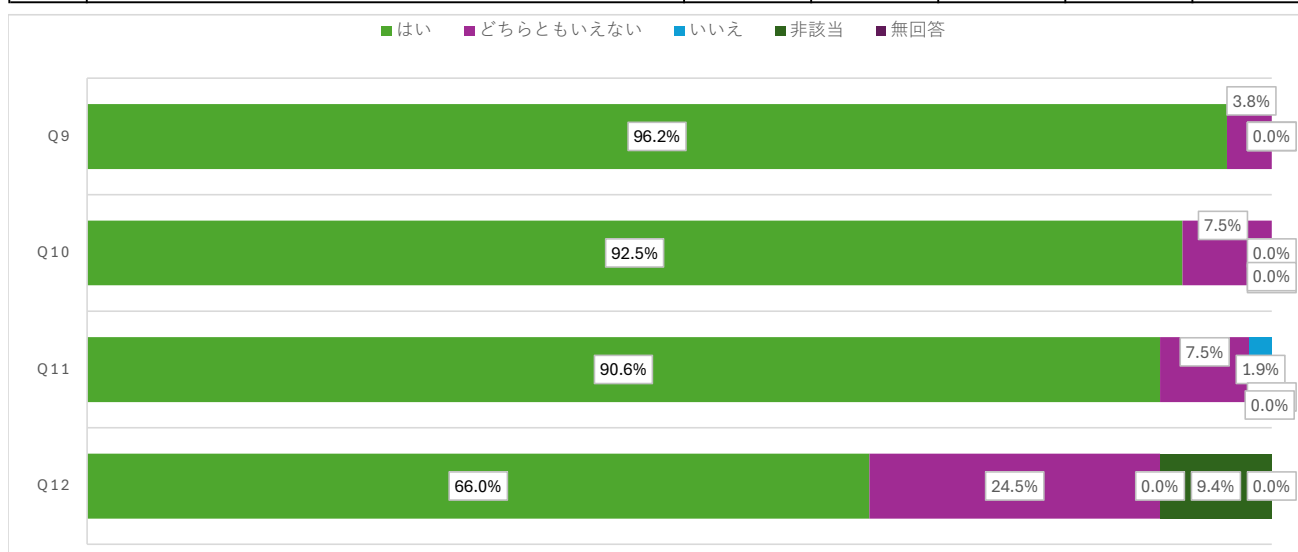
<サービスの提供>

設問 NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っている	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっている	94.3%	3.8%	1.9%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっている	86.8%	11.3%	0.0%	1.9%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されている	69.8%	24.5%	5.7%	0.0%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれている	92.5%	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られている	83.0%	11.3%	3.8%	1.9%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされている	71.7%	22.6%	5.7%	0.0%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係がある	84.9%	11.3%	3.8%	0.0%	0.0%



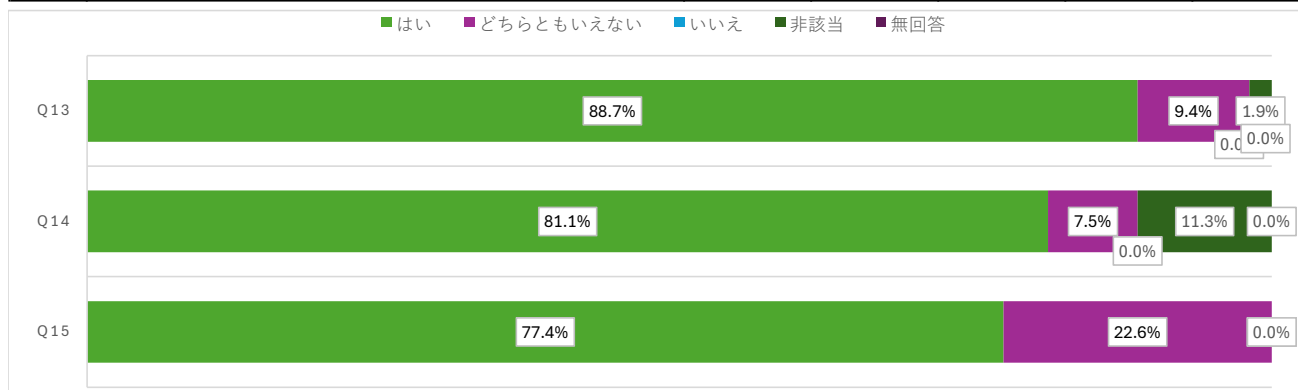
<安心・快適性>

設問NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっている	96.2%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%
Q10	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	92.5%	7.5%	0.0%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できる	90.6%	7.5%	1.9%	0.0%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できる	66.0%	24.5%	0.0%	9.4%	0.0%



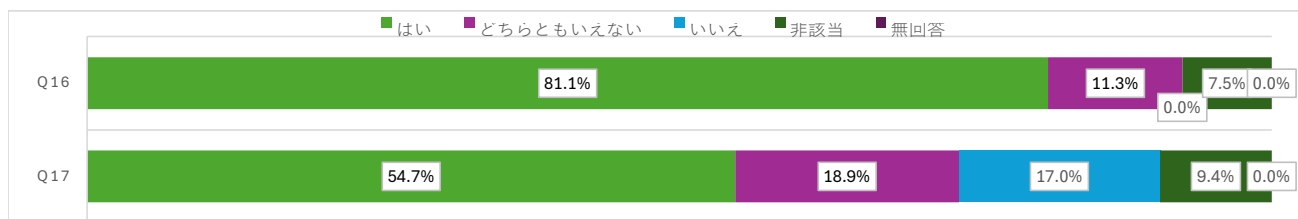
<利用者個人の尊重>

設問NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	職員はお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれている	88.7%	9.4%	0.0%	1.9%	0.0%
Q14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれている	81.1%	7.5%	0.0%	11.3%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすい	77.4%	22.6%	0.0%	0.0%	0.0%



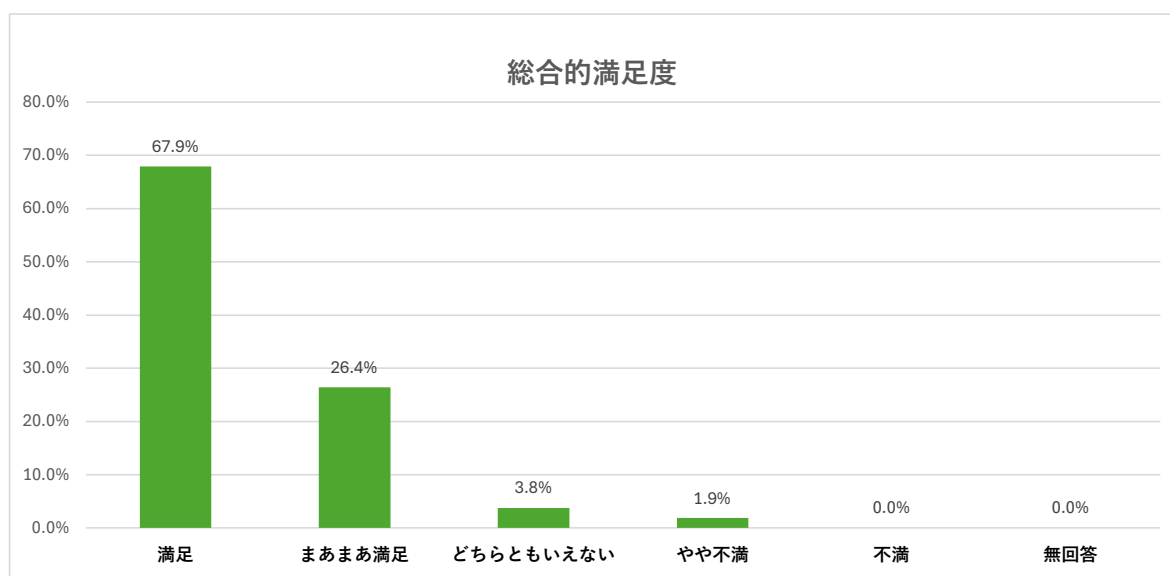
<不満・要望への対応>

設問 NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれている	81.1%	11.3%	0.0%	7.5%	0.0%
Q17	困ったときに役所や第三者委員などにも相談できることを、職員はわかりやすく伝えてくれた（入園時の説明など）	54.7%	18.9%	17.0%	9.4%	0.0%



<当園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか（総合満足度）>

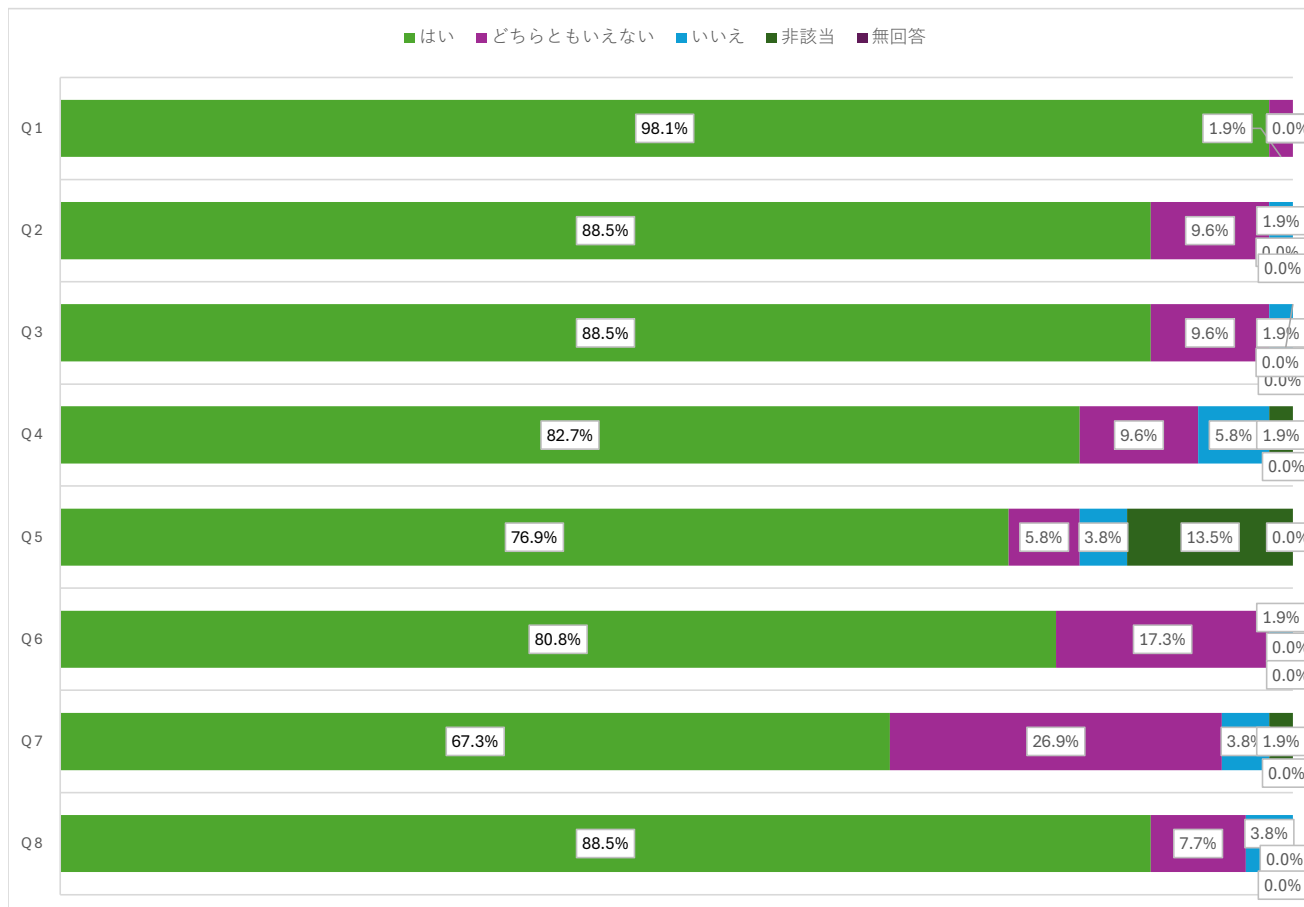
総合満足度	回答数	回答率
満足	36	67.9%
まあまあ満足	14	26.4%
どちらともいえない	2	3.8%
やや不満	1	1.9%
不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	53	100.0%



4.本天沼保育園

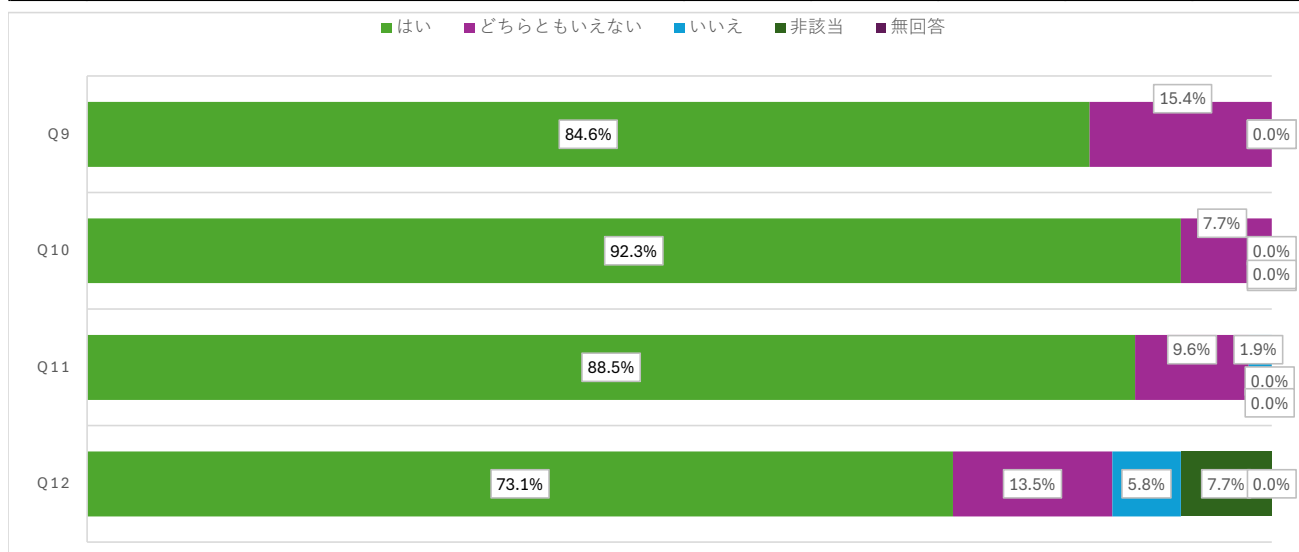
<サービスの提供>

設問 NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っている	98.1%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっている	88.5%	9.6%	1.9%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっている	88.5%	9.6%	1.9%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されている	82.7%	9.6%	5.8%	1.9%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれている	76.9%	5.8%	3.8%	13.5%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られている	80.8%	17.3%	1.9%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされている	67.3%	26.9%	3.8%	1.9%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係がある	88.5%	7.7%	3.8%	0.0%	0.0%



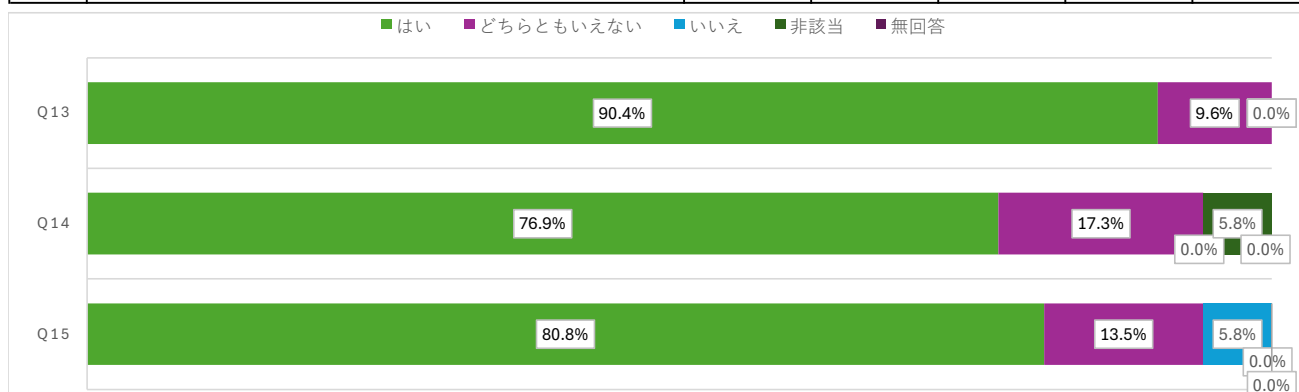
<安心・快適性>

設問NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっている	84.6%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
Q10	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	92.3%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できる	88.5%	9.6%	1.9%	0.0%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できる	73.1%	13.5%	5.8%	7.7%	0.0%



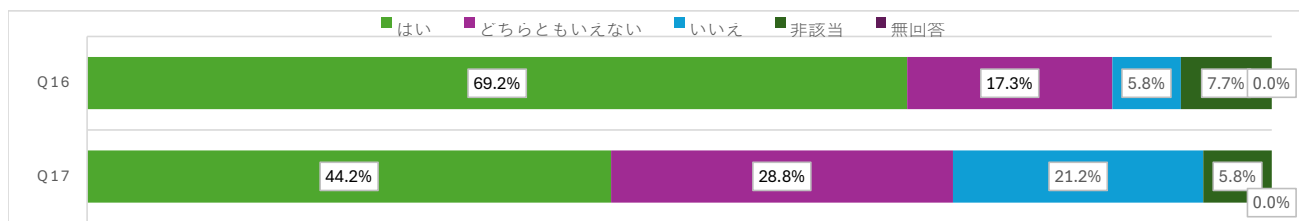
<利用者個人の尊重>

設問NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	職員はお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれている	90.4%	9.6%	0.0%	0.0%	0.0%
Q14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれている	76.9%	17.3%	0.0%	5.8%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすい	80.8%	13.5%	5.8%	0.0%	0.0%



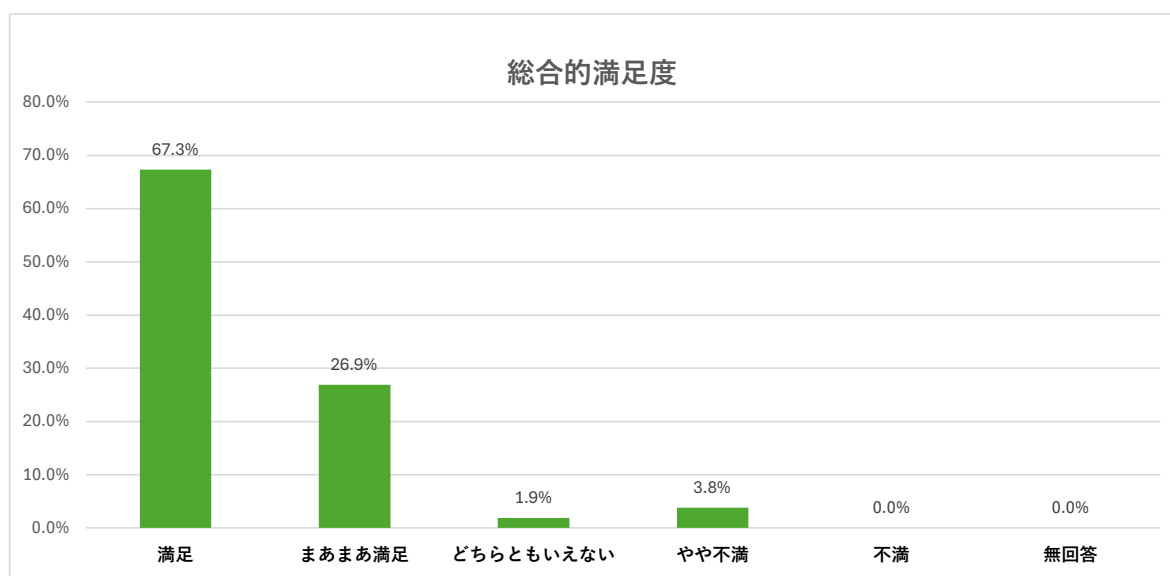
<不満・要望への対応>

設問NO	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれている	69.2%	17.3%	5.8%	7.7%	0.0%
Q17	困ったときに役所や第三者委員などにも相談できることを、職員はわかりやすく伝えてくれた（入園時の説明など）	44.2%	28.8%	21.2%	5.8%	0.0%



<当園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか（総合満足度）>

総合満足度	回答数	回答率
満足	35	67.3%
まあまあ満足	14	26.9%
どちらともいえない	1	1.9%
やや不満	2	3.8%
不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	52	100.0%

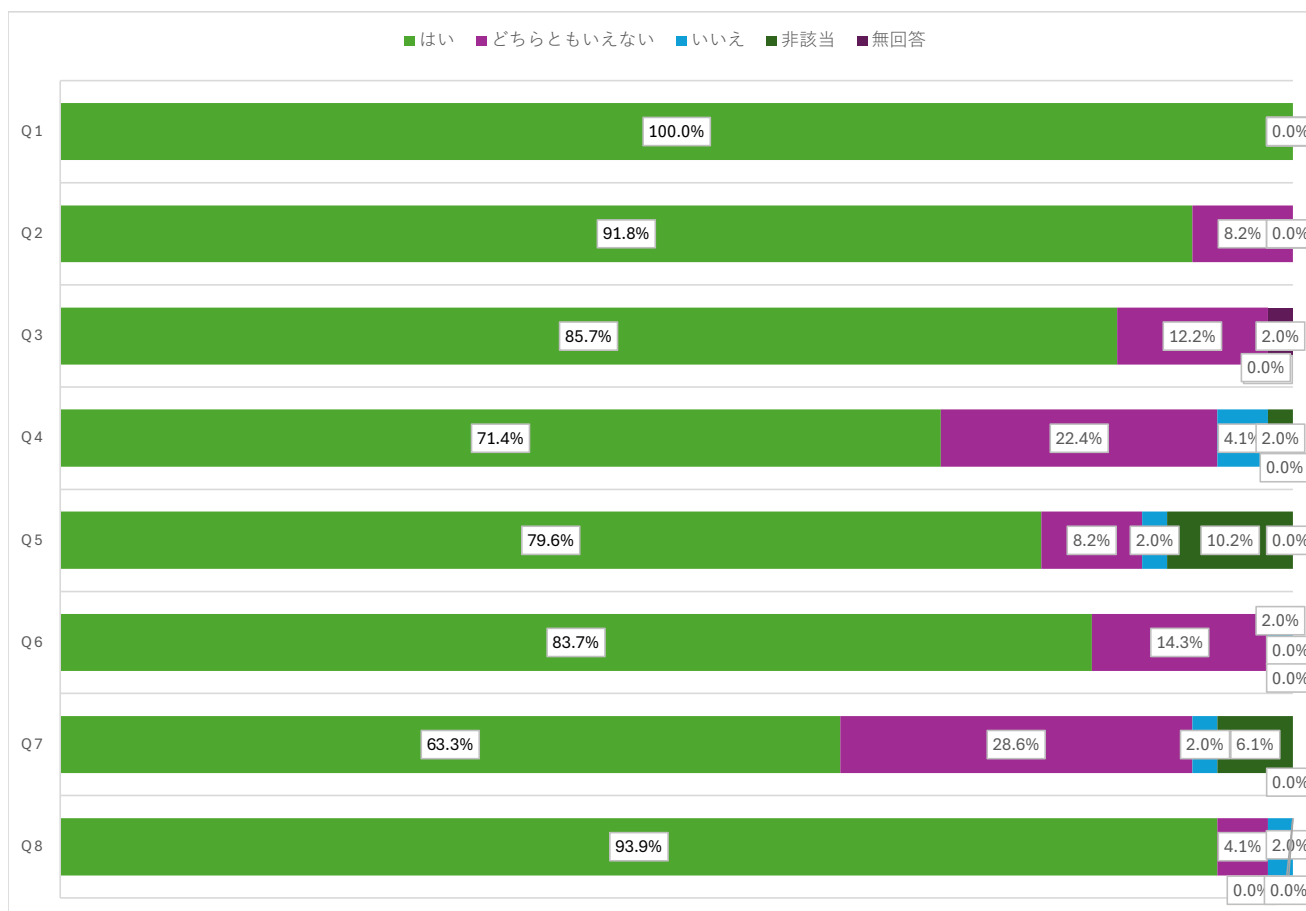


5.宮前保育園

宮
前

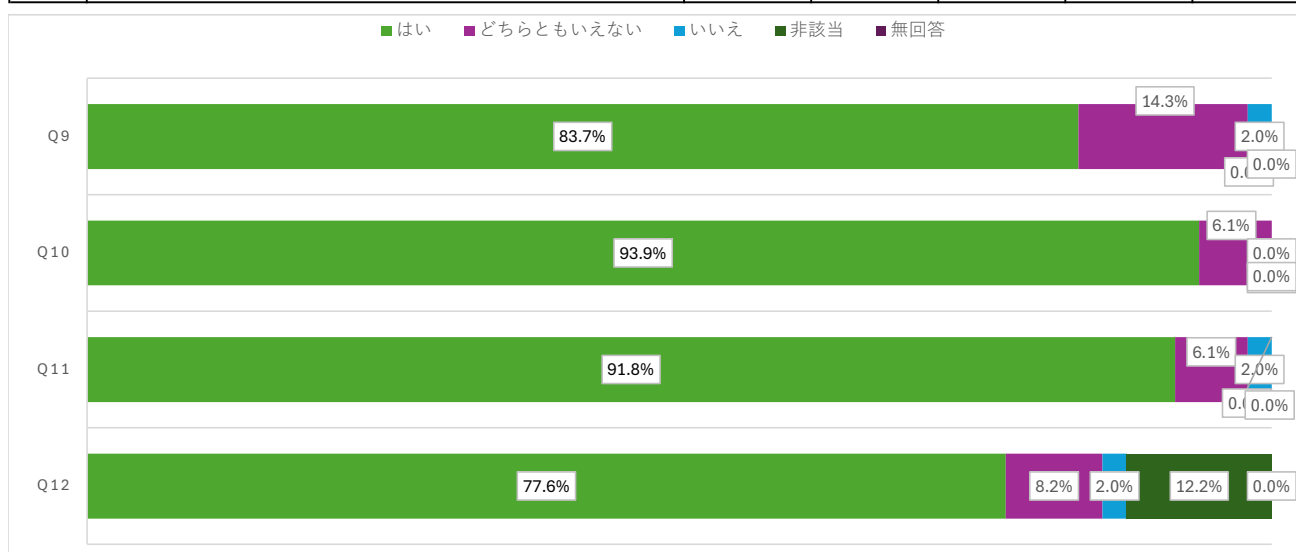
<サービスの提供>

設問NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっている	91.8%	8.2%	0.0%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっている	85.7%	12.2%	0.0%	0.0%	2.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されている	71.4%	22.4%	4.1%	2.0%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれている	79.6%	8.2%	2.0%	10.2%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られている	83.7%	14.3%	2.0%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされている	63.3%	28.6%	2.0%	6.1%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係がある	93.9%	4.1%	2.0%	0.0%	0.0%



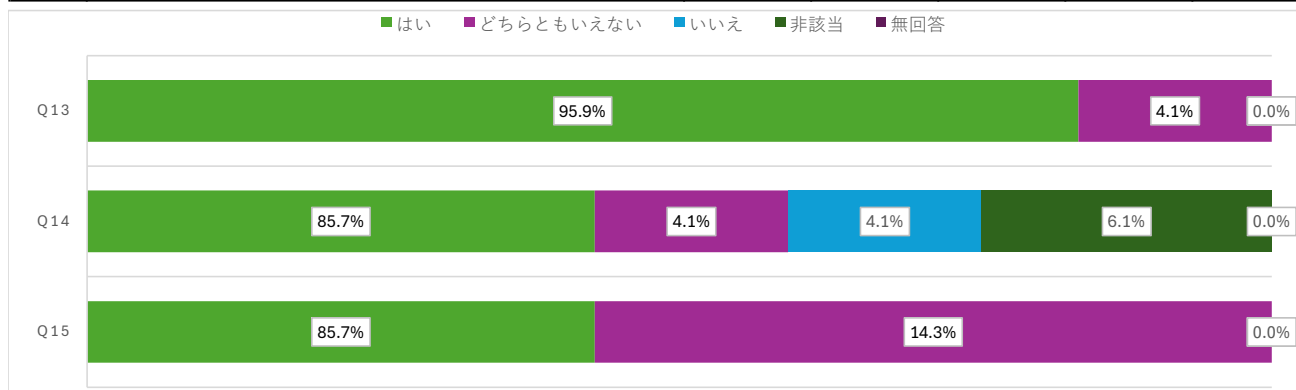
<安心・快適性>

設問NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっている	83.7%	14.3%	2.0%	0.0%	0.0%
Q10	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	93.9%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できる	91.8%	6.1%	2.0%	0.0%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できる	77.6%	8.2%	2.0%	12.2%	0.0%



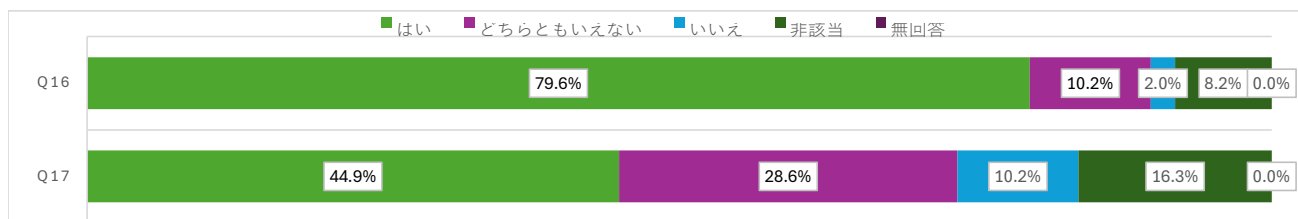
<利用者個人の尊重>

設問NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	職員はお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれている	95.9%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%
Q14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれている	85.7%	4.1%	4.1%	6.1%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすい	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%



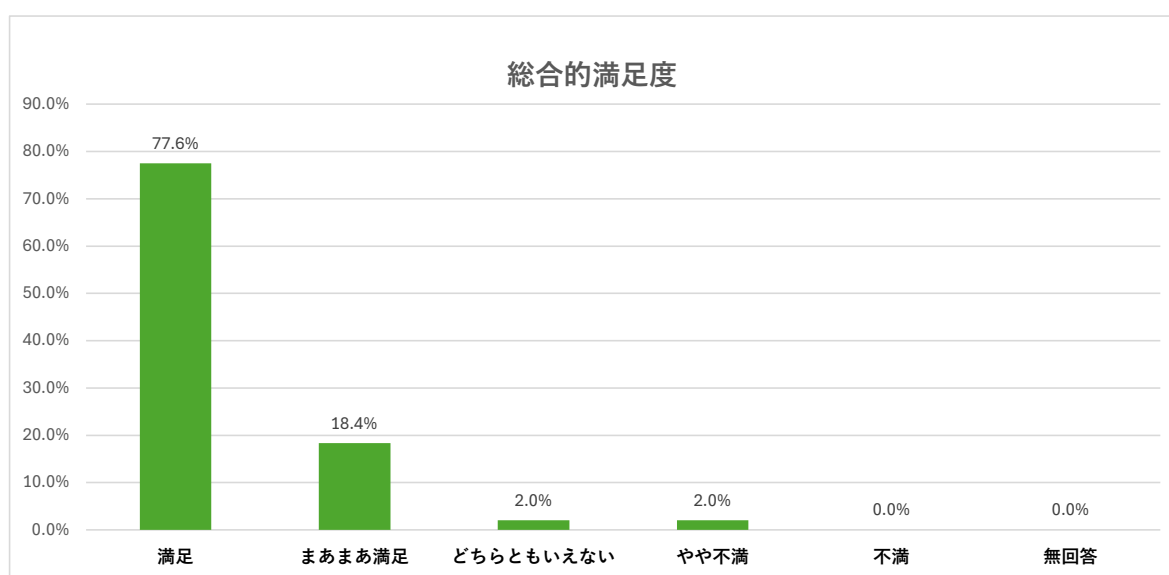
<不満・要望への対応>

設問NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれている	79.6%	10.2%	2.0%	8.2%	0.0%
Q17	困ったときに役所や第三者委員などにも相談できることを、職員はわかりやすく伝えてくれた（入園時の説明など）	44.9%	28.6%	10.2%	16.3%	0.0%



<当園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか（総合満足度）>

総合満足度	回答数	回答率
満足	38	77.6%
まあまあ満足	9	18.4%
どちらともいえない	1	2.0%
やや不満	1	2.0%
不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	49	100.0%

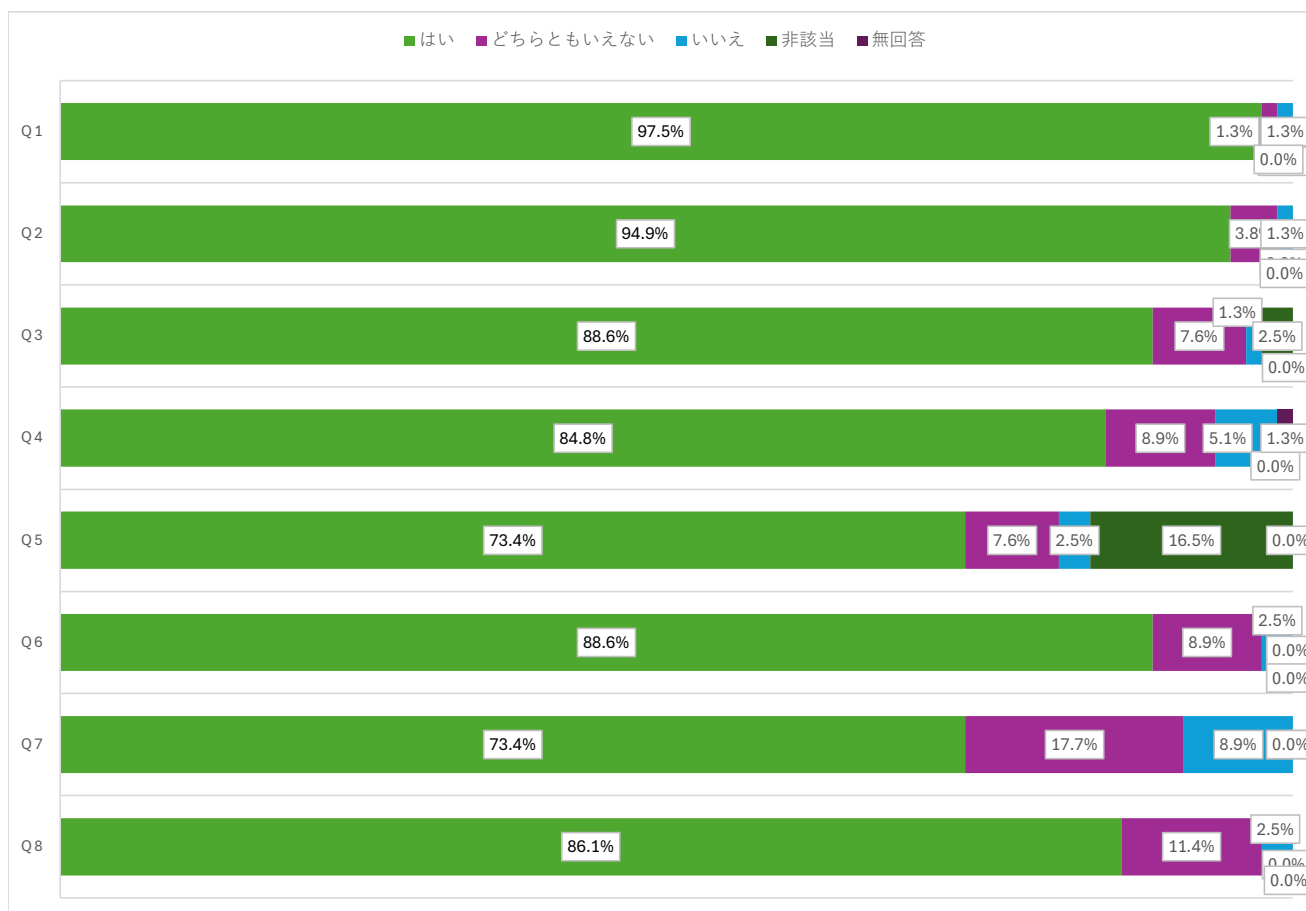


6.松庵保育園

松
庵

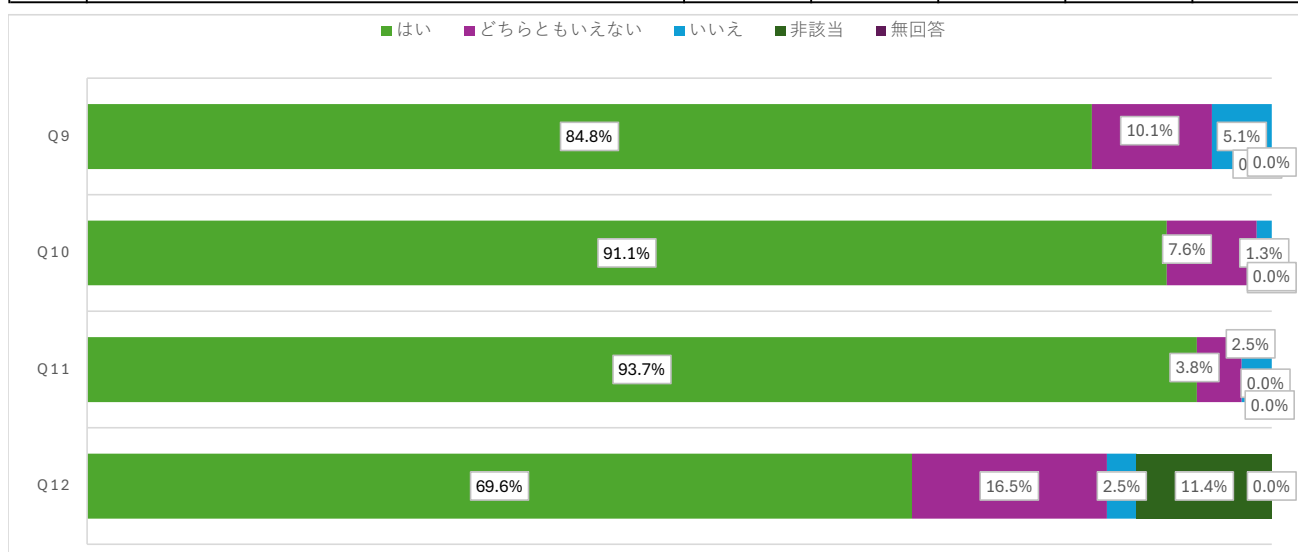
<サービスの提供>

設問 NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っている	97.5%	1.3%	1.3%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっている	94.9%	3.8%	1.3%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっている	88.6%	7.6%	1.3%	2.5%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されている	84.8%	8.9%	5.1%	0.0%	1.3%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれている	73.4%	7.6%	2.5%	16.5%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られている	88.6%	8.9%	2.5%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされている	73.4%	17.7%	8.9%	0.0%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係がある	86.1%	11.4%	2.5%	0.0%	0.0%



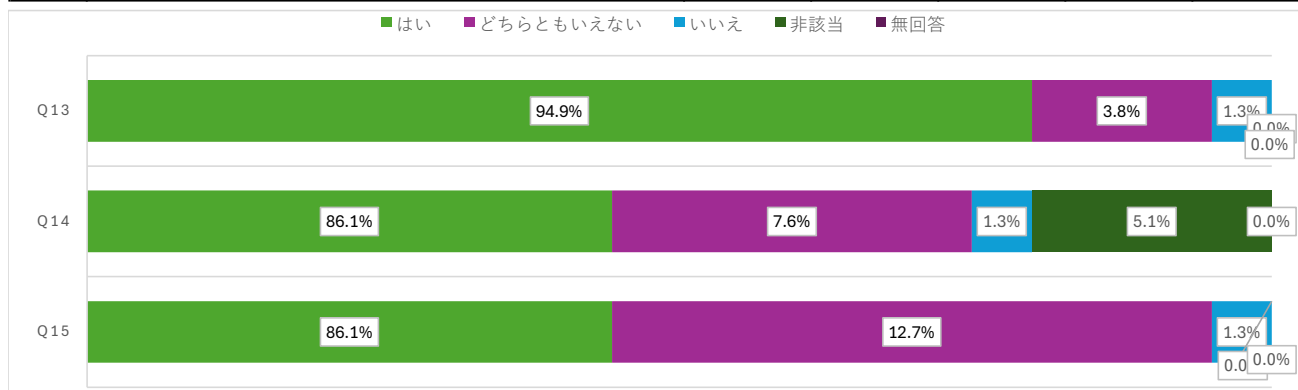
<安心・快適性>

設問 NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっている	84.8%	10.1%	5.1%	0.0%	0.0%
Q10	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	91.1%	7.6%	1.3%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、 職員の対応は信頼できる	93.7%	3.8%	2.5%	0.0%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の 対応は信頼できる	69.6%	16.5%	2.5%	11.4%	0.0%



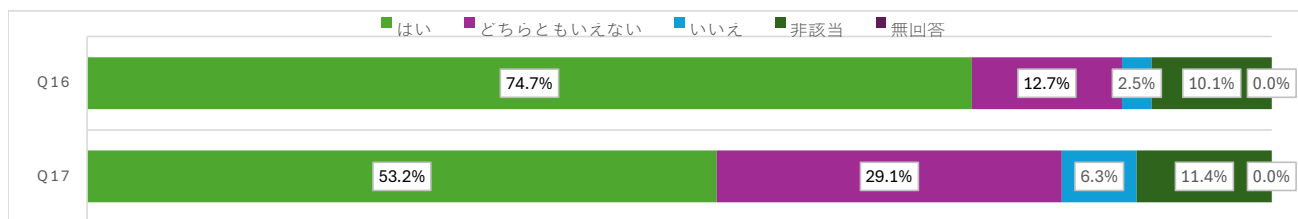
<利用者個人の尊重>

設問 NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	職員はお子さんの気持ちを大切にしながら対応してく れている	94.9%	3.8%	1.3%	0.0%	0.0%
Q14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られた くない、聞かれたくない、知られたくないと思うこ と）を職員は守ってくれている	86.1%	7.6%	1.3%	5.1%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすい	86.1%	12.7%	1.3%	0.0%	0.0%



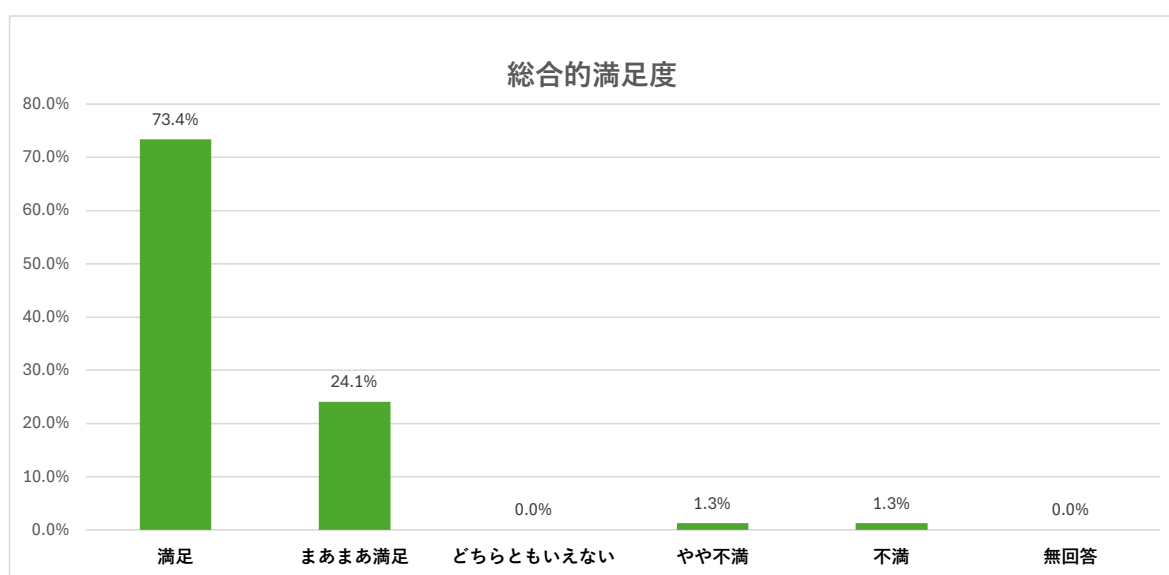
<不満・要望への対応>

設問 NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれている	74.7%	12.7%	2.5%	10.1%	0.0%
Q17	困ったときに役所や第三者委員などにも相談できることを、職員はわかりやすく伝えてくれた（入園時の説明など）	53.2%	29.1%	6.3%	11.4%	0.0%



<当園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか（総合満足度）>

総合満足度	回答数	回答率
満足	58	73.4%
まあまあ満足	19	24.1%
どちらともいえない	0	0.0%
やや不満	1	1.3%
不満	1	1.3%
無回答	0	0.0%
合計	79	100.0%

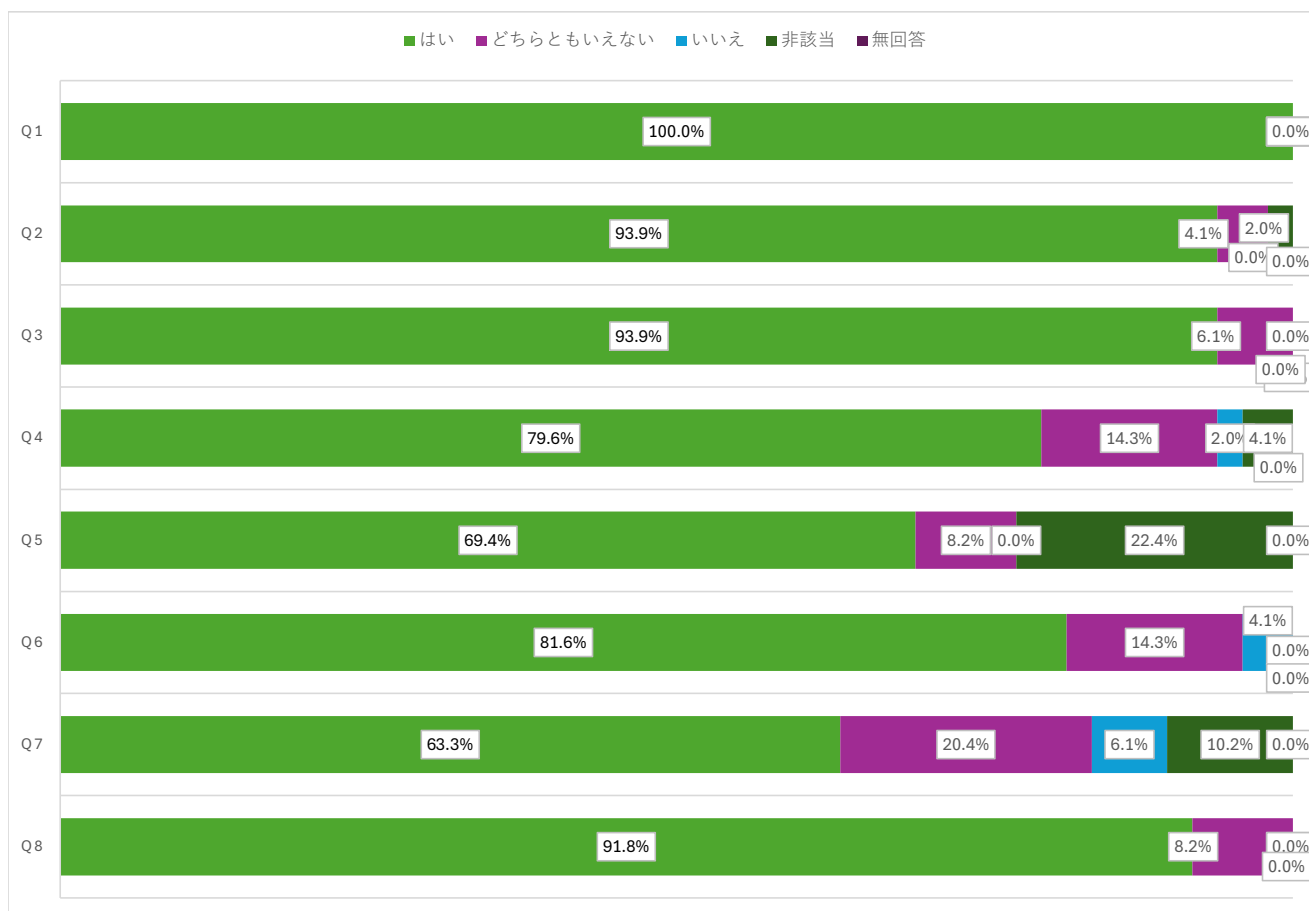


7.荻窪東保育園

荻
窪
東

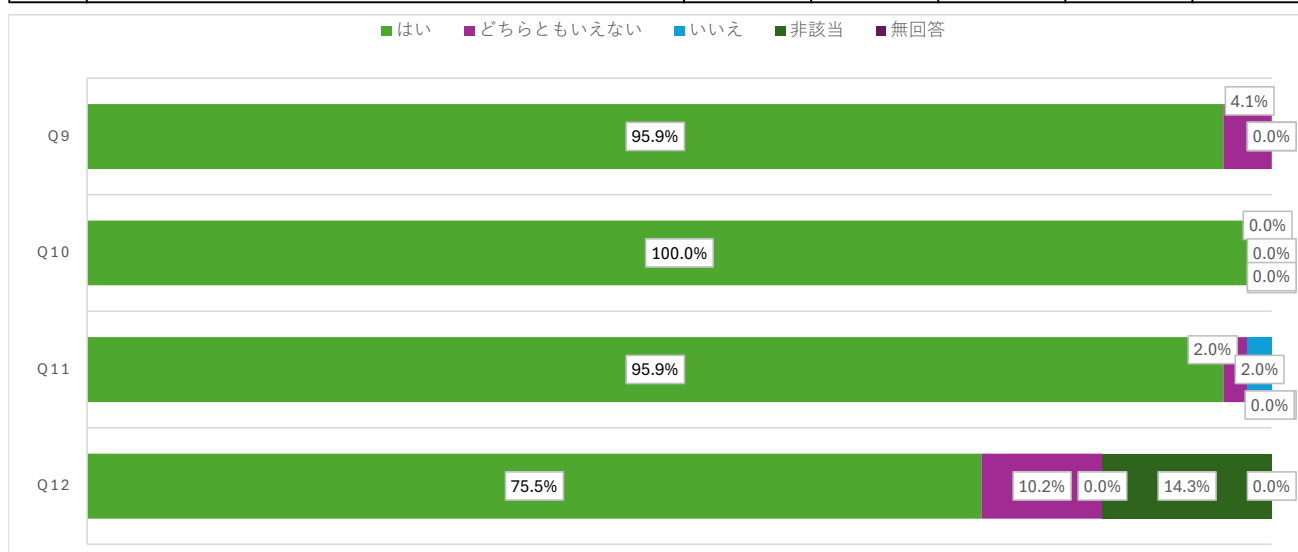
<サービスの提供>

設問 NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっている	93.9%	4.1%	0.0%	2.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっている	93.9%	6.1%	0.0%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されている	79.6%	14.3%	2.0%	4.1%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれている	69.4%	8.2%	0.0%	22.4%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られている	81.6%	14.3%	4.1%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされている	63.3%	20.4%	6.1%	10.2%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係がある	91.8%	8.2%	0.0%	0.0%	0.0%



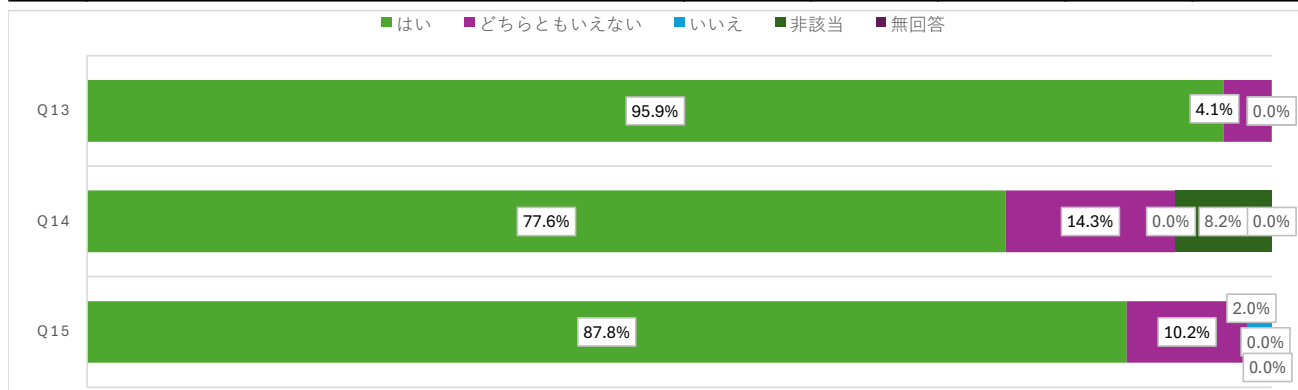
<安心・快適性>

設問NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっている	95.9%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%
Q10	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できる	95.9%	2.0%	2.0%	0.0%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できる	75.5%	10.2%	0.0%	14.3%	0.0%



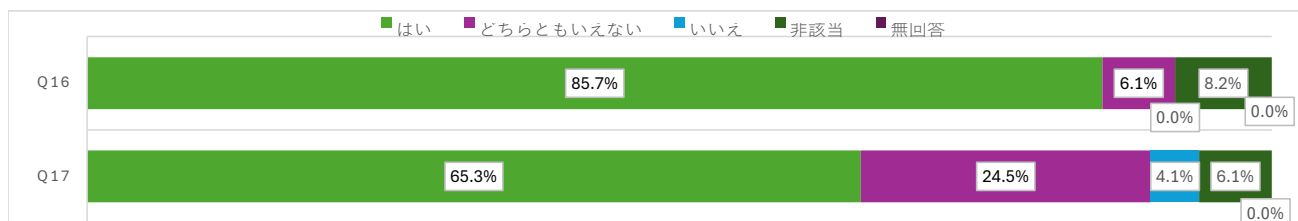
<利用者個人の尊重>

設問NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	職員はお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれている	95.9%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%
Q14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれている	77.6%	14.3%	0.0%	8.2%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすい	87.8%	10.2%	2.0%	0.0%	0.0%



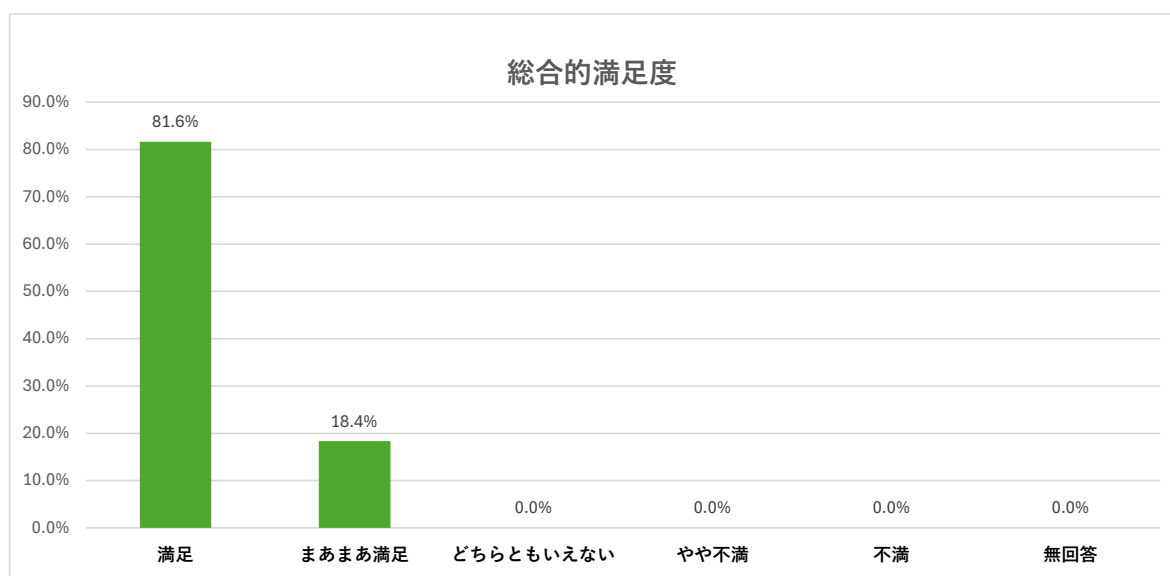
<不満・要望への対応>

設問NO	設問内容	はい	どちらともいえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれている	85.7%	6.1%	0.0%	8.2%	0.0%
Q17	困ったときに役所や第三者委員などにも相談できることを、職員はわかりやすく伝えてくれた（入園時の説明など）	65.3%	24.5%	4.1%	6.1%	0.0%



<当園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか（総合満足度）>

総合満足度	回答数	回答率
満足	40	81.6%
まあまあ満足	9	18.4%
どちらともいえない	0	0.0%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	49	100.0%



8.阿佐谷東保育園

阿
佐
谷
東

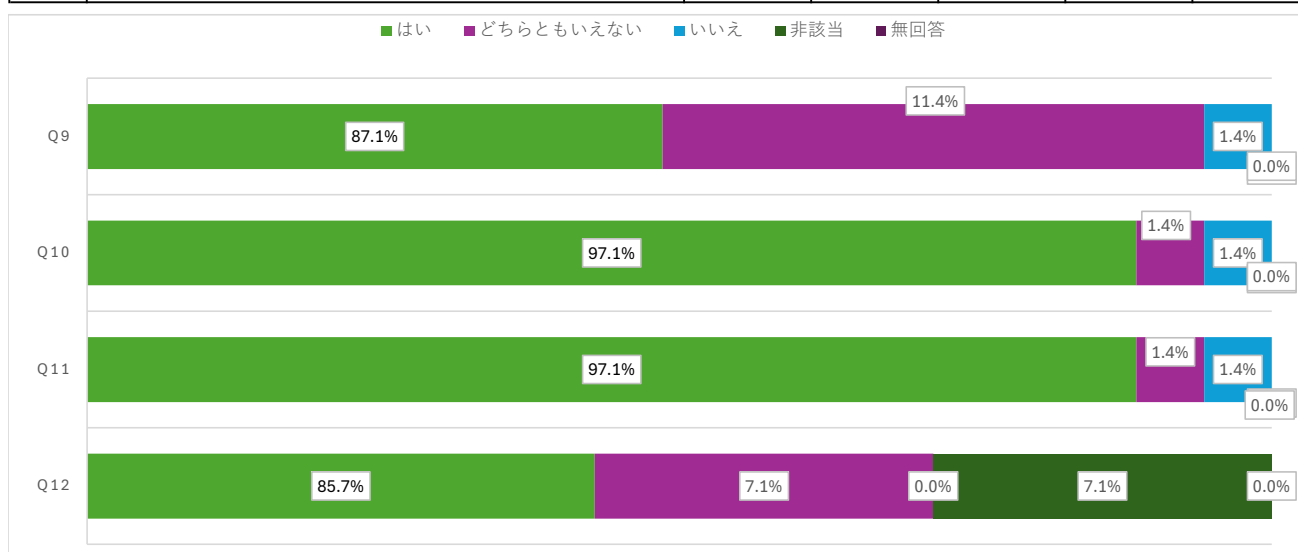
<サービスの提供>

設問 NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q1	園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っている	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q2	園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっている	98.6%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
Q3	園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっている	90.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%
Q4	戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されている	77.1%	18.6%	2.9%	1.4%	0.0%
Q5	急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応してくれている	80.0%	4.3%	0.0%	15.7%	0.0%
Q6	安全対策が十分取られている	81.4%	15.7%	2.9%	0.0%	0.0%
Q7	行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされている	84.3%	12.9%	1.4%	1.4%	0.0%
Q8	お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係がある	90.0%	8.6%	1.4%	0.0%	0.0%



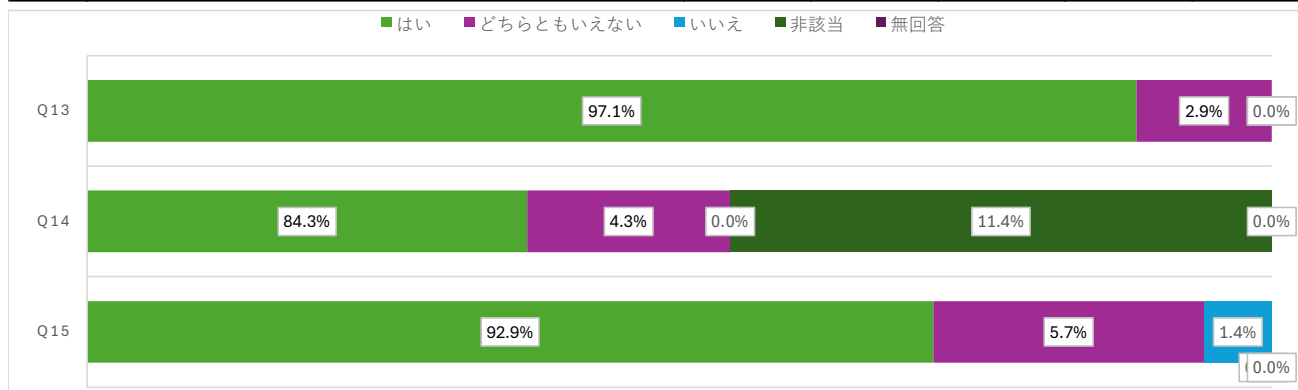
<安心・快適性>

設問NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q9	園内は清潔で整理された空間になっている	87.1%	11.4%	1.4%	0.0%	0.0%
Q10	職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である	97.1%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%
Q11	お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できる	97.1%	1.4%	1.4%	0.0%	0.0%
Q12	子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できる	85.7%	7.1%	0.0%	7.1%	0.0%



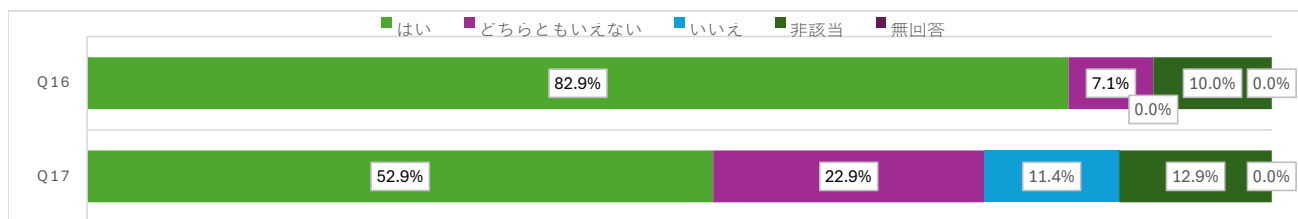
<利用者個人の尊重>

設問NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q13	職員はお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれている	97.1%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%
Q14	あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれている	84.3%	4.3%	0.0%	11.4%	0.0%
Q15	お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすい	92.9%	5.7%	1.4%	0.0%	0.0%



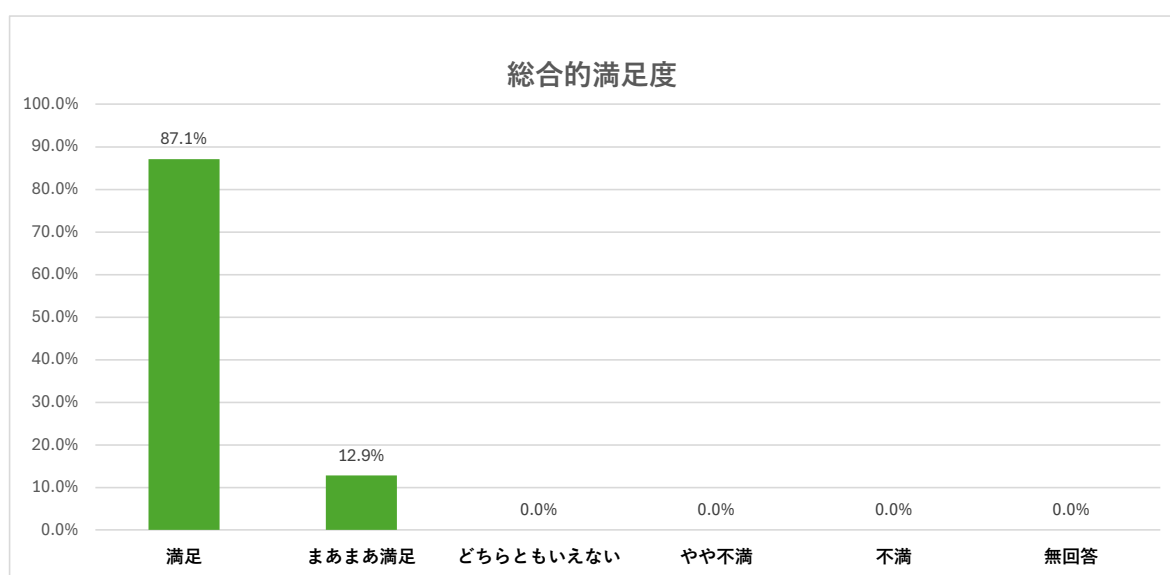
<不満・要望への対応>

設問NO	設問内容	はい	どちらとも いえない	いいえ	非該当	無回答
Q16	不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれている	82.9%	7.1%	0.0%	10.0%	0.0%
Q17	困ったときに役所や第三者委員などにも相談できることを、職員はわかりやすく伝えてくれた（入園時の説明など）	52.9%	22.9%	11.4%	12.9%	0.0%



<当園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか（総合満足度）>

総合満足度	回答数	回答率
満足	61	87.1%
まあまあ満足	9	12.9%
どちらともいえない	0	0.0%
やや不満	0	0.0%
不満	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	70	100.0%



第 2 部 事業評価

1. 利用者調査の概要

(1) 評価の目的

組織としてのマネジメント力がどのような状況にあるのか、また、現在提供されているサービスの質がどのような状況にあるのかについて、第三者評価機関が経営層及び職員の自己評価を事前に分析し、訪問調査を実施した上で、合議により評価を行った。

評価で用いるカテゴリーは、以下の通りである。

カテゴリー 1：リーダーシップと意思決定

カテゴリー 2：事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

カテゴリー 3：経営における社会的責任

カテゴリー 4：リスクマネジメント

カテゴリー 5：職員と組織の能力向上

カテゴリー 6：サービス提供のプロセス

カテゴリー 7：事業所の重要課題に対する組織的な活動

(2) 評点のつけ方

事業評価では、以下の評点等により各評価項目を評価する。

評点基準 <カテゴリー 1～6>

評点は、標準項目の実施状況を以下のルールに基づき、記号化したもので、評価項目ごとに付ける。

- 1 標準項目の実施が確認できた場合は○、未実施・確認不可の場合は●で表す
- 2 ○及び●が混在する場合は、標準項目の順番にかかわらず、左端から○を配列し、●は右端に寄せて表す。
- 3 「非該当」が選択された標準項目は、評点の構成要素から除く

評点基準<カテゴリー 7>

「目標の設定と取り組み」「取り組みと検証」「検証結果の反映」については、確認できた内容（それぞれ一つ）が●で表される。

○確認方法：事業者がそれぞれの重要課題について前年度に具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証した上で、今年度以降の目標設定や取り組みに反映しているかどうかの確認とする。

目標の設定と取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ○具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ○具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ○具体的な目標が設定されていなかった
取り組みと検証	<ul style="list-style-type: none"> ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ○目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった（目標設定を行っていない場合を含む） ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<ul style="list-style-type: none"> ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ○次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ○設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
標準項目	
<p>○定義：東京都内の福祉サービス事業者が、福祉サービスの質の向上を図る観点から、標準的に実施していることが必要であると認められる事項、または、実施するための仕組み（取り組み）があることが必要であると認められる事項をいう。</p> <p>○確認方法：標準項目を確認したものとすることができるのは、次のすべてを満たした場合とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 事業者が当該事項を実施していること イ その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること ウ その根拠が示せること 	

(3) 訪問調査とフィードバック

評価者による訪問調査及び評価結果のフィードバックは、以下の日程で行った。

保育園名	訪問調査日	フィードバック訪問日
阿佐谷南保育園	令和5年11月	令和5年1月
堀ノ内保育園	令和5年10月	令和5年1月
成田保育園	令和5年11月	令和5年1月
本天沼保育園	令和5年11月	令和5年1月
宮前保育園	令和5年11月	令和5年1月
松庵保育園	令和5年11月	令和5年1月
荻窪東保育園	令和5年10月	令和5年1月
阿佐谷東保育園	令和5年11月	令和5年1月

2. 各保育園の評価結果報告書

園ごとの評価結果報告書は、それぞれ次の通りである。

1.阿佐谷南保育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 5

2.堀ノ内保育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 3

3.成田保育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 1 1

4.本天沼保育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 3 9

5.宮前保育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 6 7

6.松庵保育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 9 5

7.荻窪東保育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 2 3

8.阿佐谷東保育園・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 5 1

1.阿佐谷南保育園

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

2024 年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 156-0043

所在地 東京都世田谷区松原3-38-16-107

評価機関名 株式会社 にほんの福祉ネット

認証評価機関番号

機構 06 - 168

電話番号 03-6379-5156

代表者氏名 岩下 敦史

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	岩下 敦史	福祉、経営	H2101100
	②	松村 貴彦	福祉、経営	H2101027
	③	笠井 昌子	福祉、経営	H2201084
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	阿佐谷南保育園			
事業所連絡先	〒	166-0004		
	所在地	東京都杉並区阿佐谷南三丁目12番12号		
	TEL	03-3398-2231		
事業所代表者氏名	白井 江里奈			
契約日	2023 年 7 月 5 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023 年 9 月 1 日			
利用者調査結果報告日	2023 年 11 月 2 日			
自己評価の調査票配付日	2023 年 9 月 1 日			
自己評価結果報告日	2023 年 10 月 6 日			
訪問調査日	2023 年 11 月 9 日			
評価合議日	2024 年 1 月 15 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	区担当者との打ち合わせにより全体の流れ、留意事項の確認を行った。その後、各園にて事前説明を行い、オンライン形式での利用者調査や紙媒体での職員アンケートの実施方法について説明を行った。訪問調査前には当日の訪問者、タイムスケジュール、確認予定の書類について案内した。訪問調査では施設見学もあわせて行い、実態の把握に努めた。合議では、訪問者2名と他の1名、事務局により内容の精査・修正を行った。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2024 年 月 日

事業者代表者氏名 白井 江里奈

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎子ども一人ひとりを大切にし、子どもの心身の育ちを保障する。 <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの発達や個性に寄り添った援助をし、健やかな体と生活に必要な力を育む。 ・子どものありのままの姿や気持ちを受け止め、信頼関係を築き、豊かな心と自己肯定感を育む。 ・子ども自らの主体的な活動を支え、自ら興味や好奇心をもち、考え探求する心を育む。 ◎子どもの成長の喜びを保護者と共有していく。 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が健やかに成長していけるよう保護者や地域と協力し合い共に子育てしていく。 ◎より良い保育を行うために、様々な観点から保育を実践し、保育の向上を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ・保育士自ら保育を振り返り、保育の視点を広げ向上を目指す。 ◎地域に親しみやすい保育園を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> ・中核園と連携し近隣園との交流や地域の子育て家庭を支援する。 ・小学校との連携を深め卒園児のスムーズな就学を援助する。
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育の専門職としての知識と、子ども一人ひとりに合った確かな保育を提供する。 ・保護者に寄り添い共に子育てをしていくパートナーとしての意識をもって保育にあたる。 ・保育士である前に社会人として必要なマナーを身に付け、組織の一員であることを自覚する。 ・職員一人ひとりがお互いを認め、互いを補い合う中で人として、保育士として高め合える職員集団である。 <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常に「子ども」を主語(中心)に保育を考え、子ども・保護者を肯定的に受け止め、それぞれが専門性を発揮して自主的に業務に取り組む。 ・危機管理意識を持ち、安全安心な保育を提供する。 ・組織の一員として、互いに意見を交換し互いを高め合い、良いチームワーク作りに貢献する職員集団でありたい。

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢1人を対象として実施世帯数を絞り、調査対象者に対し実施。

調査方法

ウェブ回答システムを活用。機関が作成したQR記載の案内を事業所を通して各家庭に配布。各家庭においてそれを読み込んだ上で、個別に匿名で回答。

利用者総数

117

利用者家族総数(世帯)

100

共通評価項目による調査対象者数

100

共通評価項目による調査の有効回答者数

57

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

57.0

利用者調査全体のコメント

<総合的な満足度>

「満足」82%、「まあまあ満足」18%、計90%という満足度が示された。

<調査結果の講評について>

・肯定的な評価(「はい」との回答)が全体に占める割合についてのみ、記述した。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	57	0	0	0
回答者の100%が「はい」と回答した				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	54	3	0	0
回答者の95%が「はい」と回答した				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	52	5	0	0
回答者の91%が「はい」と回答した				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	40	16	0	1
回答者の70%が「はい」と回答した				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	42	7	2	6
回答者の74%が「はい」と回答した				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	50	5	2	0
回答者の88%が「はい」と回答した				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	44	10	2	1
回答者の77%が「はい」と回答した				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	50	7	0	0
回答者の88%が「はい」と回答した				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	55	2	0	0
回答者の96%が「はい」と回答した				
10. 職員の接遇・態度は適切か	54	2	1	0
回答者の95%が「はい」と回答した				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	53	3	0	1
回答者の93%が「はい」と回答した				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	40	11	0	6
回答者の70%が「はい」と回答した				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	56	1	0	0
回答者の98%が「はい」と回答した				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	46	3	1	7
回答者の81%が「はい」と回答した				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	51	5	1	0
回答者の89%が「はい」と回答した				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	45	7	1	4
回答者の79%が「はい」と回答した				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	28	16	7	6
回答者の49%が「はい」と回答した				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <input type="radio"/> 非該当
	カテゴリ1の講評	
	園が目指していることについて職員や利用者にわかるように周知している 園目標・保育目標を事務室や玄関に掲示し、職員会議で目指すべき方向性を職員に伝えるとともに、これらに則った保育の実践に取り組んでいる。保護者には、保育理念・保育方針・保育目標を記載した園のしおりを配布し、園の目指している保育について入園説明会で説明している。また、重要事項については、入園説明会を通して周知している。そのほか園だよりにも園目標や園で大切にしていること、周知が必要な事項を記載して保護者に伝えている。	
	経営層は自らの役割と責任を明確にして職員へ伝えリーダーシップを発揮している 園長・主査それぞれの年間計画を立て、目標や取り組み課題を職員へ伝えている。園長・主査・保育の向上リーダーが当園の保育の質向上を図るための5本柱と位置づけている。保育の向上リーダーは、区内各園の保育の向上リーダーが参集する会議に参加し、より良い保育に向け、横断的に情報交換し、自園での実践の参考にしている。また、園内研修の企画・実施などにリーダーシップを発揮している。重要な案件や課題については経営層(向上リーダー含む)がよく話し合い、はっきりとした姿勢を示し一致して取り組んでいる。	
	園の重要案件は職員会議で検討、決定している 園の重要案件は、職員会議で検討、決定している。当日、出席できなかった職員は、自己責任で記録物を読むなどはっきりと意識付けし情報共有の徹底を図っている。職員会議に加え、毎日、昼の体制打ち合わせを実施しており、各クラスからの確認事項、翌日の給食のアレルギーチェック、ヒヤリハットなどについて情報共有している。各会議では、議題の優先度や時間を予め振り分け事前準備をして臨んでいる。職員会議や各プロジェクトなどで、それぞれが意見を出しやすい環境がある。	

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリ1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
2 カテゴリー2の講評		
<p>中核園事業に参加し、地域の保育ニーズや課題について情報交換している</p> <p>区では、地域で取り組む保育の質の向上を目指し各地域に「中核園」を指定し取り組んでいる。中核園を中心とした保育園の集まりや、地域ネットワークの会議等に参加をし地域の現状について理解を深め、保育向上リーダーを中心に、職員間で共有している。中核園事業を通して近隣園との関わりが増えており、職員交流を行っている。また園長会・各種研修への参加などから保育園をめぐる情報を収集し、職員へ伝え、学び合い、日々の保育に役立っている。</p> <p>策定した計画は進捗状況に応じた見直しを行い目標達成に向け取り組んでいる</p> <p>区は杉並区総合計画を策定している。園は、区の子ども家庭部保育課の組織目標を踏まえ、現状の課題を分析し年度始めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。職員は、園目標を基に「個人の目標申告シート」を策定し、個々の目標を立て組織目標達成に向け取り組んでいる。また、保育の実践に関しては、全体的な計画の見直しと月カリキュラムの書式内容を見直した。保育のどこに重点を置いているか保育者の意図が見えやすくなり、クラスの活動が他クラスにも伝わりやすくなってきた。</p> <p>保護者の要望や職員の提案などを園運営に活かしている</p> <p>保護者に対しては保護者会の懇談内容から要望を把握したり、個人面談時や日頃の会話からニーズを把握し情報収集している。父母会が保護者対象に実施しているアンケートの意見については園から回答している。職員には個別のヒアリングまたは主査、向上リーダーからの情報の把握、検討して運営に反映させている。子どもの発達に合わせた保育を進めるために、毎月の指導計画では向上リーダーからエピソード型作成が提案された。使いながら課題を出し合い効果的な書き方と記録の活用について検討を継続している。</p>		

3 経営における社会的責任			カテゴリ-3
サブカテゴリ-1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる			評点(〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

守るべき法・規範・倫理などが遵守されるように職員に周知している

園内の各会議や研修を含め様々な機会を捉え、区立園の保育者、公務員として遵守すべき事項についてを職員へ伝えている。会計年度任用職員には、ヒアリングや保育実践方針からも区立園で勤務する職員として遵守すべきことを定期的に伝えている。ほかにも園長会での情報の報告や園のマニュアル等に触れ、適宜伝え確認している。日々の保育での気づきは指導計画の検討や打ち合わせなどで共有、検討し、迅速に対応している。虐待の疑いや情報を得た場合は、虐待対応マニュアルに従って速やかに関係機関と連携するなど対応している。

保護者への活動内容開示や苦情解決方法の周知などを通し園の社会的責任を明確にしている

保護者には、苦情解決制度を利用できることや、保育園以外にも相談できる場が利用できることを園内の掲示や入園児説明会で伝えている。電話、送迎時や個人面談等での保護者からの意向については、マニュアルに沿って基本対応している。園長・主査へ速やかに報連相を行い、体制打ち合わせなどでほかの職員も内容を共有している。日々の保育を伝えるため、貼り出し日誌を掲示している。保護者が自分の子ども以外のクラスの様子を知ることが園の保育の理解へとつながっている。

地域ネットワーク内の共通の課題に協働して取り組んでいる

中核園を中心に地域の保育施設との交流が広がっている。職員間の交流は、情報交換に留まらず、保育を見直すきっかけとなっている。中核園事業のわらいや内容を理解して積極的に参加し、地域貢献に取り組んでいる。地域の会議に参加し、園のアピールと共に地域を理解し、地域施設との関係を深めている。また、見学者の受け入れやふれあい保育なども行い、在園児を含め、子どもの育ちを地域施設として継続して見守ることができている。現在はサポート的立場で、交流会に参加しているが、自園でできる地域貢献を考えていきたい。

カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー4の講評		
<p>避難訓練の計画策定と定期的な訓練の実施により災害に備えている</p> <p>杉並区として業務継続計画を策定している。災害等に備えマニュアルを備えている。避難訓練計画を作成し、月1回、火災・地震想定の実施を行っている。朝夕保育や土曜日などの職員体制の少ない場合や停電発生に備え日が落ちてから行なうなど様々な場面を想定し実施している。朝夕の時間帯は、勤務中の職員が自身で判断できるように話し合っている。実施後は反省会を設け、次への改善につなげている。侵入者に対する防犯訓練は机上で行う。定期的に避難・防犯訓練を行い、都度振り返りを行い、リスク回避に努めている。</p> <p>危機管理マニュアルに則り必要なリスクマネジメントの対策を取っている</p> <p>事故が起きた際は、事故報告書を作成し、事故発生時の様子を記録、分析し対応策を検討、全体へ周知すると共に再発防止に努めている。日常のヒヤリハットについても対策を検討し全職員で共有している。会計年度任用職員との情報共有は、体制打ち合わせでの報告や虐待防止についてなど各情報を基本的にはクラスリーダーから伝えている。事故に関する情報は危機管理マニュアルに則り、報連相を徹底し、すぐに全職員へ再発防止策を知らせている。また保護者にも知らせ、園としての再発防止策を明らかにし、リスクマネジメント対策をとっている。</p> <p>各記録類の管理は、管理簿を活用しながら適切に取り扱っている</p> <p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行いセキュリティーの保護に努めている。「情報セキュリティ基本方針」「情報セキュリティ対策基準(部外秘)」によりアクセス権等の設定をしている。個人情報となる各記録等については事務所の鍵のかかるキャビネットで保管している。各記録類の事務所からの持ち出しは、管理簿を活用しながら必ず複数の目で確認し、適切に取り扱っている。各種記録類は区が定めた保存期限に則り、適切に破棄・保管している。</p>		

5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

区の決定を前提とし、園の状況を踏まえ必要な人員確保や配置を求めている

区として人材育成のための基本方針を定め、目指す職員像や育成の仕組みを明らかにし、保育園と連携を取りながら人材確保を行っている。採用後は配置園での指導のほか、研修を実施するなど人材育成に努めている。異動や人員の配置なども、育成の方針や見通し、区内各園の状況などを総合的に勘案して行われている。園としての考え、個人の希望などをもとに、配置された人材を含めた職員構成をもとに、現状や見通しを踏まえ担任や係・役割分担などを決定している。

組織が求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

区は、職員人材育成事業実施計画に基づき、人事課と保育課が各研修を実施し人材育成と組織力向上に力を入れている。新任職員育成研修のほか、2、3年目の職員に経験者が就き、保育実戦の振り返りを行いながら長期的に育成を行う取り組みを行なっている。その他に経験年数や職層に応じて、実務研修を受講している。職員は研修等の達成度を確認しながら、係の目標シートを基に個人の目標申告シートを策定する。面談により年末に進捗と成果を確認し、年度末に取り組みの成果と課題を総括して業務の遂行や能力の向上をサポートしている。

研修報告などを通して活発に意見を出し合い、学びを共有している

日々の打ち合わせや職員会議、園内研修等で情報交換を行い、話し合いながら保育の向上に努めている。保育の向上リーダーをはじめ、課題に気づいた職員が言葉にし提案する素地がある。全職員または、クラスリーダー、各プロジェクトメンバーで話し合い課題の解決策を導き出し、園運営に反映している。職員の気づきを促し、やる気向上につなげて園全体のボトムアップを狙った園内研修を行っている。研修終了後は、レポートを提出し、職員一人ひとりの学びが園全体の学びになるよう、打ち合わせや職員会議で研修報告を行っている。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

多忙な中でも、「保育を語る時間」をいかにして確保していくかを課題として設定した。その背景には、様々な保育経験を有する職員相互の保育観の微妙な違いを埋めるためには、話し合うことが不可欠で、個々の保育力の向上が保育の充実につながるとの考えがあった。まず、職員会議の持ち方を工夫し、クラスへの報告時間を確保できるようにした。クラス内の話し合いができるよう、フリー保育者が順次保育補填に入ることで、この点をクリアした。また同時に、各クラスで事務の進め方を工夫した。こうした取り組みにより、クラスの話し合いの時間を確保することができた。そしてこれにより、職員それぞれが考える保育について語り、自己を振り返り、他者の語りに耳を傾け、自己理解や他者理解が進んだ。また、気づきやさらに考えていくきっかけを得て、さらにクラス内のコミュニケーションも促進された。今後も、個々の保育力の向上や保育のさらなる充実に向けて、継続していく方針である。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

「個々の保育力の向上」「保育の充実」をねらいとして始まった「保育を語る時間の確保」に向けた取り組みは、時間の確保に加えて、その時間を有効に活用することで、職員各自の振り返り、相互理解、コミュニケーションにつながっている。また、クラスで話し合う時間を決めることで、「そこまで事務を終わらせる」「終わっていかなくとも一旦止め話し合いをする」など、業務の進め方や向き合い方にも変化が生まれている。一つの取り組みをきっかけにして、様々な効果を生み出しているのは、それだけ目標や課題に対して真摯に向き合っているからこそである。常に子どもの最善の利益を念頭に置いて、その実現のために目標を細分化し、その実現に取り組んでいることが伺える。従って、本取り組みも、最終的には子どもの利益につながっていく。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

保護者との一層の情報共有を課題として設定した。その背景には、コロナ禍の時期において保護者との対話の機会が制限され、書面でのやり取りが中心となり、情報提供が一方通行的になりがちであった事情がある。登降園時のやりとりでは、限られた時間の中でも、その日のワンエピソードを話すことを心掛けた。日々の情報提供では、様々な媒体を活用し、園での子どもの生活や遊びの様子を伝えてきた。発信にあたっては、写真やイラストの活用、掲示方法の工夫などにより、保護者の目に見える形での提供に力を入れた。クラスだよりについては、感想欄を設けることで、保護者との双方向のやりとりができる工夫を取り入れた。さらに、保護者会での懇談を再開し、交流を通して保護者同士のつながりや、悩みの共有、助言などを行える場となった。今後も、保護者の思いをしっかりと聞き取り、園の取り組みや保育のねらいを丁寧に伝え、理解を図ることで、家庭と園とが同じ思いで子育てを進めていくことができるように取り組んでいく方針である。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

「知らないこと」は不安や不信の遠因になり、「知ること」は理解やさらなる関心につながる。また、発信は工夫次第で投げかけとなり、反応を引き出しうる。こうした意味で、「園の保育のねらいや内容を知ってもらう」「発信内容を踏まえて反応をもらう」ことを明確に意図した取り組みは、園と保護者との間の距離を近づけ、子どもを中心に関心や認識を共有していくことにつながる。園と保護者との間でのさらなる信頼や協力に発展していくことが見込まれる。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>区の公式ホームページや公式アプリなどで情報提供している</p> <p>杉並区公式ホームページの「保幼(ぼよ)ナビ」や区の公式アプリケーション「すぎぼよ(保幼)」などにより、園の情報を発信している。区のホームページの施設案内では、園概要や行事、活動などの取り組みを発信している。利用希望者に対し、園の情報や特色、活動内容が伝わりやすい記事作りを心掛けている。</p> <p>公立保育園として行政や関係機関と情報交換しながら連携を深めている</p> <p>公立の施設として、区の主管課へ日々様々な報告を行い、園運営について連携を密にしている。園長は毎月区立保育園長会に参加して、行政から情報提供を受け、課題検討や情報交換をしている。主査は主査会、看護師や栄養士は専門職の会議に参加して、課題検討や情報交換をしている。また、関係各機関へ園の情報を提供し、連携を深めている。</p> <p>園見学は要望を聞きながら個別の状況に応じて対応している</p> <p>保育園見学会を月に2回開催している。利用希望者の希望を考慮し、入園申し込み開始前の期間は回数を増やすなど、対応している。電話での質問への回答も行っている。見学の受け入れに際しては、利用希望者と日程を相談し、個別の状況にも対応している。見学時には園概要を配布して説明しながら園舎内を見てもらっている。保育目標を説明し、子どもが安心して好きな遊びを楽しめる環境があること、子どもを肯定的に受け止める丁寧な保育を行っていることなどを話している。見学時に合わせて育児相談なども受けている。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評		
入園説明会や面接により、入園に伴う疑問や不安の解消を図っている 入園説明会では、園のしおりに沿ってなれ保育のことや、登園にあたっての基本的なルールについて説明している。「阿佐谷南保育園のご利用にあたって 重要なお知らせ」を使って、重要事項や個人情報の取り扱いについて説明し、同意書をもっている。また、行事や保育で大切にしていること、苦情解決制度などについても説明している。年度途中に入園する場合には、その都度面接の際に同様の内容を伝えられている。新入園児の保護者が、子どもの初めての集団生活の開始に伴う不安を軽減できるよう、丁寧に説明を行っている。		
保護者の状況や意向などに配慮して、なれ保育を実施している 入園開始直後は、子どもの不安やストレス軽減のために、1週間程度のなれ保育を実施している。入園前の面接時に就労状況などの保護者の意向を聞き、初日は親子一緒に過ごして食事を食べさせてもらい、2日目からは親子分離をして保育している。保護者には子どもの様子を詳細に伝え、子どもの慣れ具合や保護者の意向、希望、就労状況や職場復帰時期などを相談しながら進めている。できるだけ同じ職員が関わることで子どもや保護者との信頼関係を早めに築き、個々に合わせて進めることで、安心してもらえるようにしている。		
支援の継続性に配慮した支援を行い、子どもや保護者の不安を軽減している 卒園児の就学先へは「保育所児童保育要録」の写しを提出し、継続した支援ができるようにしている。就学を見据え、時期を決めて午睡をなくした生活リズムへ、年長児が無理なく移行できるようにしている。転園や退園する保護者には、その際、初めての環境に対して心配なことなどの有無について個別の相談に応じ、不安の軽減に努めている。保育終了時はスムーズな就学につながるよう、保護者会や面談などを通じて就学に向けた情報提供を行っている。		

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	13 / 13
3 個別状況に応じた計画策定・記録			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-3の講評			
全体的な計画や子どもの様子を踏まえ、指導計画を策定している 入園前の健康診断や面接により、出生歴や成育歴、発育経過、既往歴、健康上の注意を把握している。入園後も日々子どもの様子を日誌や連絡帳を使って把握している。そして、全体的な計画を踏まえて、養護と教育の各領域を考慮して年度当初に担任間で話し合い、年間指導計画を立案している。当月のエピソードから子どもの変化、保育者の対応や保護者との関わりなどを振り返り、翌月につなげていくことを具体的に記録している。会議の場で各クラスの計画について全職員で共有し、課題の提案を検討し、より良い保育へつなげる見直しを行っている。			
子どもに対する適切な記録を行い、指導計画に活かしている 全体的な計画を基に年間指導計画を作成し、それらを踏まえ、指導計画は担任保育者が話し合い、個別の配慮のほかクラス全体の目標や活動への配慮、振り返りなどを検討する仕組みが整っている。乳児クラスではその日の様子などを連絡帳に毎日記入し、幼児クラスでは全体の様子を貼り出し日誌に記入し掲示している。各クラスの週案や保育日誌には、成長の様子や変化を継続的に記入している。乳児クラス全員と障害児を含む配慮を要する幼児クラスの子どものためには、個別計画や成長の記録を作成し、職員間で共有している。			
子どもの理解を深めるために指導計画や情報を共有している 月間指導計画の検討会議を毎月行い、計画の内容や個別指導計画について保育を担当する職員全体で意見交換し、共有している。体制打ち合わせでは、子ども・保護者に関する個別情報やアレルギー確認などのひとこと報告をしている。朝夕当番時の申し送り・引継ぎは、朝夕連絡票を使用して確実に行っている。定例会議では、打ち合わせで出された討議事項の決定や情報共有をしている。会議に参加できなかった場合はクラス代表から必ず報告を受けている。			

サブカテゴリー5		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5 / 5
5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重			
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評			
<p>子どもに関する情報をやり取りする必要がある際は、保護者の同意を得ている 「杉並区立保育園保育実践方針」「杉並区保育実践の手引き」を活用して、年間・月間の指導計画の打ち合わせ時に、子どもを尊重する保育について確認・共有している。入園時には個人情報の取り扱いやプライバシーの保護、個人の尊厳の尊重について、慎重かつ丁寧に扱うことを説明し、保護者の同意を得ている。子どもとの関わり方や発達援助のため、巡回相談の心理専門職から指導を受けるなど、他機関と連携をとる際には、改めて保護者の同意を得てから行っている。</p> <p>子どものプライバシー保護を徹底している 子どものプライバシーについて職員は共通の認識を持ち、羞恥心に配慮した保育を行っている。乳児のおむつ替えは、遊ぶスペースから視覚を遮られる場所を作って行っている。幼児は、看護師から「プライベートゾーン」についての話を聞いている。シャワーを行う際は衝立で視線を遮るようにし、シャワー後にはタオルを身体に巻いて着替えることを知らせ、自分の体を大切にすることを育んでいる。また、保護者との個人面談などで家庭の様子を共有し、多様なニーズに対して個々に配慮できるようにしている。</p> <p>職員は虐待防止や育児困難家庭への支援に向け学び理解を深めている 各家庭が様々な抱えている状況を踏まえ、価値観や生活習慣に配慮した保育を行うために職員全体で状況を共有し、同じように対応できるようにしている。子どもへの声掛けや名前の呼び方、接し方など、職員間で確認している。虐待防止や育児困難家庭についての研修には積極的に職員が参加して、研修報告会を開き、成果を職員全体に還元し、理解を深め合えるように努力している。担任のみならず、朝夕保育の当番も含めた職員全体で各家庭の抱えている状況に気を配り、全園児の変化を全職員で察知するよう努めている。</p>			

サブカテゴリー6	
6	事業所業務の標準化
サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5	
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(〇〇)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している <input type="radio"/>非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(〇〇)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている <input type="radio"/>非該当
サブカテゴリー6の講評	
<p>区立園共通のマニュアル類を整備し、いつでも確認できるようにしている</p> <p>「杉並区立保育園保育実践方針」「杉並区保育実践の手引き」は職員各自が持っている。「危機管理」「保健衛生」などの区立保育園共通マニュアルは事務室に置き、いつでも見ることができるようにしている。園の手引き書(マニュアル)には、保育に関わる確認事項、保育中の緊急対応マニュアル、防犯マニュアルなど、保育業務に必要な内容を綴じ、各クラスにも備え、必要な時にすぐ確認できるようにしている。マニュアル記載の内容や手順は年度末に必ず見直し、修正の必要が生じた場合はその都度職員間で話し合い、修正している。</p> <p>基本事項について定期的な点検のほか、必要な場合には随時検討し見直している</p> <p>提供しているサービスについて、年度末の年間反省において職員全体で点検・見直しをし、必要に応じて改変している。改変した事項については、職員全体で共有し、必要な場合は保護者会や園だよりを通じて保護者にも周知している。ヒヤリハットなどから必要が生じた場合は、年度末に限らずその都度点検・見直しをしている。保育関連の業務内容全般については、半期反省や年間反省を行い、必要に応じて見直している。短時間や一般など、多岐に渡る働き方がある会計年度任用職員への基本事項の周知徹底についても、引き続き取り組んでいく方針である。</p> <p>保護者や職員からの意見や提案は検討して見直し、サービスの質の向上に努めている</p> <p>より良い保育の提供に向け、保護者や職員の意見、子どもの様子などから必要と判断したことは、すぐに見直し、改善している。職員会議や指導計画などから発信される職員の自由な発想や気づき、保護者からの意見や要望なども、必ず全職員に周知して、必要に応じて検討している。保育はマニュアルでは表現できないものもあり、口頭での伝承も併せて行っている。</p>	

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	
		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	36 / 36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが主体的に周囲のものや人と関わりが持てる環境を工夫している</p> <p>保育室や園庭の環境は、子どもが自分で興味を持ち、使いたいものや遊びたいものを選び、手に取って遊べるように考え、工夫している。保育室は子どもの年齢・発達や興味・関心に合わせて少人数で落ち着いて過ごせるようにし、玩具や教材などを自由に使って遊べるように設定している。子どもの声に耳を傾け、発言や発信を逃さず、保育の中に取り込んでいく工夫を職員間で話し合っている。興味や関心から心が動く瞬間を逃さず、子どもの「やりたい」気持ちを実現できるような環境を整え、遊びが発展していく工夫をしている。</p> <p>職員は子どもの気持ちを尊重して適正に対応している</p> <p>発達の過程で生じる子ども同士のトラブルに対しては、子どもの気持ちを代弁し、双方の子どもの気持ちをくみ取り、寄り添っている。縦割りの交流や園庭での自然な交流を通して、世話をしたり、されたりすることの心地よさの中から、相手を知り、思いやる心が育っていきけるよう、保育士も仲立ちとなっている。気持ちを共有したり、相手の気持ちを伝えたり、気づけるような言葉がけをするなど、対応している。また、職員間で情報を共有し、日々の中で声を掛け合いながら、保護者にも状況を伝え、一人ひとりが安心して安全に過ごせるように保育している。</p> <p>子ども一人ひとりの発達に応じた保育と関係機関との連携や円滑な接続に配慮している</p> <p>特別な配慮を要する子どもの保育では、その子に寄り添い、人格を尊重し、必要に応じた人員配置をした上で保育を行っている。生活環境や個別配慮について職員間で相談し、個々の個性を認め、子ども同士が互いに成長できる環境を整え、共通の対応をできるようにしている。子どもの姿を丸ごと受け止め、肯定的に捉えながら他者(子ども同士、保育者)との関わりが広がる保育を心掛けている。就学時には、保育所児童保育要録を小学校に提出し、子どもの様子を直接伝えている。小学校との連携を密にし、卒園後も連絡を取り合える体制を作っている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>子どもの生活が安定するよう、保護者や職員間での情報共有を図っている</p> <p>登園時に前日の様子、顔色や体の状態を観察し、体調やけがについて保護者に確認している。体調による薬の使用の有無など、家庭での子どもの様子を聞きながら、受け入れを行い、子どもの24時間の様子を共有している。また、朝夕連絡票を使って職員間で情報を共有している。前日からの申し送りや受託時の保護者からの連絡事項は、当番職員が家庭の様子を保護者に確認し、それらを踏まえ保育や対応につなげている。お迎えの際は、職員一人ひとりが情報共有の大切さを意識して確実に伝達を行い、その日の子どもの様子を保護者に伝えている。</p> <p>生活の中での体験の積み重ねを通して、基本的な生活習慣の確立を援助している</p> <p>身の回りのことを自分で出来るようになるために、生活習慣の確立に関わる項目を年間・月間の各指導計画に位置づけ、年齢・発達に応じた援助を行うことで、生活を通じた習慣化を図っている。スプーンや箸の持ち方、排泄の自立のほか、生活に関わる様々な事項を発達に応じて繰り返し援助し、見守り、意識向上と自立に努めている。子どもの意思表示をしっかりと受け止め、個々の状態に合わせた対応を職員間で共有している。個々の発達の状態に応じ、基本的な生活習慣が身につくように、丁寧な関わりを心掛けている。</p> <p>個々の発達の状態に応じて、基本的な生活習慣が身につくよう援助している</p> <p>保育者は子どもの状況を共有し、共通認識を持ち保育を行っている。午睡と休息は園で長時間過ごす生活において身体を休める時間として捉え、家庭での生活リズムやその日の体調などを考慮しながら必要な時間を確保し、個別に対応している。5歳児では、後半の午睡時間については、クラスの子どもの姿に合わせて期間や時間を決めている。寝つけない場合や早く目を覚ましてしまう場合は、別室で過ごすなど、配慮している。基本的な生活習慣の獲得に向けた保育について、個人差をよく見極め、常に保護者と連携しながら成長を促す援助に努めている。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもの自主・自発性を尊重し豊かに遊び込める保育を実践している</p> <p>子どもが自発的・意欲的に関われるような環境設定を心掛け、子どもが主体的に遊べるようにすることを大切にしている。集団活動では、子どもが興味を持てるような誘い掛けをしながら、やりたくないという子に対しては、その意思を尊重し、友達の楽しんでいる姿を見たり、その活動を繰り返し経験できる機会を用意したりすることで、主体的に関われるまで待つようにしている。子どもの「やってみたい」「知りたい」が経験・実現できるよう、教材・玩具を整え、子どもの様子に合わせて柔軟に対応している。</p> <p>大人との信頼関係のもと、自然に触れながら子どもが安心して活動を楽しんでいる</p> <p>子ども一人ひとりの年齢や発達に沿った表現方法を的確に捉えた上で、環境を整備している。そして、大人との信頼関係のもと、安心できる環境の中で、子どもがやり取りを楽しめるように関わっている。区内の公園に散歩に出かけ、豊かな自然に触れ、季節の移り変わりを感じられるようにしている。樹木、草花、昆虫、雲、風、星、太陽、霜、気温の変化など、様々な自然事象に触れ、興味・関心を持てるようにしている。遊びの変化を予測しつつ、リードしすぎず、子どもからの発信を待つようにして、子どもが安心して活動を楽しめるようにしている。</p> <p>各領域に即した取り組みを行う中で、年齢に応じてきまり等の大切さを経験している</p> <p>年齢に応じたきまりやルールの大切さを、生活や活動の中で無理なく経験できるように配慮して年間指導計画を立案し、保育の中でその都度、援助や仲立ちを行っている。生活の流れを一定にして、見通しをもって生活できるようにしている。遊びの中でルールがあるから楽しめることを知り、負けて悔しい体験や、今はできないこともあるという経験から、気持ちをコントロールできるように子どもの思いを受け止め、見守るなど配慮している。子どもの姿を捉えて保育に反映させ、子どもが主体的に集団活動に関われるようにしている。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもの発想を実現できるように保育の活動を考え取り組んでいる</p> <p>各クラスでは、子どもの遊びが豊かになるよう、楽しいことや面白そうなことを保育に取り入れ、日々の保育の積み重ねの中で、子どもが意欲的に楽しんで取り組めるよう計画し、実践している。当日までの過程を大切に、子ども自身が見通しを持って取り組めるようにしている。職員は子どものやりたいことが実現できるように一緒に考え、子どもと共に作り上げる過程を大切に援助している。皆で楽しめる活動へと展開する経験を重ねることで、次の活動への期待につながっている。</p> <p>行事の取り組みを保護者に伝え保育への理解や協力を得ている</p> <p>入園説明会で年間の行事を伝え、協力を依頼している。年度始めに年間行事予定を保護者に配布している。年長児を中心に、保育の中で子どもから発案された活動を、園全体のものとして柔軟に取り入れ、心を合わせて一つの目的に向かって取り組む経験をしている。その様子や発表の場をクラスだよりや写真掲示、今日の保育などを通じて保護者に発信し、子どもの成長の共有を図り、また家庭での話題作りのきっかけにもなっている。職員は行事毎に担当を決め、子どもの声を受けとめて、ねらいを設定して実施し、終了後は振り返りを行い、次につなげている。</p> <p>行事の実施にあたり何を大事にしていくかを考え、ねらいや内容について検討している</p> <p>行事について、職員は意欲的に取り組んでいる。コロナ禍の対応やこれまで行ってきたことの中で良かったことを取り入れながら、行事ごとのプロジェクトで話し合い、職員全体で課題点を共有している。行事の実施にあたり、何を大事にしたいかを考え、各年齢で経験して欲しい内容を全職員で検討した。伝承行事についても年齢や時期によって無理なく経験できるように、対象クラスを絞って実施したり、乳児・幼児に分けて内容を変更して実施したりしている。今後の行事の取り組み方について、全職員で新たに構築していく必要性を感じている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>保育時間の長い子どもが快適に過ごすことが出来るよう配慮している</p> <p>園で長時間過ごす子どもの視点に立ち、空間的にも様々な配慮をしている。朝夕保育の時間では、子どもが安心できるように、可能な限り同じ保育者が当番に入るなど配慮している。朝夕の会計年度任用職員も同じ職員を配置している。保育時間が長くなると、気持ちが不安定になる子どももいるため、好きな遊びを楽しめるように、年齢に応じて使いたい遊具を子どもが選び取れる環境作りを心掛けている。</p> <p>提供する活動内容は静と動のバランスを考え、環境を整えている</p> <p>家庭的な雰囲気の中、安心して自分のやりたい遊びが出来るようにコーナーを設け、身体を休め、静かに過ごせる場も保障している。これにより、一日の園生活の中でも活動の静と動のバランスを考え、思い思いの活動をしながら、ゆったりと過ごせるように工夫している。子どもの状況や遊びに合わせて少人数に分かれて過ごすことができるようにし、遊びごとに環境を分け、じっくり遊べるようにするなど、環境を工夫し、落ち着いて過ごせるように援助している。</p> <p>保育形態の変化がある中でも落ち着いて過ごせるようにしている</p> <p>子どもの様子を把握するため、しっかりと健康観察を行い、様子に合わせた保育を行っている。保護者への申し送りは、必ず確認して漏れないように注意して対応している。保護者や担任からの連絡事項の引き継ぎは、朝夕連絡票を使って徹底している。クラス保育から合流する時間については、子どもの状況や時期に応じて柔軟に対応している。異年齢児が同じ空間で過ごしても、安心して保護者の迎えを待つことができるような環境作りを心掛けている。</p>		

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

子どもが楽しく安心して食べることができるように配慮している

子どもの成長に合わせて、栄養バランスを考えた給食の提供を行い、落ち着いた雰囲気の中で食事ができるようにしている。乳児は個々の体に合うように調整された椅子に座り、担当職員が介助を行っている。乳児期は味覚が過敏なので子どもが嫌がる食べ物は無理に勧めず、家庭と給食との間で形態に差がないように、保護者との連携を重視している。日々の喫食の様子を見ながら、食への興味や関心を高める援助をしている。

年齢や発達に合わせた栄養バランスの良い食事を提供している

区の栄養士が各園の意見を参考にして作成した統一献立に基づいて、園で調理し、子どもの成長に合わせて栄養バランスを考えた給食を提供している。子どもが育てた野菜を調理してもらうことで、食への関心がさらに深まっている。年間食育計画にも基づき、4、5歳児は、体験(見る)と話を聞き取り組みを実施している。近隣の方から頂いた米の苗を育てたり、芋ほりも経験している。保育と食育を連動させ、栽培や食材に触れ、食材が調理されて食べ物になるまでの過程を知る機会を作っている。

安全・安心して楽しく食べることができる食事を提供している

メニューや味付けを工夫している。幼児の誕生日には同じメニューで盛り付けを工夫した誕生日プレートを提供し、行事には行事食を提供している。また、食物アレルギーや文化の違いがある場合は、生活管理指導票に沿って食事の提供を行っている。献立表や成分表のチェック項目についての保護者との確認、アレルギー会議での確認、前日の打ち合わせでの除去食についての確認を経て、マニュアルに則り、除去食や代替食を色のついたトレーで提供している。提供直前には担任と調理員とで口頭で確認し、誤食のないように努めている。

7 評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

子どもが健康や安全に関心を持てるように情報発信や指導を行っている

年間保健計画を作成して、年齢に応じ子どもが病気やけがに対する安全意識を高められるようにしている。自分の身体・健康・安全に興味を持てるように具体的な方法を計画に盛り込み、健康教育に取り組んでいる。看護師は幼児クラスを中心に視力測定・手洗いの仕方・体の仕組みや機能、プール前にはプライベートゾーンの話などを伝えている。子どもの興味・関心・様子を見ながら、「知りたい」という気持ちを受け止め、視覚的にも分かりやすく示している。健康教育の内容はクラスでも取り上げ、繰り返し話題にするようにしている。

子どもが罹患しやすい感染症などの情報を随時保護者に周知している

毎月保健だよりを発行し、園の保健行事を伝えたり、季節や時期に応じた健康に関する情報を掲載している。薬については、区立園共通の対応として原則預からないが、慢性疾患などのために薬の使用が必要な場合には、保護者の代理として与薬することになっている。園児の健康管理として毎月の身体測定、年2回の嘱託医による健康診断、年1回の歯科健診、幼児対象の眼科・耳鼻科健診を実施している。嘱託医には感染症や園児の健康に関することを相談しアドバイスも受けている。

保護者に安心を与えられるように子どもの健康維持に向けた取り組みを行っている

子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがの予防・防止できるように援助している。常に安全を考え、散歩先での安全確認を実施し、固定遊具の使い方や散歩先の危険箇所、道の歩き方などの危険回避の方法を年齢に合わせて知らせ、子どもへの目配り・気配りなどを行っている。また、区の危機管理マニュアルに基づいて午睡チェックを実施し、感染症発生時の保護者への注意喚起や情報提供もしている。病気やけがの対応には、園長(不在時は主査)、該当クラス職員で対応方法を共有し、保護者に安心感を与えられる誠実な対応を心掛けている。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		○非該当
評価項目8の講評			
<p>保護者との信頼・協力関係作りを行っている 入園時に家庭連絡票を提出してもらい、就労や家庭の状況を把握している。保護者の就労や通勤時間などに合わせて、保育時間を決めている。家庭の事情によって急な変更の相談があった時は、可能な限り対応して支援している。子育てにおける個々の事情についても話をよく聴き、職員間で共有して支援を行っている。子どもの成長の喜びの共有、保護者の思いへの共感、日頃の密な連携などを通して、保護者が安心して子育てをすることができるよう支援している。</p> <p>保護者と子育ての共通認識を持てるような取り組みを行っている 保護者とのコミュニケーションを大切に、子育ての協力関係を築き、共通認識を深められるよう取り組んでいる。年に2回、各クラスの保護者会を実施している。コロナ禍の期間中には設けられなかった懇談時間を再開して、保護者同士の交流の機会としている。また、父母会活動を通じた交流の支援を行っている。個人面談では、園や家庭での子どもの様子について保護者と確認し、子どもの育ちを共に支えていくために、今後の方針を共有している。</p> <p>子どもの発達や成長について、保護者と共有できる取り組みを行っている 保護者と園が子どもの成長を共有できるよう、常に保護者の声に耳を傾け、送迎時に一日の様子を口頭で伝えるワンエピソードを意識して取り組んでいる。必要に応じて向き合って話す機会を作り、保育者の思いを伝えるようにしている。個人面談、保護者会、保育参観や行事への参加などを通して園を知ってもらい、子どもの姿を共有できるようにしている。保育の様子を保護者にわかりやすく伝える工夫として、掲示日誌やクラスだよりに写真を添えるようにしている。保護者の要望に対しては職員全員で話し合い、どの職員も同じ対応ができるようにしている。</p>			
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(00)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		○非該当
評価項目9の講評			
<p>園の取り組みに地域の人参加を呼びかけ交流の機会を広げていく 中核園事業へ参加することを通じて、地域との繋がりが広がっている。民間園への支援や職員交流の機会が増え、近隣園との関わりが広がっている。幼保小連携小学校との交流地域ネットワークが充実しているので、今後も積極的に地域の情報を収集して連携を強化したいと考えている。特に小学校との計画的な交流の実施を働きかけ、近隣小学校との顔の見える関係作りを継続し、連携を深めていく方針である。</p> <p>地域との連携のもと子どもの経験を広げる取り組みを行っている 学生の職場体験を受け入れており、子どもと関わってもらっている。近隣の方からは、稲をもらい育て、米の収穫や脱穀など、自分達が食べている白米になるまでの過程を体験している。夏野菜の苗を近隣のJA(農業協同組合)の店舗に買いに行く、区内の農家に芋ほりに行くなど、地域の様々な人と連携している。地域ネットワークの繋がりを活かして連携小学校と交流し、学校行事の見学や、プレ1年生体験などを行っている。小学校との交流・連携は、卒園後の小学校生活にスムーズに慣れることに役立っている。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもが主体的に遊べる魅力的な環境を作るための環境プロジェクトに取り組んでいる	
内容①	「子どもがどんな風に遊びたいと思っているのか」を考え、皆で遊べる、皆が遊びたいと思えるような、子どもの主体性や発想、意欲などを大切にすることを考える環境プロジェクトに取り組んでいる。職員は、室内、園庭、フリースペース、ホールのいずれかのグループに入り、それぞれが話し合いながら年間を通じて活動している。子どもの興味・関心を踏まえ、また発達の見通しに立ち、玩具や遊具を揃え、子どもの体験が豊かなものとなるような遊びの場や、遊びが広がる空間づくりを考え、それぞれの担当が全体へ提案・発信しながら取り組んでいる。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル②	職員一人ひとりの思いを言葉にして話し合い保育に活かすことができる職場環境がある	
内容②	職員の年齢層は幅広く、経験もバランス良く配置され、それぞれの強みを活かすことができている。職員一人ひとりが良い保育をしようと前向きで、モチベーションが高い。「子どもの成長のためになにができるか」を考え、保育の進め方などを変えていく力がある。職員の問題意識や着眼点に違いがあるからこそ、様々な課題への気づきができる。思いを言葉にしてアプローチできる職場としての素地がある。園内研修でも、「楽しく語ろう」をテーマに少人数保育について話し合うなど、保育を深めることができている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	2-2-1	事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している
タイトル③	より良い保育を行うため、計画の見直しを通して職員のスキルアップに取り組んでいる	
内容③	保育の大枠を定める全体的な計画について見直しを行った。その過程で内容を確認し合ったことで、改めて個々の意識が高まった。またそれに伴い、保育向上リーダーからの提案を受けて、カリキュラムの書式内容をエピソード型へと変更した。その月に力を入れたい保育のポイントを中心に書くことで、クラスの活動や目指す保育が他のクラスへも伝わりやすくなった。その結果、意見が出しやすくなり、また助言をもらいやすくなった。実際に取り組む中で捉え方や書き方などの課題も見えており、乳児クラスでの取り組みを含め、さらに検討したいと考えている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの自主性や自発性を大事にして、遊び込めるような保育の工夫をしている
	内容	子どもは様々な活動を通して表現を楽しむことを経験し、自分で考えたり、アイデアを出したり、やってみたくて見つけたりして発信している。それを保育者が聞き取り、子どもの思いに寄り添いながら、「やりたい」という思いを実現するように日々の保育を考え、展開している。一人ひとりの特性を理解し、子ども同士のつながりを大切に、小集団での活動で自信を持てるよう個々の状況を観察し、配慮や工夫をしている。子どもの遊びや生活が、自主性を持って豊かに行えるように、職員一人ひとりが意識を持って保育を行っている。
2	タイトル	子どもが主体的に関われるような保育環境を整えることを大事にしている
	内容	子どもが安全に安心して生活できる環境を整え、子どもの主体性や発想、意欲を大切にすることを考え、実践するため環境プロジェクトに取り組んでいる。職員は、室内、園庭、フリースペース、ホールのいずれかのグループに入り、それぞれが話し合いながら年間を通じて活動している。子どもの興味・関心を踏まえ、また発達の見通しに立ち、玩具や遊具を揃え、子どもの体験が豊かなものとなるような遊びの場や、遊びが広がる空間づくりを考え、それぞれの担当が全体へ提案・発信しながら取り組んでいる。
3	タイトル	良好な人間関係が職員の意欲向上を支えより良い保育へとつながっている
	内容	職員のチームワークが良く、クラスを越えて互いに保育のアイデアを出し合い、意見交換や相談をすることができている。経験もバランス良く配置され、それぞれの強みを活かすことができている。自分の思いを言葉にしてアプローチできる職場としての素地があり、職員一人ひとりの気づきを全体につなげていく関係性ができてきた。子どもの成長のために何ができるかを考え、保育の進め方を変えていく力がある。子どもの姿から応答的、主体的な保育を展開する柔軟性があり、日頃から声をかけ合い互いに協力して保育を進めようとする職場環境がある。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	指導計画をより活かしていくため、引き続き、ねらいをもとに実践を重ねていく
	内容	全体的な計画の見直しと共に月の指導計画の書式内容を見直した。保育向上リーダーからの提案により、エピソードを記載して保育を振り返り次月へどのようにつながられるかを考えるエピソード型の月案作成に取り組む、実際に書いてきた。作成した指導計画から子どもの姿が浮かぶようなものにしていくためには、「エピソードとは、何をどのように書くものなのか」を明確に理解する必要がある。書き方や内容を見直す当初のねらいを実現し、保育に活かしていくためにも、実践を重ねて引き続き精度を高めていくことを課題としている。
2	タイトル	今後も、園運営や保育に関わる取り組みをより丁寧に説明して、保護者の理解へつなげる
	内容	保護者の要望に対して、すぐに実現が難しい場合は、その理由について園の考えを説明する姿勢を示して伝えてきた。要望への回答は、対応の可否やその理由を伝えるだけにとどまらず、園がどのようなねらいや方針に基づいて取り組んでいるのかを伝える好機でもある。そしてそれを有効なものとするためには、タイミングや表現方法を工夫するだけでなく、保護者の関心やニーズがどこにあるかを的確に捉えることが必要となる。今後も、園運営や保育に関わる取り組みをより丁寧に説明して、保護者の一層の理解へつなげていくことを課題としている。
3	タイトル	職員一人ひとりが自信を持ち、主体的に考え、行動できる組織づくりを目指していく
	内容	区や園の人材育成の仕組みを活用して、職員の育成を行っている。これから求めていく人材として、子ども一人ひとりの発達を的確に見極め、先を見通した保育を提供できること、全体を見て必要な体制や配置に気づき、行動できる人材像を描いている。こうした人材の育成には、年齢や経験を問わず職員が自信を持ち、また園全体の取り組み、互いの仕事、自分の仕事の位置づけなどを理解することが必要となる。今後も、日々の実践の積み重ねを通して、一人ひとりがより主体的に考え、行動していける組織作りに取り組んでいくことを課題としている。

堀ノ内

2.堀ノ内保育園

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

2024 年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 156-0043

所在地 東京都世田谷区松原3-38-16-107

評価機関名 株式会社 にほんの福祉ネット

認証評価機関番号

機構 06 - 168

電話番号 03-6379-5156

代表者氏名 岩下 敦史

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	岩下 敦史	福祉、経営	H2101100
	②	高田 富美子	福祉、経営	H2101111
	③	笠井 昌子	福祉、経営	H2201084
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	堀ノ内保育園			
事業所連絡先	〒	166-0013		
	所在地	東京都杉並区堀ノ内二丁目8番7号		
	TEL	03-3331-7536		
事業所代表者氏名	矢野 美穂			
契約日	2023 年 7 月 5 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023 年 8 月 14 日			
利用者調査結果報告日	2023 年 10 月 19 日			
自己評価の調査票配付日	2023 年 8 月 14 日			
自己評価結果報告日	2023 年 9 月 29 日			
訪問調査日	2023 年 10 月 26 日			
評価合議日	2024 年 1 月 11 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	区担当者との打ち合わせにより全体の流れ、留意事項の確認を行った。その後、各園にて事前説明を行い、オンライン形式での利用者調査や紙媒体での職員アンケートの実施方法について説明を行った。訪問調査前には当日の訪問者、タイムスケジュール、確認予定の書類について案内した。訪問調査では施設見学もあわせて行い、実態の把握に努めた。合議では、訪問者2名と他の1名、事務局により内容の精査・修正を行った。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2024 年 月 日

事業者代表者氏名 矢野 美穂

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>【保育理念】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちに寄り添いながら、健やかな育ちを助ける。 ・家庭と保育園が一緒に子育てする。 ・地域の子育てに役立つ拠点を目指す。 ・職員一人ひとりが保育の専門性を高める。 <p>【保育方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの発達を把握し、その成長に合わせながら、心身を育んでいく。 ・気持ちや要求を十分に受け止めてもらい安心し、自己肯定感を育んでいく。 ・友だちと遊んだり関わったり、いろいろな経験を通して相手の思いに気づけるようにしていく。 ・一人ひとりがじっくりと遊べるよう、発達に即した環境を作っていく。 ・戸外遊びを通して四季の自然に触れる。（動植物や自然現象に興味、関心がもてるよう助長していく）
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育を語り合い、学び合える職員 気付いたことや疑問など、何でも発信し合える雰囲気を作り、それぞれが保育を伝え、保育を学ぶことができるようにする。 （園内研修～具体的な生活や遊びの話、職員が話したいテーマ等を取り上げる。） 若手職員の育成を全職員でサポートし、それぞれが育ち合える関係を築く。 向上リーダーを中心に、職種や年齢の違う職員同士が、子どもの話をするこでつながりを深め、楽しんで保育をしている。 ・保護者と子どもの成長を共有し、共育てを実践する職員 保護者からの声に耳を傾け、それを受け止めながら、信頼関係を築く。 園だより、クラスだより、貼り出し日誌等、保護者に伝えたいことを意識し、具体的に分かりやすく作成するよう心掛ける。 保護者と保育のねらいや思い、子どもの姿を共有しながら、信頼関係を深めていく。 個人面談や保育参加の機会を作る中で子どもの姿を共有し、保護者の思いを知り、子どもを真ん中に一緒に子育てしていく。 <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より良い保育の実践を目指す 常に子どもにとってどうすることが良いのか、絶えず最善の利益を考えて自らの保育を振り返る姿勢を持ち、日々の保育に真摯に向き合っていく。 一人の取り組みを、職員同士で語り合う中で、園全体のものとしていくことが大事。 ・社会の動向を的確に捉え、いろいろな状況に柔軟に対応してく力 子どもの身近にいる保育者として、子どもの立場に立ち、その思いを代弁する。 その上で、保護者の現状を理解し、寄り添う姿勢を持ってほしい、と考えている。

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢1人を対象として実施世帯数を絞り、調査対象者に対し実施。

調査方法

ウェブ回答システムを活用。機関が作成したQR記載の案内を事業所を通して各家庭に配布。各家庭においてそれを読み込んだ上で、個別に匿名で回答。

利用者総数

94

利用者家族総数(世帯)

78

共通評価項目による調査対象者数

78

共通評価項目による調査の有効回答者数

54

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

69.2

利用者調査全体のコメント

<総合的な満足度>

「満足」80%、「まあまあ満足」17%、計97%という満足度が示された。

<調査結果の講評について>

・肯定的な評価(「はい」との回答)が全体に占める割合についてのみ、記述した。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	53	0	1	0
回答者の98%が「はい」と回答した				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	50	3	0	1
回答者の93%が「はい」と回答した				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	51	2	0	1
回答者の94%が「はい」と回答した				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	46	7	0	1
回答者の85%が「はい」と回答した				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	40	5	0	9
回答者の74%が「はい」と回答した				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	43	10	1	0
回答者の80%が「はい」と回答した				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	41	7	1	5
回答者の76%が「はい」と回答した				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	50	4	0	0
回答者の93%が「はい」と回答した				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	50	3	0	1
回答者の93%が「はい」と回答した				
10. 職員の接遇・態度は適切か	52	2	0	0
回答者の96%が「はい」と回答した				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	52	2	0	0
回答者の96%が「はい」と回答した				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	37	11	0	6
回答者の69%が「はい」と回答した				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	53	1	0	0
回答者の98%が「はい」と回答した				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	43	4	0	7
回答者の80%が「はい」と回答した				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	51	2	1	0
回答者の94%が「はい」と回答した				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	43	7	0	4
回答者の80%が「はい」と回答した				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	31	15	3	5
回答者の57%が「はい」と回答した				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <input type="radio"/> 非該当
	カテゴリ1の講評	
	園が目指していることについて職員や利用者にわかるように周知している 園目標・保育目標を事務室や玄関に掲示し、職員会議で目指すべき方向性を職員に伝えるとともに、これらに則った保育の実践に取り組んでいる。保護者には、保育理念・保育方針・保育目標を記載した園のしおりを配布し、園の目指している保育について入園説明会で説明している。また、重要事項については、入園説明会を通して周知している。そのほか、園だよりにも園目標や保育目標などの園で大切にしていることを記載して、保護者に伝えている。	
	経営層は自らの役割と責任を明確にして職員へ伝え、リーダーシップを発揮している 園長・主査それぞれの年間計画を立て、目標や取り組み課題を職員へ伝えている。園長・主査・保育の向上リーダーを当園の保育の質向上を図るための4本柱として位置づけている。保育の向上リーダーは、区内各園の保育の向上リーダーが参集する会議に参加し、より良い保育に向けて横断的に情報を交換し、自園での実践の参考にしていく。また、園内研修の企画・実施などにリーダーシップを発揮している。重要な案件や課題についてはトップダウンを避け、経営層(向上リーダー含む)がよく話し合い、明確な方向性を示し、一致して取り組んでいる。	
	重要案件の検討や決定のより良い仕組みづくりを目指して取り組んでいく方針である 園の重要案件は、職員会議で検討・決定している。会議に参加できなかった職員には、議事録を回覧して情報共有の徹底を図っている。毎日の昼ミーティングでは、各クラスから日常必要となる確認事項について、情報共有をしている。各会議ではホワイトボードを利用して議題を集約し、優先度や時間を予め振り分け、事前準備をして臨むようにしている。引き続き、課題に対し職員一人ひとりがしっかりとした意見を持ち寄り、その意見が全体に反映される仕組みづくりをより強化していく方針である。	

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>中核園事業に参加し、地域の保育ニーズや課題について情報交換している</p> <p>区では、地域で取り組む保育の質の向上を目指し各地域に「中核園」を指定し取り組んでいる。中核園を中心とした保育園の集まりや、地域ネットワークの会議などに参加して地域の現状について理解を深め、保育向上リーダーを中心に、職員間で共有している。中核園事業を通して近隣園との関わりが増えており、職員交流を行っている。また、園長会・各種研修などを通して保育園をめぐる情報を収集し、職員へ伝え、日々の保育に役立てている。</p> <p>策定した計画は進捗状況に応じた見直しを行い、目標達成に向け取り組んでいる</p> <p>区では杉並区総合計画を策定している。園では、区の子ども家庭部保育課の組織目標を踏まえ、現状の課題を分析し、年度始めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。園の目標に沿って職員個々の目標を立て、組織目標の達成に一丸となって取り組んでいる。また、保育の実践に関しては、全体的な計画に基づいて年間指導計画などの保育計画を作成している。これらの計画については週・月・年間で取り組み状況を確認し、必要に応じて見直しを行いながら保育を進めている。</p> <p>保護者の要望や職員の提案などを園運営に活かしている</p> <p>年間・月間の指導計画を保護者と共有し、一緒に子どもの成長を育むことができるようにしている。年間を通して「要望・苦情ボックス」を玄関に設置しているほか、保護者会の懇談内容や個人面談、日頃の会話などからニーズを収集している。経営層は、職員に説明をし、意見を聞きながら、トップダウンではなく一人ひとりが園運営に携わっている意識を持てるようにしている。園に寄せられた情報については、職員全員が手に取ってすぐに見ることができるよう掲示や回覧などを行い、特に重要だと思われることに関しては全体の場で話して共有している。</p>		

3 カテゴリー3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

守るべき法・規範・倫理などが遵守されるように職員に周知している

園内の各会議や研修を含め、様々な機会を捉え、区立園の保育者、公務員として遵守すべき事項について、職員へ伝えている。会計年度任用職員には、ヒアリングや保育実践方針などにより、区立園で勤務する職員として遵守すべきことを定期的に伝えている。ほかにも、園長会での情報の報告や園のマニュアルなどに触れ、適宜伝え確認している。虐待防止については、職員会議や園内研修の中で、保育や保護者対応などについて定期的に振り返り、互いに留意し合えるようにしている。日々の保育での気づきは打ち合わせなどで共有し、迅速に対応している。

活動内容の開示や苦情解決方法の周知により、園の社会的責任を保護者に明確にしている

苦情解決制度を利用できることや保育園以外にも相談できる場が利用できることを、園内の掲示や入園説明会で保護者に伝えている。電話、送迎時の会話、玄関に設置している「要望・苦情ボックス」、個人面談などで把握した保護者の意向については、マニュアルの定めに沿って対応している。園長・主査に速やかに報連相を行い、昼ミーティングなどで他の職員も内容を共有している。日々の保育を伝えるため、貼り出し日誌を掲示している。保護者が自分の子ども以外のクラスの様子を知ることで、園の保育の理解へとつながっている。

地域ネットワーク内の共通の課題に協働して取り組んでいる

中核園事業のねらいや内容を理解して、積極的に地域貢献に取り組んでいる。地域の会議に参加することで、地域を理解し、地域施設との関係を深めている。在園児を含め、子どもの育ちを地域施設として継続して見守ることができている。地域の中での役割として、ふれあい保育の取り組みを活発にし、在宅で育児をしている親子の支援をしていく方針である。また、園庭開放のちらし「あそぼうタイム」を作成し、散歩先の公園で親子に声をかけ参加を呼びかけている。地域の保育園として、園を身近に感じてもらい、園の持つ力を地域に還元していく方針である。

4 カテゴリー4		
リスクマネジメント		
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー4の講評		
<p>避難訓練の計画策定と定期的な訓練の実施により災害に備えている</p> <p>杉並区として業務継続計画を策定している。災害等に備えマニュアルを備えている。避難訓練計画を作成し、月1回、火災・地震想定訓練を行っている。朝夕保育や土曜日などの職員体制の少ない場合などの様々な場面を想定し保護者にも協力を呼びかけている。訓練後は反省会を設け、次への改善につなげている。定期的に避難・防犯訓練を行い、都度振り返りを行い、リスク回避に努めている。他園で起きた事例については、必ず共有し自園の場合に置き換え同じようなことを起こさないよう仕組みづくりに努めている。</p> <p>危機管理マニュアルに則り必要なリスクマネジメントの対策を取っている</p> <p>日常的に起こるヒヤリハットや事故の報告を行い、対策を検討し全職員へ周知している。会計年度任用職員にも昼ミーティングでの報告など、情報を口頭で伝えて共有している。戸外活動のリスク管理として散歩届けを活用している。日付、行き先、時間などの基本情報のほか、印刷した地図には目的地と園との往復ルートを書き込むことができる。また、2つに分かれて行く場合も同じ紙面で確認できる形式にしている。帰路の変更の場合もすぐに書くことができる。災害などの緊急時対応の備えとしても、戸外の活動状況を容易に把握できる有効な取り組みである。</p> <p>各記録類の管理は、管理簿を活用しながら適切に取り扱っている</p> <p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。「情報セキュリティ基本方針」「情報セキュリティ対策基準(部外秘)」によりアクセス権などの設定をしている。また、保育課内では、情報セキュリティマネジメントにより情報の管理を行っている。個人情報となる各記録などについては、事務所の鍵のかかるキャビネットで保管している。各記録類の事務所からの持ち出しは、管理簿を活用して適切に取り扱っている。各種記録類は区が定めた保存期限に則り、適切に破棄・保管している。</p>		

5 職員と組織の能力向上			カテゴリ-5
			サブカテゴリ-1(5-1)
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
			サブカテゴリ-2(5-2)
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

区の決定を前提とし、園の状況を踏まえて、必要な人員の確保や配置を求めている

区として人材育成のための基本方針を定め、目指す職員像や育成の仕組みを明らかにし、園と連携を取りながら人材確保を行っている。採用後は配置園での指導のほか、研修を実施するなど、人材育成に努めている。異動や人員の配置なども、育成の方針や見直し、区内各園の状況などを総合的に勘案して行われている。園としての考え、個人の希望などのほか、配置された人材を含めた職員構成などをもとに、現状や見直しを踏まえて、担任や係・役割分担などを決定している。

組織が求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

区は、職員人材育成事業実施計画に基づき、人事課と保育課が各研修を実施するなど、人材育成と組織力向上に力を入れている。新任職員育成研修のほか、2、3年目の職員に経験者がついて保育実践の振り返りを行いつつ、長期的な育成に取り組んでいる。そのほか、経験年数や職層に応じて実務研修を実施している。研修などの達成度を確認し、係の目標シートを基に個人の目標申告シートを策定している。そして、面談により年末に進捗と成果を確認し、年度末に成果と課題を総括している。こうした仕組みにより、業務の遂行や能力の向上をサポートしている。

組織として様々な取り組みを通して、チームワークの促進に取り組んでいる

各係に分かれて話し合いを進め、課題を洗い出し、改善に取り組んでいる。主要な行事はプロジェクト形式をとり、取り組みの経過を職員会議で報告し、他の職員の意見も取り入れながら進めている。会議の議題に研修報告を入れ、研修内容を職場全体で共有している。必要に応じて資料を回覧し、周知している。ホワイトボードや園日誌などを活用して、検討課題を事前にまとめることで、会議の効率化やミーティング時間も短縮を図るなど、様々な工夫を重ねている。日頃からコミュニケーションを大事にし、些細なことでも言い合える関係作りに努めている。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

自分から遊びを見つけられない子どもが増えている現状を踏まえて、子どもが主体的にじっくり遊び込める環境の大切さを確認し、①一人ひとりがじっくり遊び込める環境を整えていくこと、②計画的に話し合いを進め、実践につなげていくこと、以上2点を中心に、クラス担任同士、室内・園庭環境係としても話し合いを進め、計画的に取り組んでいくことにした。
まず、毎月の各クラスの指導計画の検討の中で、環境構成での工夫や働きかけについて報告し合い、実践例を踏まえて振り返りをした。客観的に見た子どもの姿を通して保育について助言し合い、今後の保育に活かせるようにした。また、室内環境・園庭環境の話し合いの中で、遊具や魅力的な環境作りについて検討し、遊具の見直しや計画的な購入を確認した。
こうした取り組みを進めることで、環境設定が子どもの遊びの世界を広げる上で大切な役割を果たしていることを確認できた。また、こうした目標は、子どもの発達やその時の子どもや職員構成によって常に考えていかなければならないものであることを認識できた。今後も、指導計画の中で環境構成を重要な課題として位置づけ、試行錯誤しながらも細やかな工夫や対応を続けていくことにした。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

実践と検証を積み重ねていく中で課題を抽出している。そしてその解決に取り組む前に、取り組みの意義や重要性を職員全体で改めて確認している。改善・向上に向けた実践の中でも、この「確認」というステップをその都度大切に行っている。課題の解決、改善・向上に向けた実践などの取り組みを進めながら、随時職員の共通認識を確かなものとするこうした工夫が、保育内容の充実に向けた足取りを着実なものとしている。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

多忙な状況にあっても、「保育を語り合う時間をいかにして作っていくか」を課題として、その解決に取り組んできた。月に2回計画している指導計画の話し合いにおいて、紙面の発表ではなく保育についての話し合いを重点的に行えるようにした。また、園内研修でも、保育について語り合う時間を作った。少人数でグループを作り、相手の保育についての考え方を聞きながら自分の思いも伝えられるようにした。一つのテーマで深く話し合うことで、保育の共有ができた。

「語り合う時間を作る」という目的から始まった取り組みを通して、発信し合える経験から協力や連携が加速し、より風通しの良い雰囲気が出てきている。園としては、さらに一歩進めて、ワークライフバランスを考えた連携や、休憩時間の見直しに伴う時間管理などに課題意識を持っている。これまでの取り組みを踏まえて、様々な面を意識しながら、今後も継続して進めていく方針である。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

「保育を語り合う」という実践は、その一次的な目的を超えて、様々な面で良い波及効果をもたらしている。年齢や経験年数を問わず、それぞれが育ち合い、学び合う関係にもつながり、また風通しの良い職場環境にもつながり、そして相互に刺激し合い高め合う関係がひいては保育の質の向上につながっていく。さらに、より良い職場環境＝一人ひとりがより力を発揮できる環境作りにも発展していく。前向きで積極的な姿勢が、園全体の向上につながっている。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>区の公式ホームページや公式アプリなどで情報提供している 杉並区公式ホームページの「保幼(ぼよ)ナビ」や区の公式アプリケーション「すぎぼよ(保幼)」などにより、園の情報を発信している。区のホームページの施設案内では、園概要や行事、活動や行事などの取り組みを発信している。利用希望者に対し、園の情報や特色、活動内容が伝わりやすい記事作りを心掛けている。今後は、サービスの向上に向け、ニーズの把握や対応の確認をして、新たな要望に対応できるように体制を整えたり、職員に周知していくことを検討している。</p> <p>公立保育園として行政や関係機関と情報交換しながら連携を深めている 公立の施設として、区の主管課へ日々様々な報告を行い、園運営について連携を密にしている。園長は毎月区立保育園長会に参加して、行政から情報提供を受け、課題検討や情報交換をしている。主査は主査会、看護師や栄養士は専門職の会議に参加して、課題検討や情報交換をしている。また、関係各機関へ園の情報を提供し、連携を深めている。</p> <p>園見学は要望を聞きながら個別の状況に応じて対応している 利用希望者と日程を相談し、個別の状況に応じて要望を聞きながら見学を実施している。見学時には、園概要を配布して説明しながら園舎内を見学してもらっている。保育目標をはじめ、園庭には固定遊具や可動遊具があり、子どもが自分で考えて組み立てて遊べる環境があること、園が大事にしている保育などについて伝えて、質問に応じている。育児相談もっており、利用希望者に応じたサービスを提供している。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評		
入園説明会や面接により、入園に伴う疑問や不安の解消を図っている 入園説明会では、園のしおりに沿ってなれ保育のことや、登園にあたっての基本的なルールについて説明している。「堀ノ内保育園のご利用にあたって 重要なお知らせ」を使って、重要事項や個人情報の取り扱いについて説明し、同意書をもらっている。また、行事や保育で大切にしていること、苦情解決制度などについても説明している。年度途中に入園する場合には、その都度面接の際に同様の内容を伝えている。新入園児の保護者が、子どもの初めての集団生活の開始に伴う不安を軽減できるよう、丁寧に説明を行っている。		
保護者の状況や意向などに配慮して、なれ保育を実施している 入園開始直後は、子どもの不安やストレス軽減のために、1週間程度のなれ保育を実施している。入園前の面接時に就労状況などの保護者の意向を聞き、初日は親子一緒に過ごして食事を食べさせてもらい、2日目からは親子分離をして保育している。保護者には子どもの様子を詳細に伝え、子どもの慣れ具合や保護者の意向、希望、就労状況や職場復帰時期などを相談しながら進めている。できるだけ同じ職員が関わることで子どもや保護者との信頼関係を早めに築き、個々に合わせて進めることで、安心してもらえるようにしている。		
支援の継続性に配慮した支援を行い、子どもや保護者の不安を軽減している 卒園児の就学先へは「保育所児童保育要録」の写しを提出し、継続した支援をできるようにしている。就学を見据え、時期を決めて午睡をなくした生活リズムへ、年長児が無理なく移行できるようにしている。転園や退園する保護者には、その際、初めての環境に対して心配なことなどの有無について個別の相談に応じ、不安の軽減に努めている。保育終了時はスムーズな就学につながるよう、保護者会や面談などを通じて就学に向けた情報提供を行っている。卒園後、子どもへはがきを送り、どのように過ごしているか様子を聞くなど、つながりを持っている。		

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	13/13
3 個別状況に応じた計画策定・記録			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3の講評			
全体的な計画や子どもの様子を踏まえ、指導計画を策定している 入園前の健康診断や面接により、出生歴や成育歴、発育経過、既往歴、健康上の注意を把握している。入園後も日々子どもの様子を日誌や連絡帳を使って把握している。そして、全体的な計画を踏まえて、養護と教育の各領域を考慮して年度当初に担任間で話し合い、年間指導計画を立案している。また会議の場で各クラスの計画について全職員で共有している。その上で、保育目標を具体化する実践計画として年齢ごとに指導計画を作成し、子どもの様子を踏まえて定期的に会議で検討し、定められた手順に従って振り返りや見直しを行い、課題を明確にしている。			
子どもに対する適切な記録を行い、指導計画に活かしている 全体的な計画を基に年間指導計画を作成し、それらを踏まえ、指導計画は担任保育士が話し合い、個別の配慮のほかクラス全体の目標や活動への配慮、振り返りなどを検討する仕組みが整っている。乳児クラスは連絡帳に毎日記入し、幼児クラスは全体の様子を貼りだし日誌に記入し掲示している。各クラス週案や保育日誌に成長の様子や変化を継続的に記入している。乳児と特に配慮を要する子どもについては、個別の計画を作成し、幼児は適宜子どもの姿と配慮を作成している。			
子どもの理解を深めるために、職員間で情報を共有している 月間指導計画の検討会議を毎月行い、計画の内容や個別指導計画について保育を担当する職員全体で意見交換し、共有している。昼ミーティングでは、子ども・保護者に関する個別情報やアレルギー確認などのひとこと報告をしている。朝タノートを使い、朝夕当番時の申し送り・引き継ぎを行っている。定例会議では、ミーティングで出された討議事項の決定や情報共有をしている。参加できなかった場合はクラス代表から報告を受けている。子ども一人ひとりの特性を理解し気持ちに寄り添えるよう、計画の検討以外でも職員間で子どもについて話し合っている。			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>子どもに関する情報をやり取りする必要がある際は、保護者の同意を得ている 「杉並区立保育園保育実践方針」「杉並区保育実践の手引き」を活用して、年間・月間の指導計画の打ち合わせ時に、子どもを尊重する保育について確認・共有している。入園時には個人情報の取り扱いやプライバシーの保護、個人の尊厳の尊重について、慎重かつ丁寧に扱うことを説明し、保護者の同意を得ている。子どもとの関わり方や発達援助のため、巡回相談の心理専門職から指導を受けるなど、他機関と連携をとる際には、改めて保護者の同意を得てから行っている。</p> <p>子どものプライバシー保護を徹底している 児童憲章を掲示し、常に振り返りができるようにしている。言葉のかけ方や名前の呼び方など、子どもの人権を尊重した対応をしている。職員は、子どものプライバシーについて共通の認識を持ち、羞恥心に配慮してその都度状況を確認し、最善の方法を模索し実施している。幼児は、看護師による健康教育で「プライベートゾーン」について話を聞き、ラップタオルを使って体を隠しながら着替えるやり方を学んでいる。おむつ替えやシャワー時には衝立やカーテンなどを使用して、外部から見えないようにして、子どもの羞恥心へ配慮している。</p> <p>職員は虐待防止や育児困難家庭への支援について学び理解を深めている 児童憲章に目をとめ、どんなに小さい子どもでも人権があるということを職員全員が理解し、実践している。各家庭が様々な抱えている状況を踏まえ、価値観や生活習慣に配慮した保育を行うために職員全体で状況を共有し、同じように対応できるようにしている。虐待防止や育児困難家庭についての研修には職員が積極的に参加し、研修報告会を開いて成果を職員全体に還元し、理解を深められるようにしている。担任のみならず、朝夕保育の当番も含めた職員全体で、各家庭の抱えている状況に気を配り、全園児の変化を全職員で察知するよう努めている。</p>			

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー6の講評			
<p>区立園共通のマニュアル類を整備し、園独自の手引書も作成している</p> <p>「杉並区立保育園保育実践方針」「杉並区保育実践の手引き」は職員各自が持っている。「危機管理」「保健衛生」などの区立保育園共通マニュアルは事務室に置き、いつでも見ることができるようにしている。保育に関わる確認事項、保育中の緊急対応マニュアル(けが、病気・発熱、救急車要請が必要な場合)、防犯マニュアル、園庭遊びの約束事、当番保育士の動きと仕事内容、写真の取り扱いなどを綴り、必要な時にすぐ確認できるようにしている。最新情報は、より活用をしやすくするためにクリップボードを使い、すぐ目につくように工夫している。</p> <p>基本事項について定期的な点検のほか、必要な場合には随時検討し見直している</p> <p>提供しているサービスについて、年度末の年間反省において職員全体で点検・見直しをし、必要に応じて改変している。改変した事項については、職員全体で共有し、必要な場合は保護者会や園だよりを通じて保護者にも周知している。ヒヤリハットなどから必要が生じた場合は、年度末に限らずその都度点検・見直しをしている。保育関連の業務内容全般については、半期反省や年間反省を行い、必要に応じて見直している。短時間や一般など、多岐に渡る働き方がある会計年度任用職員への基本事項の周知徹底についても、引き続き取り組んでいく方針である。</p> <p>保護者や職員からの意見や提案は検討して見直し、サービスの質向上に努めている</p> <p>園マニュアルのほか、「危機管理マニュアル」「給食マニュアル」が整備されており、これらをもとにして業務の標準化を図っている。より良い保育の提供に向け、保護者や職員の意見、子どもの様子などから必要と判断したことは、すぐに見直し、改善している。職員個人からの自由な発想や気づき、保護者からの意見や要望も、必ず全職員に周知している。これらが必要に応じて検討して、業務改善に役立っている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	
		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	36/36
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目1の講評			
<p>子どもが主体的に周囲のものや人と関わりが持てる環境を工夫している</p> <p>入園当初の姿から連続性のある子どもの記録を基に、担任間の引継ぎを丁寧に行いながら保育を実施している。保育室や園庭の環境は、子どもが自分で興味を持ち、使いたいものや遊びたいものを選び、手に取って遊べるように考え工夫している。保育室は子どもの年齢発達や興味関心に合わせた玩具や教材などを子どもが自由に使って遊べるように設定している。園庭では可動遊具を取り入れ、子どもが自分で遊びたい物を選、じっくりと一人で遊んだり、友だちと関わりながら遊んだりできるようにしている。</p> <p>子どもの気持ちを尊重した対応を追求している</p> <p>発達の過程で生じる子ども同士のトラブルに対しては、子どもの気持ちを代弁し、双方の子どもの気持ちをくみ取り、寄り添っている。縦割りの交流や園庭での自然な交流を通して、世話をしたり、されたりすることの心地よさの中から、相手を知り、思いやる心が育っていきけるよう、保育士も仲立ちとなっている。気持ちを共有したり、相手の気持ちを伝えたり、気づけるような言葉がけをするなど、対応している。また、職員間で情報を共有し、日々の中で声を掛け合いながら、発達の過程で起こることや状況を保護者に伝え、理解を得るようにしている。</p> <p>子ども一人ひとりの発達に応じた保育と関係機関との連携や円滑な接続に配慮している</p> <p>特別な配慮を要する子どもの保育では、その子に寄り添い、人格を尊重し、必要に応じた人員配置をした上で保育を行っている。小集団で過ごすことでトラブルが起こらないよう工夫をしている。生活環境や個別配慮について職員間で相談し、個々の個性を認め、共通の対応をできるようにしている。年長児の保護者会では、小学校や児童館の職員から話を伺う機会を持っている。また、連携小学校との交流事業への参加、就学先の小学校への保育要録の提出、就学児の申し送りなどにより、円滑な接続に努めている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>子どもの生活が安定するよう保護者や職員間での情報共有を図っている</p> <p>登園時に前日の様子、顔色や体の状態を観察し、体調やけがについて保護者に確認している。体調による薬の使用の有無など、家庭での子どもの様子を聞きながら、受け入れを行っている。また、朝夕ノートを使い、職員間で情報を共有している。前日からの申し送りや受託時の保護者からの連絡事項は、当番職員が家庭の様子を保護者に確認し、それらを踏まえた対応につなげている。お迎えの際は、連絡帳やメモなどを使い、職員一人ひとりが情報共有の大切さを意識して確実に伝達を行い、保護者に子どもの様子を伝えている。</p> <p>生活の中での体験の積み重ねを通して、基本的な生活習慣の確立を援助している</p> <p>身の回りのことを自分で出来るようになるために、生活習慣の確立に関わる項目を年間・月間の各指導計画に位置づけ、年齢・発達に応じた援助を行うことで、生活を通じた習慣化を図っている。スプーンや箸の持ち方、排泄の自立のほか、生活に関わる様々な事項を発達に応じて繰り返し援助し、見守り、意識向上と自立に努めている。子どもの意思表示をしっかりと受け止め、個々の状態に合わせた対応を職員間で共有している。個々の発達の状態に応じ、基本的な生活習慣が身につくように、丁寧な関わりを心がけている。</p> <p>個々の発達の状態に応じて、基本的な生活習慣が身につくよう援助している</p> <p>保育者は子どもの状況を共有し、共通認識を持ち保育を行っている。午睡と休息は園で長時間過ごす生活において身体を休める時間として捉え、家庭での生活リズムやその日の体調などを考慮しながら必要な時間を確保し、個別に対応している。5歳児では、後半の午睡時間については、クラスの子どもの姿に合わせて期間や時間を決めている。寝つけない時や早く目を覚ましてしまう場合は、別室で過ごすなど、配慮している。基本的な生活習慣の獲得に向けた保育について、個人差をよく見極め、常に保護者と連携しながら成長を促す援助に努めている。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもの自主・自発性を尊重し豊かに遊び込める保育を実践している</p> <p>子どもが自発的・意欲的に関われるような環境設定を心掛け、子どもが主体的に遊べるようにすることを大切にしている。集団活動では、子どもが興味を持てるような誘い掛けをしながら、やりたくないという子に対しては、その意思を尊重し、友達の楽しんでいる姿を見たり、その活動を繰り返し経験できる機会を用意したりすることで、主体的に関われるまで待つようにしている。各年齢で子どもが自ら選択し、考え、決め、遊び込めるように、年度当初に担任間で話し合い、共通認識を持ちながら環境構成を整えている。</p> <p>大人との信頼関係のもと、子どもが安心して活動を楽しんでいる</p> <p>日頃から子どもの表情やしぐさを捉え、具体的な言葉に代えて対応するなど、言葉を引き出すことを大切にし、やり取りを楽しんでいる。子ども一人ひとりの年齢や発達、育ちに沿った表現方法を工夫し、環境を整備し、大人との信頼関係をもとに安心できる環境の下で、子どもがやり取りを楽しめるように関わっている。子どもの言葉に耳を傾け、会話を楽しんでいる。園庭では、マルチパーツ、ゴザ、タイヤなどの可動遊具を自由に使って遊んでいる。散歩に出かけて自然物に触れ、自然の中で遊ぶことで四季の自然や気象の変化を感じられるようにしている。</p> <p>生活や遊びを通して年齢発達に応じて、きまり等の大切さを経験している</p> <p>ルールのある遊びの中で、ルールを守ることで楽しく遊べる経験や友達と協力して作り上げる経験ができるようにしている。各年齢に応じたきまりやルールの大切さを生活や活動の中で無理なく経験できるように配慮して年間指導計画を立案し、保育の中でその都度援助や仲立ちを行っている。生活の流れを一定にして、子どもが見通しをもって生活できるようにしている。気持ちをコントロールできるように、思いを受け止め、見守るなど配慮している。子どもの姿を捉えて保育に反映しつつ、子どもが主体的に集団活動に関われるようにしている。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもの発想を実現できるように保育の活動を考え取り組んでいる</p> <p>各クラスでは、子どもの遊びが豊かになるよう、楽しいことや面白そうなことを保育に取り入れ、日々の保育の積み重ねの中で、子どもが意欲的に楽しんで取り組めるよう計画し、実践している。当日までの過程を大切に、子ども自身が見通しを持って取り組めるようにしている。職員は子どものやりたいことが実現できるように一緒に考え、援助している。皆で楽しめる活動へと展開する経験を重ねることで、次の活動への期待につながっている。</p> <p>行事の取り組みを保護者に伝え保育への理解や協力を得ている</p> <p>入園説明会で年間の行事を伝え、協力を依頼している。年度始めに年間行事予定を保護者に配布している。プロジェクトは早い時期にリーダーを決めて始動し、園全体でねらいや意義を共有しながら、昨年の反省を生かして進めている。行事の前には、おたよりなどを通して目的や意義を保護者に知らせ、理解と協力を得ている。取り組みの経過を日誌やおたよりで知らせ、親子で共有できるようにしている。</p> <p>行事の実施にあたり何を大事にしていくかを考え、ねらいや内容について検討している</p> <p>行事については、コロナ禍での対応や、これまで行ってきたことの中で良かったことを取り入れながら、行事ごとのプロジェクトで話し合い、職員全体で課題点を共有している。行事の実施にあたり、何を大事にしたいかを考え、各年齢で経験して欲しい内容を全職員で検討した。伝承行事についても年齢や時期によって無理なく経験できるように、対象クラスを絞って実施したり、乳児・幼児に分けて内容を変更して実施したりしている。職員は行事が子どもの経験を豊かにし、成長につながるよう考え取り組んでいる。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>保育時間の長い子どもが快適に過ごすことが出来るよう配慮している</p> <p>園で長時間過ごす子どもの視点に立ち、空間的にも様々な配慮をしている。朝夕保育の時間では、子どもが安心できるように、年度初めは可能な限り担任が当番に入るなど、配慮している。朝夕の会計年度任用職員も、同じ職員を配置している。保育時間が長くなると、気持ちが不安定になる場合もあるため、好きな遊びを楽しめるように、年齢に応じて使いたい遊具を子どもが選び取れる環境作りを心掛けていく。</p> <p>提供する活動内容は静と動のバランスを考え、環境を整えている</p> <p>家庭的な雰囲気の中、安心して自分のやりたい遊びが出来るようにコーナーを設け、身体を休めたり静かに過ごせる場を保障している。一日の園生活の中でも活動の静と動のバランスを考え、思い思いの活動をしながら、ゆったりと過ごせるよう工夫している。子どもの状況や遊びに合わせて、少人数に分かれて過ごすことができるようにし、遊びごとに環境を分け、じっくり遊べるように工夫し、落ち着いて過ごせるようにしたりするなど、様々に援助している。</p> <p>保育形態の変化がある中でも落ち着いて過ごせるようにしている</p> <p>子どもの様子を把握するため、しっかりと健康観察を行い、様子に合わせた保育を行っている。保護者への申し送りは、必ず確認して漏れのないように注意して対応している。保護者や担任からの連絡事項の引き継ぎは、朝夕ノートを使って徹底している。クラス保育から合流する時間については、子どもの状況や時期に応じて柔軟に対応している。異年齢児が同じ空間で過ごしても、安心して保護者の迎えを待つことができるような環境作りを心掛けている。</p>		

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

子どもが楽しく安心して食べることができるように配慮している

自園での調理なので、温かいものは温かいうちに、冷たいものは冷たいうちに提供している。みんなで楽しく食べる中で、食に対する興味や関心が深まり、意欲的に食べるようになっていく。体に合ったテーブルと椅子を用意して、決まった席で決まった時間に食べられるようにしている。乳児クラスは少人数に分け、時間差を付けるなどして、落ち着いて食べられる環境を作っている。全クラスで準備ができてから席に着く仕組みができていく。子どもが待つことなく、配食後すぐに食べられるように配慮している。

年齢や発達に合わせた栄養バランスの良い食事を提供している

区の栄養士が各園の意見を参考にして作成した統一献立に基づいて、園で調理し、子どもの成長に合わせて栄養バランスを考えた給食を提供している。落ち着いた雰囲気の中で食事ができるようにしている。毎日の給食の食材を貼り出し、食材に触れる経験を楽しんでいる。子どもが育てた野菜を調理してもらうことで、食への関心がさらに深まっている。また乳児期は味覚が過敏なので、子どもが嫌がる食べ物は無理に勧めず、保護者との連携を取り、子どもの食べ具合を確認しながら対応している。

安全・安心して楽しく食べることができる食事を提供している

メニューや味付けを工夫している。幼児の誕生日には同じメニューで盛り付けを工夫した誕生日プレートを提供し、行事には行事食を提供している。また、食物アレルギーや文化の違いがある場合は、生活管理指導票に沿って食事の提供を行っている。献立表や成分表のチェック項目についての保護者との確認、アレルギー会議での確認、前日のミーティングでの除去食についての確認を経て、マニュアルに則り、除去食や代替食を色のついたトレーで提供している。提供直前には担任と調理員とで口頭で確認し、誤食のないように努めている。

7 評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

子どもが健康や安全に関心を持てるように情報発信や指導を行っている

年間保健計画を作成して、年齢に応じ子どもが病気やけがに対する安全意識を高められるようにしている。自分の身体・健康・安全に興味を持てるように具体的な方法を計画に盛り込み、健康教育に取り組んでいる。看護師は幼児クラスを中心に視力測定・手洗いの仕方・プール前にはプライベートゾーンの話のわかりやすい教材を使用して、視覚的に伝えている。散歩やリズム遊びなどの体幹を鍛える活動を通して、大きなけがにつながらない体づくりをしている。また、乳幼児突然死症候群の正しい知識を知らせ、園では全クラス午睡チェックを行っている。

子どもが罹患しやすい感染症などの情報を随時保護者に周知している

毎月保健だよりを発行し、園の保健行事を伝えたり、季節や時期に応じた健康に関する情報を掲載している。薬については、区立園共通の対応として原則預からないが、慢性疾患などのために薬の使用が必要な場合には、保護者の代理として与薬することになっている。現在、与薬申込書を提出してもらい、抗けいれん剤を預かっている。園児の健康管理として毎月の身体測定、年2回の嘱託医による健康診断のほか、歯科健診、幼児対象の眼科・耳鼻科健診を実施している。嘱託医には感染症や園児の健康に関することを相談しアドバイスをもらっている。

保護者に安心を与えられるように子どもの健康維持に向けた取り組みを行っている

子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがの予防・防止できるように援助している。保育者は、常に安全を考え、散歩先での安全確認を実施し、固定遊具の使い方、散歩先の危険箇所、道の歩き方などの危険回避の方法を年齢に合わせて知らせ、子どもへの目配り・気配りなどを行っている。また、子どもの健康に関する保護者への情報提供や、感染症発生時の注意喚起もしている。病気やけがの対応には、園長(不在時は主査)、該当クラス職員で対応方法を共有し、保護者に安心感を与えられる誠実な対応を心掛けている。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目8の講評			
<p>保護者との信頼・協力関係作りを行っている 入園時に家庭連絡票を提出してもらい、就労や家庭の状況を把握している。保護者の就労や通勤時間などに合わせて、保育時間を決めている。家庭の事情によって急な変更の相談があった時は、可能な限り対応して支援している。子育てにおける個々の事情についても話をよく聴き、職員間で共有して支援を行っている。子どもの成長の喜びの共有、保護者の思いへの共感、日頃の密な連携などを通して、保護者が安心して子育てをすることができるよう支援している。</p> <p>保護者と子育ての共通認識を持てるような取り組みを行っている 保護者とのコミュニケーションを大切に、子育ての協力関係を築き、共通認識を深められるよう取り組んでいる。年に2回、各クラスの保護者会を実施している。コロナ禍にはできなかった懇談を再開し、保護者同士の交流の機会としている。個人面談では、園や家庭での子どもの様子について保護者と確認し、育ちを共に支えていくために今後の方針を共有している。また、父母の会が円滑に活動できるように協力(保護者会・入園説明会の中で時間を取る、お知らせの印刷など)している。</p> <p>子どもの発達や成長について保護者と共有できる取り組みを行っている 保護者が安心して子育てをできるように、常に保護者の声に耳を傾け必要に応じて向き合って話す機会を作り、日々の送迎時にも子どもの姿を伝えながら、保育者の思いを伝えるようにしている。保護者の事情にあわせ、保育参観や参加も機会を設けている。日々の保育の様子は、貼り出し日誌のほか、絵や写真なども使い、伝わりやすいように工夫している。保護者の要望については職員全員で話し合い、どの職員も同じように対応することを大切にしている。園の保育を理解してもらうことが、共有と信頼につながっている。</p>			
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(00)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評			
<p>地域資源を活用し、子どもが様々な体験や交流ができるようにしている 地域の協力の下、子どもは様々な体験をする機会を得ることができている。警察署員による交通安全教室や消防署員による災害訓練を実施している。博物館の昆虫展見学では、子どもの興味・関心を深めることができた。地域の区立公園は緑豊かで、散歩に出掛けて四季を感じながら遊んでいる。近隣の方とも自然に挨拶を交わし、触れ合う機会がある。</p> <p>地域との連携のもと、子どもの経験を広げる取り組みを行っている 中核園事業へ参加することを通じて、地域との繋がりが広がっている。園庭開放では、地域の他施設との子ども同士の交流を始めている。民間園への支援や職員交流の機会が増えたので、近隣園との関わりが広がっていると感じる。幼保小連携小学校との交流地域ネットワークが充実しているので、これから園は、積極的に地域の情報を収集して、連携を強化したいと考えている。特に小学校との計画的な交流の実施を働きかけ、近隣小学校との顔の見える関係づくりの継続を目指していく方針である。</p> <p>子育て支援事業を活発にして、地域の保育園として子育て支援に貢献していく コロナ禍で交流の機会が少なくなっていた時期を経て、できることが少しずつ増えてきている。ふれあい保育などの地域の子育て支援事業を活発にし、近隣親子が園に来て一緒に遊ぶ機会を増やしたいと考えている。取り組みを積極的に周知し、実際に、園を知ってもらい、実際に保育園を体験してもらうことで、地域の子育て支援に貢献したいと考えている。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもが遊び込めるような環境づくりに職員全員で取り組んでいる	
内容①	職員全員が、子どもにとっての環境を大事に考え、絶えず、より良くなるように工夫し続けている。室内外とも環境設定の大切さを職員が認識できており、年齢に合った玩具を計画的に購入したり集めたりすることができている。また、園庭環境の整備も行ったことで、子どもの遊びが広がるようになった。園内の様々なスペースを活用し、園庭・屋上も含め、遊ぶ環境が考えられている。人的環境も大切と確認しており、みんなで共有できている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	1-1-3	重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している
タイトル②	保育計画について情報を開示して、保護者へ分かりやすく伝えている	
内容②	保護者に対し、年間保育計画について保護者会で説明するだけでなく、全クラスの状況を一望できる玄関の掲示板にカリキュラムを掲示している。保育のねらいを知ることで、保育内容や取り組み、保育者の考えなどを知ってもらえるように発信している。クラスだよりも掲示して、保護者に見てもらおうことで、自分の子どもだけでなく、他クラスの様子も分かるようにしている。大きくなった姿を考え、「小さい頃はこんなこともあった」と思い出すことで、自分の子どもの成長を感じるきっかけにして、園の保育への関心を持ってもらうように働きかけている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	1-1-3	重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している
タイトル③	より良い保育の実現のため協力し合える職員関係を目指し取り組んでいる	
内容③	職員のチームワークが良く、子どものために良い保育をしたいという思いがある。職員全員が、子どもにとっての環境を大事に考え、より良くなるよう絶えず工夫し続けている。子どもの発達をしっかりと捉え、子ども自身が自ら発見したり工夫したりする中で、室内、園庭係を中心に夢中になって遊べる環境を整えている。保育を進めていく上で、他クラスの職員と協力し合える風通しの良い雰囲気がある。職員全体に全クラスの保育を考えていこうという意識がある。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	様々な方法で情報発信しながら家庭と園が一緒に子育てをする「共育て」に取り組んでいる
	内容	保護者が安心して子育てをすることができるように、日々の保育の様子は、貼り出し日誌のほか、絵や写真などを使ったドキュメンテーションを活用して、伝わりやすく工夫して発信している。保育者はそれぞれ得意を活かし、内容を工夫して構成し、タイムリーな情報の発信に努めている。保育日誌、連絡帳も子どもの姿のピンポイントを捉えたり、前後の様子に触れ経過が分かるようにしたり、様子がより分かるように書かれている。保護者に子どもの姿を伝え、成長と一緒に喜ぶ保育者の思いと共育てへの熱意と姿勢が保護者にも伝わる取り組みができています。
2	タイトル	保育を語り合い学び合い保育の質の向上を目指し、取り組んでいる
	内容	向上リーダーを中心に、園の課題などを職員全員で考え、学んでいこうとする姿勢があり、互いの保育に協力し、アドバイスし合える関係ができています。園内研修や指導計画の検討の場を通して子どもの姿を捉え、「子どもにとって」大切にしたいものについて、それぞれの思いや意見を出し合った。その際に保育者自身も環境であり、求められる考え方、言葉、立ち振る舞いなどについてを改めて考えた。そのことにより、保育の意味や互いに課題に感じていることを理解し合い、保育の質の向上を考え、より良い方向を目指すという共通認識を持つことができた。
3	タイトル	書類などの閲覧がしやすい工夫をしていることで、効率よく確実に情報共有ができています
	内容	記録や周知文書について、情報の優先度や重要度によって分類し、管理を工夫して活用しやすい仕組みを実践している。最新のをピックアップして、クリップボードを活用して事務室内の所定の場所に置き、活用している。探しやすい、取り出しやすい管理方法になっている。期間が過ぎたり周知が済んだりしたものは、ファイリングして指定のキャビネットへ移動して保管して、後から見返すこともできるようにしている。内容によってチェックも行い、閲覧を確認できるようにしているので、未確認の場合に声を掛け促すこともできる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	日頃から保護者とのコミュニケーションを取り信頼関係構築に努め、子どもの育ちを共有していく
	内容	日頃より保護者を知り、コミュニケーションを取りやすいように、登園時に園長や職員も声を掛けながら対応している。保護者の話から子どものこと、子育ての悩み、保護者自身のことなど職員が傾聴し、子育て支援につなげていく。子どもの健やかな成長を支え、保護者と共に育みながら、子どもの姿を丁寧に伝え保護者と共有して行くことができるように取り組むことを課題と考えている。
2	タイトル	地域のニーズにもとづき、園としてできることを考え地域貢献に取り組む
	内容	中核園事業について職員の意識が高まっている。自園でできる活動を進め、保育向上リーダーを中心に情報共有を促進している。ふれあい保育を再開し、園庭開放への参加者を増やし、地域福祉のニーズを把握して力を入れていきたい。外の掲示板へのお知らせ掲示のほかに、散歩の際にチラシを持参して地域親子に配っている。近隣園や他施設との交流についてもどのように広げていけるのかを考えながら、地域貢献について取り組むことを課題としている。
3	タイトル	職員の一人ひとりの保育の力を高め、組織力の向上に取り組む
	内容	職員は、担当するクラスの保育に責任を持ち、日々懸命に子どもと向き合い、健やかな成長を支えるべく取り組んでいる。園全体として捉えると、職員はクラス内で力を発揮する存在であるのみならず、個々の強みを発揮して、クラスを越えて好影響を与えうる存在でもある。つまり、他クラスへの助言などを含め、全体を意識した行動をとる存在でもある。一人ひとりが広い視野を持ち、全体に目を向け、園全体を意識して行動していけるよう、取り組んでいくことを課題としている。

成
田

3.成田保育園

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

2024 年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 156-0043

所在地 東京都世田谷区松原3-38-16-107

評価機関名 株式会社 にほんの福祉ネット

認証評価機関番号

機構 06 - 168

電話番号 03-6379-5156

代表者氏名 岩下 敦史

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	岩下 敦史	福祉、経営	H2101100
	②	高田 富美子	福祉、経営	H2101111
	③	笠井 昌子	福祉、経営	H2201084
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	成田保育園			
事業所連絡先	〒	174-0064		
	所在地	東京都杉並区成田西一丁目28番18号		
	TEL	03-3315-6272		
事業所代表者氏名	相澤 朗子			
契約日	2023 年 7 月 5 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023 年 8 月 28 日			
利用者調査結果報告日	2023 年 11 月 13 日			
自己評価の調査票配付日	2023 年 8 月 28 日			
自己評価結果報告日	2023 年 10 月 23 日			
訪問調査日	2023 年 11 月 20 日			
評価合議日	2024 年 1 月 10 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	区担当者との打ち合わせにより全体の流れ、留意事項の確認を行った。その後、各園にて事前説明を行い、オンライン形式での利用者調査や紙媒体での職員アンケートの実施方法について説明を行った。訪問調査前には当日の訪問者、タイムスケジュール、確認予定の書類について案内した。訪問調査では施設見学もあわせて行い、実態の把握に努めた。合議では、訪問者2名と他の1名、事務局により内容の精査・修正を行った。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2024 年 月 日

事業者代表者氏名 相澤 朗子

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>①自己肯定感を育て、好きなことに夢中になれる子どもが育つための保育士の関わりと環境作り ②主体的に遊ぶ中で、いろいろな体の使い方を経験し、自分の身を守る体づくり ③四季の移り変わり感じる感性を育て、身近な動植物に関心を持ち大切にする ④保護者が安心して子どもを預け、相談しやすい頼れる保育園 ⑤中核園事業、地域のネットワークなど地域に開かれた保育園作り</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>（1）職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ディスカッションが活発にでき、自分の持ち味、得意分野を存分に発揮できる。 ・互いに思いやりを持ちながらクラスを越え助けあえる。 ・保護者の気持ちに寄り添いながら子育てを支えられる存在。 <p>（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育のプロとしての自覚を持ち、自己研磨に励み、個々の学びを園全体の学びに広げ、一人ひとりの保育力の向上が園全体の大きな力になるという意識を持ち職務に臨んで欲しい。

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢1人を対象として実施世帯数を絞り、調査対象者に対し実施。

調査方法

ウェブ回答システムを活用。機関が作成したQR記載の案内を事業所を通して各家庭に配布。各家庭においてそれを読み込んだ上で、個別に匿名で回答。

利用者総数

87

利用者家族総数(世帯)

77

共通評価項目による調査対象者数

77

共通評価項目による調査の有効回答者数

53

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

68.8

利用者調査全体のコメント

<総合的な満足度>

「満足」68%、「まあまあ満足」26%、計94%という満足度が示された。

<調査結果の講評について>

・肯定的な評価(「はい」との回答)が全体に占める割合についてのみ、記述した。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	51	2	0	0
回答者の96%が「はい」と回答した				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	50	2	1	0
回答者の94%が「はい」と回答した				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	46	6	0	1
回答者の87%が「はい」と回答した				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	37	13	3	0
回答者の70%が「はい」と回答した				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	49	2	0	2
回答者の92%が「はい」と回答した				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	44	6	2	1
回答者の83%が「はい」と回答した				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	38	12	3	0
回答者の72%が「はい」と回答した				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	45	6	2	0
回答者の85%が「はい」と回答した				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	51	2	0	0
回答者の96%が「はい」と回答した				
10. 職員の接遇・態度は適切か	49	4	0	0
回答者の92%が「はい」と回答した				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	48	4	1	0
回答者の91%が「はい」と回答した				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	35	13	0	5
回答者の66%が「はい」と回答した				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	47	5	0	1
回答者の89%が「はい」と回答した				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	43	4	0	6
回答者の81%が「はい」と回答した				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	41	12	0	0
回答者の77%が「はい」と回答した				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	43	6	0	4
回答者の81%が「はい」と回答した				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	29	10	9	5
回答者の55%が「はい」と回答した				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/>非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <input type="radio"/>非該当
	カテゴリ1の講評	
	園が目指していることについて職員や利用者にわかるように周知している 園目標・保育目標を事務室や玄関に掲示し、職員会議で目指すべき方向性を職員に伝えるとともに、これらに則った保育の実践に取り組んでいる。保護者には、保育理念・保育方針・保育目標を記載した園のしおりを配布し、園の目指している保育について入園説明会で説明している。また、重要事項については、入園説明会を通して周知している。そのほか、園だよりにも園目標や保育目標などの園で大切にしていることを記載して、保護者に伝えている。	
	経営層は自らの役割と責任を明確にして職員へ伝え、リーダーシップを発揮している 園長・主査はそれぞれの年間計画を立て、目標や取り組み課題を職員へ伝えている。園長・主査・保育の向上リーダーを、当園の保育の質向上を図るための5本柱として位置づけている。保育の向上リーダーは、区内各園の保育の向上リーダーが参集する会議に参加し、より良い保育に向けて横断的に情報を交換し、自園での実践の参考にしている。また、園内研修の企画・実施などにリーダーシップを発揮している。重要な案件や課題についてはトップダウンを避け、経営層(向上リーダー含む)がよく話し合い、明確な方向性を示し、一致して取り組んでいる。	
	重要案件の検討や決定のより良い仕組みづくりを目指し取り組んでいく 園の重要案件は、職員会議で検討・決定している。会議に参加できなかった職員には、議事録を回覧し情報共有の徹底を図っている。毎日の昼ミーティングでは、各クラスの日常で必要となる確認事項について、共有している。各会議では議題を集約し、優先度や時間を予め振り分け、事前準備をして臨むようにしている。ホワイトボードを利用した全体の把握や、提案したい議題を書き込める用紙を備えている。引き続き、こうした仕組みの十分な活用やその定着に取り組んでいく方針である。	

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>「中核園」として、地域の保育ニーズや課題について情報交換をしている</p> <p>区では、保育の質の向上を目指し各地域に「中核園」を指定し取り組んでいる。当園は中核園の指定を受け、様々な取り組みを通して地域の保育所間の連携や情報共有の促進に取り組んでいる。中核園事業の地域懇談会で各施設長と情報交換をし、日頃から顔の見える連携に努めている。地域の児童館・保健所・小中学校・図書館などが参画する地域の子育てネットワークに参加し、地域のニーズや情報を得ている。また、中核園だよりを発行し、園長会・各種研修への参加などからも保育園をめぐる情報を収集し、職員へ伝えて、日々の保育に役立てている。</p> <p>策定した計画は進捗状況に応じた見直しを行い、目標達成に向け取り組んでいる</p> <p>区は杉並区総合計画を策定している。園は、区の子ども家庭部保育課の組織目標を踏まえ、現状の課題を分析し、年度始めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。会議で話し合いたいことについてアンケートを行い、職員の意見を把握している。職員は、園目標を基に個々の目標を立て、組織目標達成に向けて取り組んでいる。また、保育の実践に関しては、全体的な計画に基づいて年間指導計画などの保育計画を作成している。これらの計画については週・月・年間で取り組み状況を確認し、必要に応じて見直しを行いながら保育を進めている。</p> <p>保護者の要望や職員の提案などを園運営に活かしている</p> <p>保護者については、保護者会の懇談内容から要望を把握し、個人面談や日頃の会話からニーズを把握している。職員には個別のヒアリングを実施し、また、主査や向上リーダーから現在の情報を把握し、それらの結果を運営に反映している。子どもの発達に合わせた保育を進めるために、毎月の指導計画を、ねらい、エピソード(活動)、振り返り(考察)が書ける形式へ変更したことで、各クラスの保育の意図や次月の目標がよく伝わるようになった。今後も、エピソードの書き方を学び、子どもの姿がより分かるものとなるようにしていく方針である。</p>		

3 カテゴリー3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

守るべき法・規範・倫理などが遵守されるように職員に周知している

園内の各会議や研修を含め、様々な機会を捉え、区立園の保育者、公務員として遵守すべき事項について、職員へ伝えている。会計年度任用職員には、ヒアリングや保育実践方針などにより、区立園で勤務する職員として遵守すべきことを定期的に伝えている。ほかにも、園長会での情報の報告や園のマニュアルなどに触れ、適宜伝え確認している。日々の保育での気づきは指導計画の検討や打ち合わせなどで共有・検討し、迅速に対応している。虐待防止については、セルフチェックリストの活用や事例討議を通して、より良い保育について考える機会としている。

活動内容の開示や苦情解決方法の周知により、園の社会的責任を保護者に明確にしている

苦情解決制度を利用できることや保育園以外にも相談できる場の利用があることを、園内の掲示や入園児説明会で保護者に伝えている。電話、送迎時や個人面談などで把握した保護者の意向については、マニュアルの定めに沿って対応している。園長・主査への報連相を迅速に行い、昼ミーティングで他の職員にも内容を共有している。保護者へ日々の保育を伝えるため、貼り出し日誌を掲示し、園だよりでは「毎月のねらい」を掲載するなど、わかりやすく伝えている。また、近隣小中学校からの職場体験の依頼を受け入れ、地域との関係作りにも取り組んでいる。

地域の福祉ニーズを把握しながら中核園として各事業に参画している

中核園事業の役割を意識し地域貢献に取り組んでいる。近隣小学校の地域子育てネットワークに属し、中核園事業の地域連絡会にも参画している。地域子育てネットワークに積極的に参加して、乳幼児期の子どもに関する専門的な知識を地域に還元できるよう取り組んでいる。園庭開放へ他園から遊びに来たり、5歳児の交流を行ったり、職員交流への参加も多く、中核園としての期待を実感している。地域の子育てを支える施設としてできることを職員と確認しながら進め、開かれた保育園として、地域の拠点として力を発揮していく方針である。

4 カテゴリー4		
リスクマネジメント		
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー4の講評		
<p>避難訓練の計画策定と定期的な訓練の実施により、災害に備えている</p> <p>杉並区として業務継続計画を策定している。災害対策のマニュアルも備えている。避難訓練計画を作成し、火災や地震を想定した訓練を毎月行っている。朝夕保育や土曜日などの職員体制の少ない場合や様々な場面を想定して実施している。訓練後は反省会を設け、次への改善につなげている。ヒヤリハットや事故の報告を日々行い、対策を検討している。今後は、ヒヤリハットを別紙に記録し、リスク対応の向上にすぐに活用できるようにしていく方針である。そのほか、避難・防犯訓練をマニュアルに沿って定期的に行い、危機管理の充実に取り組んでいる。</p> <p>必要なリスクマネジメントの対策を備え、実行している</p> <p>年度当初に園の室内外の安全対策や環境などを確認し、危機管理マニュアルをもとにリスクへの対策を講じている。園内は室内園庭環境プロジェクトチームを中心に安全点検や改善・見直しを行い、危険箇所については施設整備の相談をして改善を図っている。また、園内の感染対策を行い、感染拡大防止に努めている。引き続き、実情に合わせて消毒や注意喚起、情報掲示などの対策を行っていく方針である。対応に必要な情報の管理については、保管・管理がしやすいように手順をスリム化した。職員一人ひとりの気付きを都度、発信して共有できている。</p> <p>各記録類の管理は、管理簿を活用しながら適切に取り扱っている</p> <p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。「情報セキュリティ対策基準」によりアクセス権などを設定している。個人情報となる各記録などについては、事務所の鍵のかかるキャビネットで保管している。各記録類の事務所からの持ち出しは、管理簿を活用しながら適切に取り扱っている。各種記録類は区が定めた保存期限に則り、適切に破棄・保管している。</p>		

5 職員と組織の能力向上			カテゴリ-5
サブカテゴリ-1(5-1)			
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)			
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

区の決定を前提とし、園の状況を踏まえて、必要な人員の確保や配置を求めている

区として人材育成のための基本方針を定め、目指す職員像や育成の仕組みを明らかにし、園と連携を取りながら人材確保を行っている。採用後は配置園での指導のほか、研修を実施するなど、人材育成に努めている。異動や人員の配置なども、育成の方針や見直し、区内各園の状況などを総合的に勘案して行われている。園としての考え、個人の希望などのほか、配置された人材を含めた職員構成などをもとに、現状や見直しを踏まえて、担任や係・役割分担などを決定している。

組織が求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

区は、職員人材育成事業実施計画に基づき、人事課と保育課が各研修を実施するなど、人材育成と組織力向上に力を入れている。新任職員育成研修のほか、2、3年目の職員に経験者がついて保育実践の振り返りを行いつつ、長期的な育成に取り組んでいる。そのほか、経験年数や職層に応じて実務研修を実施している。研修などの達成度を確認し、係の目標シートを基に個人の目標申告シートを策定している。そして、面談により年末に進捗と成果を確認し、年度末に成果と課題を総括している。こうした仕組みにより、業務の遂行や能力の向上をサポートしている。

課題解決に向けて職員全体で工夫しながら取り組んでいる

5本柱(園長、主査、向上リーダー)を中心に、目標達成への取り組みや、職員の考えや思いを共有するための職員会議の内容の検討などを行っている。経営層は一人ひとりの思いを大切に、園の状況を把握し、職員同士、クラス同士(同フロア)がつながるような取り組みを実践してきたことで、隣のクラスの状況の把握が進んでいる。向上リーダーを中心に園内研修などの討議前に緊張をほぐし、意見交換を活発にするため、声の掛け合いやブレイクタイムを実施している。

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<p>評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>園舎の移転により、新たな環境でも変わらず子どもが安心して過ごせる場になること、また、保護者にとっても変わらず安心して預けられる園となる必要があった。そのため、職員一人ひとりの良いところを活かし、苦手なところをカバーし合えるチーム力を高めていくことを課題として設定した。特に、2階建て施設となったことで、組織内のコミュニケーションをより意識的にとっていく必要性も出てきたため、職員同士がじっくり話し、コミュニケーションが活発になるよう、少人数の会議を多く取り入れた。また、保育を進める中で気づいたことを共有し、その都度、職員間で話し合いながら業務の改善や環境の充実に取り組んできた。その結果、意見がより一層活発に出るようになり、職員一人ひとりの考えや意見を取り入れながら決められることが多くなった。今後も、様々な工夫により共通認識を促進し、また業務のスリム化なども図りつつ、引き続きチーム力の向上に取り組んでいく方針である。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input checked="" type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>移転による施設環境の変化は、子ども、保護者、職員に大きな影響を与えうる事態である。そうした中でも、まずは子どもと保護者の安心を第一に考え、そのために組織として一丸となることに優先的に着手したのは、個々の取り組みを確実なものにし、それにより子どもや保護者の不安の芽を摘む上で、正攻法といえる取り組みである。特に、異動により職員の入れ替わりがあった状況では、組織内の共通認識やコミュニケーションは、不可欠の要素である。こうした取り組みは、今後の園運営や保育実践を支えていく、大きな力となるものである。</p>	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

カテゴリー7、評価項目1で触れたように、新たな環境で保育を始めることになった。そのため、子どもや保護者の安心、またそのためのチーム力の向上に取り組んできた。こうした取り組みの中で特に重要なことは、共通認識の確立・促進である。具体的には、園目標の見直し・確認、「求める子ども像」の共有、そして、「目指したい園庭環境」に基づく話し合いである。園目標や求める子ども像などについては、職員各自がアイデアを出し合い、共通認識を持つことができた。園庭環境については、実践と振り返り、再実践を積み重ねている。今後も、実践を通して把握された課題の解決に取り組んでいくことを通じて、環境の充実に取り組んでいく方針である。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

新たな環境下での園運営・保育実践では、実際にやってみて、後からわかることも多い。そのため、園でも、細かな課題が生じるたびに、その解決に取り組んでいる。環境整備についても、子どもの動き、そして園目標とのつながりを意識しながら、実践を積み重ねている。こうした実践の積み重ねが当園の新たな保育のあり方を作り出していく。園目標に沿って、共通認識を持った職員集団が、子どもとの関わりを通して、着実な取り組みを進めている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>利用希望者に対して園の特徴を分かりやすく提供している 杉並区公式ホームページの「保幼(ぼよ)ナビ」や区の公式アプリケーション「すぎぼよ(保幼)」などにより、園の情報を発信している。区のホームページの施設案内では、園概要や行事、活動や行事などの取り組みを、写真を入れて発信している。園のしおりにはイラストも入れて、「園独自の活動」「手作りおもちゃいっぱい」「園庭遊びや散歩活動」の記事を載せている。利用希望者に対し、園の情報や特色、活動内容などが伝わりやすい構成を心掛けている。</p> <p>公立保育園として行政や関係機関と情報交換しながら連携を深めている 公立の施設として、区の主管課へ日々様々な報告を行い、園運営について連携を密にしている。園長は毎月区立保育園長会に参加して、行政から情報提供を受け、課題検討や情報交換をしている。主査は主査会、栄養士は専門職の会議に参加して、課題検討や情報交換をしている。また、中核園として地域懇談会や職員の交流など、様々な取り組みを実施してきた。中核園だよりの発行などを通して、情報共有の促進を図ってきた。各機関へ園の情報を提供しながら、連携を深めている。</p> <p>園見学は要望を聞きながら個別の状況に応じて対応している 利用希望者と随時日程調整をし、個別の状況に応じて要望を聞きながら、数名ずつまたは個別に見学を実施している。見学時には、園概要を配布して説明しながら、園舎内を見てもらっている。保育目標をはじめ、年齢ごとに工夫していること、園庭には固定遊具や可動遊具があり、子どもが自分で考えて組み立てて遊べる環境があること、園が大事にしている保育などについて説明し、質問にも応じている。育児相談も行っており、利用希望者に応じたサービスを提供している。</p>		

サブカテゴリ-2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評		
入園説明会や面接により、入園に伴う疑問や不安の解消を図っている 入園説明会では、園のしおりに沿ってなれ保育のこと、登園にあたっての基本的なルールなどを説明している。園のしおりを使って重要事項や個人情報の取り扱いについても説明し、同意書をもっている。また、園の行事や保育で大切にしていること、苦情解決制度などについても説明している。年度途中に入園する場合には、その都度面接の際に同様の内容を伝えている。新入園児の保護者が、子どもの初めての集団生活の開始に伴う不安を軽減できるよう、丁寧に説明を行っている。		
保護者の状況や意向などに配慮して、なれ保育を実施している 入園開始直後は、子どもの不安やストレス軽減のために、1週間程度のなれ保育を実施している。入園前の面接時に就労状況などの保護者の意向を聞き、初日は親子一緒に過ごして食事を食べさせてもらい、2日目からは親子分離をして保育している。保護者には子どもの様子を詳細に伝え、子どもの慣れ具合や保護者の意向、希望、就労状況や職場復帰時期などを相談しながら進めている。できるだけ同じ職員が関わることで子どもや保護者との信頼関係を早めに築き、個々に合わせて進めることで、安心してもらえるようにしている。		
支援の継続性に配慮した支援を行い、子どもや保護者の不安を軽減している 卒園児の就学先へは「保育所児童保育要録」の写しを提出し、継続した支援ができるようにしている。就学を見据え、時期を決めて午睡をなくした生活リズムへ、年長児が無理なく移行できるようにしている。転園や退園する保護者には、その際、初めての環境に対して心配なことなどの有無について個別の相談に応じ、不安の軽減に努めている。保育終了時はスムーズな就学につながるよう、小学校に事前に約束を取り、担任が訪問し、顔を合わせ引き継ぎを行えるようにしている。		

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	13/13
3	個別状況に応じた計画策定・記録		
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-3の講評			
全体的な計画や子どもの様子を踏まえ、指導計画を策定している 入園前の健康診断や面接により、出生歴や成育歴、発育経過、既往歴、健康上の注意を把握している。入園後も日々子どもの様子を日誌や連絡帳を使って把握している。そして、全体的な計画を踏まえて、養護と教育の各領域を考慮して年度当初に担任間で話し合い、年間指導計画を立案している。また会議の場で各クラスの計画について全職員で共有している。その上で、保育目標を具体化する実践計画として年齢ごとに指導計画を作成し、子どもの様子を踏まえて定期的に会議で検討し、定められた手順に従って振り返りや見直しを行い、課題を明確にしている。 子どもの姿やクラスの状況などを担任同士で振り返り、次の指導計画を作成している 全体的な計画を基に年間指導計画を作成し、それらを踏まえ、担任間でクラスの状況や子どもの実態を振り返り、月間指導計画を作成している。月のねらいを決め、養護と教育の各領域の主な活動、援助・配慮、環境構成などの内容で立案している。乳児と特別な配慮を要する子どもについては個別の計画を作成し、幼児は適宜子どもの姿と配慮についてまとめている。前期保護者会では、クラスの目標や年齢・発達に応じた子どもの姿などを伝えて、年間指導計画について説明している。園だよりには月のねらいを掲載し、貼り出し日誌で日々の様子を伝えている。 子どもの理解を深めるために職員間で情報を共有している 指導計画について検討する会議を毎月設けている。クラス運営や子どもの状況などの質疑応答、課題検討をし、職員間で共有している。そのほかにも、子どもに関する情報共有のために、各種会議を開催している。昼ミーティングを毎日行い、午前中の保育を含め、子どもや保護者関係の連絡、翌日の体制や行事の確認、アレルギー確認などを行っている。定例職員会議では、会議の報告や行事の内容も検討・反省などを行っている。そのほか、夜会議や幼児・乳児打ち合わせ、アレルギー会議、園内研修などを実施している。			

サブカテゴリー5		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー5の講評			
<p>子どもに関する情報をやり取りする必要がある際は、保護者の同意を得ている 「杉並区立保育園保育実践方針」「杉並区保育実践の手引き」を活用して、年間・月間の指導計画の打ち合わせ時に、子どもを尊重する保育について確認・共有している。入園時には個人情報の取り扱いやプライバシーの保護、個人の尊厳の尊重について、慎重かつ丁寧に扱うことを説明し、保護者の同意を得ている。子どもとの関わり方や発達援助のため、巡回相談の心理専門職から指導を受けるなど、他機関と連携をとる際には、改めて保護者の同意を得てから行っている。</p> <p>子どものプライバシー保護に職員は徹底して取り組んでいる 子どものプライバシーについて職員は共通の認識を持ち、羞恥心に配慮した保育を行っている。乳児のおむつ替えは、遊ぶスペースから視覚を遮られるようにコーナーを作っている。幼児は、応援看護師による健康教育で「プライベートゾーン」について話を聞き、タオルを身体に巻いて着替えるなど、人前に裸の姿を晒すことのないような着替えの仕方を学んでいる。また、乳児連絡帳や健康カードなどの個人情報が含まれるものは必ず手渡しとし、保護者と確認して確実に渡している。</p> <p>職員は虐待防止や育児困難家庭への支援について学び理解を深めている 各家庭が様々な抱えている状況を踏まえ、価値観や生活習慣に配慮した保育を行うために職員全体で状況を共有し、同じように対応できるようにしている。虐待防止や育児困難家庭についての研修には職員が積極的に参加し、研修報告会を開いて成果を職員全体に還元し、理解を深められるようにしている。担任のみならず、朝夕保育の当番も含めた職員全体で、各家庭の抱えている状況に気を配り、全園児の変化を全職員で察知するよう努めている。</p>			

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー6の講評			
<p>区立園共通のマニュアル類を整備し、園独自の手引書も作成している</p> <p>区立保育園共通の「杉並区立保育園保育実践方針」「杉並区保育実践の手引き」は職員各自が持っている。「危機管理」「保健衛生」などの区立保育園共通マニュアルは事務室の棚に置き、いつでも見ることができるようにしている。園独自の手引書「成田保育園運営マニュアル」には、保育に関わる確認事項、保育中の緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、園庭遊びの約束事、当番保育士の動きと仕事内容、写真の取り扱いについてなどを綴り、必要な時にすぐ確認できるようにしている。</p> <p>基本事項について定期的な点検のほか、必要な場合には随時検討し見直している</p> <p>提供しているサービスについて、年度末の年間反省において職員全体で点検・見直しをし、必要に応じて改変している。改変した事項については、職員全体で共有し、必要な場合は保護者会や園だよりを通じて保護者にも周知している。ヒヤリハットなどから必要が生じた場合は、年度末に限らずその都度点検・見直しをしている。保育関連の業務内容全般については、半期反省や年間反省を行い、必要に応じて見直している。短時間や一般など、多岐に渡る働き方がある会計年度任用職員への基本事項の周知徹底についても、引き続き取り組んでいく方針である。</p> <p>保護者や職員からの意見や提案は検討して見直し、サービスの質の向上に努めている</p> <p>園舎の移動や職員の異動に伴い、これまでの保育や行事、日々の約束事などを改めて検証している。より良い保育の提供に向けて、保護者や職員の意見、子どもの様子などから必要と判断したこと、職員の自由な発想や気づき、保護者の意見や要望なども、必ず全職員に周知し、必要に応じて検討している。保育サービスにあたる部分は変革に応じて見直し事項を周知し、業務にあたっている。今後も、職員が感じたことや保護者の声を大事にして、サービスの向上を目指していく方針である。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ4	
		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	36/36
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(000000)	
	評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目1の講評			
<p>子どもが主体的に周囲のものや人と関わりを持てる環境を工夫している</p> <p>園庭プロジェクト・室内プロジェクトを立ち上げ、子どもが生活しやすく、主体的に遊べる環境作りを心掛けている。保育室や園庭の環境は、子どもが自分で興味を持ち、使いたいものや遊びたいものを選び、手に取って遊べるように考え、工夫している。保育室は子どもの年齢・発達や興味・関心に合わせた玩具や教材などを、自由に使って遊べるように設定している。園庭では可動遊具を取り入れ、自分で遊びたい物を選び、じっくりと一人で遊んだり、友だちと関わりながら遊んだりできるようにしている。</p> <p>子どもの気持ちを尊重した対応を追求している</p> <p>発達の過程で生じる子ども同士のトラブルに対しては、子どもの気持ちを代弁し、双方の子どもの気持ちをくみ取り、寄り添っている。縦割りの交流や園庭での自然な交流を通して、世話をしたりされたりすることの心地よさの中から、相手を知り、思いやる心が育っていきけるよう、保育士も仲立ちとなっている。気持ちを共有したり、相手の気持ちを伝えたり、気づけるような言葉がけをするなど、対応している。また、職員間で情報を共有し、日々の中で声を掛け合いながら、一人ひとりが安心して安全に過ごせるように保育を実践している。</p> <p>子ども一人ひとりの発達に応じた保育と関係機関との連携や円滑な接続に配慮している</p> <p>特別な配慮を要する子どもの保育では、その子に寄り添い、人格を尊重し、必要に応じた人員配置をした上で保育を行っている。生活環境や個別配慮について職員間で相談し、個々の個性を認め、共通の対応をできるようにしている。一人ひとりを尊重した保育を行うと共に、クラスの一員・仲間であることを意識し、保育していくことを心掛け実践している。また、就学に向けた保護者の不安を和らげることを目的に、保護者会で小学校の先生から入学当初の話をしてもらうなどの取り組みもやっている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>子どもの生活が安定するよう、保護者や職員間での情報共有を図っている</p> <p>登園時に前日の様子、顔色や体の状態を観察し、体調やけがについて保護者に確認している。体調により薬の使用の有無など、家庭での子どもの様子を聞きながら、受け入れをしている。また、視診表を使い職員間で情報を共有している。前日からの申し送りや受託時の保護者からの連絡事項は、当番職員が家庭の様子を保護者に確認し、漏れないように対応している。お迎えの際は、職員一人ひとりが情報共有の大切さを意識して確実に伝達を行い、子どもの様子を保護者に伝えている。</p> <p>生活の中での体験の積み重ねを通して、基本的な生活習慣の確立を援助している</p> <p>身の回りのことを自分で出来るようになるために、生活習慣の確立に関わる項目を年間・月間の各指導計画に位置づけ、年齢・発達に応じた援助を行うことで、生活を通じた習慣化を図っている。スプーンや箸の持ち方、排泄の自立のほか、生活に関わる様々な事項を発達に応じて繰り返し援助し、見守り、意識向上と自立に努めている。子どもの意思表示をしっかりと受け止め、個々の状態に合わせた対応を職員間で共有している。個々の発達の状態に応じ、基本的な生活習慣が身につくように、丁寧な関わりを心掛けている。</p> <p>個々の発達の状態に応じて、基本的な生活習慣が身につくよう援助している</p> <p>保育者は子どもの状況を共有し、共通認識を持ち保育を行っている。午睡と休息は園で長時間過ごす生活において身体を休める時間として捉え、家庭での生活リズムやその日の体調などを考慮しながら必要な時間を確保し、個別に対応している。5歳児では、後半の午睡時間については、クラスの子どもの姿に合わせて期間や時間を決めている。寝つけない時や早く目を覚ましてしまう場合は、別室で過ごすなど、配慮している。基本的な生活習慣の獲得に向けた保育について、個人差をよく見極め、常に保護者と連携しながら成長を促す援助に努めている。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもの自主・自発性を尊重し、豊かに遊び込める保育を実践している</p> <p>子どもが主体的に遊び、集中して遊び込めるように環境を整えている。子どもが自発的・意欲的に関われるような環境設定を心掛け、一人ひとりの特性を理解し、自信を持てるよう工夫している。子どもがやりたい気持ちを大切に、個々の状況を観察しながら活動を進めている。子どもが興味を持てるように誘い、気持ちや伝えたいことをしっかりと受け止め、やり取りを楽しめるように言葉にして返している。子ども同士のやり取りをできるだけ見守りながら、伝わりにくい時には保育者が代弁し、思いや気持ちを伝えるなど、援助をしている。</p> <p>大人との信頼関係のもと、自然に触れながら子どもが安心して活動を楽しんでいる</p> <p>子ども一人ひとりの発達や育ちを的確に捉え、環境を整備している。職員は子どもが安心してやり取りを楽しめるように見守っている。乳児と幼児が自然に関わりを持ちながら安全に遊べるように考え、緩やかにスペース分けた園庭では、可動遊具を自由に使って遊んでいる。子どもの選択肢が広がるように、興味に合わせて泥だんご作りなどの新しい遊びの提案や展開を考えている。散歩の際は季節の移り変わりを感じられるような場所を選び、花見や、ドングリ拾いなどのバックを用意して楽しむなど、季節を感じられる視点を取り入れている。</p> <p>各領域に即した取り組みを行う中で、年齢に応じてきまり等の大切さを経験している</p> <p>年齢に応じたきまりやルール大切さを、生活や活動の中で無理なく経験できるように配慮して年間指導計画を立案し、保育の中でその都度援助や仲立ちを行っている。生活や遊びの中で乳児の頃からその場に応じた振る舞いやルールなどを知らせている。幼児になると集団も大きくなり、取り組みの中で自分の気持ちを調節するなど、取り組み経験しながら、一人ひとりの状況に合わせた伝え方を配慮し、家庭とも共有している。気持ちをコントロールできるように思いを受け止め、見守りなど配慮しながら、子どもが主体的に集団活動に関わるようにしている。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもが興味や関心を持った活動が広がり、皆で楽しめる取り組みになっている</p> <p>子どもの状況に合わせ、日々の保育の中で子どもと一緒に考え、話し合いをして意見をくみ取り、計画を立てて取り組んでいる。特に5歳児を中心に子どもと話し合いをし、どのようなことをしたいか、何を頑張りたいかなどを聞き、クラスの皆で決めている。そして、年齢ごとの取り組みの過程を大切に、達成感を持ち、楽しめるような行事を実施している。職員は、子どもがやりたいことを実現できるように一緒に考え、援助してきた。クラスの取り組みが、いつの間にか皆で楽しめる活動へと展開する経験を重ね、楽しさを味わうことができている。</p> <p>保護者の協力のもと行事へ取り組み、保育の継承につなげている</p> <p>年度始めに年間行事予定を保護者に配布している。行事への取り組みは、子ども一人ひとりの成長や一人ひとりの力が発揮されるように、職員同士で話し合いながら進めている。また、子どもが互いの良さを知り、達成感を感じられるように取り組んでいる。クラスだよりや貼りだし日誌を通して、取り組みの様子を保護者に知らせている。家庭での話題作りのきっかけにもなっている。職員も楽しみながら行う中で経験のある職員に相談し、年齢ごとの取り組みに対し職員皆で話し合うなど、保育の継承ができるようにしていく方針である。</p> <p>行事の実施にあたり何を大事にしていくかを考え、ねらいや内容について検討している</p> <p>コロナ禍の対応や行ってきたことの中で、良かったことを取り入れながら、行事ごとのプロジェクトで話し合い、職員全体で課題点を共有している。行事の実施にあたり、何を大事にしたいかを考え、各年齢で経験して欲しい内容を全職員で検討した。伝承行事についても年齢や時期によって無理なく経験できるように、対象クラスを絞って実施したり、乳児・幼児に分けて内容を変更して実施したりしている。職員は行事が子どもの経験を豊かにし、成長につながるように考え取り組んでいる。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>保育時間の長い子どもが快適に過ごすことが出来るよう配慮している</p> <p>長時間園で過ごす子どもの視点に立ち、空間的にも様々な配慮をしている。朝夕保育の時間では、子どもが安心できるように、年度初めは可能な限り担任が入るなど配慮している。朝夕の会計年度任用職員も同じ職員を配置している。保育時間が長くなると、気持ちが不安定になる子どももいるため、好きな遊びを楽しめるように、年齢に応じて使いたい遊具を子どもが選び取れる環境作りを心掛けている。</p> <p>提供する活動内容は静と動のバランスを考え、環境を整えている</p> <p>家庭的な雰囲気の中、安心して自分のやりたい遊びが出来るようにコーナーを設け、身体を休めたり静かに過ごせたりする場を保障している。一日の園生活の中でも活動の静と動のバランスを考え、思い思いの活動をしながら、ゆったりと過ごせるよう工夫している。子どもの状況や遊びに合わせて、少人数に分かれて過ごすことができるようにし、室内の環境設定を変えたり、遊びごとに環境を分けたり、じっくり遊べるように工夫し落ち着いて過ごせるようにするなど、様々な援助している。</p> <p>保育形態の変化がある中でも、落ち着いて過ごせるようにしている</p> <p>子どもの様子を把握するため、しっかりと健康観察を行い、様子に合わせた保育を行っている。保護者への申し送りは、必ず確認して漏れないように注意して対応している。保護者や担任からの連絡事項の引き継ぎは、視診簿を使って徹底している。クラス保育から合流する時間については、子どもの状況や時期に応じて柔軟に対応している。異年齢児が同じ空間で過ごしても、安心して保護者の迎えを待つことができるような環境作りを心掛けている。</p>		

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

子どもが安心して楽しく食べることができるよう、園全体で取り組んでいる

子どもの成長に合わせて、栄養バランスを考えた給食の提供を行い、落ち着いた雰囲気の中で食事ができるようにしている。乳児は個々の体に合うように調整された椅子に座り、緩やかな担当制をとり、同じ大人と一緒に食べるように配慮している。乳児期は味覚が過敏なので子どもが嫌がる食べ物は無理に勧めず、家庭と給食との間で形態に差がないように、保護者との連携を重視している。栄養士は喫食の様子を見ながら、今後も食育の取り組みを広げて、子どもの食への関心をさらに高めていきたいと考えている。

年齢や発達に合わせた栄養バランスの良い食事を提供している

野菜を栽培し、収穫した食材を調理員に調理してもらい、皆でおいしく食べる経験をしている。季節ごとの食材の栽培を通して、子どもが食事に興味・関心を持ったり、食材に触れたり臭いなどを五感で感じたりする環境作りをしている。ラップを使ったおにぎり作りなども取り入れている。年長児の当番が、その日の献立の食材を廊下にある三色群のボードに貼り、子どもが食への興味・関心を持てるようにしている。地域の畑に芋ほりに出かけ、栽培物の相談などを通して、食に関心を持ち、交流を持てる取り組みも行っている。

安全・安心して楽しく食べることができる食事を提供している

メニューや味付けを工夫している。幼児の誕生日には同じメニューで盛り付けを工夫した誕生日プレート、季節の行事には行事食を、提供している。食物アレルギーや文化の違いがある場合は、生活管理指導票に沿って食事の提供を行っている。献立表や成分表のチェック項目について保護者との確認、アレルギー会議での確認、前日のミーティングでの除去食についての確認を経て、マニュアルに則り、除去食や代替食を色のついたトレーで提供している。提供直前には担任と調理員とで口頭で確認し、誤食のないように努めている。

7 評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

子どもが健康や安全に関心を持てるように、情報発信や指導を行っている

年間保健計画を作成し、年齢に応じ子どもが病気やけがに対する安全意識を高められるようにしている。自分の身体・健康・安全に興味を持てるように具体的な方法を計画に盛り込み、健康教育に取り組んでいる。応援看護師は幼児クラスを中心に視力測定・手洗いの仕方を知らせ、プール前にはプライベートゾーンの話子どもにわかりやすい教材を使用し、視覚的に伝えている。子どもが健康や体に関心を持ち、大切さを知ることができるように取り組んでいる。

子どもが罹患しやすい感染症などの情報を、随時保護者に周知している

応援看護師からの保健日より、季節や時期に応じた健康・保健に関する情報を知らせている。薬の与薬については区立園共通の対応として原則、預からないが、慢性疾患等のために薬の使用が必要な場合には保護者の代理として与薬することとしている。園児の健康管理として毎月の身体測定、嘱託医による健康診断、歯科健診、幼児対象の眼科・耳鼻科健診を実施している。嘱託医には感染症や園児の健康に関する情報を共有し、アドバイスをもらっている。また、乳幼児突然死症候群の正しい知識を知らせ、園では全クラス午睡チェックを行なっている。

子どもの健康維持に向けた取り組みを行っている

子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがの予防・防止できるように援助している。保育者は、常に安全を考え、散歩先での安全確認を実施し、固定遊具の使い方、散歩先の危険箇所、道の歩き方などの危険回避の方法を年齢に合わせて知らせ、子どもへの目配り・気配りなどを行っている。また、子どもの健康に関する保護者への情報提供や、感染症発生時の注意喚起もしている。病気やけがの対応には、園長(不在時は主査)、該当クラス職員で対応方法を共有し、保護者に安心感を与えられる誠実な対応を心掛けている。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		○非該当
評価項目8の講評			
<p>保護者との信頼・協力関係作りを行っている 入園時に家庭連絡票を提出してもらい、就労や家庭の状況を把握している。保護者の就労や通勤時間などに合わせて、保育時間を決めている。家庭の事情によって急な変更の相談があった時は、可能な限り対応して支援している。子育てにおける個々の事情についても話をよく聴き、職員間で共有して支援を行っている。子どもの成長の喜びの共有、保護者の思いへの共感、日頃の密な連携などを通して、保護者が安心して子育てをすることができるよう支援している。</p> <p>保護者と子育ての共通認識を持てるような取り組みを行っている 保護者とのコミュニケーションを大切に、子育ての協力関係を築き、共通認識を深められるよう取り組んでいる。年に2回、各クラスの保護者会を実施している。コロナ禍にはできなかった懇談を再開し、保護者同士の交流の機会としている。共通の悩みやテーマで懇談をする中で、保護者同士が良きアドバイスをもらってほっとしたり、同じ悩みを共有したりするなど、皆で支え合う雰囲気ができている。個人面談では、園や家庭での子どもの様子について保護者と確認し、子どもの育ちを共に支えていくために今後の方針を共有している。</p> <p>子どもの発達や成長について、保護者と共有できる取り組みを行っている 保護者が安心して子育てをできるように、常に保護者の声に耳を傾け、必要に応じて向き合って話す機会を作り、日々の送迎時にも子どもの姿を伝えながら、保育者の思いを伝えるようにしている。個人面談や保育参観、参加を通して、限られた時間の中でも子どもの姿を共有できるよう、保護者に働きかけている。保護者の要望については職員全員で話し合い、どの職員も同じように対応することを大切にしている。園の保育を理解してもらうことが、共有と信頼につながるかと考えている。</p>			
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(00)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		○非該当
評価項目9の講評			
<p>園の取り組みに地域の人参加を呼びかけ、関わる機会を確保している 園庭開放を今年度から再開している。近隣にお住まいの家庭保育の親子を対象に、ふれあい保育を実施している。ふれあい保育は、園児と一緒に遊び、費用を負担すれば給食を提供できるなど、園での生活・活動を体験できる取り組みである。来園した地域親子が園児と一緒に遊び、関わることで、保育者の遊びや子どもとの関わり方を見て、乳幼児の発達への理解を助ける子育て支援の一部も担っている。</p> <p>地域との連携のもと子どもの経験を広げる取り組みを行っている 今年度から中核園事業として、地域とのつながりを広げる取り組みが始まっている。園庭開放を通して地域にある他の保育施設と子ども同士の交流を始めており、今後は散歩先での交流活動へとつなげたいと考えている。また、子どもは普段から近隣の公園に出かけ、自然に触れて戸外遊びを楽しんでいる。散歩先の公園で出会う近隣の方々との挨拶など、まず職員から行き、園を知って親しみを持ってもらい、地域に根ざした保育園になれるよう心掛けている。近隣の畑を利用して芋ほりの経験をさせてもらい、子どもの経験を広げる取り組みができている。</p> <p>地域と連携しながら地域資源を活用した取り組みを行っている コロナ禍で地域とのつながりが一時途切れてしまった時期を経て、今年度から再開し、行事のお知らせや交流などにも取り組みを始めた。また、昨年度4月に現在の場所に移転したこともあり、併設施設との交流などが始まっている。園舎が移動したことにより小学校との連携については改めて構築する必要があり、連絡を取りながら進めているところである。地域との信頼関係を作りながら、子どもの生活の幅を広げる工夫を行っていく方針である。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもが主体的に生活し、「明日も来たい」と思えるような保育に取り組んでいる	
内容①	「子どもがどんな風に遊びたいと思っているのか」を考え、皆で遊べる、皆が遊びたい環境や身体を動かして遊べる園庭を作るため、職員は室内園庭環境プロジェクトに取り組んでいる。子どもが興味・関心を持って示すアイデアを保育者がキャッチし、子どもの声を実現できるように、日々の活動を工夫し遊びが広がっている。新園舎の園庭の広さ、空間の変化、戸外へ出る動線を考え、乳児と幼児の動き方や遊びへの興味を踏まえて可動遊具を取り入れ、穏やかにスペースを分けて遊べるようにしたことで、自然に異年齢同士の交流が生まれている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	2-2-2	着実な計画の実行に取り組んでいる
タイトル②	職員の協力のもと、会議の持ち方を考え、工夫しながら取り組んでいる	
内容②	園舎の移転、異動による職員の入れ替えなどの大きな変化があり、職員が同じ方向を向いて園運営に取り組むためには早急な取り組みが必要であると考え、会議の持ち方を再考した。事前準備や会議自体の時間確保も難しかったため、意見集約の方法として要件や検討課題を事務所に掲示し、付箋で事前に各人の意見を募る手法を取り入れた。書いて発信することに対する職員の受け止め方は前向きで、協力的ですぐに行動に移っていた。紙面上である程度討議内容の絞り込みができるなど、皆で集まるのが難しい状況を補うひとつの方法として、成果を上げていく。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル③	職員一人ひとりの保育への思いや意欲が、チームワークの促進に活かされている	
内容③	今年度から中核園として地域の保育向上の役割を担っている。各々職員は中核園のねらいや活動内容を理解して、園の果たすべき子育て支援の役割について意識しながら、日々保育を行っている。何事も「皆で取り組もう」という気持ちのある職員が多く、職員間のコミュニケーションが良い。職員の年齢や経験のバランスも良く、互いに協力して園運営に関わることができている。経営層はよく話し合い、職員一人ひとりが「保育が楽しい」と思えることこそが子どもの人的環境として求められており、職員が意欲的に保育に臨めることを大事に考えている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	主体的に遊べる環境作りにより、自由な遊び、自然な交流が生まれている
	内容	環境プロジェクトを立ち上げ、子どもが生活しやすく、主体的に遊べる環境作りに取り組んでいる。新園舎になってから、園庭での乳児と幼児の遊び方や、保育室から外へ出る動線を改めて考え、乳児が外に出てすぐ遊べる砂場を目の前に作った。ごご、タイヤ、マルチパーツなどを使い、自由に遊ぶスペースを緩やかに分けたことで、危険なく自然に異年齢同士の交流が生まれている。子どもの姿を踏まえ、また成長の見通しに立った取り組みが、子どもの豊かな経験を支えている。
2	タイトル	子どもの自主性や自発性を大事にして、遊び込めるような保育の工夫をしている
	内容	子どもは様々な活動を通して表現を楽しむことを経験し、自分で考えたり、アイデアを出したり、やってみたいことを見つけたりして発信している。それを保育者が聞き取り、子どもの思いに寄り添いながら、「やりたい」という思いを実現するように日々の保育を考え、展開している。一人ひとりの個性や子ども同士のつながりを大切に、小集団での活動で自信を持てるよう個々の状況を観察し、配慮や工夫をしている。子どもの遊びや生活が、自主性を持って豊かに行えるように、職員一人ひとりが意識を持って保育を行っている。
3	タイトル	職員一人ひとりが保育の楽しさを感じ、より良い保育への気概を持ち取り組んでいる
	内容	職員が保育を楽しんでいると感じ、意欲的に取り組めるような環境作りを目指してきた。皆で話し合っていてやっつけようという気持ちのある職員が多く、連携が取りやすい。職員一人ひとりの向上心が保育に対する姿勢の様々な場面で感じられ、協力し合える人間関係がある。園の保育を良くしたいという気持ちを持ち、クラスを越えて保育の話ができることで、他クラスのことで子どもの様子が把握しやすい環境がある。経営層のリーダーシップのもと、個人の考えや、やりたいことを伝えられる職場環境があり、やりがいを感じながら取り組んでいる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保育の理解をさらに深めるため、職員が語り合う時間を工夫して作っていく
	内容	会議の持ち方を工夫したことで、意見が出しやすくなり、会議自体の変化に一定の手応えを感じている。その一方で、子どもの姿や保育についてじっくりと語り合う時間を、今以上に確保していく必要性を感じている。全職員が一同に会することが難しい現状にあっては、例えば、集まりやすい少人数で話す時間を設ける、紙面を上手く活用して情報共有や意見交換を行うことなども方法として考えられる。限られた時間の中でどのようにして時間を創出・確保していくか、今後も工夫を重ねていくことを課題としている。
2	タイトル	地域の施設や利用者との交流を深め、子育て支援につなげ、中核園として地域の拠点となるように取り組みを進めていく
	内容	今年度から阿佐谷地域の中核園として職員や園児の交流、園庭開放などを中心に可能な範囲で取り組んできた。地域懇談会や交流を通して情報をスムーズに共有し、自園の保育に活かせることも増えている。また、中核園としての取り組みに対する職員の意識にも変化が表れている。中核園は、保育の質の確保を図るため、地域における保育施設間の連携・情報共有の促進など、保育内容の向上に向けた役割が期待される存在である。こうした役割を果たしていくために、まずは地域に対する情報発信の工夫、保育施設間の連携などを進めていくことを課題としている。
3	タイトル	今後も引き続き、保護者とのコミュニケーションを重ね、信頼関係の構築に努め、子どもの育ちを共有していく
	内容	日頃から保護者とのコミュニケーションを図り、子どものこと、子育ての悩み、保護者自身のことなどについて耳を傾け支援につなげている。また、年間指導計画の配布に加え、園だよりには、「毎月のねらい」を各クラスが分かりやすい言葉で載せている。引き続き園の強みや保育のねらい、子どもの普段の姿を伝え保護者の声を聞いて保育に活かしていく。また、生活の経験の中で子どもがたくさんのことを学んでいるということも知ってもらうことで、保育に対する保護者の関心を高め、共に子育てを進めていく関係を強固にしていくことを課題としている。

4.本天沼保育園

本
天
沼

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

2024 年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 156-0043

所在地 東京都世田谷区松原3-38-16-107

評価機関名 株式会社 にほんの福祉ネット

認証評価機関番号

機構 06 - 168

電話番号 03-6379-5156

代表者氏名 岩下 敦史

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	岩下 敦史	福祉、経営	H2101100
	②	高田 富美子	福祉、経営	H2101111
	③	笠井 昌子	福祉、経営	H2201084
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	本天沼保育園			
事業所連絡先	〒	167-0031		
	所在地	東京都杉並区本天沼三丁目34番35号		
	TEL	03- 3395- 3802		
事業所代表者氏名	儘田 美由紀			
契約日	2023 年 7 月 5 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023 年 8 月 10 日			
利用者調査結果報告日	2023 年 10 月 26 日			
自己評価の調査票配付日	2023 年 8 月 10 日			
自己評価結果報告日	2023 年 9 月 29 日			
訪問調査日	2023 年 11 月 2 日			
評価合議日	2024 年 1 月 21 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	区担当者との打ち合わせにより全体の流れ、留意事項の確認を行った。その後、各園にて事前説明を行い、オンライン形式での利用者調査や紙媒体での職員アンケートの実施方法について説明を行った。訪問調査前には当日の訪問者、タイムスケジュール、確認予定の書類について案内した。訪問調査では施設見学もあわせて行い、実態の把握に努めた。合議では、訪問者2名と他の1名、事務局により内容の精査・修正を行った。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2024 年 月 日

事業者代表者氏名 儘田 美由紀

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの生きる力の基礎を育み、豊かな心と丈夫な体をつくる。 ・様々な経験を通して、人との関わり方や生きる力を育む。 ・子どもの気持ちに寄り添い、自己肯定感を育む。 ・保護者との信頼関係を築き、情報共有しながら子育てを行う。 ・いろいろな物事に興味関心を示し、自ら関わり自分なりに考えて行動できる環境作りに努める。
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>（1）職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育に楽しさ、おもしろさを見出せる、意欲を持っている。かつ専門知識を生かし、日々の保育を工夫し、組み立てられること。 ・子どもに安心を与えられる笑顔、言葉を持っていること。 ・子どものスペシャリストとして、保護者の話に耳を傾け、一緒に子育てをするパートナーのような存在になること。 <p>（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの人権を守り、個性を認め、個別対応や保護者支援を行えること。 ・公務員の原則、「全体の奉仕者」として、区民の福祉向上のために誠実かつ公正に仕事を進めること。

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢1人を対象として実施世帯数を絞り、調査対象者に対し実施。

調査方法

ウェブ回答システムを活用。機関が作成したQR記載の案内を事業所を通して各家庭に配布。各家庭においてそれを読み込んだ上で、個別に匿名で回答。

利用者総数

82

利用者家族総数(世帯)

74

共通評価項目による調査対象者数

74

共通評価項目による調査の有効回答者数

52

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

70.3

利用者調査全体のコメント

<総合的な満足度>

「満足」67%、「まあまあ満足」27%、計94%という満足度が示された。

<調査結果の講評について>

・肯定的な評価(「はい」との回答)が全体に占める割合についてのみ、記述した。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	51	1	0	0
回答者の98%が「はい」と回答した				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	46	5	1	0
回答者の88%が「はい」と回答した				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	46	5	1	0
回答者の88%が「はい」と回答した				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	43	5	3	1
回答者の83%が「はい」と回答した				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	40	3	2	7
回答者の77%が「はい」と回答した				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	42	9	1	0
回答者の81%が「はい」と回答した				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	35	14	2	1
回答者の67%が「はい」と回答した				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	46	4	2	0
回答者の88%が「はい」と回答した				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	44	8	0	0
回答者の85%が「はい」と回答した				
10. 職員の接遇・態度は適切か	48	4	0	0
回答者の92%が「はい」と回答した				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	46	5	1	0
回答者の88%が「はい」と回答した				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	38	7	3	4
回答者の73%が「はい」と回答した				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	47	5	0	0
回答者の90%が「はい」と回答した				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	40	9	0	3
回答者の77%が「はい」と回答した				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	42	7	3	0
回答者の81%が「はい」と回答した				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	36	9	3	4
回答者の69%が「はい」と回答した				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	23	15	11	3
回答者の44%が「はい」と回答した				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/>非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <input type="radio"/>非該当
	カテゴリ1の講評	
	園が目指していることについて職員や利用者にはわかるように周知している 園目標・保育目標を事務室や玄関に掲示し、職員会議で目指すべき方向性を職員に伝えるとともに、これらに則った保育の実践に取り組んでいる。保護者には、保育理念・保育方針・保育目標を記載した園のしおりを配布し、園の目指している保育について入園説明会で説明している。また、重要事項については、入園説明会を通して周知している。そのほか、園だよりにも、園目標や園で大切にしていることなどのほか、周知が必要な事項を記載して、保護者に伝えている。	
	経営層は自らの役割と責任を明確にして職員へ伝えリーダーシップを発揮している 園長・主査それぞれの年間計画を立て、目標や取り組み課題を職員へ伝えている。園長・主査・保育の向上リーダーが当園の保育の質向上を図るための5本柱と位置づけている。保育の向上リーダーは、区内各園の保育の向上リーダーが参集する会議に参加し、より良い保育に向け、横断的に情報交換し、自園での実践の参考にしている。また、園内研修の企画・実施などにリーダーシップを発揮している。重要な案件や課題については、経営層(向上リーダー含む)がよく話し合い、明確な方向性を示し、一致して取り組んでいる。	
	園の重要案件は職員会議で検討・決定している 園の重要案件は、職員会議で検討、決定している。当日、出席できなかった職員は、後で記録の確認をするなどはっきりと意識付けし情報共有の徹底を図っている。職員会議に加え、毎日、昼の体制打ち合わせを実施しており、各クラスからの確認事項、翌日の給食のアレルギーチェック、ヒヤリハットなどについて情報共有している。各会議では、議題の優先度や時間を予め振り分け事前準備をして臨んでいる。職員会議や各プロジェクトなどで、それぞれが意見を出しやすい環境がある。	

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>中核園事業に参加し、地域の保育ニーズや課題について情報交換している</p> <p>区では、地域で取り組む保育の質の向上を目指し各地域に「中核園」を指定し取り組んでいる。当園は中核園に指定されており、中核園だよりの発行や、様々な取り組みで地域の保育所間の連携や情報共有の促進に取り組んでいる。中核園事業の地域懇談会で各施設長と情報交換をし、顔の見える連携に努めている。地域の児童館・保健所・小中学校などが参画する地域の子育てネットワークに参加し、地域のニーズや情報を得ている。また園長会・各種研修への参加などからも保育園をめぐる情報を収集し、職員へ伝え日々の保育に役立てている。</p> <p>策定した計画は進捗状況に応じた見直しを行い、目標達成に向け取り組んでいる</p> <p>区は杉並区総合計画を策定している。園は、区の子ども家庭部保育課の組織目標を踏まえ、現状の課題を分析し年度始めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。職員は、園目標を基に「個人の目標申告シート」を策定し、個々の目標を立て組織目標達成に向け取り組んでいる。また、保育の実践に関しては、全体的な計画に基づき年間指導計画などの保育計画を作成している。全体の計画は年度末に振り返りを実施し、職員間で確認している。今後も定期的に見直しをして、必要に応じて修正し取り組んでいく方針である。</p> <p>保護者の要望や職員の提案などを園運営に活かしている</p> <p>保護者に対しては保護者会の懇談内容から要望を把握し、個人面談や日頃の会話からニーズを把握している。職員には個別のヒアリングを実施し、また、主査や向上リーダーから現在の情報を把握し、それらの結果を運営に反映している。職員の意見・提案・疑問などについては、昼ミーティングなどで検討し、園運営に活かしている。また、目標申告をもとに園長ヒアリングを行い、職員の要望や意見を園運営に活かすようにしている。園の目標についても半期に進捗状況を振り返り、後半の取り組みを確認している。</p>		

3 カテゴリー3		
経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

守るべき法・規範・倫理などが遵守されるように職員に周知している

園内の各会議や研修を含め様々な機会を捉え、区立園の保育者、公務員として遵守すべき事項についてを職員へ伝えている。会計年度任用職員には、ヒアリングや保育実践方針などからも区立園で勤務する職員として遵守すべきことを定期的に伝えている。ほかにも園長会での情報の報告や園のマニュアル等に触れ、適宜伝え確認している。日々の保育での気づきは指導計画の検討や打ち合わせなどで共有・検討し、迅速に対応している。虐待などの可能性に気づいたり情報を得た場合は、虐待対応マニュアルに従って速やかに関係機関と連携するなど対応している。

活動内容の開示や苦情解決方法の周知により、園の社会的責任を保護者に明確にしている

保護者には、苦情解決制度を利用できることや、保育園以外にも相談できる場の利用があることを園内の掲示や入園児説明会で伝えている。電話、送迎時や個人面談等での保護者からの意向については、マニュアルに沿い基本対応している。園長・主査へ速やかに報連相を行い、体制打ち合わせなどでほかの職員も内容を共有している。日々の保育を伝えるため、貼り出し日誌を掲示している。保護者が自分の子ども以外のクラスの様子を知ることが園の保育の理解へとつながっている。

地域ネットワーク内の共通の課題に協働して取り組んでいる

中核園事業の役割を意識し、地域貢献に取り組んでいる。近隣小学校の地域子育てネットワークに属し、中核園事業の地域連絡会にも参加している。地域子育てネットワークに積極的に参加して、乳幼児期の子どもに関する専門的な知識を地域に還元できるよう取り組んでいる。具体的には、児童館の子育て広場に保育士を派遣し、子育て中の親子に役立つ遊びなどについて話すなど、看護師や保育者が、園の持つ専門性を地域に還元している。

4 カテゴリー4		
リスクマネジメント		
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー4の講評		
<p>避難訓練の計画策定と定期的な訓練の実施により災害に備えている</p> <p>杉並区として業務継続計画を策定している。災害対策のマニュアルも備えている。避難訓練計画を作成し、火災や地震を想定した訓練を毎月行っている。朝夕保育や土曜日などの職員体制の少ない場合や、停電発生に備えて日が落ちてから行うなど、様々な場面を想定し実施している。朝夕の時間帯は、勤務中の職員が自身で判断できるように話し合っている。実施後は反省会を設け、次への改善につなげている。併設の児童館と連携した訓練も実施している。定期的に避難・防犯訓練を行い、その都度振り返りを行い、リスク回避に努めている。</p> <p>危機管理マニュアルに則り必要なリスクマネジメントの対策を取っている</p> <p>事故が起きた際は、事故報告書を作成し、事故発生時の様子を記録、分析し対応策を検討、全体へ周知すると共に再発防止に努めている。日常のヒヤリハットについても対策を検討し全職員で共有している。会計年度任用職員にも昼体制打ち合わせでの報告や虐待防止についてなど、保育に必要な各情報を伝えて共有している。事故に関する情報は危機管理マニュアルに則り、報連相を徹底し、すぐに全職員へ再発防止策を知らせている。また保護者にも知らせ、園としての再発防止策を明らかにし、リスクマネジメント対策をとっている。</p> <p>各記録類の管理は、管理簿を活用しながら適切に取り扱っている</p> <p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行いセキュリティーの保護に努めている。「情報セキュリティ基本方針」「情報セキュリティ対策基準(部外秘)」によりアクセス権などの設定をしている。個人情報となる各記録などについては、事務所の鍵のかかるキャビネットにて保管している。各記録類の事務所からの持ち出しは、管理簿を活用しながら必ず複数の目で確認し、適切に取り扱っている。各種記録類は区が定めた保存期限に則り、適切に破棄・保管している。</p>		

カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

区の決定を前提とし、園の状況を踏まえて、必要な人員の確保や配置を求めている

区として人材育成のための基本方針を定め、目指す職員像や育成の仕組みを明らかにし、園と連携を取りながら人材確保を行っている。採用後は配置園での指導のほか、研修を実施するなど、人材育成に努めている。異動や人員の配置なども、育成の方針や見直し、区内各園の状況などを総合的に勘案して行われている。園としての考え、個人の希望などのほか、配置された人材を含めた職員構成などをもとに、現状や見直しを踏まえて、担任や係・役割分担などを決定している。

組織が求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

区は、職員人材育成事業実施計画に基づき、人事課と保育課が各研修を実施するなど、人材育成と組織力向上に力を入れている。新任職員育成研修のほか、2、3年目の職員に経験者がついて保育実践の振り返りを行いつつ、長期的な育成に取り組んでいる。そのほか、経験年数や職層に応じて実務研修を実施している。研修などの達成度を確認し、係の目標シートを基に個人の目標申告シートを策定している。そして、面談により年末に進捗と成果を確認し、年度末に成果と課題を総括している。こうした仕組みにより、業務の遂行や能力の向上をサポートしている。

職員が意見を出し合い、学びを共有できる環境がある

日々のミーティングや職員会議、園内研修などで情報交換を行い、話し合いながら保育の向上に努めている。課題に気づいた職員が言葉にして提案する素地がある。意見交換し、お互いのことを理解して気持ちよく働けるようにしている。職員同士が集まり保育の話をしたり、遊び(カードゲームなど)を楽しんだり、人権の話をしたりと、会議とは違う雰囲気の中で職員が交流する時間を不定期に設けてきた。「良いところ探し」として、全員がそれぞれの良いところをメモにして渡すことで、自己肯定感が上がり仕事に対する励みにつながっている。

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
<p>「保育の向上は保育園の最大使命である」と考え、職員間で保育について学び合い、保育の向上を目指すことに改めて取り組むことにした。その一環として、保育の質の維持・向上を図るため、毎月のカリキュラムではテーマを決めて、継続的にグループ討議を行った。日々の保育については、子どもとの日常の関わりに直結するため、クラスでの子どもの話をする時間を多く持つことの大切さに改めて気がついた。また同時に、検討すべき課題が多く、決まったテーマで話し合うことが難しかった。乳児と幼児では、成長・発達や遊びへの興味・関心の幅も異なる。そのため、「今、話し合いたい課題」として注目していることや考えたいことがひとつになりにくい面があった。また、大きなテーマを掲げると討議まで掘り下げる難しさもあった。そこで、課題の選択や効果的な話し合いの持ち方について、改めて考え、学びを深めていく方針である。</p>	
目標の設定と取り組み	<input type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input checked="" type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評 設定した目標・課題の実現・解決に向けた実践を通して、一定の成果を上げつつ、さらに取り組みの過程から課題を抽出し、それらへの解決に取り組んでいる。より良い保育に向けて、使命感を持ち、継続して取り組むことで、創意工夫を生み、一つひとつの課題を解決していることが見て取れる。	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

業務の一環として「保護者との子育てを推進している」との思いから、子どもの成長を保護者と共有していく「子育て」についてさらに取り組むことにした。その一環として、保護者会や日頃の保護者とのコミュニケーションに加え、各クラスの保育の様子を貼り出し日誌や写真を活用したドキュメンテーション形式で発信し、子どもの姿を伝えてきた。また、コロナ禍では一堂に会して開催することができなかった保護者会を再開し、プロジェクターを取り入れて、日頃の活動の様子や子どもの姿を積極的に伝えてきた。さらに、指導計画のほかに「今年一年大事にしたいこと」について保育の説明をしてきた。保護者会の開催を通して、保育園での子どもの姿を共有、共感し、子育ての悩みを相談するきっかけになるなどの成果があった。また同時に、保育のねらいや保育者の思いの発信では、保護者の理解につながりにくい面も見受けられた。今後も引き続き、保育についてより関心を持ってもらえるように信頼関係を深め、また発信の方法も検討していく方針である。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

設定した目標・課題の実現・解決に向けた実践を通して、一定の成果を上げつつ、さらに取り組みの過程から課題を抽出し、それらへの解決に取り組んでいる。特に、保護者の理解に資する工夫を行いつつも、振り返りを通してさらに掘り下げ、今後の取り組みの方向性を打ち出している。改善・向上に向けた真摯な取り組みが見て取れる。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ1の講評			
<p>区の公式ホームページや公式アプリなどで情報提供している 杉並区公式ホームページの「保幼(ぼよ)ナビ」や区の公式アプリケーション「すぎぼよ(保幼)」などにより、園の情報を発信している。区のホームページの施設案内では、園概要や行事、活動や行事などの取り組みを発信している。利用希望者に対し、園の情報や特色、活動内容が伝わりやすい記事作りを心掛けている。</p> <p>公立保育園として行政や関係機関と情報交換しながら連携を深めている 公立の施設として、区の主管課へ日々様々な報告を行い、園運営について連携を密にしている。園長は毎月区立保育園長会に参加して、行政から情報提供を受け、課題検討や情報交換をしている。主査は主査会、看護師や栄養士は専門職の会議に参加して、課題検討や情報交換をしている。また、各機関へ園の情報を提供しながら、連携を深めている。</p> <p>園見学は要望を聞きながら個別の状況に応じて対応している 利用希望者の問い合わせを随時受け付けている。子どもの様子が分かる時間帯を勧め、個別の状況に合わせて見学対応をしている。電話での問い合わせにも対応している。見学時には園概要を配布して、説明しながら園舎内を見学してもらっている。保育目標を説明し、子どもが安心して好きな遊びを楽しめる環境があること、子どもを肯定的に受け止める丁寧な保育を行っていることなどを伝えている。見学時に合わせて育児相談なども受けている。</p>			

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評		
入園説明会や面接により、入園に伴う疑問や不安の解消を図っている 入園説明会では、園のしおりに沿って、なれ保育のことや、登園にあたっての基本的なルール、その他の重要事項について説明している。個人情報の取り扱いについては、説明した上で同意書をもっている。また、行事や保育で大切にしていること、苦情解決制度などについても説明している。年度途中に入園する場合には、その都度面接の際に同様の内容を伝えている。新入園児の保護者が、子どもの初めての集団生活の開始に伴う不安を軽減できるよう、丁寧に説明を行っている。		
保護者の状況や意向などに配慮して、なれ保育を実施している 入園開始直後は、子どもの不安やストレス軽減のために、1週間程度のなれ保育を実施している。入園前の面接時に就労状況などの保護者の意向を聞き、きめ細やかな対応に努めている。保護者には子どもの様子を詳細に伝え、子どもの慣れ具合や保護者の意向、希望、就労状況や職場復帰時期などを相談しながら進めている。できるだけ同じ職員が関わることで子どもや保護者との信頼関係を早めに築き、個々に合わせて進めることで、安心してもらえるようにしている。		
支援の継続性に配慮した支援を行い、子どもや保護者の不安を軽減している 保育終了時はスムーズな就学につながるよう、保護者会や面談などを通じて就学に向けた情報提供を行っている。就学を見据え、時期を決めて午睡をなくした生活リズムへ、年長児が無理なく移行できるようにしている。卒園児の就学先へは「保育所児童保育要録」の写しを提出し、継続した支援ができるようにしている。区内公立園への転園時には、児童票・健康カードの引き継ぎなどを行っている。転園や退園する保護者には、その際、初めての環境に対して心配なことなどの有無について個別の相談に応じ、不安の軽減に努めている。		

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	13/13
3 個別状況に応じた計画策定・記録			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引き継ぎ等を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3の講評			
全体的な計画や子どもの様子を踏まえ、指導計画を策定している 入園前の健康診断や面接により、出生歴や成育歴、発育経過、既往歴、健康上の注意を把握している。入園後も日々子どもの様子を日誌や連絡帳などから確認し、把握している。全体的な計画を踏まえて、年度当初に担任間で話し合い、養護と教育の各領域について記載した年間と月間の指導計画を立案している。幼児は指導計画の中に振り返り事例を記入し、検討時に他クラスからの助言をもらい、次月からの保育に活かしている。会議の場で各クラスの計画について全職員で共有し、課題提案を検討し、より良い保育へとつなげている。			
子どもに対する適切な記録を行い、指導計画に活かしている 各クラス子どもの状況を担任間で話をする時間を多く持ち、子どもの様子に応じた対応が迅速にできるようにしている。乳児クラス全員と障害児を含む配慮を必要とする子どもには、個別指導計画を作成している。そして、個別計画や成長の記録を作成し、指導計画検討会議時に報告し、職員全体で共有している。また、気になる子どもについても、月の子ども一人ひとりの様子を指導計画の作成時に振り返るようにしている。児童票には、年間を通して子どもの成長と援助してきたことを記載している。			
子どもの理解を深めるために指導計画や情報を共有している 検討会議を毎月行い、月間指導計画の内容や個別指導計画について、職員全体で意見交換し共有している。昼ミーティングでは、アレルギー関連の確認や、子どもの様子、引き継ぎ事項などの日々の保育に必要なことの報告など行っている。朝夕保育日誌を使い、朝夕当番時の申し送り・引き継ぎを行っている。定例会議では、ミーティングで出された討議事項の決定や情報共有をしている。参加できなかった場合は必ず報告を受けて確認している。			

サブカテゴリー5		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評			
<p>子どもに関する情報をやり取りする必要がある際は、保護者の同意を得ている 「杉並区立保育園保育実践方針」「杉並区保育実践の手引き」を活用して、年間・月間の指導計画の打ち合わせ時に、子どもを尊重する保育について確認・共有している。入園時には個人情報の取り扱いやプライバシーの保護、個人の尊厳の尊重について、慎重かつ丁寧に扱うことを説明し、保護者の同意を得ている。子どもとの関わり方や発達援助のため、巡回相談の心理専門職から指導を受けるなど、他機関と連携をとる際には、改めて保護者の同意を得てから行っている。</p> <p>子どものプライバシー保護を徹底している 子どものプライバシーについて職員は共通の認識を持ち、羞恥心に配慮した保育を行っている。乳児のおむつ替えは、遊ぶスペースから視覚を遮られる場所を作って行っている。幼児は、看護師から「プライベートゾーン」についての話を聞いている。シャワーを行う際は衝立で視線を遮るようにし、シャワー後にはタオルを身体に巻いて着替えることを知らせ、自分の体を大切にすることを育んでいる。また、保護者との個人面談などで家庭の様子を共有し、多様なニーズに対して個々に配慮できるようにしている。</p> <p>職員は虐待防止や育児困難家庭への支援について学び理解を深めている 各家庭が様々に抱えている状況を踏まえ、価値観や生活習慣に配慮した保育を行うために職員全体で状況を共有し、同じように対応できるようにしている。研修で学んだ「保育における人権」について、全職員で再確認するなど、保育者の声掛けや援助の方法などには十分に気を付けている。巡回相談で、子どもの多面的に見るアドバイスを受け、それを保育に活かすようにしている。担任のみならず、朝夕保育の当番も含めた職員全体で、各家庭の抱えている状況に気を配り、全園児の変化を全職員で察知するよう努めている。</p>			

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー6の講評			
<p>区立園共通のマニュアル類を整備し、いつでも確認できるようにしている</p> <p>「杉並区立保育園保育実践方針」「杉並区保育実践の手引き」は職員各自が持っている。「危機管理」「保健衛生」などの区立保育園共通マニュアルは事務室に置き、いつでも見ることができるようにしている。園の手引き書(マニュアル)には、保育に関わる確認事項、保育中の緊急対応マニュアル、防犯マニュアルなど、保育業務に必要な内容を綴じ、各クラスにも備え、必要な時にすぐ確認できるようにしている。マニュアル記載の内容や手順は年度末に必ず見直し、修正の必要が生じた場合はその都度職員間で話し合い修正している。</p> <p>基本事項について定期的な点検のほか、必要な場合には随時検討し見直している</p> <p>提供しているサービスについて、年度末の年間反省において職員全体で点検・見直しをし、必要に応じて改変している。改変した事項については、職員全体で共有し、必要な場合は保護者会や園だよりを通じて保護者にも周知している。ヒヤリハットなどから必要が生じた場合は、年度末に限らずその都度点検・見直しをしている。保育関連の業務内容全般については、半期反省や年間反省を行い、必要に応じて見直している。短時間や一般など、多岐に渡る働き方がある会計年度任用職員への基本事項の周知徹底についても、引き続き取り組んでいく方針である。</p> <p>保護者や職員からの意見や提案は検討して見直し、サービスの質の向上に努めている</p> <p>より良い保育の提供に向け、保護者や職員の意見、子どもの様子などから必要と判断したことはすぐに見直し、改善している。各マニュアルの見直しは、全職員で行っている。職員の自由な発想や気づきから課題の抽出や解決に結びつくこともある。保護者の意見や要望も、必ず全職員に周知して、必要に応じて検討している。保育業務については、保育を展開する上でクラスが悩むことなど、内容を絞って打ち合わせ時に話し合い、情報の共有を図っている。その際に、曖昧になっていることなども報告して、確認し合うようにしている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ4	
		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	36/36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(000000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが主体的に周囲のものや人と関わりがもてる環境を工夫している</p> <p>職員全員が環境プロジェクトに所属して、より良い環境作りを目指している。保育室は年齢・発達にあった玩具を揃え、自分で選んで遊べる設定にしている。クラスで迷った時には、他クラスの職員にも意見を聞いて参考にしている。園庭には可動式の遊具を設置し、年齢に合った組み方や使い方をしている。子どもの声に耳を傾け、発言や発信を逃さず、保育の中に取り込んでいく工夫を職員間で話し合っている。興味や関心から心が動く瞬間を逃さず、子どもの「やりたい」気持ちを実現できるよう環境を整え、遊びが発展していく工夫をしている。</p> <p>職員は子どもの気持ちを尊重して適正に対応している</p> <p>発達の過程で生じる子ども同士のトラブルに対しては、双方の子どもの気持ちを「～したかっただね」と受け止め、仲立ちしながら関わり方を知らせ、相手の気持ちを伝えたり、気づけるような言葉がけをしたりしている。クラスを越えて少しずつ交流できるようになり、特に幼児は異年齢と一緒に遊ぶ機会が増えてきた。そこから、互いに刺激を受け、優しく接することなどを学んでいる様子が見られている。また、職員間で情報を共有し、日々の中で声を掛け合いながら、保護者にも状況を伝え、一人ひとりが安心して安全に過ごせるように保育している。</p> <p>子ども一人ひとりの発達に応じた保育と関係機関との連携や円滑な接続に配慮している</p> <p>特別な配慮が必要な子どもの保育では、安全に遊べる環境の中で友だちと一緒に過ごし、互いに影響や刺激を受けながら、心も体も成長している。また、巡回相談での心理専門職による助言や、こども発達センターでの摂食指導やリハビリの様子の見学を、保育に活かしている。就学時には、5歳児が「幼保小交流」で小学校に行き、1年生から学校について教えてもらったり、校内を案内してもらったりしている。保育所児童保育要録を小学校に提出し、直接子どもの様子を伝えるなど、小学校との連携を密にし、卒園後も連絡を取り合える体制を作っている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>子どもの生活が安定するよう保護者や職員間での情報共有を図っている</p> <p>登園時に挨拶を交わし、機嫌や健康の状態を観察し保護者に確認している。体調により、薬の使用の有無などの家庭での子どもの様子を聞きながら、受け入れをして共有している。また、朝夕保育日誌を使い、前日からの申し送りや受託時の保護者からの連絡事項は、当番職員が確認し、それらを踏まえ保育や対応につなげている。降園時には貼り出し日誌と、乳児は連絡帳、口頭で、幼児は必要に応じて連絡メモを活用して、保護者に子どもの様子を伝えている。職員一人ひとりが情報共有の大切さを意識して確実に伝達を行っている。</p> <p>生活の中での体験の積み重ねを通して、基本的な生活習慣の確立を援助している</p> <p>身の回りのことを自分で出来るようになるために、生活習慣の確立に関わる項目を年間・月間の各指導計画に位置づけ、年齢・発達に応じた援助を行うことで、生活を通じた習慣化を図っている。スプーンや箸の持ち方、排泄の自立のほか、生活に関わる様々な事項を発達に応じて繰り返し援助し、見守り、意識向上と自立に努めている。子どもの意思表示をしっかりと受け止め、個々の状態に合わせた対応を職員間で共有している。個々の発達の状態に応じ、基本的な生活習慣が身につくように、丁寧な関わりを心掛けている。</p> <p>個々の発達の状態に応じて、基本的な生活習慣が身につくよう援助している</p> <p>保育者は子どもの状況を共有し、共通認識を持ち保育を行っている。午睡と休息は園で長時間過ごす生活において身体を休める時間として捉え、家庭での生活リズムやその日の体調などを考慮しながら必要な時間を確保し、個別に対応している。5歳児では、後半の午睡時間については、クラスの子どもの姿に合わせて期間や時間を決めている。寝つきが悪い場合や早く目を覚ましてしまう場合は、別室で過ごすなど、配慮している。基本的な生活習慣の獲得に向けた保育について、個人差をよく見極め、常に保護者と連携しながら成長を促す援助に努めている。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもの自主・自発性を尊重し豊かに遊び込める保育を実践している</p> <p>子どもが自発的・意欲的に関わられるような環境設定を心掛け、子どもが主体的に遊べるようにすることを大切にしている。集団活動では、子どもが興味を持てるような誘い掛けをしながら、やりたくないという子に対しては、その意思を尊重し、友達の楽しんでいる姿を見たり、その活動を繰り返し経験できる機会を用意したりすることで、主体的に関われるまで待つようにしている。子どもの「やってみたい」「知りたい」が経験・実現できるよう、教材・玩具を整え、子どもの様子に合わせて柔軟に対応している。</p> <p>大人との信頼関係のもと、子どもが安心して活動を楽しめるようにしている</p> <p>幼児クラスでは、積み木やカプラなど時間をかけて遊ぶものについては継続して遊べるよう自分の名前のマーク札を用意している。また、生活の見通しに向けての週案、子どもには前日におおまかな翌日の活動を知らせている。子ども一人ひとりの年齢や発達、育ちに沿った表現方法を理解した上で自然や素材に十分触れられる環境を整備している。大人との信頼関係のもとに安心した環境の下で、遊びの変化を予測しつつ、リードしすぎないように子どもからの発信を待つようにして、子どもがやり取りを楽しめるように関わっている。</p> <p>生活や遊びを通して、年齢・発達に応じ、きまり等の大切さを経験している</p> <p>各年齢に応じて、生活や遊びの中に約束事やきまりがあることを知らせ、守ると楽しく遊べるという経験をする中で約束や決まりを守ることの大切さに気づくようにしている。生活や活動の中で、その都度援助や仲立ちを行っている。遊びの中でルールがあるから楽しめることを知り、負けて悔しい体験や、今はできないこともあるという経験から、気持ちをコントロールできるように子どもの思いを受け止め、見守るなど配慮している。子どもの姿を捉えて保育に反映させ、子どもが主体的に集団活動に関われるようにしている。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもの発想を実現できるように保育の活動を考え取り組んでいる</p> <p>子どもからの発信を大事にし、子どもがやりたいと思ったことが膨らむような働きかけ、子どもが話し合う場を設けている。そこで決めたことを実現できるように教材を揃え、保育者のアイデアもプラスして、ごっこ遊びを発展させてクラス行事を行い、全園児が参加するなどしている。皆で楽しめる活動へと展開する経験を重ねることで、次の活動への期待につながっている。日々の保育の積み重ねの中で、職員は、子どものやりたいことを実現できるように一緒に考え、見通しを持って取り組めるよう、子どもと共に作り上げる過程を大切に援助している。</p> <p>行事の取り組みを保護者に伝え保育への理解や協力を得ている</p> <p>年度始めに年間行事予定を保護者に配布している。年長児を中心に、保育の中で子どもから提案された活動を、園全体のものとして柔軟に取り入れ、心を合わせて一つの目的に向かって取り組む経験をしている。その様子や発表の場をクラスだよりや写真掲示、今日の保育などを通じて保護者に発信し、子どもの成長の共有を図り、また家庭での話題作りのきっかけにもなっている。職員は行事毎に担当を決め、子どもの声を受けとめて、ねらいを設定して実施し、終了後は振り返りを行い、次につなげている。</p> <p>行事の実施にあたり何を大事にしていくかを考え、ねらいや内容について検討している</p> <p>行事について、コロナ禍の対応やこれまで行ってきたことの中で良かったことを取り入れながら、行事ごとのプロジェクトで話し合い、職員全体で課題点を共有している。行事の実施にあたり、何を大事にしたいかを考え、各年齢で経験して欲しい内容を全職員で検討した。伝承行事についても年齢や時期によって無理なく経験できるように、対象クラスを絞って実施したり、乳児・幼児に分けて内容を変更して実施したりしている。今後の行事の取り組み方について、全職員で新たに構築していく必要性を感じている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>保育時間の長い子どもが快適に過ごすことが出来るよう配慮している</p> <p>園で長時間過ごす子どもの視点に立ち、空間的に様々な配慮をしている。朝夕は各クラスで保育を行うことを基本とし、主に担任が当番となり会計年度任用職員も固定しており、子どもは安心して過ごしている。他クラスへの興味が出てきたことで、時には子どもの希望で交流することもある。その際には当番同士連絡し合い、誰がどこにいるのかを把握し、玩具にも配慮して楽しく遊べるようにしている。保育時間が長くなると、気持ちが不安定になる場合もあるため、好きな遊びを楽しめるように、年齢に応じて使いたい遊具を選び取れる環境作りを心掛けている。</p> <p>提供する活動内容は静と動のバランスを考え、環境を整えている</p> <p>家庭的な雰囲気の中、安心して自分のやりたい遊びが出来るようにコーナーを設け、身体を休め、静かに過ごせる場も保障している。これにより、一日の園生活の中でも活動の静と動のバランスを考え、思い思いの活動をしながら、ゆったりと過ごせるように工夫している。子どもの状況や遊びに合わせ少人数に分かれて過ごすことができるようにし、遊びごとに環境を分け、じっくり遊べるようにするなど、環境を工夫し、落ち着いて過ごせるように援助している。異年齢同士と一緒に遊んでもらったり、世話をしあげたりするなど、交流の場になっている。</p> <p>保育形態の変化がある中でも落ち着いて過ごせるようにしている</p> <p>子どもの様子を把握するため、しっかりと健康観察を行い、様子に合わせた保育を行っている。保護者への申し送りは、必ず確認して漏れないように注意して対応している。保護者や担任からの連絡事項の引き継ぎは、朝夕連絡票を使って徹底している。クラス保育から合流する時間については、子どもの状況や時期に応じて柔軟に対応している。異年齢児が同じ空間で過ごしても、安心して保護者の迎えを待つことができるような環境作りを心掛けている。</p>		

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

子どもが楽しく安心して食べることができるように配慮している

区の栄養士が各園の意見を参考にして作成した統一献立に基づいて、園で調理し、子どもの成長に合わせて栄養バランスを考えた給食を提供している。落ち着いた雰囲気の中で食事ができるようにしている。食事の際に使用する椅子やテーブルは体格に合わせて調整し、食具なども手の機能に合わせて握りやすい物へ交換している。乳児期は味覚が過敏なので子どもが嫌がる食べ物は無理に勧めず、家庭と給食との間で形態に差がないように保護者との連携を重視している。栄養士は、日々の喫食の様子を見ながら、食への興味や関心の高まりを援助している。

食についての関心を深めるための取り組みを行っている

年間食育計画に基づいて食育を実施している。毎朝その日の給食に使用する食材のイラストや写真のついているカードを、人数調べ当番の5歳児と一緒に、赤・黄・緑の3色に色分けする活動を行っている。また、実物の野菜を見たり触れたりする機会を設けており、食への関心がさらに深まっている。コーヒーマットを使ってさつま芋の栽培をしたり、中庭のスペースやプランターを使用した野菜作りも体験している。子どもが楽しく給食を食べられることを目標にして、衛生面などの細かなところまで全職員が気を付けている。

安全・安心して楽しく食べることができる食事を提供している

メニューや味付けを工夫している。幼児の誕生日には同じメニューで盛り付けを工夫した誕生日プレートを提供し、季節の行事には行事食を提供している。また、食物アレルギーがある子どもの対応はマニュアル通りに行い、除去食や代替食を提供している。月に1回翌月献立のアレルギー表をもとに複数人で打ち合わせを行っている。前日に昼ミーティングで除去食について確認している。当日は除去食や代替食を色のついたトレーで提供し、提供直前に担任と調理員とで口頭での確認をして、誤食のないように努めている。

7 評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心をもち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

子どもが健康や安全に関心を持てるように情報発信や指導を行っている

年間保健計画を作成して、年齢に応じ子どもが保育園での、「あそび」や「生活」の中で体の仕組みや体調などを学べるように健康教育を行っている。自分の身体・健康・安全に興味を持てるように具体的な方法を計画に盛り込み、健康教育に取り組んでいる。看護師は幼児クラスを中心に視力測定・手洗いの仕方・体の仕組みや機能、プール前にはプライベートゾーンの話などを伝えている。子どもの興味・関心・様子を見ながら、「知りたい」という気持ちを受け止め、健康教育の内容はクラスでも取り上げ、繰り返し話題にするようにしている。

子どもが罹患しやすい感染症などの情報を、随時保護者に周知している

毎月保健だよりを発行し、園の保健行事を伝えたり、季節や時期に応じた健康に関する情報を掲載している。薬については、区立園共通の対応として、原則として薬は預かっていないが、慢性疾患などのために薬の使用が必要な場合には、保護者の代理として与薬することになっている。その際は、与薬申込書を提出してもらい対応している。園児の健康管理として毎月の身体測定、年2回の嘱託医による健康診断、年1回の歯科健診、幼児対象の眼科・耳鼻科健診を実施している。嘱託医には感染症や園児の健康に関することを相談しアドバイスももらっている。

保護者に安心を与えられるように子どもの健康維持に向けた取り組みを行っている

子ども自身が病気やけがの予防・防止をできるように援助している。常に安全を考え、散歩先での安全確認を実施し、固定遊具の使い方や散歩先の危険箇所、道の歩き方などの危険回避の方法を年齢に合わせて知らせ、子どもへの目配り・気配りなどを行っている。また、区の危機管理マニュアルに基づいて午睡チェックを実施し、感染症発生時の保護者への注意喚起や情報提供もしている。病気やけがの対応には、園長(不在時は主査)、看護師、該当クラス職員で対応方法を話し合い、保護者に安心を与えられる誠実な対応を心掛けている。

8	評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目8の講評			
<p>保護者との信頼・協力関係作りを行っている 入園時に家庭連絡票を提出してもらい、就労や家庭の状況を把握している。保護者の就労や通勤時間などに合わせて、保育時間を決めていく。家庭の事情によって急な変更の相談があった時は、可能な限り対応して支援している。子育てにおける個々の事情についても話をよく聴き、職員間で共有して支援を行っている。要望などを受けた場合、園長や主査に報告し、早急に対応できるようにしている。子どもの成長の喜びの共有、保護者の思いへの共感、日頃の密な連携などを通して、保護者が安心して子育てをすることができるよう支援している。</p> <p>保護者と子育ての共通認識を持てるような取り組みを行っている 保護者とのコミュニケーションを大切に、子育ての協力関係を築き、共通認識を深められるように取り組んでいる。年に2回、各クラスの保護者会を実施している。コロナ禍で保護者会を開催できなかった時期は、アンケートで子どもの姿、保護者の思いなどを聞き取り、「紙面懇談会」として文書を配布した。その後は懇談時間を再開して、保護者同士の交流の機会としている。現在の子どもの姿は画像資料を通して見て頂いている。悩みや困っていることなどは、前もってアンケートをとって懇談会で話すことで、保護者同士も共有している。</p> <p>子どもの発達や成長について、保護者と共有できる取り組みを行っている 保護者と園が子どもの成長を共有できるよう、常に保護者の声に耳を傾け、その日のエピソードを一言伝えるようにするなど、日頃から保護者とのコミュニケーションを大事にして保護者が安心できるようにしている。必要に応じて向き合って話す機会を作り、話を聴いたり、保育者の思いを伝えたりしている。保護者会、個人面談、保育参観や行事への参加を通して園を知ってもらい、毎月のクラスだよりの配布や日々のドキュメンテーションなどから日常の保育を知らせ、子どもの姿を共有できるようにしている。</p>			
9	評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(00)
	評価	標準項目	
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目9の講評			
<p>園の取り組みに地域の人参加を呼びかけ、交流の機会を広げていく 今年度から中核園となり、近隣園との連携を重視している。園庭開放や地域の他施設との子ども同士の交流、地域懇談会、職員の交流などの事業を中心に、地域とのつながりを広げる取り組みを始めている。何度か交流してきたことで、子どもも大人も交流に慣れてきた。今後は、中核園事業としてだけでなく、気軽に交流できるようにしていきたいと考えている。また、ふれあい保育の参加者数を増やしていく意欲を持っており、取り組みを積極的に周知し、園を知ってもらい、実際に園を体験してもらうことで、地域の子育て支援に貢献したいと考えている。</p> <p>地域との連携のもと子どもの経験を広げる取り組みを行っている 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流をできるような機会を確保している。警察と連携して「交通安全教室」を、また清掃事務所と連携して「環境学習」を、それぞれ実施している。「交通安全教室」「環境学習」については、活動の日だけでなく、子どもが生活していく上で継続して良い経験となっている。毎年、区民センターまつりに5歳児の作品展示で参加している。コロナ禍では中止していたが、今年度より再開し、毎月1回、「あそぼうかい」を開き、地域の子育て世帯に参加を呼び掛けている。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもの思いを受け止め、やりたいことを実現できるよう一緒に考え、取り組んでいる	
内容①	大人が十分に子どもの気持ちを聞き取ることを大切にしている。乳児クラスでも、言葉にならない言葉での訴えをしっかりと受けとめて返している。子どもの発信を大事にし、「やりたい」と思ったことや話し合いで決めたことを実現できるように教材を揃え、「使いたい」「作りたい」という気持ちが満たされるように保育士のアイデアもプラスして、ごっこ遊びを発展させた。4歳児「こんちゅうなんでもはくぶつかん」、5歳児「すいぞくかん」「おばけやしき」など、クラスの行事として全園児が参加し、遊びを楽しく展開できる保育が行われている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	5-2-1	組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる
タイトル②	職員間の人間関係が良く、日頃から保育について語り合い理解を深めている	
内容②	職員が同じ方向を向いて保育を進めるためには、風通しの良い職員関係の維持と話し合う時間を持つ大切さと必要性を感じ、会議の持ち方も工夫して取り組んできた。会議の場だけでなく、日常の休憩時間やちょっとした隙間時間でも互いに思ったことを語り、縦横のつながりが良く、日常的に子どもの話をする事ができている。職員は、クラスを越えて全体を見ることができるようになっており、互いにフォローし合っている。担任以外でも子どものエピソードを語り合い、子どもの様子を伝え合える職員関係が構築されている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	2-2-2	着実な計画の実行に取り組んでいる
タイトル③	中核園として、地域の拠点としての役割を果たしていくべく、取り組みを進めている	
内容③	今年度から中核園事業の拠点園となり、地域連携の事業を全体で進めている。保育経験の長い職員を中心に、事業の目指す方向性をすぐに捉えて実践に結びつけてきた。「顔の見える関係づくり」をスローガンとして掲げ、地域懇談会、職員や園児の交流、園庭開放などを計画的に進めている。年長児クラスでは私立園との交流を計画的に実施してきた。機会を重ねるごとに、互いに名前を覚え、遊び、親しみの気持ちを持つことができていく。職員同士の交流も深まり、園を行き来するだけではなく散歩先の公園で合流して一緒に遊ぶなど、活動の幅も広がっている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	自然に触れるなど様々な活動は、子どもの豊かな経験につながっている
	内容	園庭には桜の木があり、春には花を楽しみ花びらで遊んだり木の実を拾ってままごとに使ったりしている。周辺には公園も充実して、夏には虫探しや観察をしている。中庭では今年度初めて年長児がさつまいもの苗を植え、水やりや草取りをしながら生長を楽しみ収穫した。その後、自分たちが描いた絵を「芋は土の中にあるから」と廊下の下の方に再現するように貼り出すなど、子どもの観察力や気づきに驚きながら保育者も捉えて一緒に楽しんでいる。さらに庭での焼き芋やリース作りのほか、ひとつの取り組みが展開して子どもの経験を豊かなものになっている。
2	タイトル	子どもが主体的に関わりながらやりたいことを実現できるよう、必要な支援をしている
	内容	子どもは様々な経験を通して表現を楽しみ、自分たちで考え、アイデアを出し、やってみたいことを見つけて発信している。それを保育者が聞き取り、思いに寄り添いながら子どもの「やりたい」という思いが実現するように、日々の保育を考えている。特に幼児の行事の取り組みでは一方的にならないように注意し、子どもが自分の発想や気づきを展開していけるような働きかけや支援を工夫している。子どもが主体的に集団活動に関わるように援助している。子どもが「また続きがやりたい」と思える保育の実現に向けて、活動を積み重ねている。
3	タイトル	保護者と共に子どもの成長を喜び合い、共有する姿勢を明確にし情報を発信している
	内容	保護者会などを通して園が共に子どもの成長に関わる姿勢を明示し、園から発信した情報の共有に努めている。保護者会では、年度初めに年間指導計画と年齢ごとに「今年一年大事にしたいこと」を別に作成して配布している。保育内容や園の保育についてを詳しく説明している。子どもの成長や姿をプリントで配布している。現在の子どもの姿はパワーポイントを通して見て頂いている。悩みや困っていることなどは、前もってアンケートをとり懇談会で話すことで、保護者同士も共有している。個々のケースについては、個人面談で話し共有てにつなげている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保護者へ園の取り組みを発信して共有し、保育への理解を深めていく
	内容	指導計画や園だより、クラスだよりなどの配布を通して、保育のねらいや内容、子どもの姿について、保護者に発信している。「保育のねらいや内容、子どもの姿」などを保護者がより一層理解する上で、現在行っている環境プロジェクトの取り組みを活用することを、園では検討している。職員による実践・検証や、子どもが「どのように楽しんでいるのか」といったことに触れることは、保護者にとって新鮮であり、新たな視点を提供しうる。園の保育への保護者の理解を深めていくため、取り組みにより効果的な発信を追求していくことを課題としている。
2	タイトル	今後も、保育のねらいを明確に伝え、園の生活や遊びを通して育みたいことを保護者と共有できるようにしていく
	内容	コロナ禍の期間は行事の在り方や園の取り組みについて改めて考える機会となった。園では、保護者の様々な意見や要望、園の状況を鑑み子どもの普段の姿を見てもらうことで、子どもや保護者の負担も少なく、保育の理解につながると考え工夫してきた。保護者の理解と協力を得るためには、園が大切にしていることや、取り組みによって何を実現しようとしているのかを理解して頂くことが重要であり、また有効である。今後も、保育のねらいや取り組み、子どもの最善の利益のために大事にしていることを、保護者に継続的に発信していくことを課題としている。
3	タイトル	地域の施設や利用者との交流を深め、子育て支援につなげ、中核園として地域の拠点となるように取り組みを進めていく
	内容	地域の中核園として、職員や園児の交流、園庭開放などを中心に可能な範囲で取り組んできた。こうした実践を通して、中核園としての取り組みに対する職員の意識にも変化が表れている。今後は、さらに理解を深め、また、こうした役割を果たしていくために、担当の仕事内容を共有できるように見える化する必要がある。活動のさらなる活発化を目指して地域に対する情報発信を工夫し、また、保育者間の交流などの保育の学びの場へ職員が積極的に参加できるよう情報提供に努め、保育施設間の連携などを進めていくことを課題としている。

5.宮前保育園

宮
前

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

2024 年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 156-0043

所在地 東京都世田谷区松原3-38-16-107

評価機関名 株式会社 にほんの福祉ネット

認証評価機関番号

機構 06 - 168

電話番号 03-6379-5156

代表者氏名 岩下 敦史

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	岩下 敦史	福祉、経営	H2101100
	②	松村 美和	福祉、経営	H2201085
	③	笠井 昌子	福祉、経営	H2201084
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	宮前保育園			
事業所連絡先	〒	168-0081		
	所在地	東京都杉並区宮前二丁目24番38号		
	TEL	03- 3333- 1935		
事業所代表者氏名	小嶋 裕子			
契約日	2023 年 7 月 5 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023 年 8 月 21 日			
利用者調査結果報告日	2023 年 10 月 25 日			
自己評価の調査票配付日	2023 年 8 月 21 日			
自己評価結果報告日	2023 年 10 月 16 日			
訪問調査日	2023 年 11 月 1 日			
評価合議日	2024 年 1 月 22 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	区担当者との打ち合わせにより全体の流れ、留意事項の確認を行った。その後、各園にて事前説明を行い、オンライン形式での利用者調査や紙媒体での職員アンケートの実施方法について説明を行った。訪問調査前には当日の訪問者、タイムスケジュール、確認予定の書類について案内した。訪問調査では施設見学もあわせて行い、実態の把握に努めた。合議では、訪問者2名と他の1名、事務局により内容の精査・修正を行った。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2024 年 月 日

事業者代表者氏名 小嶋 裕子

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身ともに健康で生き生きと生活できるように身体を作り、意欲や思いやりが育つようにする。 ・子どもの気持ちを尊重し、子どもの立場に立って日々の保育を行う。 ・日々の保育を通してさまざまな経験を重ねられるようにする。 ・大丈夫と認められる経験を重ねていく中で自己肯定感が育つようにする。 ・家庭と保育園と一緒に協力し子どもを育て見守っていく。（共育て～車の両輪のように）
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>（1）職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちを尊重し、子どもと対話ができる人 ・日々の保育を振り返り、明日とつながる保育を目指す人 ・保護者の気持ちを受け止め、寄り添い「共育て」を心掛ける人 ・子ども人権に十分配慮し、一人ひとりの人格を尊重して保育できる人 <p>（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが他職種の仕事を理解し、協同していけること ・一人ひとりが担当するクラスだけでなく、園全体の保育を考えていけること

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢1人を対象として実施世帯数を絞り、調査対象者に対し実施。

調査方法

ウェブ回答システムを活用。機関が作成したQR記載の案内を事業所を通して各家庭に配布。各家庭においてそれを読み込んだ上で、個別に匿名で回答。

利用者総数

94

利用者家族総数(世帯)

79

共通評価項目による調査対象者数

79

共通評価項目による調査の有効回答者数

49

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

62.0

利用者調査全体のコメント

<総合的な満足度>

「満足」78%、「まあまあ満足」18%、計96%という満足度が示された。

<調査結果の講評について>

・肯定的な評価(「はい」との回答)が全体に占める割合についてのみ、記述した。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	49	0	0	0
回答者の100%が「はい」と回答した				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	45	4	0	0
回答者の92%が「はい」と回答した				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	42	6	0	1
回答者の86%が「はい」と回答した				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	35	11	2	1
回答者の71%が「はい」と回答した				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	39	4	1	5
回答者の80%が「はい」と回答した				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	41	7	1	0
回答者の84%が「はい」と回答した				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	31	14	1	3
回答者の63%が「はい」と回答した				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	46	2	1	0
回答者の94%が「はい」と回答した				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	41	7	1	0
回答者の84%が「はい」と回答した				
10. 職員の接遇・態度は適切か	46	3	0	0
回答者の94%が「はい」と回答した				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	45	3	1	0
回答者の92%が「はい」と回答した				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	38	4	1	6
回答者の78%が「はい」と回答した				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	47	2	0	0
回答者の96%が「はい」と回答した				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	42	2	2	3
回答者の86%が「はい」と回答した				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	42	7	0	0
回答者の86%が「はい」と回答した				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	39	5	1	4
回答者の80%が「はい」と回答した				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	22	14	5	8
回答者の45%が「はい」と回答した				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <input type="radio"/> 非該当
	カテゴリ1の講評	
	園が目指していることについて職員や利用者にわかるように周知している 園目標・保育目標を事務室や玄関に掲示し、職員会議で目指すべき方向性を職員に伝えるとともに、これらに則った保育の実践に取り組んでいる。保護者には、保育理念・保育方針・保育目標を記載した園のおしりを配布し、園の目指している保育について入園説明会で説明している。また、重要事項については、入園説明会を通して周知している。	
	経営層は自らの役割と責任を明確にして職員へ伝え、リーダーシップを発揮している 園長・主査それぞれの年間計画を立て、目標や取り組み課題を職員へ伝えている。園長・主査・保育の向上リーダーを当園の保育の質の向上を図るための4本柱として位置づけている。保育の向上リーダーは、区内各園の保育の向上リーダーが参集する会議に参加し、より良い保育に向けて横断的に情報を交換し、自園での実践の参考にしている。また、園内研修の企画・実施などにリーダーシップを発揮している。経営層は、保育日誌の確認、各クラスからの報告、保育に入ることを通して自園の保育の現状と課題を見出し、適宜助言し、共に保育を考えている。	
	園の重要案件は職員会議で検討・決定している 園の重要案件は、職員会議で検討・決定している。会議に参加できなかった職員には、議事録を回覧して情報共有の徹底を図っている。職員会議に加え、毎日、昼のミーティングを実施し、各クラスからの確認事項などについて情報共有している。各会議では、議題の優先度や時間を予め振り分け、事前準備をして臨んでいる。定例の会議について、質を維持しつつ週1回から月2回の実施とし、タイムリーな事案はミーティングで提案・決定する場合がある。	

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>中核園事業に参加し、地域の保育ニーズや課題について情報交換している</p> <p>区では、地域で取り組む保育の質の向上を目指し各地域に「中核園」を指定し取り組んでいる。中核園を中心とした保育園の集まりや、地域ネットワークの会議などに参加して地域の現状について理解を深め、職員間で共有している。中核園事業を通して近隣園との関わりが増えており、職員交流を行っている。また、園長会・各種研修などを通して保育園をめぐる情報を収集し、職員へ伝え、日々の保育に役立てている。そのほか、園見学の受け入れを通して、地域の方々のニーズの把握をしている。</p> <p>策定した計画は進捗状況に応じた見直しを行い、目標達成に向け取り組んでいる</p> <p>区では杉並区総合計画を策定している。園では、区の子ども家庭部保育課の組織目標を踏まえ、現状の課題を分析し、年度始めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。園の目標に沿って各々の職員が目標を立て、組織目標の達成に一丸となって取り組んでいる。また、保育の実践に関しては、全体的な計画に基づいて年間指導計画などの保育計画を作成している。全体の計画は年度末に振り返りを実施して、職員間で確認している。今後も必要に応じて見直しを行いながら保育を進めていく方針である。</p> <p>保護者の要望や職員の提案などを園運営に活かしている</p> <p>保護者会の懇談内容や個人面談、日頃の会話などからニーズを収集している。職員との個別のヒアリングや、主査・向上リーダーなどから現場の状況を把握している。職員の意見・提案・疑問などについては、会議やミーティングなどで検討している。職員の目標申告をもとに、園長ヒアリングを行い、職員の要望や意見を確認している。園の目標についても半期に進捗状況を振り返り、後半の取り組みを確認している。こうして把握したニーズや意向、取り組みの現状などを、園運営に反映している。</p>		

3			カテゴリ-3	
経営における社会的責任				
サブカテゴリ-1(3-1)				
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。			<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)				
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている			<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3(3-3)				
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている			評点(〇〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

守るべき法・規範・倫理などが遵守されるように職員に周知している

園内の各会議や研修を含め、様々な機会を捉え、区立園の保育者、公務員として遵守すべき事項について、職員へ伝えている。会計年度任用職員には、ヒアリングや保育実践方針などにより、区立園で勤務する職員として遵守すべきことを定期的に伝えている。そのほか、各自が振り返りノートを作成し、保育の振り返りを行っている。会議では、事前に手引きを読み、グループ討議で言動や行動について考える機会を持っている。虐待の疑いや情報を得た場合は、虐待対応マニュアルに従って速やかに関係機関と連携するなど対応している。

活動内容の開示や苦情解決方法の周知により、園の社会的責任を保護者に明確にしている

苦情解決制度を利用できることや保育園以外にも相談できる場の利用があることを、園内の掲示や入園児説明会で保護者に伝えている。電話、送迎時の会話、個人面談などで把握した保護者の意向については、園長・主査に速やかに報連相を行い、昼ミーティングなどで他の職員とも内容を共有している。いつでも話を傾聴する姿勢を大切にしている。日々の保育を伝えるため、貼り出し日誌を掲示している。保護者が自分の子ども以外のクラスの様子を知ること、園の保育の理解へとつながるように意識している。

地域ネットワーク内の共通の課題に協働して取り組んでいる

中核園事業を中心に、地域の保育施設との交流を広げている。地域の保育の質の向上のために、地域の保育所と互いに学び、情報共有や保育の話ができる機会を持ち、協力し合える関係作りに努めている。看護師、栄養士、保育者が児童館へ出向き、専門性を活かして子育ての悩みなどに対応している。地域の会議に参加し、園をアピールすると共に、地域を理解し、地域施設との関係を深めている。地域ネットワーク会議に参加し、地域の方と情報共有をしたり、行事への取り組みの協力関係から、地域の子どもや保護者のサポートをしていく体制ができている。

カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー4の講評		
<p>避難訓練の計画策定と定期的な訓練の実施により災害に備えている 杉並区として業務継続計画を策定している。災害対策のマニュアルも備えている。避難訓練計画を作成し、火災や地震を想定した訓練を毎月行っている。朝夕保育や土曜日などの職員体制の少ない場合を想定したり、停電発生に備えて日が落ちてから行うなど、様々な場面を想定して実施している。朝夕の時間帯は、勤務中の職員が自身で判断できるように話し合っている。訓練の実施後は反省会を設け、次への改善につなげている。防犯訓練は、実際に職員が侵入者役となり訓練を実施している。その都度振り返りを行い、リスク回避に努めている。</p> <p>危機管理マニュアルに則り必要なリスクマネジメントの対策を取っている 発生した事故については、事故報告書により発生状況を記録・分析し、対応策を検討して全体へ周知し、再発防止に努めている。些細なことでも気が付いたことはヒヤリハットで報告している。会計年度任用職員にも必要な各情報を伝えて共有している。感染症の流行期前には、園内研修により嘔吐時の対応の手順や留意事項などへの理解を深めている。事故に関する情報は、危機管理マニュアルに則り、報道相を徹底し、すぐに全職員へ再発防止策を知らせている。また保護者にも知らせ、園としての再発防止策を明らかにし、リスクマネジメント対策を取っている。</p> <p>各記録類の管理は、管理簿を活用しながら適切に取り扱っている 杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。「情報セキュリティ基本方針」「情報セキュリティ対策基準(部外秘)」によりアクセス権などの設定をしている。また、保育課内では、情報セキュリティマネジメントにより情報の管理を行っている。個人情報となる各記録などについては、事務所の鍵のかかるキャビネットに保管している。各記録類の事務所からの持ち出しは、管理簿を活用して適切に取り扱っている。各種記録類は区が定めた保存期限に則り、適切に破棄・保管している。</p>		

5 職員と組織の能力向上			カテゴリ-5
サブカテゴリ-1(5-1)			
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)			
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

区の決定を前提とし、園の状況を踏まえて、必要な人員の確保や配置を求めている

区として人材育成のための基本方針を定め、目指す職員像や育成の仕組みを明らかにし、園と連携を取りながら人材確保を行っている。採用後は配置園での指導のほか、研修を実施するなど、人材育成に努めている。異動や人員の配置なども、育成の方針や見直し、区内各園の状況などを総合的に勘案して行われている。園としての考え、個人の希望などのほか、配置された人材を含めた職員構成などをもとに、現状や見直しを踏まえて、担任や係・役割分担などを決定している。

組織が求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

区は、職員人材育成事業実施計画に基づき、人事課と保育課が各研修を実施するなど、人材育成と組織力向上に力を入れている。新任職員育成研修のほか、2、3年目の職員に経験者がついて保育実践の振り返りを行いつつ、長期的な育成に取り組んでいる。そのほか、経験年数や職層に応じて実務研修を実施している。研修などの達成度を確認し、係の目標シートを基に個人の目標申告シートを策定している。そして、面談により年末に進捗と成果を確認し、年度末に成果と課題を総括している。こうした仕組みにより、業務の遂行や能力の向上をサポートしている。

研修報告などを通して活発に意見を出し合い、学びを共有している

日々のミーティングや職員会議、園内研修などで情報交換を行い、話し合いながら保育の向上に努めている。一人ひとりが気付いたことをミーティングや会議で提案し、全体で検討する意識が定着しており、保育の向上リーダーをはじめ、課題に気づいた職員が言葉にして提案する素地がある。全職員または、クラスリーダー、各プロジェクトメンバーで話し合い、課題の解決策を導き出し、園運営に反映している。研修受講後のレポートをはじめ、学んだことを職場全体で共有する取り組みを行うことで、保育の向上に努めている。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「大人も子ども皆が楽しい保育園」を実現していくため、①園全体で保育の質を高める、②日々の保育内容を発信する、③保育環境を整える、④職場環境を整える、などの4つの観点から取り組みを進めた。

特に①については、指導計画の打合せを2日間に分けたことで、各クラスの保育の話をしやすくなった。また同時に、振り返り事例について話し合う時間をもちにくいケースもあった。そこで、今年度は毎月の会議担当者がその月に振り返り事例検討日を決め、事例を集約し、どの事例を話し合うかを検討し、実施する流れを作った。

また、②については、送迎時のやり取りや宮前ギャラリー、保護者会などにより園の保育を知らせ、保護者との「共育」を意識した取り組みを行った。発信については、特にタイムリーに行くことを意識してきた。宮前ギャラリーについては、一言コメントや「いいね」を保護者にその場で付けてもらうことができるように工夫するなど、保護者の「参加」、保護者と「共に」という部分を組み込んで展開している。今後も、それぞれの観点から取り組みを深めて、改善・向上を図っていく方針である。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

「皆が楽しい保育園」にしていくためには、例えば保護者の場合、情報の一方通行的な発信だけでは、関心を持ったり理解のきっかけを得たりするのは難しくなる。この点、宮前ギャラリーの取り組みは、保護者の「参加」、保護者と「共に」という部分を組み込んでいることで、保護者も共に作り上げていく者に行っていることが、特色の一つである。園の保育について関心を引き出し、注目してもらうことで次への働きかけがしやすくなる。また、また他の保護者のコメントを見ることも、保護者の楽しみにつながる。そして、取り組みの反応を得られることは、職員のやりがいの後押しする。子どもを中心として、「皆が楽しい保育園」につながっていく取り組みであると言える。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

「園全体で保育の質を高める」ことを課題として設定した。そのためにいくつかの取り組みを進めた。その一つが、「共に保育するチームとしての意識」を持つことである。各クラスリーダーは、計画的に会計年度職員と話し合う時間を設け、適宜情報共有を行うよう心掛け、実践してきた。会計年度職員との情報共有や意見交換などにより、立場や雇用・勤務経験を問わず、子どもの育ちを支えていく者として、一人ひとりの意識にも変化が見られている。正規職員の間でも、毎月の指導計画の打ち合わせや振り返り事例検討を通して、保育の話を深めていけるようになってきている。今後も、話し合いを通して情報や認識を共有してだけでなく、子どもを見る目をより確かなものにしていくことを目指している。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

「チームとしての意識」には、日々の保育を支える上で必要な情報の共有に加え、「何を目標しているのか」という目標の共有が不可欠である。この点、当園では、年度当初に「宮前保育園の保育とは?」「何を大切にしているか?」について全体で話し合う機会を持ち、そこからスタートしたことで、日々の話し合いの中でも、常に「何のために」という視点が振り返りの軸として機能している。目標を意識した取り組みが、日々の工夫を生み、実践や振り返りをより効果的なものに行っていることが見て取れる。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>区の公式ホームページや公式アプリなどで情報提供している</p> <p>杉並区公式ホームページの「保幼(ぼよ)ナビ」や区の公式アプリケーション「すぎぼよ(保幼)」などにより、園の情報を発信している。区のホームページの施設案内では、園概要や行事、活動や行事などの取り組みを発信している。利用希望者に対し、園の情報や特色、活動内容が伝わりやすい記事作りを心掛けている。</p> <p>公立保育園として行政や関係機関と情報交換しながら連携を深めている</p> <p>公立の施設として、区の主管課へ日々様々な報告を行い、園運営について連携を密にしている。園長は毎月区立保育園長会に参加して、行政から情報提供を受け、課題検討や情報交換をし、口頭または資料を通して職員に伝え、共有している。主査は主査会、看護師は専門職の会議に参加して、課題検討や情報交換をしている。また、児童館を中心とした地域ネットワーク事業では、近隣の小中学校や民生委員などとの情報交換を行っている。関係各機関へ園の情報を提供しながら連携を深めている。</p> <p>園見学は要望を聞きながら個別の状況に応じて対応している</p> <p>園の見学は、園として予定している日程以外にも個別の状況に応じている。見学をゆっくりしてもらうため、1回2組までの受け入れとして実施している。電話での問い合わせにも対応している。見学の際は、資料をもとに、実際の園児や保育者の姿、やりとりなどを見てもらいながら、見学者がわかりやすく、質問しやすい雰囲気大切に、応答的な説明を心掛けている。子どもが安心して好きな遊びを楽しめる環境があること、子どもを肯定的に受け止める丁寧な保育を行っていることなど、園として大切にしている保育を伝えている。</p>		

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園説明会や面接により、入園に伴う疑問や不安の解消を図っている</p> <p>入園説明会では、園のしおりに沿って、登園にあたっての基本的なルールなどの説明している。園のしおりを使って重要事項や個人情報の取り扱いについても説明し同意書ももらっている。また、園の行事や保育で大切にしていること、苦情解決制度などについても説明している。年度途中に入園する場合には、その都度面接の際に同様の内容を伝えている。新入園児の保護者が、子どもの初めての集団生活の開始に伴う不安を軽減できるよう、丁寧に説明を行っている。</p> <p>保護者の状況や意向などに配慮して、なれ保育を実施している</p> <p>入園開始直後は入園当初の子どもの不安やストレス軽減のために1週間程度のなれ保育を実施している。入園前の面接時に就労状況など保護者の意向を聞きながら、一人ひとりの子どもが安心して過ごせるよう無理のないよう保育している。保護者には子どもの様子を詳細に伝え、保護者、子ども共に安心して保育園を利用できるよう応答的な関わりを持つように努めている。</p> <p>支援の継続性に配慮した支援を行い、子どもや保護者の不安を軽減している</p> <p>保育終了時はスムーズな就学につながるよう、保護者会や面談などを通じて就学に向けた情報提供を行っている。就学を見据え、時期を決めて午睡をなくした生活リズムへ、年長児が無理なく移行できるようにしている。卒園児の就学先へは「保育所児童保育要録」の写しを送付し、継続した支援ができるようにしている。区内公立園への転園時には、児童票・健康カードの引き継ぎなどを行っている。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	13/13
3 個別状況に応じた計画策定・記録			
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3の講評			
全体的な計画や子どもの様子を踏まえ計画を策定している 入園前の健康診断や面接により、個別の発育経過や健康上の注意を把握している。入園後も、日々子どもの様子を日誌や連絡帳から確認し、把握している。指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護と教育の各領域を考慮し、子どもとの関わりを踏まえ、個性や特徴を捉えた後に、話し合いの場を設けて作成している。指導計画の中に「前月の子どもの姿と大人の関わり」「今月に繋げる保育」という項目を作り、保育のつながりが見えるようにしている。会議の場で各クラスの計画について全職員で共有し、課題提案を検討し、より良い保育へつなげている。 子どもに対する適切な記録が行われ指導計画に活かしている 各クラス子どもの状況を担任間で話をする時間を多く持ち、子どもの様子に応じた対応がタイムリーにできるようにしている。指導計画作成時に、個別の欄を設け、子どもの状況に加え、配慮を記載している。子ども一人ひとりの様子を指導計画検討会議時に報告している。児童票には、年間を通して子どもの成長と援助してきたことを記載している。 子どもの理解を深めるために指導計画や情報を共有している 毎月検討会議を行い、月間指導計画の内容や個別指導計画について職員全体で意見交換し共有している。昼ミーティングでは、アレルギー確認など日々の保育に必要なことを報告をし、朝夕ノートを使い朝夕当番時の申し送り・引き継ぎを行っている。定例会議では、ミーティングで出された討議事項の決定や情報共有をしている。参加できなかった場合は必ず報告を受け確認している。また、前期保護者会において、年間指導計画を配布し年間の保育計画をわかりやすい言葉を用い、子どもの成長の様子や見直しについて、子どもの姿と共に説明している。			

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評		
<p>子どもに関する情報をやり取りする必要がある際は、保護者の同意を得ている 「杉並区立保育園保育実践方針」「杉並区保育実践の手引き」を活用して、年間・月間の指導計画の打ち合わせ時に、子どもを尊重する保育について確認・共有している。入園時には個人情報の取り扱いやプライバシーの保護、個人の尊厳の尊重について、慎重かつ丁寧に扱うことを説明し、保護者の同意を得ている。子どもとの関わり方や発達援助のため、巡回相談の心理専門職から指導を受けるなど、他機関と連携をとる際には、改めて保護者の同意を得てから行っている。</p> <p>子どものプライバシー保護を徹底している 子どものプライバシーについて職員は共通の認識を持ち、乳児のおむつ替えは決められた場所で行い、遊ぶスペースからは視覚が遮られるように目隠しするなど、羞恥心に配慮している。幼児は、看護師から健康教育で「プライベートゾーン」についての話を聞いている。シャワーを行う際にも衝立などで視線を遮るようにして、シャワー後にはタオルを身体に巻いて着替えることを知らせ、自分の体を大切にすることを教える機会となっている。また、保護者との個人面談などで家庭の様子を共有し、多様なニーズに対して個々に配慮できるようにしている。</p> <p>職員は虐待防止や育児困難家庭への支援について学び理解を深めている 各家庭が抱えている様々な状況を踏まえ、価値観や生活習慣に配慮した保育に努めている。子どもの思いをまずはしっかり聞く、読み取る、言葉だけではない表現に対しても子どもを理解をし、受け止めていく姿勢を共有している。研修での学びを、全職員で再確認するなど、保育者の声掛けや援助の方法などには十分に気を付けている。巡回相談では子どもを多面的に見るアドバイスを受け、保育に活かすようにしている。担任のみならず、朝夕保育の当番も含めた職員全体で、各家庭の抱えている状況に気を配り、全園児の変化を全職員で察知するよう努めている。</p>		

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー6の講評			
<p>区立園共通のマニュアル類を整備し、いつでも確認できるようにしている</p> <p>区立保育園共通の「杉並区立保育園保育実践方針」「杉並区保育実践の手引き」は職員各自が持っている。「危機管理」「保健衛生」などの区立保育園共通マニュアルは事務室でいつでも確認できるようにしている。保育に関する手引き書(マニュアル)は、保育に関わる確認事項、保育中の緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、など保育業務に必要な内容を綴じて、各クラスに備え必要な時にすぐ確認できるようにしている。マニュアル記載の内容や手順は年度末に必ず見直し、修正の必要が生じたらその都度職員間で話し合い修正している。</p> <p>基本事項について定期的な点検のほか、必要な場合には随時検討し見直している</p> <p>提供しているサービスについて、毎年度末の年間反省において職員全体で点検・見直しをし、気づきを感じた時に全体に投げかけ検討し、必要に応じて改変をしている。改変した事項については、職員全体で共有すると共に、保護者会や園だよりを通じて保護者にも周知している。ヒヤリハットなどから変更の必要が生じた場合も、その都度点検・見直しをしている。短時間や一般など、多岐に渡る働き方がある会計年度任用職員への基本事項の周知徹底についても、引き続き取り組んでいく方針である。</p> <p>保護者や職員からの意見や提案は検討して見直し、サービスの質の向上に努めている</p> <p>より良い保育の提供に向け、保護者や職員の意見、子どもの様子などから必要と判断したことはすぐに見直し、改善している。各マニュアルの見直しは、全職員で行っている。職員の役割分担や業務内容も、保育の状況に応じて適宜変更・改善している。職員の自由な発想や気づきから課題の抽出や解決に結びつくこともある。保護者からの意見や要望も、必ず全職員に周知して必要に応じて検討している。保育業務については、打ち合わせ時に保育を展開する上でクラスが悩むことなど、内容を絞って話し合い、情報の共有を図っている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	
		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	36/36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが主体的に周囲のものや人と関わりが持てる環境を工夫している</p> <p>環境プロジェクトでは、担当している職員を中心に良い環境作りを目指し取り組んでいる。保育室は年齢・発達に合った玩具を揃え、遊びの様子や発達に応じてコーナー設定を変更し、玩具の入れ替えや補充を行っている。園庭には可動式の遊具を揃え、年齢に合った組み方や使い方をしている。子どもの声に耳を傾け、発言や発信を逃さず、職員は複数の目で見て意見交換をしながら保育の工夫をしている。興味や関心から心が動く瞬間を逃さず、「やりたい」という子どもの気持ちを実現できるよう環境を整え、遊びが発展していく工夫をしている。</p> <p>職員は子どもの気持ちを尊重して適正に対応している</p> <p>発達の過程で生じる子ども同士のトラブルに対しては、双方の子どもの気持ちを受け止め、仲立ちしながら関わり方を知らせ、相手の気持ちを伝えたり気づけるような言葉がけをしている。クラスが少しずつ交流できるようになり、幼児クラスの「なかよしの日」を設定し、子ども同士の関わりが多く持てるように設定している。また、職員間で子どもの姿を日々タイムリーに共有できるように、各自工夫している。日々の中で声を掛け合いながら、保護者にも状況を伝え、一人ひとりが安心して安全に過ごせるように保育している。</p> <p>子ども一人ひとりの発達に応じた保育と関係機関との連携や円滑な接続に配慮している</p> <p>どの子どもと一緒に育つことを基本に、安全に遊べる環境の中でクラスの友だちと過ごしている。必要に応じてクラスを超えた交流をするなど配慮しながら、互いに影響や刺激を受け、クラスの一人員として一緒にできることを探り、心も体も成長できるように援助している。小学校との交流では、子どもの成長や日々の記録として保育所児童保育要録で子どもの姿と育ちを小学校と共有している。幼保小の連絡会にも出席している。小学校と卒園後も連絡を取り合える体制を作っている。学校の様子を映像で年長児へ紹介する取り組みも行われている。</p>			

2 評価項目2		子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(0000)	
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当	
●あり ○なし		2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当	
●あり ○なし		3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当	
●あり ○なし		4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当	
評価項目2の講評					
<p>子どもの生活が安定するよう保護者や職員間での情報共有を図っている</p> <p>登園時に挨拶を交わし、機嫌や健康を観察し保護者に確認している。体調により薬の使用の有無など家庭での子どもの様子を聞きながら、受け入れをして共有している。また、朝夕ノートを使い、前日からの申し送りや受託時に保護者からの連絡事項は、当番職員が確認し、職員間で情報を共有している。貼り出し日誌や連絡帳の記載だけでなく、降園時には口頭でも伝えていく方針である。担任からの伝言や伝達事項だけでなく、当番職員は日中の保育のエピソードなどを、できるだけ具体的に伝えるようにしている。</p> <p>生活の中での体験の積み重ねを通して基本的な生活習慣の確立を援助している</p> <p>基本的な生活習慣が自立し、見通しをもって主体的に生活できるようになるために生活習慣の確立に関わる項目を年間・月間の各指導計画に位置づけ、年齢・発達に応じた援助を行っている。スプーンや箸の持ち方、排泄の自立のほか、生活に関わる様々な事項を発達に応じて繰り返し援助し、見守りながら、意識向上と自立に努めている。子どもの意思表示をしっかりと受け止め、個々の状態に合わせた対応を職員間で共有している。</p> <p>個々の発達の状態に応じ基本的な生活習慣が身につくよう援助している</p> <p>保育者は子どもの状況を共有し、共通認識を持ち保育を行っている。午睡と休息は園で長時間過ごす中で身体を休める時間として捉え、クラスによって子どもの状態を見ながら休息が取れるようにしている。5歳児は後半の午睡時間を毎年職員全体で話し合い、クラスの子どもの姿に合わせて期間や時間を決めている。寝つけない時や早く目を覚ましてしまう子についても、別室で過ごすなど配慮している。基本的な生活習慣の獲得に向けた保育について、個人差をよく見極め、常に保護者と連携しながら成長を促し、適切な援助に努めている。</p>					
3 評価項目3		日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(000000)	
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている		○非該当	
●あり ○なし		2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している		○非該当	
●あり ○なし		3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している		○非該当	
●あり ○なし		4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている		○非該当	
●あり ○なし		5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている		○非該当	
●あり ○なし		6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している		○非該当	
評価項目3の講評					
<p>子どもの自主・自発性を尊重し豊かに遊び込める保育を実践している</p> <p>子どもが自発的・意欲的に関われるような環境設定を心掛け、子どもが主体的に遊べるようにすることを大切にしている。集団活動では子どもたちが興味を持って誘い掛けをしなが、やりたくないという子に対しては、子どもの意思を尊重して友だちの楽しんでいる姿を見たり、その活動を繰り返し経験できる機会を用意することで、主体的に関われるまで待つようにしている。子どもの「やってみたい」「知りたいたい」が経験・実現できるよう、子どもの興味関心があるものを取り入れ、柔軟に対応しながら活動を計画している。</p> <p>大人との信頼関係のもと、子どもが安心して活動を楽しめるようにしている</p> <p>特に乳児では、自分が遊びたいことを少人数でじっくり遊び、満足できるようにしている。継続的に遊ぶことができるスペースの確保を心掛け、遊びの状況によっては、活動の時間や場所を変更するなど、臨機応変に対応している。年齢・発達に応じて、興味・関心のある玩具類を用意し、室内環境の設定変更も行い、自然や素材にも十分に触れられる環境を整備している。大人との信頼関係のもとに、安心できる環境の下で、遊びの変化を予測しつつ、リードしすぎないように子どもからの発信を待つようにして、子どもがやり取りを楽しめるよう関わっている。</p> <p>生活や遊びを通して、年齢・発達に応じ、きまり等の大切さを体験している</p> <p>職員間で約束事や生活の流れ、やり方を統一して子どもに伝えられるようにしている。子ども同士のやり取りに必要なことを代弁しながら、やりとりの楽しさや喜びを味わい、自分の気持ちや思いを表現することが楽しく、心地よく感じられるよう肯定的な応答を心掛けている。生活や遊びの中に約束事やきまりがあり、守ると楽しく遊べるという経験をすることで、気持ちをコントロールし約束や決まりを守る大切さに気づけるようにしている。子どもの思いを受け止め、見守り、子どもの姿を捉えて保育に反映させ、主体的に集団活動に関わるようにしている。</p>					

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもの発想を実現できるように保育の活動を考え、取り組んでいる</p> <p>子どもからの発信を大事にし、「やりたい」と思ったことが膨らむような働きかけをし、子どもが話し合う場を設けている。そこで決めたことを実現できるように教材を揃え、保育者のアイデアもプラスして遊びを発展させている。一人ひとりが楽しむことを基盤として、段階的に集団を大きくすることにより、子どもが集団での活動の楽しさや協力してやり遂げる達成感を無理なく味わえるようにし、次の活動への期待にもつながっている。職員は、子どものやりたいことを実現できるように一緒に考え、子どもと共に作り上げる過程を大切に援助している。</p> <p>行事の取り組みを保護者に伝え、保育への理解や協力を得ている</p> <p>年間行事予定は年度初めに保護者に配布して、早めに知らせている。年長児を中心に、保育の中で子どもから発案された活動を、園全体のものとして柔軟に取り入れ、心を合わせて一つの目的に向かって取り組む経験をしている。その様子や発表の場面を、クラスだよりや写真掲示などでタイムリーに保護者に発信し、子どもの成長の共有や活動内容を知らせ、家庭での話題作りのきっかけにもなっている。職員は行事毎に担当を決め、ねらいを設定し、子どもの声を受けとめて実施し、終了後は振り返りを行い、次につなげている。</p> <p>行事の実施にあたり何を大事にしていくかを考え、ねらいや内容について検討している</p> <p>行事については、コロナ禍の対応ややってきたことの中で良かったことを取り入れながら、行事ごとのプロジェクトで話し合い、職員全体で課題点を共有している。行事の実施にあたり、何を大事にしたいかを考え、各年齢で経験して欲しい内容を全職員で検討した。伝承行事についても年齢や時期によって無理なく経験できるように、対象クラスを絞って実施したり、乳児・幼児に分けて内容を変更して実施したりしている。今後の行事の取り組み方を全職員で新たに構築していく必要を感じている。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>保育時間の長い子どもが快適に過ごすことが出来るよう配慮している</p> <p>園で長時間過ごす子どもの視点に立ち、空間的に様々な配慮をしている。朝夕保育では、いつも同じ場所にあり、安心して遊ぶことのできる遊具を設定し、朝夕保育の時間帯に楽しめる玩具を用意し、適宜入れ替え、遊びの提供方法や室内の使い方など、子どもが楽しめるよう工夫している。他クラスの友だちや遊びへの興味が出てくると、時には子どもの希望で交流することもある。その際は、当番同士連絡し合い、誰がどこにいるのかを把握して楽しく遊べるようにしている。異年齢同士で遊んでもらったり、世話をしあわせたりするなど交流の場になっている。</p> <p>提供する活動内容は静と動のバランスを考え、環境を整えている</p> <p>家庭的な雰囲気の中、安心して自分のやりたい遊びが出来るようにコーナーを設け、身体を休めたり静かに過ごせる場も保障するなど、一日の園生活の中でも活動の静と動のバランスを考え、思い通りの活動をしながらゆったりと過ごせるよう工夫している。保育時間が長くなると気持ちが不安定になる子どももいる。そのため、年齢に応じて使いたい遊具を選び取れる環境を工夫したり、子どもの状況や遊びに合わせ少人数に分かれて過ごすことができるようにしたり、遊びごとに環境を分けてじっくり遊べるようにするなど、落ち着いて過ごせるようにしている。</p> <p>保育形態の変化がある中でも落ち着いて過ごせるようにしている</p> <p>子どもの様子を把握するため、しっかりと健康観察を行い、様子に合わせた保育を行っている。保護者への申し送りは、必ず確認して漏れないように注意して対応している。保護者や担任からの連絡事項の引き継ぎは、朝夕ノートを使って徹底している。クラス保育から合流する時間については、子どもの状況や時期に応じて柔軟に対応している。異年齢児が同じ空間で過ごしても、安心して保護者の迎えを待つことができるような環境作りを心掛けている。</p>		

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

子どもが楽しく安心して食べることができるように配慮している

区の栄養士が作成した統一献立に基づいて、園で調理し、子どもの成長に合わせて栄養バランスを考えた給食を提供している。落ち着いた雰囲気の中で食事ができるようにしている。食事の際に使用する椅子やテーブルは体格に合わせて調整し、食具なども手の機能に合わせて握りやすい物へ交換している。子どもが楽しく安心して食べることができるよう苦手な食べ物は無理に勧めず、家庭と給食との間で形態に差がないように、保護者との連携を重視している。日々の喫食状況を確認し、食への興味や関心が高まるよう援助している。

年齢や発達に合わせた栄養バランスの良い食事を提供している

年間食育計画に基づいて食育を実施している。季節に応じた野菜を育て、生長を子どもと一緒に楽しみ、調理してもらい、自分たちで育てたものを食べる機会を持っている。栽培物を調理する際は、味付けを工夫している。年齢に応じて、献立で使用する食材の名前を子どもに伝えるなどの活動にも取り組んでいる。また、おたよりや保護者会を通して、クラス毎の年齢・発達に合わせて、栄養士から「食」について大切にしていることを伝えている。

安全・安心して楽しく食べることができる食事を提供している

メニューや味付けを工夫し、季節の行事には行事食を提供している。また、除去食や成長・発達に応じた形態を配慮している。食物アレルギーや文化の違いによる対応を行っている。前日に全体のミーティングで除去食についての確認をしている。除去食の配膳の方法や喫食時はマニュアルに則り、色のついたトレーで提供し、提供直前に担任と調理員とで目視、口頭での確認をしている。職員が側につくなど、誤配・誤食がないよう、複数の職員で確認している。

7 評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

子どもが健康や安全に関心を持てるように情報発信や指導を行っている

年間保健計画を作成して、年齢に応じ子どもが病気やけがに対する安全意識を高められるようにしている。自分の身体・健康・安全に興味を持てるように具体的な方法を計画に盛り込み、健康教育に取り組んでいる。看護師は幼児クラスを中心に手洗いの仕方、プール前にはプライベートゾーンの話子どもに伝えている。子ども達の興味・関心・様子を見ながら、「知りたい」という気持ちを受け止め、年齢発達に合わせて視覚的にも分かりやすく工夫して示した健康教育を行い、その内容をクラスでも取り上げて話している。

子どもが罹患しやすい感染症などの情報を随時保護者に周知している

毎月保健だよりを発行し、園の保健行事を伝えたり、季節や時期に応じた健康に関する情報を掲載している。薬については、区立園共通の対応として原則預からないが、慢性疾患などのために薬の使用が必要な場合には、与薬申込書を提出してもらい、保護者の代理として与薬することになっている。園児の健康管理として毎月の身体測定、年2回の嘱託医による健康診断、年1回の歯科健診、幼児対象の眼科・耳鼻科健診を実施している。嘱託医には感染症や園児の健康に関することを相談しアドバイスをもらっている。

保護者に安心を与えられるように子どもの健康維持に向けた取り組みを行っている

安心・安全に活動できるような環境を人的・物的両面から整えるように努めている。常に安全を考え、散歩先での安全確認を実施し、固定遊具の使い方、散歩先の危険箇所、道の歩き方などの危険回避の方法を年齢に合わせて知らせ、子どもへの目配り・気配りなどを行っている。また、午睡チェックを区危機管理マニュアルに基づいて実施し、感染症発生時には保護者への注意喚起や情報提供もを行っている。病気やけがの対応には、園長(不在時は主査)、該当クラス職員で対応方法を共有し、保護者に安心感を与えられる誠実な対応を心掛けている。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目8の講評			
<p>保護者との信頼・協力関係作りを行っている 入園時に家庭連絡票を提出してもらい、就労や家庭の状況を把握している。保護者の就労や通勤時間などに合わせて、保育時間を決めている。家庭の事情によって急な変更の相談があった時は、可能な限り対応して支援している。子育てにおける個々の事情についても話をよく聴き、職員間で共有して支援を行っている。子どもの成長の喜びの共有、保護者の思いへの共感、日頃の密な連携などを通して、保護者が安心して子育てをすることができるよう支援している。</p> <p>保護者と子育ての共通認識を持てるような取り組みを行っている 保護者とのコミュニケーションを大切に、子育ての協力関係を築き、共通認識を深められるように取り組んでいる。年に2回、各クラスの保護者会を実施している。コロナ禍にはできなかった懇談を再開し、保護者自身や子どものことを話す機会となり、保護者同士の親睦が深まった。個人面談では、園や家庭での子どもの様子について保護者と確認し、子どもの育ちを共に支えていくために今後の方針を共有している。</p> <p>子どもの発達や成長について保護者と共有できる取り組みを行っている 保護者と園が子どもの成長を共有できるよう、常に保護者の声に耳を傾け、送迎時に一日の様子を口頭でエピソードを伝えるようにしている。宮前ギャラリー、保育参観や保護者会、行事など園の活動への参加を呼びかけたり、保護者会で動画を通して伝えたり、クラスだよりなどで今大切にしていること、大切にしてほしいことなどを知らせ、園と保護者が子どもの成長・発達について共有できるようにしている。</p>			
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(00)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評			
<p>園の取り組みに地域の人参加を呼びかけ交流の機会を広げていく 中核園事業へ参加することを通じて、地域との繋がりが広がっている。園庭開放では、地域の他施設との子ども同士の交流を始めている。民間園への支援や職員交流の機会が増えたので、近隣園との関わりが広がっていると感じる。子育てサポートセンターを併設しており、互いに協力しながら対応している。幼保小連携小学校との交流地域ネットワークが充実しているので、今後も積極的に地域の情報を収集して連携を強化したいと考えている。特に小学校との計画的な交流の実施を働きかけ、顔の見える関係作りを継続し、連携を深めていく方針である。</p> <p>子どもが職員以外の人と交流できる機会を設けている 中学生の職場体験、東京都子育て支援員実習、保育士資格取得のための実習生などの受け入れを行っている。子どもと関わる機会を提供することで、将来の福祉人材の育成に寄与している。子どもにとっても、職員以外の人と交流できる良い機会となっている。また、年長児対象のお話の会や父母会主催のバルーンアートなど、子どもの生活の幅を広げる取り組みもしている。以前は近隣小学校の秋まつりにも参加する機会があった。コロナ後の学校行事の見学や小学校との交流・連携については、改めて相談していく方針である。</p> <p>地域との連携のもと子どもの経験を広げる取り組みを行っている 近隣の障害者施設やこども発達センターと、年長児を中心に交流を続けてきたことで、何かあればすぐに声を掛け合うことができる関係ができていく。また、近隣の図書館では本や紙芝居の貸し出しを利用している。年長児も保育の中で図書館へ行く機会を持ち、公共施設の利用に関するマナーを学ぶ機会となっている。コロナ禍後、少しずつできることが増えてきたことで、順次関係機関との交流が始まっている。今後も継続できるように他機関と協力し、子どもにより良い経験になるよう、相談しながら取り組んでいきたいと考えている。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子ども自身のやりたい気持ちを大切にしながら、安心・安全な楽しい保育を展開している	
内容①	子どもも大人も楽しい保育園を目指し、保育を考えている。園庭のルールの見直しを図り、安心・安全を第一としながら、子ども自身の挑戦したい気持ちを大切にする保育を実践している。子どもの様子を見ながら、誘う声掛けを工夫し、主体的に関わろうとする姿を見守り、子どもの思いや気持ちの変化を見逃さないようにしている。職員一人ひとりの子どもの見方や援助のスキル向上が求められることを理解した上で、安全に見守れる体制を取り、保育を振り返り、子どものその時の気持ちを大切にする保育をしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	1-1-3	重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している
タイトル②	会議の持ち方を見直し、職員の意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	
内容②	働き方の見直しが提案されたことをひとつのきっかけとして、会議の持ち方を検討した。そして、質を落とさないことを踏まえつつ、定例の会議を週1回から月2回に変更した。この変更により、クラスで保育について話す時間が一層確保された。またその分、昼ミーティングを最大に活用して、各自の気づきを日々提案・検討できるようにし、迅速かつタイムリーな対応ができるようになった。さらに、自らの考えを発信できるように時間を有効に使い、会議の成果を上げるため、職員もポイントをつかんだ進捗と発言を考えて参加するようになった。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	子どもの成長を保護者と共に喜び合う「共育て」を意識した取り組みを行っている	
内容③	園の活動の様子や子どもの成長やエピソードなどを伝える「共育て」を意識した取り組みのひとつとして、宮前ギャラリーを実施し、園の保育や活動のねらいを伝えている。開催期間を決め、ホールに取り組みの様子が分かるコメント付きの作品を展示し、迎えの時間に保護者に見てもらえるように機会を設けている。保護者からは、一言コメントや「いいね」をその場で付けてもらうことができるように、付箋を用意するなど工夫している。また、開催期間はホールに職員が待機して、声掛けや説明ができるようにしている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもが主体的に関わりながら、やりたいことが実現できるよう必要な支援をしている
	内容	子どもは様々な活動を通して表現を楽しむことを経験し、自分で考えたり、アイデアを出したりして、やってみたいことを見つけて発信している。それを保育者が聞き取り、子どもの思いに寄り添いながら子どもの「やりたい」という思いを実現するように、日々の保育を考え展開している。特に幼児の取り組みでは、子どもの発想や気づきを展開させるように働きかけや支援を工夫している。子どもが主体的に集団活動に関われるよう援助し、活動を積み重ね、園全体が楽しめる活動へとつながっている。
2	タイトル	より良い保育の実現のため協力し合える職員関係がある
	内容	職員のチームワークが良く、園全体で子どもを見ようという共通認識があり、全体で見守ることができている。事例討議では、経験に関わらず、どの職員も議題抽出、提起や進行などを順に担当することを通して、保育の振り返りを定期的に行っている。その中で、それぞれの保育や考えを伝え合い、子どもを見る視点が広がり、より良い方向に向かって一人ひとりの保育の力が伸びている。小さな気づきでも伝え合うことができる人間関係があり、より良くなるよう絶えず工夫し続けている。園運営に対して各々が自分の役割に責任感を持って臨んでいる。
3	タイトル	職員は行事や取り組みのねらいや意味を改めて考え、園全体で丁寧に取り組むことができている
	内容	行事などの様々な取り組みは、コロナ禍から状況が変わり少しずつできることが増えてきている。職員は、今までのやり方を前提にするのではなく、ねらいをしっかりと確認し共有してからスタートしたいと考え、改めて「子どもにどのような経験をさせたいか」「今、大事にしたいことは何か」を全体で話し合い、進めることができた。職員同士の風通しが良く、話しやすい環境があり、職員一人ひとりの意見が尊重され、保育の場で活かされている。小さな気づきや課題を捉えて様々な視点から見たり、保育について皆で考えたりすることができる職場環境がある。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	園の取り組みについて改めて振り返り、職員がじっくり討議する機会を確保する
	内容	「宮前保育園の保育とは？」「何を大切にしているか？」について、年度当初に話し合うことから、「チームとしての保育」を進めてきた。目標に対する共通認識を持つことから始めたことで、それぞれの取り組みを有効なものとしている。さらに取り組みを進め、深めていくためには、保育について語り合う時間を確保していくことが必要となる。求められることも多く、多忙な中において、さらに協力し合えるチーム作りや保育の充実につなげていくため、今後も工夫して取り組んでいくことを課題としている。
2	タイトル	今後も、保育のねらいを明確に伝え、園の生活や遊びを通して育みたいことを保護者と共有できるようにしていく
	内容	コロナ禍の期間は行事の在り方について改めて考える機会となった。園では、保護者の様々な意見や要望、園の状況を鑑み、子どもの普段の姿を見てもらうことで、子どもや保護者の負担も少なく、保育の理解につながる考え、工夫してきた。保護者の理解と協力を得るためには、園が大切にしていることや、取り組みによって何を実現しようとしているのかを、理解して頂くことが重要でありまた有効である。今後も、保育のねらいや取り組み、子どもの最善の利益のために大事にしていることなどについて、保護者に継続的に発信していくことを課題としている。
3	タイトル	地域のニーズにもとづき、園としてできることを考え地域貢献に取り組む
	内容	中核園事業への取り組みについて職員の意識も高まり、自園でできる活動を進めている。職員の専門性を活かしてふれあい保育を実施し、園生活の体験にきた子育て世帯に対し、助言などを行っている。これまでに培ってきた園の専門性や機能と、地域の親子や近隣の他施設のニーズをうまく組み合わせることで、今後もさらに貢献できる余地があり、また園としても意欲を持っている。地域における保育の専門機関として、また中核園として、どのような取り組みを進めていくか、今後も引き続き、検討と実践を重ねていくことを課題としている。

6.松庵保育園

松
庵

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

2024 年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 156-0043

所在地 東京都世田谷区松原3-38-16-107

評価機関名 株式会社 にほんの福祉ネット

認証評価機関番号

機構 06 - 168

電話番号 03-6379-5156

代表者氏名 岩下 敦史

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	岩下 敦史	福祉、経営	H2101100
	②	高田 富美子	福祉、経営	H2101111
	③	笠井 昌子	福祉、経営	H2201084
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	松庵保育園			
事業所連絡先	〒	167-0054		
	所在地	東京都杉並区松庵二丁目23番34号		
	TEL	03-3332-1751		
事業所代表者氏名	西澤 美和			
契約日	2023 年 7 月 5 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023 年 9 月 1 日			
利用者調査結果報告日	2023 年 11 月 15 日			
自己評価の調査票配付日	2023 年 9 月 1 日			
自己評価結果報告日	2023 年 11 月 15 日			
訪問調査日	2023 年 11 月 22 日			
評価合議日	2024 年 1 月 11 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	区担当者との打ち合わせにより全体の流れ、留意事項の確認を行った。その後、各園にて事前説明を行い、オンライン形式での利用者調査や紙媒体での職員アンケートの実施方法について説明を行った。訪問調査前には当日の訪問者、タイムスケジュール、確認予定の書類について案内した。訪問調査では施設見学もあわせて行い、実態の把握に努めた。合議では、訪問者2名と他の1名、事務局により内容の精査・修正を行った。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2024 年 月 日

事業者代表者氏名 西澤 美和

印

<p>1</p>	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>①公立保育園の役割と使命をもって仕事に従事します～就学前の保育園園児の健やかな成長・発達のために、学習したり環境を整えたり豊かな子ども時代を過ごせるようにします。保護者にも伴走者として寄り添い、一緒に「共育て」することを目指します。また、地域と連携を密にして、信頼される保育園を作ります。</p> <p>②豊かな体験の機会の提供～子どもの声に耳を傾け、やりたいと意思表示できるものは、出来る限り実現します。乳児クラスは、一人ひとりの成長発達に必要な援助を的確に提供します。</p> <p>③中核園の役割を全うする～地域の私立園も一緒に保育の質を維持・向上させるために、保育施設間の連携・情報共有の促進等を進め、顔の見える関係作りを粘り強く構築していきます。</p> <p>④働きやすい職場作り～職員が疲弊して病気休暇を取得したり、中途退職しないようにしていかなくてはならない。働きやすい職場を作るため、業務のスクラップ&ビルドをし、本当に必要なものと、そうでないものとの整理をし、業務の合理化に努める。有給休暇の取得を奨励し、疲れ切ってしまう前にリフレッシュできるよう皆で取り組みます。</p>
<p>2</p>	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>（1）職員に求めている人材像や役割</p> <p>①自分で考え、試行錯誤出来る職員 ②子どもの成長と一緒に喜べる感性を持った職員 ③責任を持ち、やり遂げる実行力と思いやりや相手の立場を想像できる職員 ④周りの人とのコミュニケーションが取れる職員 ⑤専門職として、保護者からの多様な質問や疑問に応えられる力量を身に付けている職員</p> <p>（2）職員に期待すること（職員に持って欲しい使命感）</p> <p>①心身ともに健康で出勤することが楽しい、と思えるようになって欲しい。 ②困った時、悩んだ時は、自分から声に出すことが出来るようになって欲しい。 ③自分自身も必要な仕事、不要ではないかと思う仕事を常に考え、提案して欲しい。 ④お互いを尊重し合い、上手くコミュニケーションをとり、自園だけでなく、周りの園のことも、思いを馳せたり、気にかけることが出来る職員になって欲しい。 ⑤公立保育園で働く保育士としての使命を持ち、社会の情勢にも目を向ける。自園ではないが、区立保育園の障害児指定園では医療的ケア児を受け入れている。そういうことも視野に入れた保育を考えたり、研修にも参加して見聞を広めて欲しい。</p>

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢1人を対象として実施世帯数を絞り、調査対象者に対し実施。

調査方法

ウェブ回答システムを活用。機関が作成したQR記載の案内を事業所を通して各家庭に配布。各家庭においてそれを読み込んだ上で、個別に匿名で回答。

利用者総数

106

利用者家族総数(世帯)

90

共通評価項目による調査対象者数

90

共通評価項目による調査の有効回答者数

79

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

87.8

利用者調査全体のコメント

<総合的な満足度>

「満足」74%、「まあまあ満足」24%、計98%という満足度が示された。

<調査結果の講評について>

・肯定的な評価(「はい」との回答)が全体に占める割合についてのみ、記述した。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	77	1	1	0
回答者の97%が「はい」と回答した				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	75	3	1	0
回答者の95%が「はい」と回答した				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	70	6	1	2
回答者の89%が「はい」と回答した				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	67	7	4	1
回答者の85%が「はい」と回答した				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	58	6	2	13
回答者の73%が「はい」と回答した				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	70	7	2	0
回答者の89%が「はい」と回答した				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	58	14	7	0
回答者の73%が「はい」と回答した				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	68	9	2	0
回答者の86%が「はい」と回答した				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	67	8	4	0
回答者の85%が「はい」と回答した				
10. 職員の接遇・態度は適切か	72	6	1	0
回答者の91%が「はい」と回答した				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	74	3	2	0
回答者の94%が「はい」と回答した				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	55	13	2	9
回答者の70%が「はい」と回答した				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	75	3	1	0
回答者の95%が「はい」と回答した				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	68	6	1	4
回答者の86%が「はい」と回答した				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	68	10	1	0
回答者の86%が「はい」と回答した				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	59	10	2	8
回答者の75%が「はい」と回答した				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	42	23	5	9
回答者の53%が「はい」と回答した				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/>非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <input type="radio"/>非該当
	カテゴリ1の講評	
	園が目指していることについて職員や利用者にはわかるように周知している 園目標・保育目標を事務室や玄関に掲示し、職員会議で目指すべき方向性を職員に伝えるとともに、これらに則った保育の実践に取り組んでいる。保護者には、保育理念・保育方針・保育目標を記載した園のおしりを配布し、園の目指している保育について入園説明会で説明している。また、重要事項については、入園説明会を通して周知している。そのほか、園だよりにも園目標や保育目標などの園で大切にしていることを記載して、保護者に伝えている。	
	経営層は自らの役割と責任を明確にして職員へ伝え、リーダーシップを発揮している 園長・主査それぞれの年間計画を立て、目標や取り組み課題を職員へ伝えている。園長・主査・保育の向上リーダーを当園の保育の質向上を図るための5本柱として位置づけている。保育の向上リーダーは、区内各園の保育の向上リーダーが参集する会議に参加し、より良い保育に向けて横断的に情報を交換し、自園での実践の参考にしていく。また、園内研修の企画・実施などにリーダーシップを発揮している。重要な案件や課題についてはトップダウンを避け、経営層(向上リーダー含む)がよく話し合い、明確な方向性を示し、一致して取り組んでいる。	
	重要案件の検討や決定のより良い仕組みづくりを目指して取り組んでいる 園の重要案件は、職員会議で検討・決定している。会議に参加できなかった職員には、議事録を回覧し情報共有の徹底を図っている。毎日の昼ミーティングでは、各クラスの確認事項、給食のアレルギー確認、ヒヤリハットなどについて、共有している。各会議では、予め提案者が議題記入用紙に書き込みをして議題を集約している。書式は一枚にして内容を見渡せるようにしている。1ヶ月の会議の予定を把握しやすく、議題の進捗や進行がわかり、調整や事前準備がしやすくなっている。	

2		カテゴリー2	
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行			
サブカテゴリー1(2-1)			
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)			
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評			
<p>「中核園」として、地域の保育ニーズや課題について情報交換している</p> <p>区では、保育の質の向上を目指し各地域に「中核園」を指定し取り組んでいる。当園は中核園の指定を受け、様々な取り組みを通して地域の保育所間の連携や情報共有の促進に取り組んでいる。中核園事業の地域懇談会で各施設長と情報交換をし、日頃から顔の見える連携に努めている。地域の児童館・保健所・小中学校・図書館などが参画する地域の子育てネットワークに参加し、地域のニーズや情報を得ている。また、中核園だよりを発行し、園長会・各種研修への参加などからも保育園をめぐる情報を収集し、職員へ伝えて、日々の保育に役立てている。</p> <p>策定した計画は進捗状況に応じた見直しを行い、目標達成に向け取り組んでいる</p> <p>区では杉並区総合計画を策定している。園では、区の子ども家庭部保育課の組織目標を踏まえ、現状の課題を分析し、年度始めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。園の目標に沿って職員個々の目標を立て、組織目標の達成に一丸となって取り組んでいる。また、保育の実践に関しては、全体的な計画に基づいて年間指導計画などの保育計画を作成している。これらの計画については週・月・年間で取り組み状況を確認し、必要に応じて見直しを行いながら保育を進めている。</p> <p>保護者の要望や職員の提案などを園運営に活かしている</p> <p>保護者会、行事後の感想、個人面談や日頃の会話などから保護者のニーズを把握している。職員には個別のヒアリングを実施し、主査や向上リーダーからは現在の状況を把握している。これらを検討して運営に反映している。職員は要望や意見があれば誰でも議題を提案できる仕組みがある。また、子どもの発達に合わせた保育を進めるために、毎月の指導計画では、ねらい、エピソード(活動)、振り返り(考察)を書き入れ、各クラスの保育の意図や次月の目標がよく伝わるようにしている。</p>			

3 カテゴリー3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

守るべき法・規範・倫理などが遵守されるように職員に周知している

園内の各会議や研修を含め、様々な機会を捉え、区立園の保育者、公務員として遵守すべき事項について、職員へ伝えている。会計年度任用職員には、ヒアリングや保育実践方針などにより、区立園で勤務する職員として遵守すべきことを定期的に伝えている。ほかにも、園長会での情報の報告や園のマニュアルなどに触れ、ポイントが分かるように項目に付箋を付けて表示して、提示している。虐待防止については、セルフチェックリストの活用や事例討議を通して、より良い保育について考える機会としている。

活動内容の開示や苦情解決方法の周知により、園の社会的責任を保護者に明確にしている

苦情解決制度を利用できることや保育園以外にも相談できる場の利用があることを、園内の掲示や入園児説明会で保護者に伝えている。電話、送迎時や個人面談などで保護者の意向を把握し、対応している。園長・主査への報連相を迅速に行い、昼ミーティングで他の職員と情報を共有している。保護者へ日々の保育を伝えるため、貼り出し日誌を掲示している。写真の貼り出しやスケッチブック写真を活用して、日々の保育を開示している。毎月掲示している各クラスの指導計画は、紙面サイズを少し大きくして見やすくしている。

地域の福祉ニーズを把握しながら中核園として各事業に参画している

中核園事業の役割を意識し、地域貢献に取り組んでいる。近隣小学校の地域子育てネットワークに属し、中核園事業の地域連絡会にも参画している。地域子育てネットワークに積極的に参加して、乳幼児期の子どもに関する専門的な知識を地域に還元できるように取り組んでいる。学校、地域コーディネーターの方がうまく取りまとめをしてくれているため、積極的に参加し、協力することで小学校や児童館との関係は良好である。引き続き、地域の子育てを支える施設として、園から発信できることを探っていく方針である。

4 カテゴリー4		
リスクマネジメント		
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー4の講評		
<p>避難訓練の計画策定と定期的な訓練の実施により災害に備えている</p> <p>杉並区として業務継続計画を策定している。災害対策のマニュアルも備えている。避難訓練計画を作成し、火災や地震を想定した訓練を毎月行っている。朝夕保育や土曜日などの職員体制の少ない場合や様々な場面を想定して実施している。保護者にも協力を呼びかけている。訓練後は反省会を設け、次への改善につなげている。そのほか、避難・防犯訓練を定期的に行い、振り返り、リスク回避に努めている。他園で起きた事例については、必ず共有し、自園の場合に置き換えて、同じようなことを起こさないよう仕組みづくりに努めている。</p> <p>危機管理マニュアルに則り必要なリスクマネジメントの対策を取っている</p> <p>日常的に起こるヒヤリハットや事故の報告を行い、対策を検討し全職員へ周知している。会計年度任用職員にも昼ミーティングでの報告など、情報を口頭で伝えて共有している。「適切な保育とは」に着目して、皆で改めて不適切な保育についてを考えている。リスクマネジメント対策としては、危機管理マニュアルを各々が理解して、手順に則り、報連相を徹底し、すぐに全職員へ再発防止策を知らせるよう努めている。保護者にも危機管理や再発防止の取り組みを知らせ、協力を依頼している。</p> <p>各記録類の管理は、管理簿を活用しながら適切に取り扱っている</p> <p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。危機管理マニュアルが全国統一で配布されているので、何か疑問があればきちんと確認や対応できるように備えている。「情報セキュリティ対策基準」によりアクセス権などの設定をしている。個人情報となる各記録などについては、事務所の鍵のかかるキャビネットで保管している。各記録類の事務所からの持ち出しは、管理簿を活用して適切に取り扱っている。各種記録類は、区が定めた保存期限に則り、適切に破棄・保管している。</p>		

5 職員と組織の能力向上			カテゴリ-5
サブカテゴリ-1(5-1)			
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)			
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

区の決定を前提とし、園の状況を踏まえて、必要な人員の確保や配置を求めている

区として人材育成のための基本方針を定め、目指す職員像や育成の仕組みを明らかにし、園と連携を取りながら人材確保を行っている。採用後は配置園での指導のほか、研修を実施するなど、人材育成に努めている。異動や人員の配置なども、育成の方針や見直し、区内各園の状況などを総合的に勘案して行われている。園としての考え、個人の希望などのほか、配置された人材を含めた職員構成などをもとに、現状や見直しを踏まえて、担任や係・役割分担などを決定している。

組織が求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

区は、職員人材育成事業実施計画に基づき、人事課と保育課が各研修を実施するなど、人材育成と組織力向上に力を入れている。新任職員育成研修のほか、2、3年目の職員に経験者がついて保育実践の振り返りを行いつつ、長期的な育成に取り組んでいる。そのほか、経験年数や職層に応じて実務研修を実施している。研修などの達成度を確認し、係の目標シートを基に個人の目標申告シートを策定している。そして、面談により年末に進捗と成果を確認し、年度末に成果と課題を総括している。こうした仕組みにより、業務の遂行や能力の向上をサポートしている。

園内研修などを通して活発に意見を出し合い、チームワークを高めている

研修受講後は、研修報告会で内容を発表し、皆で共有している。例えば1歳児クラスは、手作りおもちゃを毎月定期的に子どもに提供して環境を整える取り組みを継続している。保育の振り返りや園内研修では、テーマに沿い、クラスまたは少人数グループごとに意見交換を行うなど、話しがしやすい場を設け、職員の気づきを促している。子どもが安心して生活できるように、日頃からチームワークを大切にした保育に取り組んでいる。また、園長・主査を中心に就業状況を把握し、ローテーション勤務の中で必要な休暇などの取得に努めている。

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
<p>評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>令和4年の係の目標である「すべての子どもと保護者が満足する保育がより充実するとともに継続できるよう、課一丸となって課題にチャレンジしよう」を念頭に置いて、一年を通していくつかの取り組みを進めた。その際に、「保育所保育指針」を踏まえて区としての方針を示した「杉並区立公立保育園実践方針」の内容を改めて確認することに加え、保育の場面ごとに留意すべき点や着眼点などを区としてまとめた「保育実践の手引き」を積極的に活用した。</p> <p>毎月のカリキュラム作成時に、「実践方針」と照らし合わせて、自分達の実践が「保育実践の手引き」のどの部分に当てはまるのかを確認しながら進めた。これにより、「何を大切にしていかなければならないか」「行っていることが、何に結び付いているのか」を改めて確認することができた。</p> <p>園による自己評価としては、事前準備の充実が討議や考察の充実につながったのでは、というところである。今後も、今回の取り組みを活かして、「実践方針」で示された視点を踏まえた保育実践を行っていく方針である。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
<p>評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</p> <p>「実践方針」や「保育実践の手引き」は、園運営や保育実践を行う上で遵守すべき各種法令や保育所保育指針などを踏まえた内容となっている。そのため、これらを参照することで、日々の取り組みが法令遵守につながるようになる。また、取り組みの根拠を遡って確認・理解することになり、自分達の日頃の取り組みに対する自信や確信にもつながる。さらには、振り返りの際の確固たる視点を提供する。保育施設としての社会的な役割に基づく、一貫した保育実践が行われていくための着実な取り組みが見て取れる。</p>	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

上記のカテゴリー7 評価項目①と同様に、係目標の実現に向けた取り組みを進めた。

「保育実践の手引き」が定める項目のうち、「危機管理」「食事」「人権」「散歩」などを選び、項目に沿ってグループを編成して討議を行った。
 ①危機管理については、個人情報保護の保護、事故・防災・防犯、緊急時の対応、②食事については、環境、安全・安心な食事の提供、授乳・離乳食の援助、適切な介助、食育、アレルギー対応、③人権については、人格の尊重、家庭環境の多様性への配慮、虐待の防止と早期発見、④散歩については、自然や身近な社会に触れる体験、安全管理・危機管理など、「保育実践の手引き」が示す視点を活用して、現状を整理し、また掘り下げて考える機会となった。

園による自己評価としては、事前準備の充実が討議や考察の充実につながったのでは、というところである。今後も、今回の取り組みを活かして、「実践方針」で示された視点を踏まえた保育実践を行っていく方針である。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

「実践方針」や「保育実践の手引き」は、園運営や保育実践を行う上で遵守すべき各種法令や保育所保育指針などを踏まえた内容となっている。そのため、これらが示す項目に沿って現状を振り返り、捉え直していくことは、取り組みの内容をより責任あるもの、一貫性のあるものにしていくことにつながる。日々、当たり前のように行われていることを確固たる視点で改めて振り返るこうした取り組みは、今後も園の取り組みの基盤を強化し、また取り組みの充実を支えていくものになると思われる。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇〇)</p>		
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
区の公式ホームページや公式アプリなどで情報提供している 杉並区公式ホームページの「保幼(ぼよ)ナビ」や区の公式アプリケーション「すぎぼよ(保幼)」などにより、園の情報を発信している。区のホームページの施設案内では、園概要や行事、活動や行事などの取り組みを発信している。利用希望者に対し、園の情報や特色、活動内容が伝わりやすい記事作りを心掛けている。地域との関係が良好で、コロナの影響でできなかった地域のお祭りなど、参加できることが増えてきているので、今後は地域の中の保育園としての良さを広く発信したいと考えている。		
公立保育園として行政や関係機関と情報交換しながら連携を深めている 公立の施設として、区の主管課へ日々様々な報告を行い、園運営について連携を密にしている。園長は毎月区立保育園長会に参加して、行政から情報提供を受け、課題検討や情報交換をしている。主査は主査会、看護師や栄養士は専門職の会議に参加して、課題検討や情報交換をしている。また、中核園としても「顔の見える関係づくり」をスローガンとして、地域懇談会や職員の交流など様々な取り組みを実施してきた。中核園だよりの発行などを通して情報共有の促進を図ってきた。各機関へ園の情報を提供しながら、連携を深めている。		
園見学は要望を聞きながら個別の状況に応じて対応している 見学希望者と日程を相談し予約をお願いしている。個別の状況に応じて要望を聞きながら、見学を実施している。見学時には、園概要を配布して説明しながら園舎内を見てもらっている。保育目標をはじめ、園庭には固定遊具や可動遊具があり、子どもが自分で考えて組み立てて遊べる環境があること、小学校や児童館との交流があることなど、園の特長も伝えて、質問に応じている。育児相談もっており、利用希望者に応じたサービスを提供している。		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評		
入園説明会や面接により、入園に伴う疑問や不安の解消を図っている 入園説明会では、園のしおりに沿ってなれ保育のことや、登園にあたっての基本的なルールについて説明している。「松庵保育園のご利用にあたって 重要なお知らせ」を使って、重要事項や個人情報の取り扱いについて説明し、同意書ももらっている。また、行事や保育で大切にしていること、苦情解決制度などについても説明している。年度途中に入園する場合には、その都度面接の際に同様の内容を伝えている。新入園児の保護者が、子どもの初めての集団生活の開始に伴う不安を軽減できるよう、丁寧に説明を行っている。		
保護者の状況や意向などに配慮して、なれ保育を実施している 入園開始直後は、子どもの不安やストレス軽減のために、1週間程度のなれ保育を実施している。入園前の面接時に就労状況などの保護者の意向を聞き、初日は親子一緒に過ごして食事を食べさせてもらい、2日目からは親子分離をして保育している。保護者には子どもの様子を詳細に伝え、子どもの慣れ具合や保護者の意向、希望、就労状況や職場復帰時期などを相談しながら進めている。できるだけ同じ職員が関わることで子どもや保護者との信頼関係を早めに築き、個々に合わせて進めることで、安心してもらえるようにしている。		
支援の継続性に配慮した支援を行い、子どもや保護者の不安を軽減している 卒園児の就学先へは「保育所児童保育要録」の写しを提出し、継続した支援ができるようにしている。就学を見据え、時期を決めて午睡をなくした生活リズムへ、年長児が無理なく移行できるようにしている。転園や退園する保護者には、その際、初めての環境に対して心配なことなどの有無について個別の相談に応じ、不安の軽減に努めている。保育終了時はスムーズな就学につながるよう、保護者会や面談などを通じて就学に向けた情報提供を行っている。		

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	13 / 13
3	個別状況に応じた計画策定・記録		
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ-3の講評			
全体的な計画や子どもの様子を踏まえ、指導計画を策定している 入園前の健康診断や面接により、出生歴や成育歴、発育経過、既往歴、健康上の注意を把握している。入園後も日々子どもの様子を日誌や連絡帳を使って把握している。そして、全体的な計画を踏まえて、養護と教育の各領域を考慮して年度当初に担任間で話し合い、年間指導計画を立案している。また会議の場で各クラスの計画について全職員で共有している。その上で、保育目標を具体化する実践計画として年齢ごとに指導計画を作成し、子どもの様子を踏まえて定期的に会議で検討し、定められた手順に従って振り返りや見直しを行い、課題を明確にしている。 指導計画はクラスの状況や子どもの実態を担任同士で話し合い、作成している 全体的な計画を基に年間指導計画を作成し、それらを踏まえ、担任間でクラスの状況や子どもの実態を振り返り、月間指導計画を作成している。月のねらいを決め、養護と教育の各領域の主な活動、援助・配慮、環境構成などの内容で立案している。乳児と特別な配慮を要する子どもについては個別の計画を作成し、幼児は適宜子どもの姿と配慮についてまとめている。前期保護者会では、クラスの目標や年齢・発達に応じた子どもの姿などを伝えて、年間指導計画について説明している。廊下に掲示する貼り出し指導計画は、少し大きく印刷して見やすくしている。 子どもに関する情報を共有するために、様々な会議を開催している 指導計画について検討する会議を毎月設けている。クラス運営や子どもの状況などの質疑応答、課題検討をし、職員間で共有している。そのほかにも、子どもに関する情報共有のために、各種会議を開催している。話し合う時間を確保する取り組みのひとつとして、0歳児以外、午睡時間中に園児から離れてクラスの振り返りの時間を設けることを始めた。週1回は設けることで、予定や流れを担任同士でスムーズに確認できている。また、気になる子どもの姿を話し合うことで、その子にとって最善の方法を見つけることができている。			

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評		
<p>子どもに関する情報をやり取りする必要がある際は、保護者の同意を得ている</p> <p>「杉並区立保育園保育実践方針」「杉並区保育実践の手引き」を活用して、年間・月間の指導計画の打ち合わせ時に、子どもを尊重する保育について確認・共有している。入園時には個人情報の取り扱いやプライバシーの保護、個人の尊厳の尊重について、慎重かつ丁寧に扱うことを説明し、保護者の同意を得ている。子どもとの関わり方や発達援助のため、巡回相談の心理専門職から指導を受けるなど、他機関と連携をとる際には、改めて保護者の同意を得てから行っている。</p> <p>一人ひとりの子どもを大切に保育している</p> <p>子どものプライバシーについて職員は共通の認識を持ち、羞恥心に配慮した保育を行っている。乳児のおむつ替えは、遊ぶスペースから視覚を遮られるようにコーナーを作っている。幼児は、看護師による健康教育で「プライベートゾーン」について話を聞き、健康維持への関心を育んでいる。何をして遊ぶのか、子どもが選択できるよう遊具の数を揃え、発達にあった玩具を用意している。子どもがやりたくない時は、見ていることも参加と捉える職員の考えが浸透している。その時々のお気持ちに留意し、集団活動への参加の仕方について寄り添うようにしている。</p> <p>職員は子どもの虐待や保護者支援に関する研修に参加して学んでいる</p> <p>各家庭が様々に抱えている状況を踏まえ、価値観や生活習慣に配慮した保育を行うために職員全体で状況を共有し、同じように対応ができるようにしている。虐待防止や育児困難家庭についての研修には職員が積極的に参加し、研修報告会を開いて成果を職員全体に還元し、理解を深められるようにしている。担任のみならず、朝夕保育の当番も含めた職員全体で、日頃から子どもの虐待の早期発見や防止に気をつけている。子どもの表情や言葉、服装などに注意を払い、職員間で連携し、情報共有しながら全園児を全職員で見守っている。</p>		

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー6の講評			
<p>区立園共通のマニュアル類を整備し、園独自の手引書も作成している</p> <p>区立保育園共通の「杉並区立保育園保育実践方針」「杉並区保育実践の手引き」は職員各自が持っている。「危機管理」「保健衛生」などの区立保育園共通マニュアルは事務室に備えている。パソコン内でいつでも確認することができるように格納場所を周知している。園独自の手引書には、保育に関わる確認事項、保育中の緊急対応マニュアル(けが、病気・発熱、救急車要請が必要な場合)、防犯マニュアル、園庭遊びの約束事、当番保育士の動きと仕事内容、写真の取り扱いなどを綴り、必要な時にすぐ確認できるようにしている。</p> <p>基本事項について定期的な点検のほか、必要な場合には随時検討し見直している</p> <p>提供しているサービスについて、年度末の年間反省において職員全体で点検・見直しをし、必要に応じて改変している。改変した事項については、職員全体で共有し、必要な場合は保護者会や園だよりを通じて保護者にも周知している。ヒヤリハットなどから必要が生じた場合は、年度末に限らずその都度点検・見直しをしている。保育関連の業務内容全般については、半期反省や年間反省を行い、必要に応じて見直している。短時間や一般など、多岐に渡る働き方がある会計年度任用職員への基本事項の周知徹底についても、引き続き取り組んでいく方針である。</p> <p>保護者や職員からの意見や提案は検討して見直し、サービスの質の向上に努めている</p> <p>より良い保育の提供に向け、保護者や職員の意見、自由な発想や気づき、子どもの様子などから必要と判断したことは、すぐに見直し、改善している。保護者からの意見や要望も、必ず全職員に周知して必要に応じて検討している。業務に関する書式などは、公立でも各園で使い勝手が良いように手直しができるものもあるので、サービスの質を向上させるため改善に取り組みたいと考えている。何をなくし、何を取入れた方が良いかを精査して、園の取り組みの発信に努め、保護者や職員の意見や要望を反映できるようにしたいと考えている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ4	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	36 / 36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(000000)		
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="radio"/> 非該当		
評価項目1の講評				
<p>興味・関心や声、季節などにより玩具類を入れ替え、子どもが遊びたい物を用意している</p> <p>保育室や園庭の環境は、子どもが自分で遊びたい物を選び、じっくりと一人で遊んだり、友だちと関わりながら遊んだりできるようにしている。各クラスとも、環境構成に創意工夫を凝らしている。室内プロジェクトでは、危険箇所など定期的に見回りを行っている。園庭プロジェクトを中心に、発達を促し子どもが興味・関心を持てる遊具を設定している。保育室内には構成遊び、ままごと、制作遊びなどのコーナーを作っている。玩具や遊具は子どもの発達や興味・関心、子どもの声などにより、入れ替えをして、遊びたいと思えるような環境作りに努めている。</p> <p>子どもの気持ちを尊重した対応を追求している</p> <p>発達の過程で生じる子ども同士のトラブルに対しては、子どもの気持ちを代弁し、双方の子どもの気持ちをくみ取り、寄り添っている。縦割りの交流や園庭での自然な交流を通して、世話をしたり、されたりすることの心地よさの中から、相手を知り、思いやる心が育まれるよう、保育者が仲立ちとなっている。気持ちを共有したり、相手の気持ちを伝えたり、気づけるような言葉がけをするなど、対応している。また、職員間で情報を共有し、日々の中で声を掛け合いながら、保護者にも状況を伝え、一人ひとりが安心して安全に過ごせるように保育している。</p> <p>子ども一人ひとりの発達に応じた保育と関係機関との連携や円滑な接続に配慮している</p> <p>特別な配慮を要する子どもの保育では、その子に寄り添い、人格を尊重し、必要に応じた人員配置をした上で保育を行っている。生活環境、個別配慮について職員間で相談し、個々の個性を認め、共通の対応をできるようにしている。異年齢との交流や、園庭開放を通じた他園の園児との交流なども行っている。また、学校だよりを5歳児クラス保護者に配布している。運動会の会場として小学校の体育館を借りている。30分程度ではあるが、運動会前に体育館を借りて実際に入ること、雰囲気味わうことができている。</p>				

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登園時には子どもの健康を観察し、家庭での子どもの様子を聴いて受け入れている 登園時には挨拶を交わし、前日の様子、顔色や体の状態を観察し、体調やけがについて保護者に確認している。体調により薬の使用の有無など家庭での子どもの様子を聞きながら、受け入れをしている。また、朝夕ノートを使い職員間で情報を共有している。前日からの申し送りや受託時の保護者からの連絡事項は、当番職員が家庭の様子を保護者に確認し、漏れのないように対応している。お迎えの際は、職員一人ひとりが情報共有の大切さを意識して確実に伝達を行い、子どもの様子を保護者に伝えている。</p> <p>生活の中での体験の積み重ねを通して、基本的な生活習慣の確立を援助している 身の回りのことを自分で出来るようになるために、生活習慣の確立に関わる項目を年間・月間の各指導計画に位置づけ、年齢・発達に応じた援助を行うことで、生活を通じた習慣化を図っている。スプーンや箸の持ち方、排泄の自立のほか、生活に関わる様々な事項を発達に応じて繰り返し援助し、見守り、意識向上と自立に努めている。子どもの意思表示をしっかりと受け止め、個々の状態に合わせた対応を職員間で共有している。個々の発達の状態に応じ、基本的な生活習慣が身につくように、丁寧な関わりを心がけている。</p> <p>個々の発達の状態に応じて、基本的な生活習慣が身につくよう援助している 保育者は子どもの状況を共有し、共通認識を持ち保育を行っている。午睡と休息は園で長時間過ごす生活において身体を休める時間として捉え、家庭での生活リズムやその日の体調などを考慮しながら必要な時間を確保し、個別に対応している。5歳児では、後半の午睡時間については、クラスの子どもに合わせた期間や時間を決めている。寝つけぬ時や早く目を覚ましてしまう場合は、別室で過ごすなど、配慮している。基本的な生活習慣の獲得に向けた保育について、個人差をよく見極め、常に保護者と連携しながら成長を促す援助に努めている。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもの自主・自発性を尊重し豊かに遊び込める保育を実践している 子どもが自発的・意欲的に関わられるような環境設定を心掛け、子どもが主体的に遊べるようにすることを大切にしている。集団活動では、子どもが興味を持てるような誘い掛けをしながら、やりたくないという子に対しては、その意思を尊重し、友だちの楽しんでいる姿を見たり、その活動を繰り返し経験できる機会を用意したりすることで、主体的に関われるまで待つようにしている。各年齢で子どもが自ら選択し、考え、決め、遊びこめるように、年度当初に担任間で話し合い、共通認識を持ちながら環境構成を整えている。</p> <p>大人との信頼関係のもと、子どもが安心して活動を楽しんでいる 一人ひとりの年齢や発達に沿った表現方法を的確に捉え、環境を整備している。そして、大人との信頼関係のもとに、安心できる環境の下でやり取りを楽しめるように関わっている。園庭では、マルチパーツ、ごさ、タイなどの可動遊具を使って自由に遊んでいる。散歩などの戸外活動では、豊かな自然に触れ、季節の移り変わりを感じられるようにしている。幼児クラスでは、子どもにもわかりやすい絵カードを使って、さわやかさん、おどおどさん、おこりんぼさんなど示して、自分の気持ちを引き出し、相手の気持ちにも気づけるような取り組みも行っている。</p> <p>各領域に即した取り組みを行う中で、年齢に応じてきまり等の大切さを経験している 各年齢に応じたきまりやルールの大切さを、生活や活動の中で無理なく経験できるように配慮して年間指導計画を立案し、保育の中でその都度援助や仲立ちを行っている。生活の流れを一定にして、子どもが見通しをもって生活できるようにしている。遊びの中でルールがあるから楽しめることを知り、負けて悔しい体験や今はできないこともあるという経験から、気持ちをコントロールできるように、思いを受け止め、見守るなど配慮している。子どもの姿を捉えて保育に反映しつつ、子どもが主体的に集団活動に関われるようにしている。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもの発想を実現できるように保育の活動を考えて取り組んでいる</p> <p>子どもの遊びが豊かになるよう、楽しいことや面白そうなことを各クラスが保育の中に取り入れている。5歳児クラスでは、夏に育てたスイカが割れてしまったことをきっかけに子どもと担任で相談したところ、スイカは給食や家でも食べられるから、スイカ割りをやりたい、との意見が出た。それを栄養士にも相談して実施した。夏の思い出の絵画にスイカ割りを描く子が多かったことから、やりたいことが実現できて楽しかったことがわかる。子どもが行事に主体的に関わることができるか、子どもにとってどうなのかについていつも考えながら取り組んでいる。</p> <p>行事の取り組みを保護者に伝えて保育への理解や協力を得ている</p> <p>年度始めに年間行事予定を保護者に配付している。行事への取り組みは、子ども一人ひとりの成長やそれぞれの力が発揮されるように、職員同士で話し合いながら進めている。子どもの遊びが豊かになるよう、各クラスで楽しいことを保育の中に取り入れている。また、子どもが互いの良さを知り、達成感を感じられるよう取り組んでいる。保護者にも園での様子を理解し興味をもって欲しいと考え、朝夕の送迎時のやり取りや、公開日誌などで呼びかけたり、クラスだよりなどで園の様子を知らせるなど、家庭での話題作りのきっかけにもなっている。</p> <p>行事の実施にあたり何を大事にしていくかを考え、ねらいや内容について検討している</p> <p>行事については、コロナ禍での対応や、これまで行ってきたことの中で良かったことを取り入れながら、行事ごとのプロジェクトで話し合い、職員全体で課題点を共有している。行事の実施にあたり、何を大事にしたいかを考え、各年齢で経験して欲しい内容を全職員で検討した。伝承行事についても年齢や時期によって無理なく経験できるように、対象クラスを絞って実施したり、乳児・幼児に分けて内容を変更して実施したりしている。職員は行事が子どもの経験を豊かにし、成長につながるよう考え取り組んでいる。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>保育時間の長い子どもが快適に過ごすことが出来るよう配慮している</p> <p>園で長時間過ごす子どもの視点に立ち、空間的にも様々な配慮をしている。朝夕保育の時間では、子どもが安心できるように、年度初めは可能な限り担任が当番に入るなど、配慮している。朝夕の会計年度任用職員も、同じ職員を配置している。乳児クラスは体を横にできるよう、通称「遊び用布団」を置いている。なりたい時に一人になり、ゴロンとできる環境を作っている。保育時間が長くなると、気持ちが不安定になる場合もあるため、好きな遊びを楽しめるように、年齢に応じて使いたい遊具を子どもが選び取れる環境作りを心掛けている。</p> <p>提供する活動内容は静と動のバランスを考え、環境を整えている</p> <p>家庭的な雰囲気の中、安心して自分のやりたい遊びが出来るようにコーナーを設け、身体を休め、静かに過ごせる場を保障している。一日の園生活の中でも活動の静と動のバランスを考え、思い思いの活動をしなが、ゆったりと過ごせるよう工夫している。子どもの状況や遊びに合わせて、少人数に分かれて過ごすことができるようし、遊びごとに環境を分け、じっくり遊べるように工夫し、落ち着いて過せるようにしたりするなど、様々な援助している。</p> <p>保育形態の変化がある中でも落ち着いて過ごせるようにしている</p> <p>子どもの様子を把握するため、しっかりと健康観察を行い、様子に合わせた保育を行っている。保護者への申し送りは、必ず確認して漏れないように注意して対応している。保護者や担任からの連絡事項の引き継ぎは、朝夕ノートを使って徹底している。クラス保育から合流する時間については、子どもの状況や時期に応じて柔軟に対応している。異年齢児が同じ空間で過ごしても、安心して保護者の迎えを待つことができるような環境作りを心掛けている。</p>		

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

子どもが食について関心を深め、安心して楽しく食べることができるよう取り組んでいる

子どもの成長に合わせて、栄養バランスを考えた給食の提供を行い、落ち着いた雰囲気の中で食事ができるようにしている。乳児は個々の体に合うように調整された椅子に座り、緩やかな担当制をとり、同じ大人と一緒に食べるように配慮している。乳児期は味覚が過敏なので子どもが嫌がる食べ物は無理に勧めず、家庭と給食との間で形態に差がないように、保護者との連携を重視している。現在の喫食状況を踏まえ、今後も園全体で食育の取り組みを広げて、子どもの食への関心をさらに高めていく方針である。

除去食品がある場合は食物除去連絡票を提出してもらい、対応している

各園の意見を参考にして作成された区立園統一の献立を使用し、園の調理室で調理して給食を提供している。食物アレルギーや文化の違いに応じた食事も提供している。除去食品がある場合は、食物除去連絡票を年1回提出してもらい対応している。食事の提供の際は、献立表や成分表のチェック項目についての保護者との確認、アレルギー会議での確認、前日のミーティングでの除去食についての確認を経て、マニュアルに則り、除去食や代替食を色のついたトレーで提供している。提供直前には担任と調理員とで口頭で確認し、誤食のないように努めている。

安全・安心して楽しく食べることができる食事を提供している

メニューや味付けを工夫している。幼児の誕生日には同じメニューで盛り付けを工夫した誕生日プレートを提供し、行事には行事食を提供している。近隣の畑でサツマイモ掘りを経験させてもらった。2～5歳児は、自分で育てた野菜を収穫し、食べる経験が出来た。味付もリクエストし、能動的に関わる姿が見られていた。食育活動では、ガラスの鍋で米を炊いてラップにぎりぎりして食べる取り組みを行った。炊き上がる様子が見えるので、子どもも興味津々だった。5歳児は当番活動として給食ボード表示に取り組むことで、食への関心を高めている。

7 評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

子どもが健康や安全に関心を持てるように情報発信や指導を行っている

年間保健計画を作成して、年齢に応じ子どもが病気やけがに対する安全意識を高められるようにしている。自分の身体・健康・安全に興味を持てるように具体的な方法を計画に盛り込み、健康教育に取り組んでいる。看護師は幼児クラスを中心に視力測定・手洗いの仕方・プール前にはプライベートゾーンの話子どもにわかりやすい教材を使用して、視覚的に伝えている。子どもが健康や体に関心を持ち、大切さを知ることができるように取り組んでいる。また、乳幼児突然死症候群の正しい知識を知らせ、園では全クラス午睡チェックを行っている。

子どもが罹患しやすい感染症などの情報を随時保護者に周知している

毎月保健だよりを発行し、園の保健行事を伝えたり、季節や時期に応じた健康に関する情報を掲載している。薬については、区立園共通の対応として原則預からないが、慢性疾患などのために薬の使用が必要な場合には、保護者の代理として与薬することになっている。その際は、与薬申込書を提出してもらい対応している。園児の健康管理として毎月の身体測定、年2回の嘱託医による健康診断、年1回の歯科健診、幼児対象の眼科・耳鼻科健診を実施している。嘱託医には感染症や園児の健康に関することを相談しアドバイスも受けている。

保護者に安心を与えられるように子どもの健康維持に向けた取り組みを行っている

子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがの予防・防止できるように援助している。保育者は、常に安全を考え、散歩先での安全確認を実施し、固定遊具の使い方、散歩先の危険箇所、道の歩き方などの危険回避の方法を年齢に合わせて知らせ、子どもへの目配り・気配りなどを行っている。また、子どもの健康に関する保護者への情報提供や、感染症発生時の注意喚起もしている。病気やけがの対応には、園長(不在時は主査)、該当クラス職員で対応方法を共有し、保護者に安心感を与えられる誠実な対応を心掛けている。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		○非該当
評価項目8の講評			
<p>保護者との信頼・協力関係作りを行っている 入園時に家庭連絡票を提出してもらい、就労や家庭の状況を把握している。保護者の就労や通勤時間などに合わせて、保育時間を決めている。家庭の事情によって急な変更の相談があった時は、可能な限り対応して支援している。子育てにおける個々の事情についても話をよく聴き、職員間で共有して支援を行っている。子どもの成長の喜びの共有、保護者の思いへの共感、日頃の密な連携などを通して、保護者が安心して子育てをすることができるよう支援している。</p> <p>保護者と子育ての共通認識を持てるような取り組みを行っている 保護者とのコミュニケーションを大切に、子育ての協力関係を築き、共通認識を深められるよう取り組んでいる。年に2回、各クラスの保護者会を実施している。コロナ禍にはできなかった懇談を再開し、保護者同士の交流の機会としている。個人面談では、園や家庭での子どもの様子について保護者と確認し、育ちを共に支えていくために今後の方針を共有している。各クラスでは保育参加や保育参観に積極的に誘い、実施している。保育者の関わり方や、同じクラスの友達の様子を見てもらい、一緒に大きくなることを喜び合えるよう伝えている。</p> <p>子どもの発達や成長について保護者と共有できる取り組みを行っている 保護者が安心して子育てをできるように、常に保護者の声に耳を傾け、必要に応じて向き合って話す機会を作り、日々の送迎時にも子どもの姿を伝えながら、保育者の思いを伝えるようにしている。保護者の要望に対しては、職員全員で話し合い、どの職員も同じように対応することを大切にしている。大変そうな状況が見て取れる場合は、保護者に寄り添いながら、もう少し踏み込んだ援助ができるようにしたいと考えている。園の保育を理解してもらおうことが、共有と信頼につながっていると感じている。</p>			
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(00)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		○非該当
評価項目9の講評			
<p>地域資源を活用し、子どもが様々な体験や交流ができるようにしている 地域の区立公園などに散歩に出掛けて遊んでいる。近隣の方とも自然に挨拶を交わし、触れ合う機会がある。また、コロナ禍以前に行っていた、地域の方による読み聞かせを月に1度開始した。(5歳児クラス)父母会にも声をかけ、園児へ披露してくれる人を募集してもらっている。そのほか、地域のまつりに参加して、5歳児クラスはオープニングに小学校校庭で踊りを披露した。児童館職員がパイプ役となったが、児童館職員、学校支援員に褒められ自信につながる良い経験が出来た。</p> <p>園の取り組みに地域の人参加を呼びかけ、交流の機会を広げていく 今年度から中核園事業を中心に、地域とのつながりを広げる取り組みを始めている。他施設の職員との交流をきっかけに、園庭開放の機会を利用して子ども同士の交流を始めている。散歩先での交流活動につなげていく意欲も持っている。また、近隣在住の家庭保育の親子や幼稚園との交流や取り組み内容については、今後工夫したい考えである。また、ふれあい保育の参加を増やしたいと考えている。取り組みを積極的に周知し、園を知ってもらい、実際に保育園を体験してもらおうことで、地域の子育て支援に貢献したいと考えている。</p> <p>地域との連携のもと子どもの経験を広げる取り組みを行っている 近隣小学校、隣の児童館と連携している。当園は区の中核園事業の中核園として、地域の保育施設同士の交流を企画・開催し職員同士で交流をしている。園庭開放も行っており、子ども同士の交流も始めている。児童館との合同の避難訓練も行っている。地域ネットワークの繋がりが中核園としての取り組みを踏まえ、園として今後さらに地域の情報を収集して連携を強化したいと考えている。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもが主体的に関わりながら、やりたいことが実現できるよう必要な支援をしている	
内容①	子どもは様々な活動を通して表現を楽しむことを経験し、自分で考えたり、アイデアを出したり、やってみたいことを見つけたりして、発信している。それを保育者が聞き取り、子どもの思いに寄り添いながら、子どもの「やりたい」という思いが実現するように、日々の保育を考え展開している。特に幼児の取り組みでは、子どもの発想や気づきを展開させられるよう、働きかけや支援を工夫している。子どもが主体的に集団活動に関われるよう援助し、活動を積み重ね、やり遂げる喜びや楽しさを味わうことができている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	1-1-3	重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している
タイトル②	重要な意思決定の決定経緯を周知し、より良い取り組みを目指して工夫に取り組んでいる	
内容②	職員のチームワークが良く、子どものために良い保育をしたいという思いがある。より良い会議の持ち方を考え、仕組みの工夫をしている。リーダー層中心に会議に必要な事項を把握し、職員に周知している。事前準備や当日の進行など役割分担を決めており、担当者がスムーズに会議を進められるようにしている。議題記入用紙に提案者名を入れて書き込み、議題を集約している。当月の会議予定を一枚で把握できるような書式を活用し、限られた時間の中で効率的に会議を進め、成果を上げられるよう、保育向上リーダーと主査が全体を牽引して邁進している。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル③	地域資源を活用して子どもの経験が豊かになる取り組みを行っている	
内容③	同じ建物に児童館、隣には小学校があり、子どもが育つ環境が揃っている。児童館や学校との関係も良好である。松庵地域のお祭りでは、年長クラスが踊りを披露する場の提供があり、大勢の前で踊る経験をさせてもらった。引き続き、地域との良好な相互関係を活かし、子どもの経験をより豊かなものにしたいと考えている。また、今年度から中核園に指定され中核園事業に取り組んでいる。職員の意識が高く、「もっと地域を知り、身近な相談できる地域の保育園として機能していきたい」という思いがあり、職員も前向きに自分事として関わっている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	職員一人ひとりが互いを尊重し、より良い保育への気概を持ち取り組んでいる
	内容	職員のチームワークが良く、「子どものために良い保育をしたい」という思いがある。若手職員には育ち合おうとする姿が多く見られ、リーダーとして責任を持ち、小さなことから取り組み、経験を重ね、チャレンジできるチャンスが豊富にある。また、ベテラン職員は見守りながら必要に応じ、アドバイスできるような人間関係がある。経歴年数に関わらず、互いを尊重し、相談しながら相手の良い面を認め合うことができている。経営層のリーダーシップのもと、個人の考えややりたいことを伝えられる職場環境があり、やりがいを感じながら取り組んでいる。
2	タイトル	事故の要因、対応を分析して再発防止と対策の見直しに取り組んでいる
	内容	他園の連絡帳などの渡し間違いという事例を聞き、園として再発防止に取り組んだ。乳児連絡帳には、渡し間違いを防ぐため、大きな名前を貼り付け、連絡帳を手渡すことの意味やリスクを考え、保育者自身の意識や行動の振り返りを行った。また、誤食の発生を受けて、「絶対に起こさない」と周知徹底した。全職員で対応方法を改めて確認し、アレルギー献立表を入れるファイルの色を統一するなど、意識を常に持つことができるよう、危機管理をより強固にする対策を取っている。
3	タイトル	日々情報共有に努め、組織力の向上を図っている
	内容	職員が同じ方向を向いて保育を進めるためには情報共有が重要である。そこで、一人ひとりが各マニュアルや周知すべき文書への理解を深め、活用できるようにすることを重視してきた。必ず目を通すべき事柄については、口頭で伝え付箋を付けて目立つようにして示している。閲覧必須のものにはサインを入れるなど、確認できるようにしている。会計年度任用職員も勤務時間の長い方は会議に参加することもある。また、個別に話す時間を持ち情報共有に努めてきた。職員は、保育に携わる責任を自覚して普段から気づきを共有する意識をつけているところである。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	ヒヤリハットの捉え方を再確認して、再発防止と対策の見直しに活用する
	内容	事故の背後には一定数の事故に至らない事例＝ヒヤリハットがある。事故防止にはこれを収集し、傾向を分析し、対応策を立てて実行していく必要がある。この取り組みを有効なものにするには、事故とヒヤリハットに対する正確な理解と、ヒヤリハットをプラスのものとして捉えることが必要となる。後者では、リスクに対する感度や察知能力が重要で、また、漏らさず捉えることが事故防止につながるという意味で、少ないよりも多い方が好ましい性質のものである。ヒヤリハットの捉え方を再確認し、その有効活用に今後も取り組んでいくことを課題としている。
2	タイトル	不適切保育を防ぐため、組織全体の取り組みとして様々な視点で考えていく
	内容	不適切保育や虐待防止について組織的に取り組むにあたり、「適切な保育とは何か」を改めて考えることが、理解を深めることにつながるのではないかと気がついた。園では情報や研修報告を共有しているが、職員一人ひとりの受け止め方によっては、保育を実践する際に子どもの姿の捉え方や対応が異なる事例も生ずることに気がついた。「子どもの気持ちを尊重することとは」「どのような対応が適切なのか」について、引き続き深めていくことを課題としている。
3	タイトル	地域の施設や利用者との交流を深め、子育て支援につなげ、中核園として地域の拠点となるように取り組みを進めていく
	内容	今年度から地域の中核園として、職員や園児の交流、園庭開放などを中心に可能な範囲で取り組んできた。地域懇談会や交流を通して情報をスムーズに共有し、自園の保育に活かせることも増えている。また、中核園としての取り組みに対する職員の意識にも変化が表れている。中核園は、保育の質の確保を図るため、地域における保育施設間の連携・情報共有の促進など、保育内容の向上に向けた役割が期待される存在である。こうした役割を果たしていくために、まずは地域に対する情報発信の工夫、保育施設間の連携などを進めていくことを課題としている。

7.荻窪東保育園

荻窪東

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

2024 年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 156-0043

所在地 東京都世田谷区松原3-38-16-107

評価機関名 株式会社 にほんの福祉ネット

認証評価機関番号

機構 06 - 168

電話番号 03-6379-5156

代表者氏名 岩下 敦史

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	岩下 敦史	福祉、経営	H2101100
	②	高田 富美子	福祉、経営	H2101111
	③	笠井 昌子	福祉、経営	H2201084
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	荻窪東保育園			
事業所連絡先	〒	167-0051		
	所在地	東京都杉並区荻窪四丁目23番20号		
	TEL	03-3220-1621		
事業所代表者氏名	榑原 恭子			
契約日	2023 年 7 月 5 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023 年 8 月 10 日			
利用者調査結果報告日	2023 年 10 月 20 日			
自己評価の調査票配付日	2023 年 8 月 10 日			
自己評価結果報告日	2023 年 9 月 29 日			
訪問調査日	2023 年 10 月 27 日			
評価合議日	2024 年 1 月 10 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	区担当者との打ち合わせにより全体の流れ、留意事項の確認を行った。その後、各園にて事前説明を行い、オンライン形式での利用者調査や紙媒体での職員アンケートの実施方法について説明を行った。訪問調査前には当日の訪問者、タイムスケジュール、確認予定の書類について案内した。訪問調査では施設見学もあわせて行い、実態の把握に努めた。合議では、訪問者2名と他の1名、事務局により内容の精査・修正を行った。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2024 年 月 日

事業者代表者氏名 榑原 恭子

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、一人の人間として今を生きる子ども達。子どもを信じ、可能性を信じ、大切にする保育。 2、より良いチームワークを築き、保護者と共に「とも育て」を進め、子どもの成長を援助していく。 （子育ての楽しさ、喜び、素晴らしさを共に感じ合う） 3、子育てに役立つノウハウを、保護者や地域の子育てに還元していく。 4、こころもからだも健康な子ども 自分のことも、人のことも大切にできる子ども 友だちとかかわり意欲的に遊ぶ子ども よく食べ眠る元気な子ども
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>○子ども、一人ひとりに寄り添い、主体的で対話的な保育をすすめられる保育士。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを、一人の個人としてとらえ、ありのままの姿を受けとめ、一人の人間として尊重し、子どもの立場で考え、子どもが主体的で意欲的に活動できるよう配慮できる保育士。 ・保育の専門家として、子どもの発達の特性をとらえ、時には一人ひとりの発達過程を長期的に見通しを持ち、発達の連続性に配慮しながら適切な援助が行える保育士。 ・保護者に寄り添いながら、子どもの成長を共に喜び合える保育士。 ・心身共に健康で、笑顔で前向きな保育士。 <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>○子どもの最善の利益を尊重できる職員。</p> <p>○子ども一人ひとりの発達や特性をとらえ、保育を考えられる職員。</p> <p>○チームワークを大切にし、保育の内容ややり方について、クラス毎、0.1.2歳児クラス、幼児クラス、保育園全体の保育士同士とのコミュニケーションを図ることができる職員。</p> <p>○子どもはもちろん、保護者や大人同士(異職種含む)、人権に配慮した行動や言葉に配慮できる職員。</p> <p>○専門職として、研修等の学びや自己研磨を通して、常に人間性と専門性の向上に努め、責務を果たせる職員。</p> <p>○組織の一人として、個人情報保護や報連相、ルールを遵守する職員。</p>

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢1人を対象として実施世帯数を絞り、調査対象者に対し実施。

調査方法

ウェブ回答システムを活用。機関が作成したQR記載の案内を事業所を通して各家庭に配布。各家庭においてそれを読み込んだ上で、個別に匿名で回答。

利用者総数

74

利用者家族総数(世帯)

59

共通評価項目による調査対象者数

59

共通評価項目による調査の有効回答者数

49

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

83.1

利用者調査全体のコメント

<総合的な満足度>

「満足」82%、「まあまあ満足」18%、計100%という満足度が示された。

<調査結果の講評について>

・肯定的な評価(「はい」との回答)が全体に占める割合についてのみ、記述した。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	49	0	0	0
回答者の100%が「はい」と回答した				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	46	2	0	1
回答者の94%が「はい」と回答した				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	46	3	0	0
回答者の94%が「はい」と回答した				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	39	7	1	2
回答者の80%が「はい」と回答した				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	34	4	0	11
回答者の69%が「はい」と回答した				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	40	7	2	0
回答者の82%が「はい」と回答した				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	31	10	3	5
回答者の63%が「はい」と回答した				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	45	4	0	0
回答者の92%が「はい」と回答した				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	47	2	0	0
回答者の96%が「はい」と回答した				
10. 職員の接遇・態度は適切か	49	0	0	0
回答者の100%が「はい」と回答した				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	47	1	1	0
回答者の96%が「はい」と回答した				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	37	5	0	7
回答者の76%が「はい」と回答した				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	47	2	0	0
回答者の96%が「はい」と回答した				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	38	7	0	4
回答者の78%が「はい」と回答した				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	43	5	1	0
回答者の88%が「はい」と回答した				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	42	3	0	4
回答者の86%が「はい」と回答した				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	32	12	2	3
回答者の65%が「はい」と回答した				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/>非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/>非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/>非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えていく <input type="radio"/>非該当
	カテゴリ1の講評	
	園が目指していることについて職員や利用者にわかるように周知している 園目標・保育目標を事務室や玄関に掲示し、職員会議で目指すべき方向性を職員に伝えるとともに、これらに則った保育の実践に取り組んでいる。保護者には、保育理念・保育方針・保育目標を記載した園のしおりを配付し、園の目指している保育について入園説明会で説明している。また、重要事項についても、入園説明会を通して周知している。そのほか、園だよりにも園目標や保育目標などの園で大切にしていることを記載して、保護者に伝えている。	
	経営層は自らの役割と責任を明確にして職員へ伝え、リーダーシップを発揮している 園長・主査それぞれの年間計画を立て、目標や取り組み課題を職員へ伝えている。園長・主査・保育の向上リーダーを当園の保育の質の向上を図るための6本柱として位置づけている。保育の向上リーダーは、区内各園の保育の向上リーダーが参集する会議に参加し、より良い保育に向けて横断的に情報を交換し、自園での実践の参考になっている。また、園内研修の企画・実施などにリーダーシップを発揮している。重要な案件や課題についてはトップダウンを避け、経営層(向上リーダー含む)がよく話し合い、明確な方向性を示し、一致して取り組んでいる。	
	園の重要案件は職員会議で検討・決定している 園の重要案件は、職員会議で検討・決定している。会議に参加できなかった職員は、議事録を回覧し情報共有の徹底を図っている。毎日の昼ミーティングでは、日々の確認事項、給食のアレルギ、ヒヤリハットなどを共有している。各会議の議題は優先度や時間を予め振り分け、事前準備をして臨んでいる。予定が先まで見通せる書式を使い、気づいた時にすぐ書き込み修正しながら会議の進行や議題を管理している。議題収集はクリップボードを利用、「なんでもメモ」も活用し、過去の会議記録は会議録フォルダーに綴り、いつでも見られるようにしている。	

カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>「中核園」として、地域の保育ニーズや課題について情報交換している</p> <p>区では、保育の質の向上を目指し各地域に「中核園」を指定し取り組んでいる。当園は中核園の指定を受け、様々な取り組みを通して地域の保育施設間の連携や情報共有の促進に取り組んでいる。中核園事業の地域懇談会で各施設長と情報交換をし、日頃から顔の見える連携に努めている。地域の児童館・保健所・小中学校・図書館などが参画する地域の子育てネットワークに参加し、地域のニーズや情報を得ている。また、中核園だよりを発行し、園長会・各種研修への参加などからも保育園をめぐる情報を収集し、職員へ伝えて、日々の保育に役立てもらっている。</p> <p>策定した計画は進捗状況に応じた見直しを行い、目標達成に向け取り組んでいる</p> <p>区では杉並区総合計画を策定している。園では、区の子ども家庭部保育課の組織目標を踏まえ、現状の課題を分析し、年度始めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。園の目標に沿って職員個々の目標を立て、組織目標の達成に一丸となって取り組んでいる。また、保育の実践に関しては、全体的な計画に基づいて年間指導計画などの保育計画を作成している。これらの計画については週・月・年間で取り組み状況を確認し、必要に応じて見直しを行いながら保育を進めている。</p> <p>保護者の要望や職員の提案などを園運営に活かしている</p> <p>保護者については、保護者会の懇談、個人面談など日頃の会話からニーズを把握している。職員には個別のヒアリングを実施し、また、主査や向上リーダーから現在の情報を把握し、それらの結果を運営に反映している。子どもの発達に合わせた保育を進めるために、毎月の指導計画では、ねらい、エピソード(活動)、振り返り(考察)が書ける形式へ変更したことで、各クラスの保育の意図や次月の目標がよく伝わるようになり、意見交換が活発になった。職員からも日々意見や提案などを聴取し、研修や行事などの園運営に活かしている。</p>		

3			カテゴリ-3	
経営における社会的責任				
サブカテゴリ-1(3-1)				
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2	
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。			<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)				
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4	
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている			<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3(3-3)				
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている			サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5	
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる			評点(〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している			<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている			評点(〇〇〇)	
評価	標準項目			
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している			<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる			<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

守るべき法・規範・倫理などが遵守されるように職員に周知している

園内の各会議や研修を含め、様々な機会を捉え、区立園の保育者、公務員として遵守すべき事項について、職員へ伝えている。会計年度任用職員には、ヒアリングや保育実践方針などにより、区立園で勤務する職員として遵守すべきことを定期的に伝えている。ほかにも、園長会での情報の報告や園のマニュアルなどに触れ、適宜伝え確認している。日々の保育での気づきは指導計画検討や打ち合わせなどで共有・検討し、迅速に対応している。虐待防止については、セルフチェックリストの活用や事例討議を通して、より良い保育について考える機会としている。

活動内容の開示や苦情解決方法の周知により、園の社会的責任を保護者に明確にしている

苦情解決に向けて保育園以外にも相談できる制度があることを園内の掲示や園だより、入園説明会で保護者に伝えている。電話、送迎時や個人面談などで把握した保護者の意向については、マニュアルの定めに沿って対応している。園長・主査への報連相を迅速に行い、必ず複数人で対応することとしている。昼ミーティングなどで他の職員も内容を共有している。保護者へ日々の保育を伝えるため、貼り出し日誌を掲示している。事務室前にまとめて掲示するようにしたことで、自分の子ども以外のクラスの様子が保護者に伝わりやすくなった。

地域の福祉ニーズを把握しながら中核園として各事業に参画している

中核園事業の役割を意識し、地域貢献に取り組んでいる。近隣小学校の地域子育てネットワークに参加したり、中核園事業の地域懇談会を開催している。地域子育てネットワークには積極的に参加して、乳幼児期の子どもに関する専門的な知識を地域に還元できるよう取り組んでいる。具体的には、子育て中の親子に役立つ遊びなどについて話すなど、保育士や看護師、栄養士が園の持つ専門性を地域に還元している。

カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー4の講評		
<p>避難訓練の計画策定と定期的な訓練の実施により、災害に備えている</p> <p>杉並区として業務継続計画を策定している。災害対策のマニュアルも備えている。避難訓練計画を作成し、火災や地震を想定した訓練を毎月行っている。朝夕保育や土曜日などの職員体制の少ない場合や様々な場面を想定して実施している。訓練後は反省会を設け、次への改善につなげている。そのほか、避難・防犯訓練をマニュアルに沿って定期的に行い、危機管理の充実に取り組んでいる。</p> <p>危機管理マニュアルに則り必要なリスクマネジメントの対策を取っている</p> <p>日常的に起こるヒヤリハットや事故の報告を行い、対策を検討し全職員へ周知している。会計年度任用職員にも昼ミーティングでの報告など、情報を口頭で伝えて共有している。伝え漏れを防ぐため、業務前に情報をすぐに確認できるようクリップボードを使い、記録や通知などの資料を事務所の所定の場所に備えている。確認終了後は常に新しい情報へと更新し、周知している。リスクマネジメント対策としては、危機管理マニュアルに則り、報連相を徹底しすぐに全職員へ再発防止策を知らせている。また保護者にも内容を知らせ、再発防止へ協力依頼をしている。</p> <p>各種記録類の管理は、管理簿を活用しながら適切に取り扱っている</p> <p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。情報セキュリティ対策基準によりアクセス権などを設定している。個人情報となる各記録などについては、事務所の鍵のかかるキャビネットで保管している。各記録類の事務所からの持ち出しは、管理簿を活用しながら適切に取り扱っている。各種記録類は区が定めた保存期限に則り、適切に破棄・保管している。保護者から預かった書類なども、書類受付簿を使用し、いつ、だれが、何を受け取り、いつ、だれが、誰に渡したか、保管したのかなど、わかるようにしている。</p>		

5 職員と組織の能力向上			カテゴリ-5
			サブカテゴリ-1(5-1)
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当	
			サブカテゴリ-2(5-2)
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	

カテゴリー5の講評

区の決定を前提とし、園の状況を踏まえて、必要な人員の確保や配置を求めている

区として人材育成のための基本方針を定め、目指す職員像や育成の仕組みを明らかにし、園と連携を取りながら人材確保を行っている。採用後は配置園での指導のほか、研修を実施するなど、人材育成に努めている。異動や人員の配置なども、育成の方針や見直し、区内各園の状況などを総合的に勘案して行われている。園としての考え、個人の希望などのほか、配置された人材を含めた職員構成などをもとに、現状や見直しを踏まえて、担任や係・役割分担などを決定している。

組織が求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

区は、職員人材育成事業実施計画に基づき、人事課と保育課が各研修を実施するなど、人材育成と組織力向上に力を入れている。新任職員育成研修のほか、2、3年目の職員に経験者がついて保育実践の振り返りを行いつつ、長期的な育成に取り組んでいる。そのほか、経験年数や職層に応じて実務研修を実施している。研修などの達成度を確認し、係の目標シートを基に個人の目標申告シートを策定している。そして、面談により年末に進捗と成果を確認し、年度末に成果と課題を総括している。こうした仕組みにより、業務の遂行や能力の向上をサポートしている。

課題解決に向けて職員全体で工夫しながら取り組んでいる

6本柱(園長、主査、向上リーダー)を中心に、目標達成への取り組みや、職員の考えや思いを共有するための職員会議の内容の検討などを行っている。経営層は一人ひとりの思いを大切に、園の状況を把握し、職員同士、クラス同士(同フロア)がつながるような取り組みを実践してきたことで、隣のクラスの状況の把握が進んでいる。また、「なんでもメモ」を事務室に用意し、小さな気づきも都度解決することができている。さらに、労務環境の改善にも取り組んできた。特に前期は休憩取得の工夫と意識改善に取り組み、成果を上げている。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

園運営の課題の解決にあたり、トップダウンではなく、職員の総意のもとで一貫して取り組みたいと考え、そのために職員一人ひとりによる発信を大切にしていくことを目標として設定した。その上で、①職員会議の内容や持ち方、メンバー構成について配慮する、②発言ではなく文章にして発信する方法も選択できるようにする(無記名も可とする)、③個人の気づきを発信しやすくするため、「なんでもメモ」として、用紙を用意するなどの取り組みを進めた。

①会議については、話し合うメンバーを予め決め、少人数での討議から始め、機会を重ねた。現在では、その場でグループ分けしても討議が成立するようになった。また②書くことについては、初めは記入が少なかつたため、繰り返し伝えてきた。発信できる職員の意見だけで決定されることのないように、クラス単位で意見を持ち寄る方法を取り、職員の納得できる形で、様々なことを決めてきた。さらに③「なんでもメモ」を事務室に用意したことで、小さな気づきの書き込み、その都度解決・改善していくことを積み重ねてきた。今後も、職員の主体性を大切にし、様々な経験を経て、各自が力を発揮し、より良い園運営につなげていく方針である。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

一つひとつの経験が、職員自身の気づきや変化につながっている。園としても、職員一人ひとりの発信を大切に、自分たちで考え、表現すること、そして個々の発信力を高めていくことを目指して取り組んでいる。組織の目標設定とその達成のために示した取り組みが具体的に、スモールステップで確実に成果を上げていることがわかる。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

園庭環境に変化があったため、改めて、子どもが楽しく遊べる環境作りを行うことを課題として設定した。「どのような環境にしたいか」について、職員のアイデアを募り、会議を重ね、理想の園庭を図にして、実際に環境を整えていった。この「ほしのにわ」の環境整備により、遊びにも広がりが見られ、年齢・発達に応じて遊具を組み合わせるようになっていく。また、固定遊具を撤去したことで死角がなくなり、子どもの姿がよく見えるようになった。今年度は、現在のほしのにわでの遊びを楽しみ、今後も検討を重ねてより良く変更していく方針である。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

ほしのにわは、乳児クラスが使用する頻度が高いものの、幼児クラスも一クラスの人数であれば、楽しめる環境となっている。園では、これまでの取り組みの経緯やその背後にある職員の思い、そこで遊ぶ子どもの反応や実際に遊んでいる様子など、園として保育環境を大事に考えていることを保護者にも発信することを検討している。「ほしのにわ」の取り組みについて、一貫して職員が楽しみながら行っていることから、子どものためのより良い環境作りに園全体で注力していることがうかがえる。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>区の公式ホームページや公式アプリで情報提供している</p> <p>杉並区公式ホームページの「保幼(ぼよ)ナビ」や区の公式アプリケーション「すぎぼよ(保幼)」などにより、園の情報を発信している。区のホームページの施設案内では、園概要や行事、活動や行事などの取り組みを発信している。利用希望者に対し、園の情報や特色、活動内容が伝わりやすい記事作りを心掛けている。庭には大きなけやきの木がある、自然がいっぱいの園であり、また、併設施設の高齢者との交流もある。中核園として同じ地域にある各保育施設との連携や情報共有を行っていることなども、あわせて紹介している。</p> <p>公立保育園として行政や関係機関と情報交換しながら連携を深めている</p> <p>公立の施設として、区の主管課へ日々様々な報告を行い、園運営について連携を密にしている。園長は毎月区立保育園長会に参加して、行政から情報提供を受け、課題検討や情報交換をしている。主査は主査会、看護師や栄養士は専門職の会議に参加して、課題検討や情報交換をしている。また、中核園としても「顔の見える関係づくり」をスローガンとして、地域懇談会や職員の交流など様々な取り組みを実施してきた。中核園だよりの発行などを通して情報共有の促進を図ってきた。各機関へ園の情報を提供しながら、連携を深めている。</p> <p>園見学は要望を聞きながら個別の状況に応じて対応している</p> <p>見学希望者と日程を相談し予約をお願いしている。個別の状況に応じて要望を聞きながら見学を実施している。見学時には、園概要を配布して説明しながら園舎内を見てもらっている。保育目標をはじめ、園庭には固定遊具や可動遊具があり、子どもが自分で考えて組み立てて遊べる環境があること、併設施設の高齢者との交流があること、中核園として各園との連携や情報共有を行うなど、園の特長も伝えて、質問に応じている。育児相談も行って、利用希望者に応じたサービスを提供している。</p>		

サブカテゴリ-2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評		
入園説明会や面接により、入園に伴う疑問や不安の解消を図っている 入園説明会では、園のしおりに沿ってなれ保育のことや、登園にあたっての基本的なルールについて説明している。「荻窪東保育園のご利用にあたって 重要なお知らせ」を使って、重要事項や個人情報の取り扱いについて説明し、同意書をもっている。また、行事や保育で大切にしていること、苦情解決制度などについても説明している。年度途中に入園する場合には、その都度面接の際に同様の内容を伝えていく。新入園児の保護者が、子どもの初めての集団生活の開始に伴う不安を軽減できるよう、丁寧に説明を行っている。		
保護者の状況や意向などに配慮して、なれ保育を実施している 入園開始直後は、子どもの不安やストレス軽減のために、1週間程度のなれ保育を実施している。入園前の面接時に就労状況などの保護者の意向を聞き、初日は親子一緒に過ごして食事を食べさせてもらい、2日目からは親子分離をして保育している。保護者には子どもの様子を詳細に伝え、子どもの慣れ具合や保護者の意向、希望、就労状況や職場復帰時期などを相談しながら進めている。できるだけ同じ職員が関わることで子どもや保護者との信頼関係を早めに築き、個々に合わせて進めることで、安心してもらえるようにしている。		
支援の継続性に配慮した支援を行い、子どもや保護者の不安を軽減している 卒園児の就学先へは「保育所児童保育要録」の写しを提出し、継続した支援をできるようにしている。就学を見据え、時期を決めて午睡をなくした生活リズムへ、年長児が無理なく移行できるようにしている。転園や退園する保護者には、その際、初めての環境に対して心配なことなどの有無について個別の相談に応じ、不安の軽減に努めている。保育終了時はスムーズな就学につながるよう、保護者会や面談などを通じて就学に向けた情報提供を行っている。		

サブカテゴリ-3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 13/13
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3の講評		
全体的な計画や子どもの様子を踏まえ、指導計画を策定している 入園前の健康診断や面接により、出生歴や成育歴、発育経過、既往歴、健康上の注意を把握している。入園後も日々子どもの様子を日誌や連絡帳を使って把握している。そして、全体的な計画を踏まえて、養護と教育の各領域を考慮して年度当初に担任間で話し合い、年間指導計画を立案している。また会議の場で各クラスの計画について全職員で共有している。その上で、保育目標を具体化する実践計画として年齢ごとに指導計画を作成し、子どもの様子を踏まえて定期的に会議で検討し、定められた手順に従って振り返りや見直しを行い、課題を明確にしている。		
子どもに対する適切な記録を行い、指導計画に活かしている 記録は、欠点や短所、課題のみを列挙するのではなく、個々の良い部分をしっかりと捉えることを大事にしている。計画に基づく実践の経過や子どもの成長・変化を日誌へ記載し、必要な情報は児童票にも記録して指導計画に反映している。乳児クラスや特別な配慮を要する子どもには個別計画を作成し、個別配慮や成長している姿などを毎月記録している。前期の保護者会では、クラス毎に画像資料などを用いて、年間計画について保育のねらいや大事にしたいこと、子どもの姿などを説明している。行事や日々の活動はドキュメント形式でわかりやすく伝えている。		
子どもの理解を深めるために職員間で情報を共有している 月初2日間で月間指導計画の検討会議を行い、計画の内容や個別指導計画について保育を担当する職員全体で意見交換し、共有している。昼ミーティングでは、子ども・保護者に関する個別情報や、翌日の体制、行事、アレルギー確認などを行っている。週1回の屋間の定例会議では、ミーティングでの討議事項の決定や情報共有を行い、朝夕ノートを使って朝夕当番時の申し送り・引き継ぎを行っている。会議に参加できなかった場合はクラス代表から必ず報告を受けている。子どもや保護者への理解を深めるため、話し合う機会を設け、職員間で情報を共有している。		

サブカテゴリー5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評		
<p>子どもに関する情報をやり取りする必要がある際は、保護者の同意を得ている 「杉並区立保育園保育実践方針」「杉並区保育実践の手引き」を活用して、年間・月間の指導計画の打ち合わせ時に、子どもを尊重する保育について確認・共有している。入園時には個人情報の取り扱いやプライバシーの保護、個人の尊厳の尊重について、慎重かつ丁寧に扱うことを説明し、保護者の同意を得ている。子どもとの関わり方や発達援助のため、巡回相談の心理専門職から指導を受けるなど、他機関と連携をとる際には、改めて保護者の同意を得てから行っている。</p> <p>子どものプライバシー保護を徹底している 子どものプライバシーについて職員は共通の認識を持ち、羞恥心に配慮した保育を行っている。乳児のおむつ替えは、遊ぶスペースからは視覚を遮られるようにコーナーを作っている。幼児は、看護師による健康教育で「プライベートゾーン」について話を聞き、タオルを身体に巻いて着替えるなど、人前に裸の姿を晒すことのないような着替えの仕方を学んでいる。また、子どもの羞恥心への配慮として、おむつ替えやシャワー時には衝立を使用し、視線を遮るように配慮している。</p> <p>職員は虐待防止や育児困難家庭への支援について学び理解を深めている 各家庭が抱える様々な状況を踏まえ、価値観や生活習慣に配慮した保育を行うために職員全体で状況を共有し、同じように対応できるようにしている。同じ家庭の中でも、兄弟姉妹の送迎や対応における配慮がある場合は、求められている意味合いを全体で共有して保育を行っている。虐待防止や育児困難家庭についての研修には職員が積極的に参加し、研修の成果を職員全体に還元し、理解を深められるようにしている。担任のみならず、朝夕保育の当番も含めた職員全体で、各家庭の抱えている状況に気を配り、全園児の変化を全職員で察知するよう努めている。</p>		

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー6の講評			
<p>区立園共通のマニュアル類を整備し、園独自の手引書も作成している</p> <p>区立保育園共通の「杉並区立保育園保育実践方針」「杉並区保育実践の手引き」は職員各自が持っている。「危機管理」「保健衛生」などの区立保育園共通マニュアルは事務室の棚に置き、いつでも見ることができるようにしている。園独自の手引書「荻窪東保育園運営マニュアル」には、保育に関わる確認事項、保育中の緊急対応マニュアル(けが、病気・発熱、救急車要請が必要な場合)、防犯マニュアル、園庭遊びの約束事、当番保育者の動きと仕事内容、写真についてなどを綴じて、各クラスにも備え、必要な時にすぐ確認できるようにしている。</p> <p>基本事項について定期的な点検のほか、必要な場合には随時検討し見直している</p> <p>提供しているサービスについて、年度末の年間反省において職員全体で点検・見直しをし、必要に応じて改変している。改変した事項については、職員全体で共有し、必要な場合は保護者会や園だよりを通じて保護者にも周知している。ヒヤリハットなどから必要が生じた場合は、年度末に限らずその都度点検・見直しをしている。保育関連の業務内容全般については、半期反省や年間反省を行い、必要に応じて見直している。短時間や一般など、多岐に渡る働き方がある会計年度任用職員への基本事項の周知徹底についても、引き続き取り組んでいく方針である。</p> <p>保護者や職員からの意見や提案は検討して見直し、サービスの質の向上に努めている</p> <p>より良い保育の提供に向け、保護者や職員の意見、子どもの様子などから必要と判断したことは、すぐに見直し、改善している。職員の自由な発想や気づきを発信しやすくするため、「なんでもメモ」を事務室に用意した。書く内容は限定せず、職員の小さな気づきをその場ですぐ書き込めることから、課題の抽出や解決に結びつき、成果を上げている。保護者の意見や要望も、必ず全職員に周知し、必要に応じ検討している。保育参観・参加は随時受け付けており、今後も引き続き、保護者へ保育内容を発信して、意見や要望を反映できるようにしていく方針である。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリ4	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	36/36
1	評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている	評点(000000)		
	評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	<input type="radio"/> 非該当		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	<input type="radio"/> 非該当		
評価項目1の講評				
<p>子どもが主体的に周囲のものや人と関わりを持てる環境を工夫している</p> <p>保育室や園庭の環境は、子どもが自分で興味を持ち、使いたいものや遊びたいものを選び、手に取って遊べるように考え、工夫している。保育室は子どもの年齢・発達や興味・関心に合わせた玩具や教材などを、自由に使って遊べるように設定している。園庭では可動遊具を取り入れ、遊びたい物を自分で選び、じっくりと一人で遊んだり、友だちと関わりながら遊んだりできるようにしている。今年度は園庭「ほしのにわ」の固定遊具を撤去し、工夫しながら環境整備を進めている。子どもの遊びが展開するより良い保育のため、一歩踏み出すことができた。</p> <p>子どもの気持ちを尊重した対応を追求している</p> <p>発達の過程で生じる子ども同士のトラブルに対しては、子どもの気持ちを代弁し、双方の子どもの気持ちをくみ取り、寄り添っている。気持ちを共有し「～したかったんだね」と言葉に代えて、「そんな時には嘸まないで貸してって言うんだよ」など、どうすればよかったかを知らせ、相手の気持ちを伝えたり気づけるような言葉がけをしている。また、職員間で情報を共有し、日々の中で声を掛け合いながら、一人ひとりが安心して安全に過ごせるように見守り、時には子ども同士の関わりを仲介しながら、子どもが共に成長できるように保育を実践している。</p> <p>子ども一人ひとりの発達に応じた保育と関係機関との連携や円滑な接続に配慮している</p> <p>特別な配慮を要する子どもの保育では、その子に寄り添い、人格を尊重し、必要に応じた人員配置をした上で保育を行っている。生活環境や個別配慮について職員間で相談し、個々の個性を認め、共通の対応をできるようにしている。また、異年齢同士の交流や、園庭開放を通じた他園の園児との交流を行っている。幼保小連携事業で情報共有し、年間計画に基づき小学1年生や5年生と交流する経験などもできている。就学に向けた保護者の不安を和らげることを目的に、保護者会で小学校の先生から入学当初の話をしてもらうなどの取り組みも行っている。</p>				

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>子どもの生活が安定するよう、保護者や職員間での情報共有を図っている</p> <p>登園時に前日の様子、顔色や体の状態を観察し、体調やけがについて保護者に確認している。体調による薬の使用の有無など、家庭での子どもの様子を聞きながら、受け入れを行い、子どもの24時間の様子を共有している。また、朝夕ノートを使って職員間で情報を共有している。前日からの申し送りや受託時の保護者からの連絡事項は、当番職員が家庭の様子を保護者に確認し、それらを踏まえ保育や対応につなげている。お迎えの際は、職員一人ひとりが情報共有の大切さを意識して確実に伝達を行い、その日の子どもの様子を保護者に伝えている。</p> <p>生活の中での体験の積み重ねを通して、基本的な生活習慣の確立を援助している</p> <p>身の回りのことを自分で出来るようになるために、生活習慣の確立に関わる項目を年間・月間の各指導計画に位置づけ、年齢・発達に応じた援助を行うことで、生活を通じた習慣化を図っている。スプーンや箸の持ち方、排泄の自立のほか、生活に関わる様々な事項を発達に応じて繰り返し援助し、見守り、意識向上と自立に努めている。子どもの意思表示をしっかりと受け止め、個々の状態に合わせた対応を職員間で共有している。個々の発達の状態に応じ、基本的な生活習慣が身につくように、丁寧な関わりを心掛けている。</p> <p>個々の発達の状態に応じて、基本的な生活習慣が身につくよう援助している</p> <p>保育者は子どもの状況を共有し、共通認識を持ち保育を行っている。午睡と休息は園で長時間過ごす生活において身体を休める時間として捉え、家庭での生活リズムやその日の体調などを考慮しながら必要な時間を確保し、個別に対応している。5歳児では、後半の午睡時間については、クラスの子どもの姿に合わせて期間や時間を決めている。寝つけない時や早く目を覚ましてしまう場合は、別室で過ごすなど、配慮している。基本的な生活習慣の獲得に向けた保育について、個人差をよく見極め、常に保護者と連携しながら成長を促す援助に努めている。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもの自主・自発性を尊重し、豊かに遊び込める保育を実践している</p> <p>子どもが自発的・意欲的に関われるような環境設定を心掛け、主体的に遊べるようにすることを大切にしている。集団活動では子どもが興味を持てるような誘い掛けをし、やりたくないという子に対しては、その意思を尊重し、友達の楽しんでいる姿を見たり、その活動を繰り返し経験できる機会を用意したりすることで、主体的に関われる気持ちになるまで待つようにしている。年齢ごとに子どもが自ら選択し、考え、決め、遊びこめるように、年度当初に担任間で話し合い、共通認識を持ちながら環境構成を整えている。</p> <p>大人との信頼関係のもと、自然に触れながら子どもが安心して活動を楽しんでいる</p> <p>子ども一人ひとりの年齢や発達に沿った表現方法を的確に捉えた上で、環境を整備している。そして、大人との信頼関係のもと、安心できる環境の中で、子どもがやり取りを楽しめるように関わっている。園庭では、マルチパーツ、ごさ、タイヤなどの可動遊具を自由に使って遊んでいる。自然豊かな園庭では花や栽培物を育て、四季を感じられるようにしている。また、アリやダンゴムシ、セミとりなど、虫に触れ、オンシロバナで色水遊びを楽しんでいる。大きな公園を始め、区内の公園に出かけて豊かな自然に触れ、季節の移り変わりを感じている。</p> <p>各領域に即した取り組みを行う中で、年齢に応じてきまり等の大切さを経験している</p> <p>年齢に応じたきまりやルールの大切さを、生活や活動の中で無理なく経験できるように配慮して年間指導計画を立案し、保育の中でその都度援助や仲立ちを行っている。生活の流れを一定にして、見通しをもって生活できるようにしている。遊びの中でルールがあるから楽しめることを知り、負けて悔しい体験や、今はできないこともあるという経験から、気持ちをコントロールできるように子どもの思いを受け止め、見守るなど配慮している。子どもの姿を捉えて保育に反映させ、子どもが主体的に集団活動に関われるようにしている。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもが興味や関心を持った活動が広がり、皆で楽しめる取り組みになっている</p> <p>前年度の年長がしていたレストランごっこが、新年度になるとすぐに5歳児クラスで行われていたことから、子どもの関心や観察力の高さを実感した。お店屋さんごっこやダンスなど、5歳児の子どもから「やりたい」と始まった遊びが、他のクラスや職員にも自然に広がり、皆で楽しむ姿が多く見られた。お店屋さんごっこでは、子どものアイデアで品物が用意され、職員は子どもの思いを実現できるように一緒に考え、援助してきた。クラスの取り組みが、いつの間にか皆で楽しめる活動へと展開する経験を重ね、楽しさを味わうことができています。</p> <p>行事の取り組みを保護者に伝え、保育への理解や協力を得ている</p> <p>年度始めに年間行事予定を保護者に配布している。「おおきなわ(運動会)」に向けては、実施にあたり、クラスだよりやおおきなわだよりを出し、「おおきなわ」に向かって取り組む子どもの姿を伝えてきた。その様子や発表の場面をクラスだよりや写真掲示、今日の保育を通じて保護者に発信し、子どもの成長の共有を図り、また家庭での話題作りのきっかけにもなっている。職員は行事毎に担当を決め、子どもの声を受けとめ、ねらいを設定して実施し、終了後は振り返りを行い、次につなげている。</p> <p>行事の実施にあたり何を大事にしていくかを考え、ねらいや内容について検討している</p> <p>行事については、コロナ禍での対応や、これまで行ってきたことの中で良かったことを取り入れながら、行事ごとのプロジェクトで話し合い、職員全体で課題点を共有している。行事の実施にあたり、何を大事にしたいかを考え、各年齢で経験して欲しい内容を全職員で検討した。伝承行事についても年齢や時期によって無理なく経験できるように、対象クラスを絞って実施したり、乳児・幼児に分けて内容を変更して実施したりしている。職員は行事が子どもの経験を豊かにし、成長につながるよう考え取り組んでいる。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>保育時間の長い子どもが快適に過ごすことが出来るよう配慮している</p> <p>長時間園で過ごす子どもの視点に立ち、空間的にも様々な配慮をしている。朝夕保育の時間では、子どもが安心できるように、年度初めは可能な限り担任が入るなど、配慮している。朝夕の会計年度任用職員も、同じ職員を配置している。保育時間が長くなると、気持ちが不安定になる場合もあるため、好きな遊びを楽しめるように、年齢に応じて使いたい遊具を子どもが選び取れる環境作りを心掛けている。幼児クラスでは、子どもが自由に工作を楽しめるように、はさみについても職員間で安全に扱えるように話している。</p> <p>提供する活動内容は静と動のバランスを考え、環境を整えている</p> <p>家庭的な雰囲気の中、安心して自分のやりたい遊びが出来るようにコーナーを設け、身体を休めたり静かに過ごせたりする場を保障している。一日の園生活の中でも活動の静と動のバランスを考え、思い思いの活動をしながら、ゆったりと過ごせるよう工夫している。子どもの状況や遊びに合わせて、少人数に分かれて過ごすことができるようし、室内の環境設定を変えたり、遊びごとに環境を分けたり、じっくり遊べるように工夫し落ち着いて過ごせるようにしたりするなど、様々な援助している。</p> <p>保育形態の変化がある中でも、落ち着いて過せるようにしている</p> <p>子どもの様子を把握するため、しっかりと健康観察を行い、様子に合わせた保育を行っている。保護者への申し送りは、必ず確認して漏れないように注意して対応している。保護者や担任からの連絡事項の引き継ぎは、朝夕ノートを使って徹底している。4、5歳児は保護者が誰に声をかけてよいか迷わないように、担当職員がたすきをつけて目印にしている。クラス保育から合流する時間については、子どもの状況や時期に応じて柔軟に対応している。異年齢児が同じ空間で過ごしても、安心して保護者の迎えを待つことができるような環境作りを心掛けている。</p>		

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

子どもが食について関心を深め、安心して楽しく食べることができるよう取り組んでいる

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供するため、職員全体で「荻窪東保育園の食事」について話し合っている。調理職員の協力の下、実際に食べ比べをして離乳食の固さの違いを理解するなどしている。食事を通して子どもへ伝えたいこと、大事にしたいことは何か、食具・配膳・声掛けや進め方・姿勢・食育(調理活動)など、経験や立場の違う職員同士が食事に関して同じ対応ができるようにしたいと考えている。現在とりまとめたものを半年間実践して振り返り、年度末にさらに見直して、当園の食育のスタンダードを確立していく方針である。

年齢や発達に合わせた栄養バランスの良い食事を提供している

区の栄養士が各園の意見を参考にして作成した統一の献立をもとに、園で調理し、栄養士が喫食の様子を見ながら子どもの食への興味や関心の高まりを援助している。乳児は個々の体に合うように調整された椅子に座り、担当職員が介助を行っている。足台、座面、脇の調整を用いて、姿勢よく落ち着いて食べている。離乳食の頃には、衝立を使用して食に集中できる環境作りを工夫している。乳児期は味覚が過敏なので、子どもが嫌がる食べ物は無理に勧めず、家庭と給食との間で形態に差がないように、保護者との連携を重視している。

安全・安心して楽しく食べることができる食事を提供している

メニューや味付けを工夫している。幼児の誕生日には同じメニューで盛り付けを工夫した誕生日プレート、季節の行事には行事食を、提供している。食物アレルギーや文化の違いがある場合は、生活管理指導票に沿って食事の提供を行っている。献立表や成分表のチェック項目についての保護者との確認、アレルギー会議での確認、前日のミーティングでの除去食についての確認を経て、マニュアルに則り、除去食や代替食を色のついたトレーで提供している。提供直前には担任と調理員とで口頭で確認し、誤食のないように努めている。

7 評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

子どもが健康や安全に関心を持てるように、情報発信や指導を行っている

年間保健計画を作成して、年齢に応じ子どもが病気やけがに対する安全意識を高められるようにしている。自分の身体・健康・安全に興味を持てるように具体的な方法を計画に盛り込み、健康教育に取り組んでいる。看護師は幼児クラスを中心に視力測定・手洗いの仕方・プール前にはプライベートゾーンの話子どもにわかりやすい教材使用して、視覚的に伝えるている。子ども達の興味・関心・様子を見ながら、「知りたい」という気持ちを受け止め、健康教育の内容をクラスでも反復して話題にしている。

子どもが罹患しやすい感染症などの情報を、随時保護者に周知している

毎月保健だよりを発行し、園の保健行事を伝えたり、季節や時期に応じた健康に関する情報を掲載している。薬の与薬については区立園共通の対応をしており、原則として薬は預かっていないが、慢性疾患等のために薬の使用が必要な場合には保護者の代理として与薬することになっている。その際は、与薬申込書を提出してもらい対応している。園児の健康管理として毎月の身体測定、年2回の嘱託医による健康診断、年1回の歯科健診、幼児対象の眼科・耳鼻科健診を実施している。嘱託医には感染症や園児の健康に関することを相談しアドバイスももらっている

子どもの健康維持に向けた取り組みを行っている

子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがの予防・防止できるように援助している。保育者は、常に安全を考え、散歩先での安全確認を実施し、固定遊具の使い方、散歩先の危険箇所、道の歩き方などの危険回避の方法を年齢に合わせて知らせ、子どもへの目配り・気配りなどを行っている。また、子どもの健康に関する保護者への情報提供や、感染症発生時の注意喚起もしている。病気やけがの対応には、園長(不在時は主査)、該当クラス職員で対応方法を共有し、保護者に安心感を与えられる誠実な対応を心掛けている。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目8の講評			
<p>保護者との信頼・協力関係作りに努めている</p> <p>入園時に家庭連絡票を提出してもらい、就労や家庭の状況を把握している。保護者の就労や通勤時間などに合わせて、保育時間を決めていく。家庭の事情によって急な変更の相談があった時は、可能な限り対応して支援している。子育てにおける個々の事情についても話をよく聴き、職員間で共有して支援を行っている。子どもの成長の喜びの共有、保護者の思いへの共感、日頃の密な連携などを通して、保護者が安心して子育てをすることができるよう支援している。園の保育を理解してもらうことが共有と信頼につながっている。</p> <p>保護者と子育ての共通認識を持てるような取り組みを行っている</p> <p>保護者とのコミュニケーションを大切に、子育ての協力関係を築き、共通認識を深められるように取り組んでいる。年に2回、各クラスの保護者会を実施している。コロナ禍にはできなかった懇談を再開し、保護者同士の交流の機会としている。コロナ禍を経て、クラスだよりの紙面での懇談や、壁面に付箋を用いて交流する方法などを工夫し、それぞれがコメントを記入・貼付することで参加できるようにしている。個人面談では、園や家庭での子どもの様子について保護者と確認し、子どもの育ちを共に支えていくために今後の方針を共有している。</p> <p>子どもの発達や成長について、保護者と共有できる取り組みを行っている</p> <p>保護者が安心して子育てをできるように、常に保護者の声に耳を傾け、必要に応じて向き合って話す機会を作り、日々の送迎時にも子どもの姿を伝えながら、保育者の思いを伝えるようにしている。個人面談や保育参観、参加を通して、限られた時間の中でも子どもの姿を共有できるよう、保護者に働きかけている。保護者の要望については職員全員で話し合い、どの職員も同じように対応することを大切にしている。園だよりの「おとうさん、おかあさん、出番ですよ」では、6つのテーマから、保護者に記事の提供に協力してもらっている。</p>			
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(00)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評			
<p>地域との関わりをながら子どもの活動や生活の幅を広げていく</p> <p>園の正面に位置する公園、近くの図書館隣の公園、河川沿岸の緑地などに散歩に行き、近隣の住民、他施設の子どもと挨拶を交わし交流している。地域の方に頂いた稲を育てて米を収穫し炊いて食べ、畑で育てて頂いたサツマイモを収穫する体験もしている。併設施設の方々が、毎月第3水曜日に読み聞かせに来てくれるなど、交流を継続している。子どもも楽しみにしている。</p> <p>園の取り組みに地域の方の参加を呼びかけ交流の機会を広げていく</p> <p>中核園事業を中心に、地域とのつながりを広げる取り組みを始めている。他施設の職員との交流をきっかけに、園庭開放の機会を利用して子ども同士の交流を始めている。散歩先での交流活動につなげていく意欲も持っている。また今後は、近隣在住の家庭保育の親子を対象とした、ふれあい保育の参加を増やしたいと考えている。ふれあい保育は、園児と一緒に遊び、費用を負担すれば給食を提供できるなど、園での生活・活動を体験できる取り組みである。積極的に周知し、実際に参加してもらうことで、地域の子育て支援に貢献したいと考えている。</p> <p>地域との連携のもと子どもの経験を広げる取り組みを行っている</p> <p>近隣中学校の職場体験を受け入れ、子どもと関わってもらっている。当園は区の中核園事業の中核園として、地域の保育施設同士の交流を企画・開催し、職員同士で交流をしている。園庭開放もっており、子ども同士の交流も始めている。併設施設との合同の避難訓練も行っている。また交通安全教室では、近隣施設の年長児を招き、警察の方に依頼して行った。地域ネットワークのつながりで、小学校の運動会の予行練習や授業の一環に招かれて参加する体験をしている。園として今後さらに地域との連携について強化したいと考えている。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している
タイトル①	子どもが楽しく食べるための食育推進の指針を園として考え、取り組んでいる	
内容①	子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供するために、職員で「荻窪東保育園の食事」について話し合っている。食育のねらい、食事を通してどんな子どもに育ってほしいか、大人（職員）はどのような思いで関わっていくのかなどを考え、食具・配膳・食育や姿勢など、経験や立場の違う職員同士が意見交換をして、食事に関する対応を共通にしている。今後実践し、年度末に見直しを行い、荻窪東保育園の全体的な計画として取り組みをまとめていきたいと考えている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	2-2-2	着実な計画の実行に取り組んでいる
タイトル②	着実な計画実行のための取り組みと情報共有により、組織力向上を実現している	
内容②	これまでのカリキュラムでは前後の保育の流れが見えにくく、会議で意見が出しにくい状況があった。新たにねらい、活動（エピソード）の経過、振り返り（考察）が、前月から今月に繋がる内容になるように確認し合った。それにより、クラス保育の意図がよく分かるようになり、打ち合わせでも意見交換が活発になった。また、職員体制やその他の予定についてホワイトボードを活用して、全体の把握を容易にできるように見える化したことで、職員も園全体に目を向けることができるようになってきている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル③	子どもが好きな遊びを選び、遊び込める環境を提供している	
内容③	園庭の環境を活かし、大きな樺も含めて楽しめるようにしている。素材を活かした遊具も用意し、子どもの自由な発想で楽しめている。夏場は、樺があるおかげで木陰ができ、さらにミストが降り注ぐようにして、暑さ対策も行った。もう一か所にも園庭があるため、年齢や活動内容によって場を分けることもでき、それぞれの発達に合った環境を提供している。また、「ほしのにわ」にあった固定遊具を撤去し、環境を整えてきた。どちらの園庭にも自由に組み合わせさせて楽しめる遊具を用意して、年齢により使い方に注意しながら遊んでいる。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもが主体的に関わりながら、やりたいことを実現できるようにするために、必要な支援をしている
	内容	子どもは、様々な機会を通して表現を楽しむことを経験し、自分で考えたり、アイデアを出したりしながら、やってみたいことを見つけて発信している。それを保育者が聞き取り、寄り添いながら「やりたい」という思いが実現するように日々の保育を考え、展開している。特に幼児の取り組みでは、子どもの発想や気づきを展開させるような働きかけや支援を工夫して、子どもが主体的に集団活動に関われるよう援助している。そして、活動を積み重ね、やり遂げる喜びや楽しさを味わうことができるようにしている。
2	タイトル	職員は同僚性があり、一人ひとりの働きがいにつながる職場環境がある
	内容	経営層の姿勢が明確に示され「なぜ」「どうして」「どうすればよいか」「なにをすべきか」と考え、園の課題を全職員が共有してPDCAに則り検討、実行、振り返りをしながら取り組むことができている。会議の持ち方を変えたことで会議での意見が出しやすくなり、前向きに臨めるようになった。職員は、取り組み方や組み立て方を知り身をもって体験することで、自分の考えを共有、実現することができることを知り自信を持って発信できるようになる。自分の経験を活かせる場があることが働きがいにもつながっている。
3	タイトル	職員は自分の考えや気持ちを会議で発して、皆で目標達成に向けて取り組むことができる
	内容	会議の持ち方を考え、工夫したことで、職員の気づきや考え、気持ちなどが発信しやすい環境になった手応えを感じている。職員は、経験に関わらず会議の場で発言できるようになり、園運営に対しても自分事として捉え、意見を出せるようになってきている。現在の園の理念・方針の見直しでは、改めて言葉を再考し、今、取り組んでいる保育をより明確にして理念・方針に反映させるため変更したいと意見が出された。今、行なわれている保育に合わせて、自分たちの言葉で改めて策定することで、さらに組織が一丸となって目標に向け取り組むことができる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	今後も、保護者とのコミュニケーションを大切に、信頼関係の構築に努め、子どもの育ちを共有していく
	内容	日頃より保護者を知り、コミュニケーションを取りやすいように登降園時にも声をかけて対応している。保護者の話を傾聴すると、子育ての悩み、子ども、保護者自身のことなどを聞くことができる場合もあり、必要に応じて面談時間を取るなど子育て支援につなげている。今後も子どもの健やかな成長を支え、保護者と共に子育てを進めていきたいと考えている。保育参観や参加へのより積極的な働きかけや、写真を活かしたドキュメント形式での保育内容やねらいの発信を工夫し、さらに活動後の様子やその後の展開なども発信していくことを課題としている。
2	タイトル	地域の施設や利用者との交流を深め、子育て支援につなげ、中核園として地域の拠点となるように取り組みを進めていく
	内容	荻窪地域の中核園として、職員や園児の交流、園庭開放などを中心に可能な範囲で取り組んできた。地域懇談会や交流を通して情報をスムーズに共有し、自園の保育に活かせることも増えている。また、職員の意識にも変化が表れている。中核園は、地域における保育施設間の連携・情報共有の促進など、保育内容の向上に向けた役割が期待される存在である。近隣地域親子の子育て支援も活発にして園の活動に参加してもらいながら、地域の拠点としての役割を果たしていくために地域に対する情報発信の工夫、保育施設間の連携を進めていくことを課題としている。
3	タイトル	保育の理解をさらに深めるため、職員が語り合う時間を工夫して作っていく
	内容	会議の持ち方を工夫したことで、意見が出しやすくなり、発言することに慣れるなど会議自体の変化に一定の手応えを感じている。その一方で、子どもの姿や保育についてじっくりと語り合う時間を今以上に確保していく必要性を感じている。全職員が一堂に会することが難しい現状にあっては、例えば、集まりやすい少人数で話す時間を設ける、紙面を上手く活用して情報共有や意見交換を行うことなども方法として考えられる。様々な手法を検討し、限られた時間の中でどのようにして時間を創出・確保していくか、今後も工夫を重ねていくことを課題としている。

8.阿佐谷東保育園

阿
佐
谷
東

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和5年度】

2024 年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 156-0043

所在地 東京都世田谷区松原3-38-16-107

評価機関名 株式会社 にほんの福祉ネット

認証評価機関番号

機構 06 - 168

電話番号 03-6379-5156

代表者氏名 岩下 敦史

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	岩下 敦史	福祉、経営	H2101100
	②	高田 富美子	福祉、経営	H2101111
	③	笠井 昌子	福祉、経営	H2201084
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	阿佐谷東保育園			
事業所連絡先	〒	166-0004		
	所在地	東京都杉並区阿佐谷南一丁目42番7号		
	TEL	03-3314-4535		
事業所代表者氏名	加藤 恵			
契約日	2023 年 7 月 5 日			
利用者調査票配付日(実施日)	2023 年 8 月 28 日			
利用者調査結果報告日	2023 年 11 月 6 日			
自己評価の調査票配付日	2023 年 8 月 28 日			
自己評価結果報告日	2023 年 9 月 29 日			
訪問調査日	2023 年 11 月 13 日			
評価合議日	2024 年 1 月 14 日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	区担当者との打ち合わせにより全体の流れ、留意事項の確認を行った。その後、各園にて事前説明を行い、オンライン形式での利用者調査や紙媒体での職員アンケートの実施方法について説明を行った。訪問調査前には当日の訪問者、タイムスケジュール、確認予定の書類について案内した。訪問調査では施設見学もあわせて行い、実態の把握に努めた。合議では、訪問者2名と他の1名、事務局により内容の精査・修正を行った。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

2024 年 2 月 日

事業者代表者氏名 加藤 恵

印

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>【理念】一人ひとりを大切にし、保護者から信頼され、地域に愛される保育園を目指す。 【保育方針】 ・一人ひとりの子どもの育ちを支える。 ・保護者の子育てを支える。 ・地域の子育てを支援する。</p>
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもに寄り添い、向き合う。更に、自身の保育や看護業務等を振り返り、保育や看護業務等専門性の向上に努める。 ・園児、保護者、職員、地域住民等、それぞれの立場にたってコミュニケーションを取り、信頼関係を築くことができる。 ・職員間のチームワークを深め、連携して仕事を進める。 <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランスを意識し、計画的に仕事を進め、何事にも意欲的に取り組むことを期待する。 ・中核園として、地域の保育施設と一緒に学び合い、保育士や園児の交流を通して広い視野を持つことを期待する。

調査対象

複数児利用世帯は最低年齢1人を対象として実施世帯数を絞り、調査対象者に対し実施。

調査方法

ウェブ回答システムを活用。機関が作成したQR記載の案内を事業所を通して各家庭に配布。各家庭においてそれを読み込んだ上で、個別に匿名で回答。

利用者総数

111

利用者家族総数(世帯)

98

共通評価項目による調査対象者数

98

共通評価項目による調査の有効回答者数

70

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

71.4

利用者調査全体のコメント

<総合的な満足度>

「満足」87%、「まあまあ満足」13%、計100%という満足度が示された。

<調査結果の講評について>

・肯定的な評価(「はい」との回答)が全体に占める割合についてのみ、記述した。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	70	0	0	0
回答者の100%が「はい」と回答した				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	69	1	0	0
回答者の99%が「はい」と回答した				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	63	7	0	0
回答者の90%が「はい」と回答した				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	54	13	2	1
回答者の77%が「はい」と回答した				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	56	3	0	11
回答者の80%が「はい」と回答した				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	57	11	2	0
回答者の81%が「はい」と回答した				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	59	9	1	1
回答者の84%が「はい」と回答した				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	63	6	1	0
回答者の90%が「はい」と回答した				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	61	8	1	0
回答者の87%が「はい」と回答した				
10. 職員の接遇・態度は適切か	68	1	1	0
回答者の97%が「はい」と回答した				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	68	1	1	0
回答者の97%が「はい」と回答した				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	60	5	0	5
回答者の86%が「はい」と回答した				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	68	2	0	0
回答者の97%が「はい」と回答した				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	59	3	0	8
回答者の84%が「はい」と回答した				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	65	4	1	0
回答者の93%が「はい」と回答した				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	58	5	0	7
回答者の83%が「はい」と回答した				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	37	16	8	9
回答者の53%が「はい」と回答した				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/> 非該当
	カテゴリ1の講評	
	園が目指していることについて職員や利用者にわかるように周知している 園目標・保育目標を事務室や玄関に掲示し、職員会議で目指すべき方向性を職員に伝えるとともに、これらに則った保育の実践に取り組んでいる。保護者には、児童憲章・保育方針・保育目標などを記載した園のしおりを配布し、園の目指している保育や重要事項について入園説明会で説明している。しおりには、各クラスで大切にしている保育を分かりやすい言葉で箇条書きにして示している。年間保育計画は各家庭に配付している。園だよりにも園で大切にしていることを記載して、保護者に伝えている。	
	経営層は自らの役割と責任を明確にして職員へ伝えリーダーシップを発揮している 園長・主査それぞれの年間計画を立て、目標や取り組み課題を職員へ伝えている。園長・主査・保育の向上リーダーを当園の保育の質向上を図るための5本柱として位置づけている。保育の向上リーダーは、区内各園の保育の向上リーダーが参集する会議に参加し、より良い保育に向けて横断的に情報を交換し、自園での実践の参考になっている。また、園内研修の企画・実施などにリーダーシップを発揮している。重要な案件や課題については経営層(向上リーダー含む)がよく話し合い、明確な方向性を示し、一致して取り組んでいる。	
	園の重要案件は職員会議で検討、決定している 園の重要案件は、職員会議で検討・決定している。会議に参加できなかった職員には、議事録を確認してもらい情報共有の徹底を図っている。職員会議に加え、昼のミーティングを毎日実施しており、各クラスの確認事項、給食のアレルギー確認、ヒヤリハットなどについて、共有している。各会議の議題は、優先度や時間を予め振り分け、事前準備をして臨んでいる。会議内容の周知には時間を要するため、すぐ目を通す必要があるものは分類し、事務室の所定の場所に提示するなど、できるだけ早く共有できるように工夫している。	

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>「中核園」として、地域の保育ニーズや課題について情報交換している</p> <p>区では、保育の質の向上を目指し各地域に「中核園」を指定し取り組んでいる。当園は中核園の指定を受け、様々な取り組みを通して地域の保育所間の連携や情報共有の促進に取り組んでいる。中核園事業の地域懇談会で各施設長と情報交換をし、日頃から顔の見える連携に努めている。地域の児童館・保健所・小中学校・図書館などが参画する地域の子育てネットワークに参加し、地域のニーズや情報を得ている。園長会や各種研修などを通して、保育園をめぐる情報を収集し、職員へ伝え、日々の保育に役立てている。</p> <p>策定した計画は進捗状況に応じた見直しを行い目標達成に向け取り組んでいる</p> <p>区では杉並区総合計画を策定している。園では、区の子ども家庭部保育課の組織目標を踏まえ、現状の課題を分析し、年度始めに「係の目標シート」を策定し、園の目標を明確化している。園の目標に沿って職員個々の目標を立て、組織目標の達成に一丸となって取り組んでいる。また、保育の実践に関しては、全体的な計画に基づいて年間指導計画などの保育計画を作成している。全体の計画は年度末に振り返りを実施して、職員間で確認している。今後も定期的に見直しをして必要に応じて修正し取り組みを進めていく方針である。</p> <p>保護者の要望や職員の提案などを園運営に活かしている</p> <p>保護者については、保護者会の懇談内容から要望を把握し、個人面談や日頃の会話からニーズを把握している。職員には個別のヒアリングを実施し、また、主査や向上リーダーから現在の情報を把握し、それらの結果を運営に反映している。子どもの発達に合わせた保育を進めるために、毎月の指導計画では、テーマを持って話し合い、討議の充実を図っている。事前に提案されたテーマをクラスで話し合い、自分の意見を持って会議に参加して意見交換を行う機会になっている。</p>		

3 経営における社会的責任			カテゴリ-3
サブカテゴリ-1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

守るべき法・規範・倫理などが遵守されるように職員に周知している

園内の各会議や研修を含め、様々な機会を捉え、区立園の保育者、公務員として遵守すべき事項について、職員へ伝えている。会計年度任用職員には、ヒアリングや保育実践方針などにより、区立園で勤務する職員として遵守すべきことを定期的に伝えている。ほかにも、園長会での情報の報告や園のマニュアルなどに触れ、適宜伝え確認している。また、園として人権アンケートを実施した。各々が「もしかしたら不適切だったかも」と感じた対応など、事例を書き出し、共有した。自分自身の深い思いに気づき、改めて人権について考える大事な機会となった。

園の社会的責任を明確にし、利用者の権利を守る取り組みを行っている

苦情解決制度を利用できることや保育園以外にも相談できる場の利用があることを、園内の掲示や入園児説明会で保護者に伝えている。電話、送迎時や個人面談などで把握した保護者の意向については、丁寧に対応している。園長・主査に速やかに報連相を行い、昼ミーティングで他の職員と情報共有している。また、虐待などの可能性に気づいたり、情報を得た場合は、速やかに保育課や関係機関と連携を取る体制を整えている。

地域の福祉ニーズを把握しながら中核園として各事業に参画している

中核園事業の役割を意識し、地域貢献に取り組んでいる。近隣小学校の地域子育てネットワークに属し、中核園事業の地域連絡会にも参画している。地域子育てネットワークに参画し、児童館に職員が出向いて行う子育て支援や、地域の子育て支援としての身体測定なども再開予定である。近隣小学校の震災救援所訓練の取り組みにも参加している。地域子育てネットワークに積極的に参加して、乳幼児期の子どもに関する園の専門的な知識を地域に還元できるよう取り組んでいる。

カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ4の講評		
<p>避難訓練の計画策定と定期的な訓練の実施により、災害に備えている 杉並区として業務継続計画を策定している。災害対策のマニュアルも備えている。避難訓練計画を作成し、火災や地震を想定した訓練を毎月行っている。朝夕保育や土曜日などの職員体制の少ない場合や様々な場面を想定して実施している。訓練後は反省会を設け、次への改善につなげている。日常的なヒヤリハットや事故の報告については、対策を検討し、全職員へ周知徹底している。各マニュアルに沿って、優先順位の高さに応じ、それぞれのリスクに対し必要な対策を取っている。</p> <p>危機管理マニュアルに則り必要なリスクマネジメントの対策を取っている 事故防止やヒヤリハットはタイムリーに報告を行い、再発防止に努めている。昼ミーティングで報告を行うため、それ以降の事案は翌日の報告になり、全体への周知に時間差が生じることがある。その際は、翌日の受け入れでの確認事項など、連絡漏れのないように、報・連・相を意識することを大切にしている。会計年度任用職員にも、昼ミーティングでの報告や情報を口頭で伝えて共有している。けがや事故が起こった際には、保護者にも状況と対応を説明し、園としての再発防止の対策などについて詳細を伝えている。</p> <p>各記録類の管理は、管理簿を活用しながら適切に取り扱っている 杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。「情報セキュリティ対策基準」によりアクセス権などを設定している。個人情報となる各記録などについては、事務所の鍵のかかるキャビネットで保管している。各記録類の事務所からの持ち出しは、管理簿を活用しながら適切に取り扱っている。各種記録類は区が定めた保存期限に則り、適切に破棄・保管している。</p>		

カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

区の決定を前提とし、園の状況を踏まえ必要な人員確保や配置を求めている

区として人材育成のための基本方針を定め、目指す職員像や育成の仕組みを明らかにし、園と連携を取りながら人材確保を行っている。採用後は配置園での指導のほか、研修を実施するなど、人材育成に努めている。異動や人員の配置なども、育成の方針や見直し、区内各園の状況などを総合的に勘案して行われている。園としての考え、個人の希望などのほか、配置された人材を含めた職員構成などをもとに、現状や見直しを踏まえて、担任や係・役割分担などを決定している。それぞれの取り組みや業務の進捗は、見える化シートの一覧で管理し把握している。

組織が求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

区は、職員人材育成事業実施計画に基づき、人事課と保育課が各研修を実施するなど、人材育成と組織力向上に力を入れている。新任職員育成研修では、育成担当者を配置し、保育士としての知識などを習得するよう計画している。また、2、3年目の職員に経験者がついて保育実践の振り返りを行いつつ、長期的に育成を行っている。そのほか、経験年数や職層に応じて、実務研修を受講している。職員は個人の目標申告シートを策定し、面談により年末に進捗と成果を確認し、年度末に成果と課題を総括している。

様々な仕組みに関わる中で、保育を学ぶ機会が提供されている

職員会議の中で研修報告をし、また、研修のレジメをファイル化していつでも閲覧できるようにしている。日々の気づきは体制のミーティングで報告し、共有している。新人職員や若手職員には、日々保育の振り返りを通して一緒に考える時間を設けている。職員一人ひとりの力が発揮できるように、様々なプロジェクトチームがあり、それぞれ取り組みを全体へつなげている。中核園の研修や保育士の交流、実務研修などに参加し、自分の学びを保育に活かしている。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

理念として掲げる「一人ひとりを大切に、保護者から信頼され、地域に愛される保育園をめざす」ことの達成に向けて、職員が専門性を高め、各自が考えを持ち、かつ、共通理解をもって保育にあたり、保護者に発信する力を付ける必要があると考えた。そして、「一人ひとりを大切に子ども主体の保育の実現を意識した働きかけや、保護者との共有を考えた子育てを目指す」「地域に愛される保育園を目指し、地域の保育、子育て支援の中核を担う」ため、「子ども主体の保育」「職員の課題意識や専門性の向上」などを意識した園内研修、「子どもに何を体験させたいか」を踏まえた保育や行事の実施、保護者に子どもの発達を知ってもらう機会としての「chayaあさひがし」、中核園として地域の保育施設の職員と学び合う機会の設定など、様々な取り組みを進めた。そして、日々の保育内容の一層の充実、職員間の共通理解などの成果を上げることが出来た。また「chayaあさひがし」では、成長していく子どもの姿が保護者によく伝わり、地域の施設との交流ではつながりに対し、より意識を持てるようになってきた。今後も、取り組みの充実を図っていく方針である。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

「chayaあさひがし」では、参加した保護者から年齢を迫った発達がよくわかったという声が多く聞かれた。中核園としてはコロナ禍で交流に制限はあったが、多くの方に参加してもらい好評であった。自園の職員も参加することで、地域との繋がりに意識が持てるようになってきた。引き続き地域の保育施設職員と学び合う機会を作ると共に、子どもの交流も行っていく。秋頃より地域住民を対象に月一回の身体測定や子育て相談を行っていくなど、今後も事業内容を検討して取り組みの充実を図り、子どもの理解や保育の丁寧さなど職員の保育技術向上について園内研修で学ぶ機会を継続する方針である。

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

コロナ禍においてコミュニケーションを取れる時間が制限され、各々の考えや意見を発信できる機会が少なかった。そこで、自信をもって自分の考えを発信できること、相互理解を深めることが必要であると考えた。そこで、会議や園内研修では、事前の内容確認を踏まえて考えをもって参加する、また自分の考えを発信できる風通しの良い関係作りを意識する、地域の保育施設との交流・連携には、ねらいをもって参加し、有意義な話し合いを行うなど、様々な取り組みを進めた。その結果、職員の意識や個々の発信する力にも変化がみられるようになった。今後も、今回の取り組みを活かして、コミュニケーションを深めながら保育実践を行っていく方針である。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

様々な取り組みを行い、総括し、達成できたことを明確化し、今後取り組んでいくことを抽出している。前年度設定した目標に対するいずれの取り組みも、当初の目的を一定程度達成することに加え、「コミュニケーションを活発にして互いに支え合うことができる組織の醸成が、園の保育をより良くする」という意識の芽生えへとつながっている。保育園事業の一つひとつに丁寧に取り組む重要性について、再確認できたことが分かる。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ1の講評		
<p>区の公式ホームページや公式アプリなどで情報提供している</p> <p>杉並区公式ホームページの「保幼(ぼよ)ナビ」や区の公式アプリケーション「すぎぼよ(保幼)」などにより、園の情報を発信している。区のホームページの施設案内では、園概要や行事、活動や行事などの取り組みを発信している。利用希望者に対し、園の情報や特色、活動内容が伝わりやすい記事作りを心掛けている。</p> <p>公立保育園として行政や関係機関と情報交換しながら連携を深めている</p> <p>公立の施設として、区の主管課へ日々様々な報告を行い、園運営について連携を密にしている。園長は毎月区立保育園長会に参加して、行政から情報提供を受け、課題検討や情報交換をしている。主査は主査会、看護師や栄養士は専門職の会議に参加して、課題検討や情報交換をしている。また、中核園としても「顔の見える関係づくり」をスローガンとして、地域懇談会や職員の交流など様々な取り組みを実施してきた。中核園だよりの発行などを通して情報共有の促進を図ってきた。各機関へ園の情報を提供しながら、連携を深めている。</p> <p>園見学は要望を聞きながら個別の状況に対応している</p> <p>利用希望者からの問い合わせを随時受け付け、個別の状況に合わせ対応をしている。見学については、要望を踏まえて日程を相談し、予定を立て実施している。見学時には園の案内をまとめたもの(A4印刷)を基に、概要を説明しながら園舎内を見学してもらっている。保育目標について説明し、園庭には固定遊具や可動遊具があり、子どもが自分で考えて組み立てて遊べる環境であり、子どもの育ちに必要な環境や活動があることを伝えている。また、質問や育児相談にも応じるなど、利用希望者に応じたサービスの提供をしている。</p>		

サブカテゴリー2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>入園説明会や面接により、入園に伴う疑問や不安の解消を図っている</p> <p>入園説明会では、園のしおりに沿ってなれ保育のことや、登園にあたっての基本的なルールについて説明している。「阿佐谷東保育園のご利用にあたって 重要なお知らせ」を使って、重要事項や個人情報の取り扱いについて説明し、同意書をもっている。また、行事や保育で大切にしていること、苦情解決制度などについても説明している。年度途中に入園する場合には、その都度面接の際に同様の内容を伝えられている。新入園児の保護者が、子どもの初めての集団生活の開始に伴う不安を軽減できるよう、丁寧に説明を行っている。</p> <p>保護者の状況や意向などに配慮して、なれ保育を実施している</p> <p>入園開始直後は、子どもの不安やストレス軽減のために、なれ保育を実施している。入園前の面接時に就労状況などの保護者の意向を聞き、初日は親子一緒に過ごして食事を食べさせてもらい、2日目からは親子分離をして保育している。保護者には子どもの様子を詳細に伝え、子どもの慣れ具合や保護者の意向、希望、就労状況や職場復帰時期などを相談しながら進めている。できるだけ同じ職員が関わることで子どもや保護者との信頼関係を早めに築き、個々に合わせて進めることで、安心してもらえるようにしている。</p> <p>支援の継続性に配慮した支援を行い、子どもや保護者の不安を軽減している</p> <p>卒園児の就学先へは「保育所児童保育要録」の写しを提出し、継続した支援ができるようにしている。転園や退園する保護者には、その際、初めての環境に対して心配なことなどの有無について個別の相談に応じ、不安の軽減に努めている。保育終了時はスムーズな就学につながるよう、保護者会や面談などを通じて就学に向けた情報提供を行っている。</p>		

サブカテゴリー3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 13/13
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー3の講評		
全体的な計画や子どもの様子を踏まえ、指導計画を策定している 入園前の健康診断や面接により、出生歴や成育歴、発育経過、既往歴、健康上の注意を把握している。入園後も日々子どもの様子を日誌や連絡帳を使って把握している。そして、全体的な計画を踏まえて、養護と教育の各領域を考慮して年度当初に担任間で話し合い、年間指導計画を立案している。また会議の場で各クラスの計画について共有している。その上で、保育目標を具体化する実践計画として年齢ごとに指導計画を作成し、子どもの様子を踏まえて定期的に会議で検討し、定められた手順に従って振り返りや見直しを行い、課題を明確にしている。		
子どもに対する適切な記録を行い、指導計画に活かしている 全体的な計画を基に年間指導計画を作成し、それらを踏まえ、担任間でクラスの状況や子どもの実態を振り返り、月間指導計画を作成している。月のねらいを決め、養護と教育の各領域の主な活動、援助・配慮、環境構成などの内容で立案している。乳児と特別な配慮を要する子どもについては個別の計画を作成し、幼児は適宜子どもの姿と配慮についてまとめている。前期保護者会では、クラスの目標や年齢・発達に応じた子どもの姿などを伝えて、年間指導計画について説明している。月の指導計画は各クラス前に掲示している。		
子どもの理解を深めるために職員間で情報を共有している 月間指導計画や個別指導計画について、気になったことや気になることなど、職員の気づきが多いため、毎月検討会議でそれを発信して共有している。指導計画の係は、会議で活発な意見交換をできるように事前に議題を投げかけたり、質問事項を集めたりして、クラスからの発信へつなげている。昼ミーティングでは、保育に必要な情報を日々確認している。定例会議では、ミーティングで出された討議事項の決定や情報共有を行っている。朝夕当番時の申し送り・引継ぎなどは、朝夕保育ノートを使って確実にしている。		

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p>子どもに関する情報をやり取りする必要がある際は、保護者の同意を得ている 「杉並区立保育園保育実践方針」「杉並区保育実践の手引き」を活用して、年間・月間の指導計画の打ち合わせ時に、子どもを尊重する保育について確認・共有している。入園時には個人情報の取り扱いやプライバシーの保護、個人の尊厳の尊重について、慎重かつ丁寧に扱うことを説明し、保護者の同意を得ている。子どもとの関わり方や発達援助のため、他機関と連携をとる際には、改めて保護者の同意を得てから行っている。</p> <p>子どものプライバシー保護を徹底している 子どものプライバシーについて職員は共通の認識を持ち、羞恥心に配慮した保育を行っている。乳児のおむつ替えは、遊ぶスペースから視覚を遮られるように目隠しを施している。幼児は、看護師から「プライベートゾーン」についての話を聞いている。シャワーを行う際は衝立で視線を遮るようにし、シャワー後にはタオルを身体に巻いて着替えることを知らせ、自分の体を大切にすることを育てている。また、保護者との個人面談などで家庭の様子を共有し、多様なニーズに対して個々に配慮できるようにしている。</p> <p>職員は虐待防止や育児困難家庭への支援について学び理解を深めている 各家庭が様々な抱えている状況を踏まえ、価値観や生活習慣に配慮した保育を行うために職員全体で状況を共有し、同じように対応できるようにしている。虐待防止や育児困難家庭についての研修には職員が積極的に参加し、研修報告会を開いて成果を職員全体に還元し、理解を深められるようにしている。担任のみならず、朝夕保育の当番も含めた職員全体で各家庭の抱えている状況に気を配り、全園児の変化を全職員で察知するよう努めている。</p>			

サブカテゴリー6	
6	事業所業務の標準化 サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(〇〇)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している <input type="radio"/>非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(〇〇)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている <input type="radio"/>非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている <input type="radio"/>非該当
サブカテゴリー6の講評	
<p>区立園共通のマニュアル類を整備し、いつでも確認できるようにしている</p> <p>「杉並区立保育園保育実践方針」「杉並区保育実践の手引き」は職員各自が持っている。「危機管理」「保健衛生」などの区立保育園共通マニュアルは事務室に置き、いつでも見ることができるようにしている。園の手引き書(マニュアル)には、保育に関わる確認事項、保育中の緊急対応マニュアル、防犯マニュアルなど、保育業務に必要な内容を綴じ、各クラスにも備え、必要な時にすぐ確認できるようにしている。マニュアル記載の内容や手順は年度末に必ず見直し、修正の必要が生じた場合はその都度職員間で話し合い修正している。</p> <p>基本事項について定期的な点検のほか、必要な場合には随時検討し見直している</p> <p>提供しているサービスについて、年度末の年間反省において職員全体で点検・見直しをし、必要に応じて改変している。改変した事項については、職員全体で共有し、必要な場合は保護者会や園だよりを通じて保護者にも周知している。ヒヤリハットなどから必要が生じた場合は、年度末に限らずその都度点検・見直しをしている。保育関連の業務内容全般については、半期反省や年間反省を行い、必要に応じて見直している。短時間や一般など、多岐に渡る働き方がある会計年度任用職員への基本事項の周知徹底についても、引き続き取り組んでいく方針である。</p> <p>保護者や職員からの意見や提案は検討して見直し、サービスの質の向上に努めている</p> <p>より良い保育の提供に向け、保護者や職員の意見、子どもの様子などから必要と判断したことは、すぐに見直し、改善している。職員会議や指導計画などから発信される職員の自由な発想や気づき、保護者からの意見や要望なども、必ず全職員に周知して、必要に応じて検討している。保育参観・参加は随時受け付けている。引き続き、保護者へ園の保育の発信に努め、意見や要望を保育に反映できるようにしたいと考えている。</p>	

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	
		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	36/36
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが主体的に周囲のものや人と関わりを持てる環境の工夫をしている</p> <p>保育室や園庭の環境は、室内・園庭の各プロジェクトで話し合い、遊具の定期的な入れ替えや環境設定の見直しをしている。子どもが自分で興味を持ち、使いたいものや遊びたいものを選び、手に取って遊べるように考え、工夫している。保育室は、子どもの年齢・発達や興味・関心に合わせた玩具や教材などを、自由に使って遊べるように設定している。乳児は、少人数で落ち着いて遊べるように配慮している。園庭では可動遊具を取り入れ、自分で遊びたい物を選び、じっくりと一人で遊んだり、友だちと関わりながら遊んだりできるようにしている。</p> <p>職員は子どもの気持ちを尊重した対応をしている</p> <p>発達の過程で生じる子ども同士のトラブルに対しては、子どもの気持ちを代弁し、双方の子どもの気持ちをくみ取り、寄り添っている。縦割りの交流や園庭での自然な交流を通して、世話をしたり、されたりすることの心地よさの中から、相手を知り、思いやる心が育っていきけるよう、保育士も仲立ちとなっている。気持ちを共有したり、相手の気持ちを伝えたり、気づけるような言葉がけをするなど、対応している。また、職員間で情報を共有し、日々の中で声を掛け合いながら、保護者にも状況を伝え、一人ひとりが安心して安全に過ごせるように保育している。</p> <p>関係機関との連携しながら子ども一人ひとりの発達に応じた保育を行っている</p> <p>特別な配慮を要する子どもの保育では、その子に寄り添い、人格を尊重し、必要に応じた人員配置をした上で保育を行っている。生活環境や個別配慮について職員間で相談し、個々の個性を認め、共通の対応をできるようにしている。子ども一人ひとりの発達や個性を踏まえた保育の充実を目指し、クラス打ち合わせや指導計画、巡回相談などの情報を共有している。特に心理専門職による巡回相談では、カンファレンスにできるだけ多くの職員が参加するようにし、相談へのアドバイスを実践に活かしている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>子どもの生活が安定するよう保護者や職員間での情報共有を図っている 登園時に前日の様子、顔色や体の状態を観察し、体調やけがについて保護者に確認している。体調による薬の使用の有無など、家庭での子どもの様子を聞きながら、受け入れを行っている。また、朝夕ノートを使い、職員間で情報を共有している。前日からの申し送りや受託時の保護者からの連絡事項は、当番職員が家庭の様子を保護者に確認し、それらを踏まえた対応につなげている。お迎えの際は、連絡帳やメモなどを使い、職員一人ひとりが情報共有の大切さを意識して確実に伝達を行い、保護者に子どもの様子を伝えている。</p> <p>生活の中での体験の積み重ねを通して、基本的な生活習慣の確立を援助している 身の回りのことを自分で出来るようになるために、生活習慣の確立に関わる項目を年間・月間の各指導計画に位置づけ、年齢・発達に応じた援助を行うことで、生活を通じた習慣化を図っている。スプーンや箸の持ち方、排泄の自立のほか、生活に関わる様々な事項を発達に応じて繰り返し援助し、見守り、意識向上と自立に努めている。子どもの意思表示をしっかりと受け止め、個々の状態に合わせた対応を職員間で共有している。個々の発達の状態に応じ、基本的な生活習慣が身につくように、丁寧な関わりを心がけている。</p> <p>個々の発達の状態に応じて、基本的な生活習慣が身につくよう援助している 保育者は子どもの状況を共有し、共通認識を持ち保育を行っている。午睡と休息は園で長時間過ごす生活において身体を休める時間として捉え、家庭での生活リズムやその日の体調などを考慮しながら必要な時間を確保し、個別に対応している。5歳児では、後半の午睡時間については、クラスの子どもの姿に合わせて期間や時間を決めている。寝つけない時や早く目を覚ましてしまう場合は、別室で過ごすなど、配慮している。基本的な生活習慣の獲得に向けた保育について、個人差をよく見極め、常に保護者と連携しながら成長を促す援助に努めている。</p>		
3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当
評価項目3の講評		
<p>子どもの自主・自発性を尊重し豊かに遊び込める保育を実践している 子どもが自発的・意欲的に関われるような環境設定を心掛け、子どもが主体的に遊べるようにすることを大切にしている。集団活動では、子どもが興味を持てるような誘い掛けをしながら、やりたくないという子に対しては、その意思を尊重し、友達の楽しんでいる姿を見たり、その活動を繰り返し経験できる機会を用意したりすることで、主体的に関われるまで待つようにしている。各年齢で子どもが自ら選択し、考え、決め、遊びこめるように、年度当初に担任間で話し合い、共通認識を持ちながら環境構成を整えている。</p> <p>大人との信頼関係のもと、子どもが安心して活動を楽しんでいる 子ども一人ひとりの年齢や発達に沿った表現方法を的確に捉えた上で、環境を整備している。そして、大人との信頼関係のもと、安心できる環境の中で、子どもがやり取りを楽しめるように関わっている。園庭では、マルチパーツ、ごさ、タイヤなどの可動遊具を自由に使って遊んでいる。子どものタイムリーな興味にあわせて、図鑑などを提供して探求心を満たしたり、製作の材料を用意したり、楽しさを味わえるように援助している。区内の公園に散歩に出かけ、豊かな自然に触れ、季節の移り変わりを感じられるようにしている。</p> <p>各領域に即した取り組みを行う中で、年齢に応じてきまり等の大切さを経験している 年齢に応じたきまりやルールの大切さを、生活や活動の中で無理なく経験できるように配慮して年間指導計画を立案し、保育の中でその都度援助や仲立ちを行っている。生活の流れを一定にして、見通しをもって生活できるようにしている。遊びの中でルールがあるから楽しめることを知り、負けて悔しい体験や、今はできないこともあるという経験から、気持ちをコントロールできるように子どもの思いを受け止め、見守るなど配慮している。子どもの姿を捉えて保育に反映させ、子どもが主体的に集団活動に関われるようにしている。</p>		

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>子どもの発想を実現できるように保育の活動を考え取り組んでいる</p> <p>各クラスでは、子どもの遊びが豊かになるよう、楽しいことや面白そうなことを保育に取り入れ、日々の保育の積み重ねの中で、子どもが意欲的に楽しんで取り組めるよう計画し、実践している。当日までの過程を大切に、子ども自身が見通しを持って取り組めるようにしている。職員は子どものやりたいことが実現できるように、子どもと相談しながら、一緒に考えたり、工夫したりして援助している。皆で楽しめる活動へと展開する経験を重ねることで、次の活動への期待につながっている。</p> <p>行事の取り組みを保護者に伝え保育への理解や協力を得ている</p> <p>入園説明会で年間の行事を伝え、協力を依頼している。年度始めに年間行事予定を保護者に配布している。年長児を中心に、夏まつりや運動会などの行事を通して、心を合わせて一つの目的に向かって取り組む経験をしている。その様子や発表の場をクラスだよりや写真掲示、今日の保育などを通じて保護者に発信し、子どもの成長の共有を図り、また家庭での話題作りのきっかけにもなっている。職員は行事毎に担当を決め、子どもの声を受けとめ、ねらいを設定して実施し、終了後は振り返りを行い、次につなげている。</p> <p>行事の実施にあたり何を大事にしていくかを考え、ねらいや内容について検討している</p> <p>行事について、職員は意欲的に取り組んでいる。コロナ禍の対応やこれまで行ってきたことの中で良かったことを取り入れながら、行事ごとのプロジェクトで話し合い、職員全体で課題点を共有している。行事の実施にあたり、何を大事にしたいかを考え、各年齢で経験して欲しい内容を全職員で検討した。伝承行事についても年齢や時期によって無理なく経験できるように、対象クラスを絞って実施したり、乳児・幼児に分けて内容を変更して実施したりしている。職員は行事が子どもの経験を豊かにし、成長につながるよう考え取り組んでいる。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>保育時間の長い子どもが快適に過ごすことが出来るよう配慮している</p> <p>園で長時間過ごす子どもの視点に立ち、空間的にも様々な配慮をしている。朝夕保育の時間では、子どもが安心できるように、年度初めは可能な限り担任が当番に入るなど配慮している。朝夕の会計年度任用職員も同じ職員を配置している。長時間保育において、それぞれの子どもが好きな遊びを楽しめるように、遊具の入れ替えなど工夫をしている。</p> <p>提供する活動内容は静と動のバランスを考え、環境を整えている</p> <p>家庭的な雰囲気の中、安心して自分のやりたい遊びが出来るようにコーナーを設け、乳児は各保育室に、いつでも休めるように休憩用の遊び布団を用意している。身体を休めたり、静かに過ごせる場も保障したりするなど、一日の園生活の中でも活動の静と動のバランスを考え、思い思いの活動をしながら、ゆったりと過ごせるよう工夫している。子どもの状況や遊びに合わせて、少人数に分かれて過ごすことができるようにし、遊びごとに環境を分け、じっくり遊べるように工夫し、落ち着いて過ごせるようにするなど、様々な援助している。</p> <p>保育形態の変化がある中でも落ち着いて過ごせるようにしている</p> <p>子どもの様子を把握するため、しっかりと健康観察を行い、様子に合わせた保育を行っている。保護者への申し送りは、必ず確認して漏れないように注意して対応している。保護者や担任からの連絡事項の引き継ぎは、朝夕ノートを使って徹底している。クラス保育から合流する時間については、子どもの状況や時期に応じて柔軟に対応している。異年齢児が同じ空間で過ごしても、安心して保護者の迎えを待つことができるような環境作りを心掛けている。</p>		

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目6の講評

子どもが楽しく安心して食べることができるように配慮している

子どもの成長に合わせて、栄養バランスを考えた給食の提供を行い、落ち着いた雰囲気の中で食事ができるようにしている。乳児は個々の体に合うように調整された椅子に座り、担当職員が介助を行っている。乳児期は味覚が過敏なので子どもが嫌がる食べ物は無理に勧めず、家庭と給食との間で形態に差がないように、保護者との連携を重視している。栄養士が喫食の様子を見ながら、食への興味や関心が高まるよう援助している。また、日中の活動の充足感が食欲へつながるという視点を持ち、活動時間を考慮している。

食育の取り組みを通して食材や食べることへの関心を深めている

区の栄養士が各園の意見を参考にして作成した統一献立に基づいて、園で調理し、子どもの成長に合わせて栄養バランスを考えた給食を提供している。子どもが育てた野菜を調理してもらうことで、食への関心がさらに深まっている。栄養士が中心となり、五感を使い食材を知る活動も行っている。食材カードを活用したり、5歳児は本物の魚をさばく様子を見たりするなどの活動を通して、子どもの経験が広がっている。

安全・安心して楽しく食べることができる食事を提供している

メニューや味付けを工夫している。幼児の誕生日には同じメニューで盛り付けを工夫した誕生日プレートを提供し、行事には行事食を提供している。また、食物アレルギーや文化の違いがある場合は、生活管理指導票に沿って食事の提供を行っている。献立表や成分表のチェック項目についての保護者との確認、アレルギー会議での確認、前日のミーティングでの除去食についての確認を経て、マニュアルに則り、除去食や代替食を色のついたトレーで提供している。提供直前には担任と調理員とで口頭で確認し、誤食のないように努めている。

7 評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

子どもが健康や安全に関心を持てるように情報発信や指導を行っている

年間保健計画を作成して、年齢に応じ子どもが病気やけがに対する安全意識を高められるようにしている。自分の身体・健康・安全に興味を持てるように具体的な方法を計画に盛り込み、健康教育に取り組んでいる。看護師は幼児クラスを中心に視力測定・手洗いの仕方・プール前にはプライベートゾーンの話伝えていく。子どもの興味・関心・様子を見ながら、「知りたい」という気持ちを受け止め、手作りのパネルなどの教材を使用して、視覚的にも分かりやすく示している。健康教育の内容はクラスでも取り上げて話している。

子どもが罹患しやすい感染症などの情報を随時保護者に周知している

毎月保健だよりを発行し、園の保健行事を伝えたり、季節や時期に応じた健康に関する情報を掲載している。薬については、区立園共通の対応として原則預からないが、慢性疾患などのために薬の使用が必要な場合には、保護者の代理として与薬することになっている。園児の健康管理として毎月の身体測定、年2回の嘱託医による健康診断、年1回の歯科健診、幼児対象の眼科・耳鼻科健診を実施している。嘱託医には感染症や園児の健康に関することを相談しアドバイスももらっている。

保護者に安心を与えられるように子どもの健康維持に向けた取り組みを行っている

子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがの予防・防止できるように援助している。保育者は、常に安全を考え、散歩先での安全確認を実施し、固定遊具の使い方、散歩先の危険箇所、道の歩き方などの危険回避の方法を年齢に合わせて知らせ、子どもへの目配り・気配りなどを行っている。また、子どもの健康に関する保護者への情報提供や、感染症発生時の注意喚起もしている。病気やけがの対応には、園長(不在時は主査)、該当クラス職員で対応方法を共有し、保護者に安心感を与えられる誠実な対応を心掛けている。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(00000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目8の講評			
<p>保護者との信頼・協力関係作りを行っている 入園時に家庭連絡票を提出してもらい、就労や家庭の状況を把握している。保護者の就労や通勤時間などに合わせて、保育時間を決めている。家庭の事情によって急な変更の相談があった時は、可能な限り対応して支援している。子育てにおける個々の事情についても話をよく聴き、職員間で共有して支援を行っている。子どもの成長の喜びの共有、保護者の思いへの共感、日頃の密な連携などを通して、保護者が安心して子育てをすることができるよう支援している。</p> <p>保護者と子育ての共通認識を持てるような取り組みを行っている 保護者とのコミュニケーションを大切に、子育ての協力関係を築き、共通認識を深められるように取り組んでいる。保護者会や保護者向けの行事「chayaあさひがし」を開催している。保護者会は保護者が参加しやすいよう、夕方16時から開催している。画像資料を活用して保育の様子を伝え、懇談会は保護者同士の交流の機会としている。個人面談では、園や家庭での子どもの様子について保護者と確認し、子どもの育ちを共に支えていくために今後の方針を共有している。園の貸出図書「ざりがに文庫」も保護者や園児に好評である。</p> <p>子どもの発達や成長について、保護者と共有できる取り組みを行なっている 日々の送迎時に子どもの姿を伝えたりしながら、安心して子育てができるように保護者の声に耳を傾け、必要に応じて向き合って話す機会を作り、保育者の思いを伝えるようにしている。保護者の事情にあわせ、保育参観や参加も機会を設けている。月毎の指導計画を貼り出し、保育のねらいを明確にしている。日々の様子は、貼り出し日誌やスケッチブック型のお知らせボードを活用して伝えている。保護者の要望に対しては職員全員で話し合い、どの職員も同じように対応することを大切にしている。</p>			
9 評価項目9 地域との連携のもと子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(00)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評			
<p>地域との連携のもと子どもの経験を広げる取り組みを行っている 区の中核園事業の中核園として、地域との繋がりを広げる取り組みを始めている。地域の保育施設同士の交流を企画・開催し、職員同士で交流をしている。園庭開放も行っており、子ども同士の交流も始めている。また、警察署の協力のもと、交通安全教室や防犯教室(いずれも4・5歳児対象)を行い、交通安全教室には地域の保育施設の園児を招いた。近隣の小学校とも連携を取り、交流をしている。園として今後さらに地域との連携について、強化したいと考えている。</p> <p>園の取り組みに地域の人々の参加を呼びかけ、交流の機会を広げていく 地域住民に向けて見学会やふれあい保育を行っている。子育て支援の取り組みのひとつとして、今後は月1回の身体測定や育児相談も計画している。また、ふれあい保育の参加を増やしたいと考えており、ポスターを作成して地域に積極的に周知していくことを検討している。園を知ってもらい、実際に保育に参加してもらうことで、地域の子育て支援に貢献したいと考えている。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	1-1-3	重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している
タイトル①	経営層のリーダーシップのもと、効果的な会議の持ち方を工夫して実践している	
内容①	働き方改革を踏まえ、会議の持ち方について見直した。毎週行っていた定例会の回数を減らし、休憩やクラス打ち合わせの時間を確保しながら会議の質を落とさないように工夫し実施している。議題用紙（園独自の形式）に各々が提案する内容を記入し、主査を中心に取りまとめ、議題の精査をしている。優先順位や時間配分、進行を決定して事前に周知されると、職員は調べ、考えをまとめるなどの事前準備をして当日に臨むことを徹底している。毎日の昼ミーティングをロングミーティングとして上手く活用しながら、働きやすさと効率の両立を目指している。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	園の保育を伝える機会を設け、保護者の子育て支援につなげている	
内容②	コロナ前から行っていた「chayaあさひがし」は、語り中心から展示物などを通して保育を伝える手法に変えて継続している。前年度は運動遊びをテーマに、開催期間を決め、朝夕の時間に保護者に足を運んでもらえるよう案内し、展示スペースへ立ち寄り見てもらう機会を設けている。実際に可動遊具の紹介や活動の様子が分かる写真を掲示し、開催時間内は職員が待機し、保護者に直接説明して作品や子どもの様子を補足できるようにしている。園全体で子どもの成長を見守り、保護者と共有したいという職員の思いが伝わる取り組みとなっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-1-3	事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる
タイトル③	職員一人ひとりの意向を活かした取り組みを実施し、園全体の保育力向上を目指している	
内容③	保育を見直す機会の一つとして、他クラスでの体験保育を実施している。希望シートにより保育の悩みや体験を希望したクラスで学びたい課題、目的などを記入し、自分のねらいを明確にしている。そして、できるだけ実施可能な予定を主査が調整し、決められた日に該当する保育者は、全日体験クラスにて保育にあたっている。他のクラスに入ること、互いに新たな視点や気づきを伝え合い、良い刺激を受けている。職員個人の保育スキルの向上と、周囲への目配り、気配りなど、視野が広がることで、園全体の保育への理解が深まり、チームワークを高めている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもが主体的に関わりながら、やりたいことが実現できるよう必要な支援をしている
	内容	子どもは様々な活動を通して表現を楽しむことを経験し、自分で考えたり、アイデアを出したり、やってみたくて見つけたりして、発信している。それを保育者が聞き取り、子どもの思いに寄り添いながら、子どもの「やりたい」という思いが実現するように、日々の保育を考え展開しながら、保育者自身のスキルアップにも取り組んでいる。特に幼児の取り組みでは、子どもの発想や気づきを展開させられるよう、働きかけや支援を工夫している。子どもが主体的に集団活動に関われるよう援助し、継続して楽しむことが次の活動へとつながっている。
2	タイトル	園の保育を伝える機会を設け保護者の子育て支援につなげている
	内容	コロナ前はサロンとして取り組んでいた「chayaあさひがし」を、保育を伝える機会としてやり方を変えて行っている。前年度は運動遊びをテーマにして、実際に可動遊具の紹介や活動の様子が分かる写真を掲示し、開催期間を決め、朝夕の時間に足を運んでもらえるように案内し、展示スペースへ立ち寄り、見てもらえる場を設けている。開催時間内は保護者に直接説明して作品や子どもの様子を補足できるよう、職員も待機して対応している。園全体で子どもの成長を見守り、保護者と共有したいという職員の思いが伝わる取り組みとなっている。
3	タイトル	子どもの最善の利益を全職員が共有し協力し合い保育に取り組んでいる
	内容	職員のチームワークが良く、子どもの最善の利益を考え、皆で同じ方向を向いて考えることができている。また、中核園として地域から期待される役割を理解して、協力して関わる意識の高さがある。保護者の多様なニーズに応えるため、職員間でよく話し、保護者を理解して、職員は誰でも同じ対応ができるように共有している。職員は、それぞれの得意な部分を活かして情報発信や活動の工夫をするなど、日々の保育で各々の力を発揮している。子どもを肯定的に捉えることを大切に、日々の保育を実践している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	今後も、保護者とのコミュニケーションを大切に、信頼関係の構築に努め、子どもの育ちを共有していく
	内容	日頃より保護者を知り、コミュニケーションを取りやすいように、あいさつに加え、登降園時にひと言添えて園児の様子を伝えるよう心がけている。また、保護者の話を傾聴すると、子どものこと、子育ての悩み、保護者自身のことなどを聞くことができる場合もある。それにより必要に応じて面談時間を取るなど、子育て支援につなげることができる。今後も、子どもの健やかな成長を支え、保護者と共に子育てを進めていくことができるよう、取り組んでいくことを課題としている。
2	タイトル	今後も、保育のねらいを明確に伝え、園の生活や遊びを通して育みたいことを保護者と共有できるようにしていく
	内容	コロナ禍の期間は行事のあり方について改めて考える機会となった。園では、保護者の様々な意見や要望、園の状況を鑑み、子どもの普段の姿を見てもらうことで、子どもや保護者の負担も少なく、保育の理解につながると考え、工夫してきた。保護者の理解と協力を得るためには、園が大切にしていることや、取り組みによって何を實現しようとしているのかを、理解して頂くことが重要でありまた有効である。今後も、保育のねらいや取り組み、子どもの最善の利益のために大事にしていることなどについて、保護者に継続的に発信していくことを課題としている。
3	タイトル	地域の施設や利用者との交流を深め、子育て支援につなげ、中核園として地域の拠点となるように取り組みを進めていく
	内容	地域の中核園として、職員や園児の交流、園庭開放などを中心に可能な範囲で取り組んできた。地域懇談会や交流を通して情報をスムーズに共有し、自園の保育に活かせることも増えている。また、中核園としての取り組みに対する職員の意識にも変化が表れている。中核園は、保育の質の確保を図るため、地域における保育施設間の連携・情報共有の促進など、保育内容の向上に向けた役割が期待される存在である。こうした役割を果たしていくために、まずは地域に対する情報発信の工夫、保育施設間の連携などを進めていくことを課題としている。

巻末 付属資料

付属資料1 事業プロフィール

付属資料2 組織マネジメント分析シート

付属資料3 サービス分析シート

付属資料4 職員アンケート

付属資料5 利用者調査

付属資料1 事業プロフィール

事業プロフィール I

1 事業所名：

2 園長について

氏名：

園長歴：年目 当園での園長歴：年目

園長としての評価受審回数：回 副園長時代の評価受審回数：回
※当園に限らない

3 副園長・主任について

※「副園長・主任」いずれかに○をつける

氏名：

副園長・主任歴：年目 当園での副園長・主任歴：年目

副園長・主任としての評価受審回数※当園に限らない：回

4 職員の状況

1 前年度3月当園からの異動・退職、今年度4月当園への赴任

	計	常勤	非常勤
異動・退職			
赴任			

2 常勤職員の平均年齢 歳

3 常勤職員の現在の園での平均在職年数 年 ※今年度からの方は「1年」とする

5 利用者の状況（保護者アンケート配布時点現在）

在園児の人数 人 世帯数 世帯

6 最寄りの駅： 駅からの所要時間：

6-1 人的サービス面で、力を入れて取り組んでいる点

1)	
2)	
3)	

6-2 設備・環境面で、力を入れて取り組んでいる点

1)	
2)	
3)	

7 当該事業の開始時から現在までの重要な変遷（制度改正に基づくもの含む）

1) 開始時期 年 月

2) 重要な変遷

--

8 経営に影響を与えていると考えている事業環境の変化を記述（制度改正を含む）

--

9 評価対象としているサービス事業を維持・向上させていくためにこれから何をしていかなければならないかについて、重要な順に3つ以内で記述

1)

2)

3)

10 ○第三者評価を受けることや評価機関について
今回受けるにあたり、期待したいこと。

11 評価を実施するにあたり、評価機関に知って欲しいこと（経営層が考えていること、利用者の状況、職員の状況など）

公表されます

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	(1)職員に求めている人材像や役割
	(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)

付属資料2 組織マネジメント分析シート

組織マネジメント分析シート 【経営層合議用】

- 記入手順
- カテゴリー
 1. リーダーシップと意思決定
 2. 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行
 3. 経営における社会的責任
 4. リスクマネジメント
 5. 職員と組織の能力向上
 7. 事業所の重要課題に対する組織的な活動

作成日 (完成日)	令和	年	月	日
事業所名				
	(役職)	(氏名)		

記入手順

1 評価項目に対する事業所の取り組み状況を確認するために、「標準項目」の実施状況をチェックします。「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、「評価項目」の〔ねらい〕を確認のうえ「カテゴリー」及び「サブカテゴリー」の趣旨から外れないように合議します。

2 「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「実践例」欄に、その取り組みの記録等にあたるものを「記録」欄にそれぞれ記入します。記録と実践例が同じである場合、「記録」欄は省略できます。

3 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。

1. 事業者が当該事項を実施していること
2. その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること
⇒「実践例」欄に記入する内容です。
3. その根拠が示せること
⇒「記録」欄に記入する内容です。

4 標準項目について確認した後、サブカテゴリーごとに「良い点」「改善点・課題点」を記述します。

5. カテゴリー7においては、前年度に行った、事業所の重要課題（サービス提供のプロセスに関するものも含む）に対する組織的な活動を記載します。

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題についての、前年度の目標設定、目標に対する取り組み、取り組みの結果を踏まえた今年度の事業活動への反映事項を記入します。

そして、前年度に事業所の重要課題に対する活動がPDCAサイクルに基づいて行われたかどうか、評価機関が客観的に判断し、①目標の設定と取り組み、②取り組みの検証、③検証結果の反映を評語を用いて評価します。

カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

評価項目 1-1-1

事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している

[ねらい]

- ・理念・ビジョン、基本方針を達成するためにそれを職員や利用者等の関係者がわかるように周知しているか
- ・それを職員の日頃の行動に結びつけるための取り組みを行っているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている		
2 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている		

評価項目 1-1-2

経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

[ねらい]

- ・経営層は、理念等を実現するため、自らの役割と責任を職員にわかりやすく伝えているか
- ・経営層は、理念等を実現するために、方向性を示しリーダーシップを発揮しているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている		
2 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している		

評価項目 1-1-3

重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

- [ねらい]・重要な案件については、組織として決定する手順をあらかじめ定めているか
- ・職員や利用者等に意思決定過程の透明性を図っているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている		
2 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している		
3 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている		

カテゴリー1 について リーダーシップと意思決定

<p>【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと</p>	<p>【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと</p>
---	---

カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

評価項目 2-1-1

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

[ねらい]

・利用者や職員の意向、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向、事業所の経営状況などを、様々な機会をとらえて積極的に把握・検討し、対応すべき課題を抽出しているか

	標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1	利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している		
2	事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している		
3	地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している		
4	福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している		
5	事業所の経営状況を把握・検討している		
6	把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している		

サブカテゴリー2 実践的な計画策定に取り組んでいる

評価項目 2-2-1

事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

[ねらい]

- ・事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた事業計画や予算が策定されているか
- ・その計画や予算は現場や利用者の意向、地域福祉のニーズや事業所の課題等を踏まえたものとなっているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している		
2 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している		
3 策定している計画に合わせた予算編成を行っている		

評価項目 2-2-2

着実な計画の実行に取り組んでいる

[ねらい]

・策定した計画に基づいて、進捗状況に応じ見直しを行いながら、目標達成に向けて取り組んでいるか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している		
2 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる		

カテゴリ-2 について 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

<p>【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと</p>	<p>【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと</p>
---	---

カテゴリー3 経営における社会的責任

サブカテゴリー1 社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

評価項目 3-1-1

社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

[ねらい]

・事業所が社会的な役割を果たすために、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを、職員に対して周知・徹底しているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる		
2 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している		

サブカテゴリー2 利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

評価項目 3-2-1

利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

[ねらい]

・事業所内外の苦情解決制度や相談窓口を機能させるとともに、様々な機会をとらえて利用者の意向を把握し、組織全体で迅速に対応する体制を整えているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		
2 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		

評価項目 3-2-2

虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている

[ねらい]・虐待の防止と早期発見、早期対応を行う体制を、組織として整えているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		
2 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		

サブカテゴリ-3 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

評価項目 3-3-1

透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

[ねらい]・地域社会への情報開示などにより透明性を高め、地域社会に開かれた組織となって、地域との関係づくりに取り組んでいるか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		
2 ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		

評価項目 3-3-2

地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

[ねらい]・事業所が有している機能や福祉の専門性を活かしながら、関係機関と連携して地域の一員としての役割を果たすための取り組みを行っているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		
2 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		
3 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		

カテゴリ-3 について 経営における社会的責任

<p>【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと</p>	<p>【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと</p>
---	---

カテゴリ-4 リスクマネジメント

サブカテゴリ-1 リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

評価項目 4-1-1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

[ねらい]

・事業所が目指していることの実現を阻害するリスクを洗い出し、必要なリスクマネジメントの対策をとっているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている		
2 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている		
3 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している		
4 リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる		
5 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる		

サブカテゴリー2 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

評価項目 4-2-1

事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

[ねらい]

- ・事業所に必要な情報を適切に収集、整理した上で、組織的に管理・保護し、活用を図っているか
- ・事業所で扱っている個人情報の取り扱いについて、規程・体制を整備し、必要な対策を講じているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている		
2 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している		
3 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている		
4 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している		

カテゴリー4 について リスクマネジメント

<p>【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと</p>	<p>【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと</p>
---	---

カテゴリー5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1 事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

評価項目 5-1-1

事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

[ねらい]・理念・ビジョン、基本方針の実現に必要な人材確保や配置を行っているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している		
2 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる		

評価項目 5-1-2

事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

[ねらい]

- ・事業所として求める人材像を具体的に定め、それに基づくキャリアパスを職員へ周知しているか
- ・事業所のキャリアパスと事業所の人材育成計画が整合しており、職員のキャリアアップを支援しているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている		
2 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している		

評価項目 5-1-3

事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

[ねらい]

- ・事業所が目指していることの実現に適した人材の育成に向けて、個人の意向、理解度、到達状況、就業状況に合わせ、きめ細かい指導を行っているか
- ・指導者の支援に取り組んでいるか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している		
2 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		
3 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している		
4 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている		

評価項目 5-1-4

職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

[ねらい]・職員の定着により組織力を発揮するために、事業所として職員の意識を把握して、意欲向上に向けた働きかけを行っているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている		
2 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる		
3 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる		
4 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている		

サブカテゴリー2 組織力の向上に取り組んでいる

評価項目 5-2-1

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

[ねらい]・組織力の向上に向け、職員一人ひとりの学びや気づきの共有化を図るなど、チーム力を発揮できるようどのように取り組んでいるか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<p>1 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している</p>		
<p>2 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている</p>		
<p>3 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる</p>		

カテゴリー5 について 職員と組織の能力向上

<p>【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと</p>	<p>【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと</p>
---	---

カテゴリ7 事業所の重要課題に対する組織的な活動 ※前年度の取り組みについて記述する

①前年度の事業計画における目標設定、②前年度の取り組み、③前年度の取り組みの総括（前年度の事業報告）、④今年度の事業計画への反映

サブカテゴリ1 事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目 1

・事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、**前年度**具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている（その1）

【課題・目標】

事業所の理念・基本方針の実現を図るための**重要課題**（事業計画に掲げた事項等）、そしてその**課題**に対して**前年度**に設定した**目標**を記載します。（重要課題の中で、**前年度中**に達成すべきとしていた短期的な目標を記載する。）

①

○上記の課題を抽出した理由・背景

【取り組み】

上記の**目標**を達成するために、**前年度**に行った具体的な**取り組み**（体制・期間・内容等）を記載します。

②

【取り組みの結果】

前年度末までの**取り組み**の状況や**目標達成**の度合いを具体的に記載します。

③

【振り返り(検証)・今後の方向性】

【取り組みの結果】について検証した内容と、どのように**今年度**の**目標設定**や**取り組み**に反映したかを記載します。

④

評価項目 2

・事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、**前年度**具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている (その2)

【課題・目標】

事業所の理念・基本方針の実現を図るための**重要課題** (事業計画に掲げた事項等)、そしてその**課題**に対して**前年度**に設定した**目標**を記載します。(重要課題の中で、**前年度中**に達成すべきとしていた短期的な目標を記載する。)

①

○上記の課題を抽出した理由・背景

【取り組み】

上記の目標を達成するために、**前年度**に行った具体的な**取り組み** (体制・期間・内容等) を記載します。

②

【取り組みの結果】

前年度末までの**取り組み**の状況や**目標達成の度合い**を具体的に記載します。

③

【振り返り(検証)・今後の方向性】

【**取り組みの結果**】について検証した内容と、どのように**今年度**の**目標設定**や**取り組み**に反映したかを記載します。

④

良い点・課題点について

- ①事業所の良い点や課題点について、最大3点まで記述する。
 ②ここに記述された良い点や課題点、訪問調査での成果が、報告書に記載される「良い点」「改善点」の参考情報となる。

組織運営の面から見た、事業所の

○特に【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと①

○特に【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと②

○特に【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと③

組織運営の面から見た、事業所の

●今後取り組んで行くこと・力を入れていくこと①

●今後取り組んで行くこと・力を入れていくこと②

●今後取り組んで行くこと・力を入れていくこと③

付属資料3 サービス分析シート

サービス分析シート
 (6. サービス提供のプロセス)
 —認可保育所—
 【経営層合議用】

- 記入手順
- カテゴリー

6. サービス提供のプロセス

サブカテゴリー1 サービス情報の提供

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

サブカテゴリー3 個別状況に応じた計画策定・記録

サブカテゴリー4 サービスの実施

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

総括

作成日 (完成日)	令和 年 月 日		
事業所名			
	(役職)	(氏名)	

記入手順

1 評価項目に対する事業所の取り組み状況を確認するために、「標準項目」の実施状況をチェックします。「標準項目」にはどんな事象が該当するのか、「評価項目」の〔ねらい〕を確認のうえ「カテゴリー」及び「サブカテゴリー」の趣旨から外れないように合議します。

2 「標準項目」に該当するあなたの事業所における実践例を「実践例」欄に、その取り組みの記録等にあたるものを「記録」欄にそれぞれ記入します。記録と実践例が同じである場合、「記録」欄は省略できます。

※実践例が思い当たらない場合（取り組みが行われていないと思う場合）、「今後どのようにしたいか」を記入します。

3 「標準項目」ができていると確認するための要件は、次の1、2、3をすべてを満たした場合です。

1. 事業者が当該事項を実施していること
2. その実施が継続的（必要性を認識し、計画的）であること
⇒「実践例」欄に記入する内容です。
3. その根拠が示せること
⇒「記録」欄に記入する内容です。

4 標準項目について確認した後、サブカテゴリーごとに「良い点」「改善したい点」を記述します。

※サブカテゴリー4「サービスの実施」は、評価項目ごとに記述します。

⇒「良い点」

重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと など

⇒「改善点・課題点」

今後力を入れて取り組んでいきたいこと など

5 最後に、全体の総括を記入します。

ここに記述された良い点や課題点、訪問調査での成果が、報告書に記載される「良い点」「改善点」の参考情報となります。

カテゴリー6 サービス提供のプロセス

サブカテゴリー1 サービス情報の提供

※在園時保護者ではなく、潜在的な利用者に向けた情報提供

評価項目 6-1-1

利用希望者等に対してサービスの情報を提供している

- [ねらい] ・サービスを選択するための情報が、利用者に届くように工夫して提供しているか
 ・パンフレットやホームページ等の存在のみを評価するものではない

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		
2 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている		
3 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		
4 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		

サブカテゴリー1 サービス情報の提供 について

【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと

【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

評価項目 6-2-1

サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

- [ねらい] ・サービス開始時に、保護者の状況に応じたサービス内容の説明をしているか
 ・十分な説明をしたうえで、保護者の意向を確認し、納得を得ているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		
2 サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		
3 サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		

評価項目 6-2-2

サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

- [ねらい] ・サービス開始時の環境変化による影響を緩和する取り組みをしているか
 ・子どもがサービスを終了する場合、子どもや保護者の不安を軽減するための取り組みをしているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		
2 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		
3 サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応 について

<p>【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと</p>	<p>【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと</p>
--	------------------------------------

サブカテゴリー3 個別状況の記録と計画策定

評価項目 6-3-1

定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

- [ねらい] ・保育をするうえで必要な子ども個人の情報をどのように把握しているか
 ・子どもの状況に応じたアセスメントの手順や改訂基準が確立しているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		
2 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		
3 アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		

評価項目 6-3-2

全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

[ねらい]

- 全体的な計画や子どもの実態、子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)をどのように取り入れ、指導計画を作成しているか
- 個別的な計画を作成するしくみがあり、子どもの状況に応じて作成、見直しをしているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		
2 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている		
3 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		
4 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		
5 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		

評価項目 6-3-3

子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

- [ねらい] ・職員が、子どもの状況の変化等をどのように記録しているか
 ・具体的な保育内容や子どもの変化等が適切に記録されているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<p>1 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載する しくみがある</p>		
<p>2 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果 子どもの状態がどのように推移したのかについて 具体的に記録している</p>		

評価項目 6-3-4

子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

- [ねらい] ・子どもに関わる情報を職員間でどのように共有化しているか
- ・日々の子どもの変化等をどのような方策で共有化しているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<p>1 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している</p>		
<p>2 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている</p>		
<p>3 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている</p>		

サブカテゴリ3 個別状況の記録と計画策定 について

<p>【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと</p>	<p>【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと</p>
--	------------------------------------

サブカテゴリー4 サービスの実施

評価項目 6-4-1

子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている

- [ねらい] ・一人ひとりの子どもの発達の過程をどのように把握しているか
 ・集団での生活の中で子ども一人ひとりを尊重した援助をしているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		
2 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		
3 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		
4 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		

<p>5 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている</p>		
<p>6 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 6 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している</p>		

評価項目 6-4-1 について

<p>【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと</p>	<p>【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと</p>
---	---

評価項目 6-4-2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

- [ねらい] ・子どもの生活の連続性に配慮した保育を行っているか
 ・子どもの状態を保護者と保育所で共有することができるか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		
2 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		
3 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		
4 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		

評価項目 6-4-2 について

【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと

【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと

評価項目 6-4-3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

- [ねらい] ・子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう、環境や取り組みにどのような工夫をしているか
 ・教育の5領域に即した取り組みを、子どもの年齢や発達の状態に応じて行っているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている		
2 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している		
3 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している		
4 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている		

<p>5 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じることができるような視点を取り入れている</p>		
<p>6 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している</p>		

評価項目 6-4-3 について

<p>【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと</p>	<p>【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと</p>
---	---

評価項目 6-4-4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

- [ねらい] ・子どもが興味を持ち、協力して進められる行事をどのように実施しているか
 ・行事の実施に対する保育所の考え・目的は何か

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<p>1 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している</p>		
<p>2 みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している</p>		
<p>3 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている</p>		

評価項目 6-4-4 について

【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと

【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと

評価項目 6-4-5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

〔ねらい〕 ・保育時間の長い子どもがくつろげるような工夫をしているか

・保育時間が長くなることにより保育形態や担当職員が変わっても、子どもが楽しく過ごせるようにしているか

標準項目

私たちの実践例

その実践の記録等

1 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている

2 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている

評価項目 6-4-5 について

【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと

【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと

評価項目 6-4-6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

- [ねらい] ・年齢等にあった調理方法や食習慣に応じた食事を提供しているか
- ・食育の推進にむけた取り組みを行っているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		
2 メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		
3 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		
4 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		
5 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている		

評価項目 6-4-6 について

【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと

【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと

評価項目 6-4-7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

- [ねらい] ・子どもを病気や怪我から守る取り組みを行っているか
 ・専門機関や保護者との連携をどのように行っているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している		
2 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている		
3 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている		

評価項目 6-4-7 について

【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと

【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと

評価項目 6-4-8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

- [ねらい] ・保護者の個々の事情に応じた子育て支援を行っているか
 ・園で実施する保育活動に対し、保護者の理解や参加を促しているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		
2 保護者同士が交流できる機会を設けている		
3 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		
4 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		

<p>5 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している</p>		
---	--	--

評価項目 6-4-8 について

<p>【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと</p>	<p>【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと</p>
---	---

評価項目 6-4-9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

- [ねらい] ・子どもの生活の幅を広げる視点から、地域とのかかわりをどのように考えているか
- ・子どもが地域とかかわる機会をどのように設けているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<p>1 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している</p>		
<p>2 園の行事に地域の方の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している</p>		

評価項目 6-4-9 について

【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと

【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

評価項目 6-5-1

子どものプライバシー保護を徹底している

- [ねらい] ・日常の中で、どのように子どものプライバシーの保護をしているのか
 ・組織としての規定やしきみに則って行動しており、属人的な対応になっていないか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
1 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする 必要が生じた場合には、保護者の同意を得るよう にしている		
2 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		

評価項目 6-5-2

サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

- 【ねらい】
- ・サービス提供の中で、子どもの権利を擁護し、意思を尊重しているか
 - ・子どもと保護者の価値観等を考慮し、その人らしい生活を尊重しているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<p>1 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している</p>		
<p>2 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている</p>		
<p>3 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている</p>		

サブカテゴリ5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 について

【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと

【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

評価項目 6-6-1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

- [ねらい] ・業務の一定水準を確保するための手引書等を整備し、実施しているか
- ・業務の標準化は、対人援助の単純化や画一化をめざすものではない

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<p>1 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている</p>		
<p>2 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている</p>		
<p>3 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している</p>		

評価項目 6-6-2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

- [ねらい] ・業務の標準レベルを見直す仕組みを確立しているか
- ・よりよいサービスをめざし、職員や保護者等の意見を反映して見直しを行っているか

標準項目	私たちの実践例	その実践の記録等
<p>1 提供しているサービスの基本事項や手順等は 変更の時期や見直しの基準が定められている</p>		
<p>2 提供しているサービスの基本事項や手順等の見 直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提 案、子どもの様子を反映するようにしている</p>		

サブカテゴリ6 事業所業務の標準化 について

【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと

【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと

良い点・課題点について

①事業所の良い点や課題点について、最大3点まで記述する。

②ここに記述された良い点や課題点、訪問調査での成果が、報告書に記載される「良い点」「改善点」の参考情報となる。

保育面から見た、事業所の

○【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと①

○【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと②

○【良い点】重視していること、工夫していること、その他良いと思うこと③

●【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと①

●【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと②

●【改善点・課題点】今後力を入れて取り組んでいきたいこと③

付属資料4 職員アンケート

職員アンケート記入の手引き

このアンケートは、事業所に対する皆さんによる自己評価です。それぞれの項目に当てはまる取り組みが、運営法人、あるいは、事業所として行われていると「思うか否か」という視点から回答して下さい。「自分が直接関与しているか否か」は問いません。

その上で、組織の一員としての立場から、運営や保育について振り返りを行い、組織としての強みや課題について回答します。

アンケートの集計結果は、公表されるものではなく、今回の評価および今後の運営上の貴重な材料として活用されます。

○記入方法

- ① 最終頁末の「事業所名」の欄に事業所名を記入します。
- ② 【選択】各項目を読み、該当する取り組みの有無を判断し、それぞれ「そう思う」「そう思わない」「わからない」を選択します
- ③ 【自由記述】各項目を読み、意見や考えを記入します。
- ④ 回答終了後は、アンケート本紙から1) 表紙を取り除き、2) 2つ折りにした上で、3) 回収箱に投函して下さい。※封筒などの使用も不要です

締切： 月 日（ ）

カテゴリー1 リーダーシップと意思決定

サブカテゴリー1 事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている

1-1-1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を周知している

ア	①事業所は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	そう思う	そう思わない	分からない
イ	②私は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）を理解できている	そう思う	そう思わない	分からない
ウ	事業所は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	そう思う	そう思わない	分からない

1-1-2 経営層（運営管理者含む）は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている

ア	①事業所では、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、経営層が自らの役割と責任を職員に伝えている	そう思う	そう思わない	分からない
イ	②私は、経営層の役割と責任を理解できている	そう思う	そう思わない	分からない
ウ	事業所では、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けて、経営層が自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	そう思う	そう思わない	分からない

1-1-3 重要な案件について、経営層（運営管理者含む）は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している

ア	事業所では、重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	そう思う	そう思わない	分からない
イ	①事業所では、経営層が重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	そう思う	そう思わない	分からない
ウ	②私は、経営層から、重要な意思決定に関して、その内容と決定経緯を知らされている	そう思う	そう思わない	分からない
エ	事業所では、利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	そう思う	そう思わない	分からない

カテゴリー2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行

サブカテゴリー1

事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

2-1-1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している

ア	事業所は、利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	そう思う	そう思わない	分からない
イ	事業所は、事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	そう思う	そう思わない	分からない
ウ	事業所は、地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	そう思う	そう思わない	分からない
エ	事業所は、福祉事業全体の動向（行政や業界などの動き）について情報を収集し、課題やニーズを把握している	そう思う	そう思わない	分からない
オ	事業所は、事業所の経営状況を把握・検討している	そう思う	そう思わない	分からない
カ	事業所は、把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	そう思う	そう思わない	分からない

サブカテゴリー2 実践的な計画策定に取り組んでいる

2-2-1 事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している

ア	事業所は、課題をふまえ、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた中・長期計画を策定している	そう思う	そう思わない	分からない
イ	事業所は、中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	そう思う	そう思わない	分からない
ウ	事業所は、策定している計画に合わせた予算編成を行っている	そう思う	そう思わない	分からない

2-2-2 着実な計画の実行に取り組んでいる

ア	事業所は、事業所が目指していること（理念・ビジョン、基本方針など）の実現に向けた、計画の推進方法（体制、職員の役割や活動内容など）、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	そう思う	そう思わない	分からない
イ	事業所は、計画推進にあたり、進捗状況を確認し（半期・月単位など）、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	そう思う	そう思わない	分からない

カテゴリー3 経営における社会的責任

サブカテゴリー1

社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる

3-1-1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる

ア	①事業所は、全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる	そう思う	そう思わない	分からない
イ	②私は、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを理解できている	そう思う	そう思わない	分からない
ウ	①事業所は、全職員に対して、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している	そう思う	そう思わない	分からない
エ	②私は、守るべき法・規範・倫理（個人の尊厳を含む）などを遵守している	そう思う	そう思わない	分からない

サブカテゴリー2

利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている

3-2-1 利用者の意向（意見・要望・苦情）を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている

ア	事業所は、苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	そう思う	そう思わない	分からない
イ	事業所には、利用者の意向（意見・要望・苦情）に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	そう思う	そう思わない	分からない

3-2-2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている

ア	事業所は、利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	そう思う	そう思わない	分からない
イ	事業所は、虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	そう思う	そう思わない	分からない

サブカテゴリー3 地域の福祉に役立つ取り組みを行っている

3-3-1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる

ア	事業所は、透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	そう思う	そう思わない	分からない
イ	事業所は、ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	そう思う	そう思わない	分からない

3-3-2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

ア	事業所は、地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	そう思う	そう思わない	分からない
イ	事業所は、事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク（事業者連絡会、施設長会など）に参画している	そう思う	そう思わない	分からない
ウ	事業所は、地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	そう思う	そう思わない	分からない

カテゴリ4 リスクマネジメント

サブカテゴリ1 リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる

4-1-1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

ア	事業所は、事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク（事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など）を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	そう思う	そう思わない	分からない
イ	事業所は、優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	そう思う	そう思わない	分からない
ウ	事業所は、災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画（BCP）を策定している	そう思う	そう思わない	分からない
エ	①事業所は、リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	そう思う	そう思わない	分からない
オ	②私は、リスクに対する必要な対策や事業継続計画について理解できており、自分の役割に応じた対応できる	そう思う	そう思わない	分からない
カ	事業所は、事故、感染症、侵入、災害などが発生した時は、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	そう思う	そう思わない	分からない

4-1-2 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている

ア	①事業所は、情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員（実習生やボランティアを含む）が理解し遵守するための取り組みを行っている	そう思う	そう思わない	分からない
イ	②私は、情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを理解し遵守している	そう思う	そう思わない	分からない
ウ	事業所は、収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	そう思う	そう思わない	分からない
エ	事業所は、情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	そう思う	そう思わない	分からない
オ	事業所は、事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	そう思う	そう思わない	分からない

カテゴリー5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる

5-1-1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている

ア	事業所は、事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	そう思う	そう思わない	分からない
イ	事業所は、事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	そう思う	そう思わない	分からない

5-1-2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している

ア	①事業所では、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）が職員に分かりやすく周知されている	そう思う	そう思わない	分からない
イ	②私は、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）を理解できている	そう思う	そう思わない	分からない
ウ	事業所は、事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望（キャリアパス）と連動した事業所の人材育成計画を策定している	そう思う	そう思わない	分からない

5-1-3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

ア	①事業所は、勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	そう思う	そう思わない	分からない
イ	②私には、事業所から様々な研修等の機会が与えられている	そう思う	そう思わない	分からない
ウ	①事業所は、職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成（研修）計画を策定している	そう思う	そう思わない	分からない
エ	②私の育成（研修）計画は、私の意向や経験等に基づいて策定されている	そう思う	そう思わない	分からない
オ	①事業所は、職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成（研修）計画へ反映している	そう思う	そう思わない	分からない
カ	②私の育成（研修）計画には、事業所が私の育成の成果を確認した内容が反映されている	そう思う	そう思わない	分からない
キ	事業所では、指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	そう思う	そう思わない	分からない

5-1-4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

ア	事業所は、事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇（賃金、昇進・昇格等）・称賛などを連動させている	そう思う	そう思わない	分からない
イ	事業所は、就業状況（勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど）を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	そう思う	そう思わない	分からない
ウ	①事業所は、職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	そう思う	そう思わない	分からない
エ	②私はこの事業所の仕事について、意欲と働きがいを持つことができている	そう思う	そう思わない	分からない
オ	①事業所は、職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	そう思う	そう思わない	分からない
カ	②私の職場では、良好な人間関係が構築されている	そう思う	そう思わない	分からない

サブカテゴリー2 組織力の向上に取り組んでいる

6-2-1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる

ア	①事業所は、職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	そう思う	そう思わない	分からない
イ	②私が学んだ研修内容は、レポートや発表等で報告し、職員間で共有化している	そう思う	そう思わない	分からない
ウ	①事業所は、職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	そう思う	そう思わない	分からない
エ	②私の日頃の気づきや工夫について、他の職員と互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす機会がある	そう思う	そう思わない	分からない
オ	事業所は、目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	そう思う	そう思わない	分からない

サブカテゴリー1 サービス情報の提供

6-1-1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している

ア	利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	そう思う	そう思わない	分からない
イ	利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしていく	そう思う	そう思わない	分からない
ウ	事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	そう思う	そう思わない	分からない
エ	利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	そう思う	そう思わない	分からない

サブカテゴリー2 サービスの開始・終了時の対応

6-2-1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている

ア	サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	そう思う	そう思わない	わからない
イ	サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	そう思う	そう思わない	わからない
ウ	サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	そう思う	そう思わない	わからない

6-2-2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている

ア	サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	そう思う	そう思わない	わからない
イ	利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	そう思う	そう思わない	わからない
ウ	サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	そう思う	そう思わない	わからない

サブカテゴリー3 個別状況に応じた計画策定・記録

6-3-1 定められた手順に従ってアセスメント（情報収集、分析および課題設定）を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している

ア	子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	そう思う	そう思わない	わからない
イ	子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	そう思う	そう思わない	わからない
ウ	アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	そう思う	そう思わない	わからない

6-3-2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している

ア	指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護（生命の保持・情緒の安定）と教育（健康・人間関係・環境・言葉・表現）の各領域を考慮して作成している	そう思う	そう思わない	わからない
イ	指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	そう思う	そう思わない	わからない
ウ	個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況（年齢・発達の状況など）に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	そう思う	そう思わない	わからない

エ	指導計画を保護者にわかりやすく説明している	そう思う	そう思わない	わからない
オ	指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直している	そう思う	そう思わない	わからない

6-3-3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している

ア	子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	そう思う	そう思わない	わからない
イ	指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	そう思う	そう思わない	わからない

6-3-4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している

ア	指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	そう思う	そう思わない	わからない
イ	申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	そう思う	そう思わない	わからない
ウ	子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	そう思う	そう思わない	わからない

サブカテゴリー4 サービスの実施

6-4-1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている

ア	発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	そう思う	そう思わない	わからない
イ	子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	そう思う	そう思わない	わからない
ウ	子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	そう思う	そう思わない	わからない
エ	特別な配慮が必要な子ども（障害のある子どもを含む）の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	そう思う	そう思わない	わからない
オ	発達の過程で生じる子ども同士のトラブル（けんか・かみつき等）に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	そう思う	そう思わない	わからない
カ	【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	そう思う	そう思わない	わからない

6-4-2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

ア	登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	そう思う	そう思わない	わからない
イ	発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	そう思う	そう思わない	わからない
ウ	休息（昼寝を含む）の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	そう思う	そう思わない	わからない
エ	降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	そう思う	そう思わない	わからない

6-4-3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

ア	子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	そう思う	そう思わない	わからない
イ	子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	そう思う	そう思わない	わからない
ウ	子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	そう思う	そう思わない	わからない
エ	子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	そう思う	そう思わない	わからない
オ	戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	そう思う	そう思わない	わからない
カ	生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	そう思う	そう思わない	わからない

6-4-4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

ア	行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	そう思う	そう思わない	わからない
イ	みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	そう思う	そう思わない	わからない
ウ	子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	そう思う	そう思わない	わからない

6-4-5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

ア	保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	そう思う	そう思わない	わからない
イ	保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	そう思う	そう思わない	わからない

6-4-6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

ア	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	そう思う	そう思わない	わからない
イ	メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	そう思う	そう思わない	わからない
ウ	子どもの体調（食物アレルギーを含む）や文化の違いに応じた食事を提供している	そう思う	そう思わない	わからない
エ	食についての関心を深めるための取り組み（食材の栽培や子どもの調理活動等）を行っている	そう思う	そう思わない	わからない
オ	保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	そう思う	そう思わない	わからない

6-4-7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

ア	子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	そう思う	そう思わない	わからない
イ	医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	そう思う	そう思わない	わからない
ウ	保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み（乳幼児突然死症候群の予防を含む）を行っている	そう思う	そう思わない	わからない

6-4-8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

ア	保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	そう思う	そう思わない	わからない
イ	保護者同士が交流できる機会を設けている	そう思う	そう思わない	わからない
ウ	保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	そう思う	そう思わない	わからない
エ	子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	そう思う	そう思わない	わからない
オ	保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	そう思う	そう思わない	わからない

6-4-9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

ア	地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	そう思う	そう思わない	わからない
イ	園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	そう思う	そう思わない	わからない

サブカテゴリー5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重

6-5-1 子どものプライバシー保護を徹底している

ア	子どもに関する情報（事項）を外部とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	そう思う	そう思わない	わからない
イ	子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	そう思う	そう思わない	わからない

6-5-2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している

ア	日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	そう思う	そう思わない	わからない
イ	子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	そう思う	そう思わない	わからない
ウ	虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	そう思う	そう思わない	わからない

サブカテゴリー6 事業所業務の標準化

6-6-1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

ア	手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	そう思う	そう思わない	わからない
イ	提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	そう思う	そう思わない	わからない
ウ	職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	そう思う	そう思わない	わからない

6-6-2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

ア	提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	そう思う	そう思わない	わからない
イ	提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	そう思う	そう思わない	わからない

○あなたの働く事業所が行った前年度の取り組みにより、良くなったと思う点は、どんなことがありますか。

1

○良い点・強み（これまでの取り組みを振り返ってみて）
あなたの働く事業所の良い点は、どんなところですか。

2

- 【良い点・強み】 組織の理念や方針、運営や人材育成の仕組みなどの運営面

3

- 【良い点・強み】 現場での援助・教育・保育の面

4	<ul style="list-style-type: none"> • 【良い点・強み】 地域との関係面
5	<ul style="list-style-type: none"> • 【良い点・強み】 働く場として

○今後に向けた取り組み

より良い事業所にしていくためには、様々な取り組みが必要です。

6	<p>①【課題点】より良い事業所にしていくために、組織の一員として、あなたができること、やるべきだと思うこと、やりたいと思うことは、どんなことですか。</p>
7	<p>②【課題点】より良い事業所にしていくために、組織（法人・事業所）としてできること、組織（法人・事業所）としてやってほしいことは、どんなことですか。</p>

事業所名：

付属資料 5 利用者調査

令和5年8月吉日

保護者の皆様へ

〇〇保育園

WEBアンケート調査ご協力をお願い

日頃より園の運営にご理解・ご協力をいただきまして、ありがとうございます。

このたび、当園では、よりよい園運営を目指して、東京都の「福祉サービス第三者評価」を受審いたします。今回の第三者評価は、杉並区より委託を受けた評価機関「株式会社にはほんの福祉ネット」が担当いたします。

第三者評価の一環として、ご利用者の皆様が当園に対してどのようなご意向、ご意見、ご要望を持っておられるのかを把握するために、アンケート調査が行われます。

この調査では、記入者が特定されたり調査結果の内容が第三者評価の目的以外に使用されたりすることはございません。

回答は1家庭1名です。

記入に際してご不明な点がある場合は、下記までお問い合わせ下さい。

ご多用の折恐縮ですが、調査の趣旨をご理解の上、ご協力のほどお願いいたします。

〇問い合わせ先： 株式会社にはほんの福祉ネット・評価本部

070-2683-3428

nihon.no.fukushinet@gmail.com

➡裏面をご覧ください。

<アンケート実施の流れ>

- ① 下のQRコードを読み込み、アンケートのページにアクセスします。
- ② アンケートの各質問に回答します。
- ③ 回答終了後、送信ボタンをクリックして、終了します。

回答期限：8月25日までです。



NF : R5【杉並区】【〇〇保育園】福祉サービス第三者評価：利用者調査

このアンケートは、ご利用者の皆様が当園に対してどのような意向、ご意見、ご要望を持っておられるのかを把握するために行われます。

以下、皆さんのお気持ちに最も近い選択肢を1つだけお選びください。質問事項に対してご意見などがある場合は、自由意見欄にご入力ください。

※1 複数のお子さんがいらっしゃる場合は、一番年齢の低いお子さんの例でご回答下さい。

※2 記入者が特定されたり調査結果の内容が第三者評価の目的以外に使用されたりすることはございません。

園での活動は、お子さんの心身の発達に役立っている

- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 非該当

自由意見

0 / 5000

園での活動は、お子さんが興味や関心を持って行えるものになっている

- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 非該当

自由意見

0 / 5000

園で提供される食事・おやつは、お子さんの状態に配慮し、工夫されたものになっている

- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 非該当

自由意見

0 / 5000

戸外遊びや行事などにより、お子さんが自然や社会と関わる機会は十分確保されている

- はい
- どちらともいえない
- いいえ

非該当

自由意見

0 / 5000

急な残業などであらかじめ取り決めた利用時間を変更する必要がある場合、柔軟に対応している

はい

どちらともいえない

いいえ

非該当

自由意見

0 / 5000

安全対策が十分取られている

はい

どちらともいえない

いいえ

非該当

自由意見

0 / 5000

行事の日程は参加しやすいように十分な配慮がされている

はい

どちらともいえない

いいえ

非該当

自由意見

0 / 5000

お子さんの気持ちや様子・子育てなどについて、職員と話したり相談することができるような信頼関係がある

はい

どちらともいえない

いいえ

非該当

自由意見

0 / 5000

園内は清潔で整理された空間になっている

はい

どちらともいえない

いいえ

非該当

自由意見

0 / 5000

職員の言葉遣いや態度、服装などは適切である

はい

どちらともいえない

いいえ

非該当

自由意見

0 / 5000

お子さんがけがをしたり、体調が悪くなったときの、職員の対応は信頼できる

はい

どちらともいえない

いいえ

非該当

自由意見

0 / 5000

子ども同士のいさかいやいじめ等があった場合の職員の対応は信頼できる

はい

どちらともいえない

いいえ

非該当

自由意見

0 / 5000

職員はお子さんの気持ちを大切にしながら対応してくれている

はい

どちらともいえない

いいえ

非該当

自由意見

0 / 5000

あなたやお子さんのプライバシー（他の人に見られたくない、聞かれたくない、知られたくないと思うこと）を職員は守ってくれている

- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 非該当

自由意見

0 / 5000

お子さんの保育内容に関する説明は、わかりやすい

- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 非該当

自由意見

0 / 5000

不満に思ったことや要望を伝えたとき、職員は、きちんと対応してくれている

- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 非該当

自由意見

0 / 5000

困ったときに役所や第三者委員などにも相談できることを、職員はわかりやすく伝えてくれた（入園時の説明など）

- はい
- どちらともいえない
- いいえ
- 非該当

自由意見

0 / 5000

当園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか

- 満足
- まあまあ満足
- どちらともいえない
- やや不満
- 不満

【良い点について】当園で良かったと思える点、嬉しかった出来事などについて、ご自由にお書き下さい

送信

0 / 5000

【ご期待・ご要望について】今後も当園を利用するにあたり、期待したいことなどについて、ご自由にお書き下さい

0 / 5000

保護者の方とお子さんについて①：調査票記入者

- 父
- 母
- 父母一緒に
- その他（具体的にご記入ください）

保護者の方とお子さんについて②：調査票記入者の年齢（主に中心になって回答した方）

- 20歳未満
- 20～25歳未満
- 25～30歳未満
- 30～35歳未
- 35～40歳未満
- 40～50歳未満
- 50歳以上

保護者の方とお子さんについて③：保護者の勤務形態 ①父

- 常勤（フルタイム）
- パート、アルバイト
- 自営業
- 無職
- その他（具体的にご記入ください）

保護者の方とお子さんについて③：保護者の勤務形態 ②母

- 常勤（フルタイム）
- パート、アルバイト
- 自営業
- 無職
- その他（具体的にご記入ください）

保護者の方とお子さんについて③：保護者の勤務形態 ③その他の保護者(主にお迎えに行かれる方)

- 常勤（フルタイム）
- パート、アルバイト
- 自営業
- 無職
- その他（具体的にご記入ください）

最後に保護者の方とお子さんについて④：お子さんが通うクラス（複数のお子さんがいらっしゃる場合は、該当するすべてを選択）

0歳児クラス

1歳児クラス

2歳児クラス

3歳児クラス

4歳児クラス

5歳児クラス

今回の調査についてお気づきになった点など、ご自由にお書き下さい

0 / 5000

ありがとうございました。

回答を終えましたら、送信ボタンを教えてください。

令和5年度
保育園サービス第三者評価事業
報告書

登録印刷物番号

05-0059

編集・発行
杉並区子ども家庭部保育課
〒166-8570
東京都杉並区阿佐谷南1丁目15番1号
電話:03-3312-2111(代表)

調査・評価機関 株式会社にはほんの福祉ネット
(東京都福祉サービス第三者評価機関 認証番号06-168)
〒156-0043
東京都世田谷区松原3丁目38番16-107号
電話:03-6379-5156

☆杉並区のホームページでご覧になれます。 <https://www.city.suginami.tokyo.jp>